

少子化等に関する県民意識調査 報告書



令和6年3月
鹿児島県

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査項目	2
4. 集計上の留意点	5

II 調査結果総括

1. 回答者本人の現状について	9
2. 結婚観について	10
3. 子育てについて	11
4. 仕事と育児の両立について	12
5. 少子化問題について	13

III 調査結果（県民）

県民調査結果	17
--------	----

IV 調査結果（事業所）

事業所調査結果	139
---------	-----

V 調査票

1. 県民用調査票	171
2. 事業所用調査票	195

I 調査概要

1. 調査の目的

少子化の進行の一因となっている未婚・晩婚化が年々進んでいることから、結婚や育児に関する県民の意識を把握し、今後の少子化対策の参考にするとともに、「かごしま子ども未来プラン 2020」改訂の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 調査方法

調査方法については、以下のとおりとなっている。

(1) 県民を対象とした調査

	県民 5,000 人	公募	みなみパス会員
実施時期	令和 5 年 11 月下旬から 12 月上旬に実施		
対象地域	鹿児島県内全域		
調査対象	無作為に抽出した県内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人	県内在住の 18 歳以上の男女	南日本新聞社の会員サービス「みなみパス」会員 10,443 人
調査方法	郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収	インターネットによる配布、回収	みなみアンケート（インターネット調査）による配布、回収
回収数・回収率	1,405 件 (28.1%)	2,957 件	2,233 件

(2) 県内企業を対象とした調査

実施時期	令和 5 年 11 月下旬から 12 月上旬に実施
調査対象	鹿児島県内の一般企業及び子育て応援企業 200 社 (一般企業 100 社、子育て応援企業 100 社を無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収
回収数・回収率	100 件 (50.0%)

3. 調査項目

対象者別の調査項目については、以下のとおりとなっている。(調査票の詳細は 171 ページ参照)

(1) 県民を対象とした調査

【県民向け調査項目】

<p>回答者本人の現状 について</p>	<p>問1 あなたの性別を教えてください。 問2 あなたの年齢を教えてください。 問3 あなたは結婚されていますか。 問4 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。 問5 お子さんの人数を教えてください。 問6 あなたのお住まいはどちらですか。 問7 あなたの雇用形態をお聞かせください。 問8 配偶者の雇用形態をお聞かせください。 問9 平均的な1日の労働時間(残業を含む)と通勤時間を合計した時間はどの程度ですか。 問10 あなたの世帯構成(同居している家族構成)は以下のどれにあてはまりますか。 問11 あなたの世帯年収はどのくらいですか。</p>
<p>結婚観について</p>	<p>問12 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。 問13 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー(恋人)はいますか。 問14 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー(恋人)と結婚する意思がありますか。 問15 現在お付き合いしている特定のパートナー(恋人)と出会ったきっかけは何ですか。 問16 出会ったきっかけとなった具体的なインターネットサービスについて教えてください。 問17 あなたは、特定のパートナー(恋人)とお付き合いしたいと思いますか。 問18 あなたは、どのような出会い方(出会いの場)を望んでいますか。 問19 あなたは、パートナーと出会うために取り組んでいることはありますか。 問20 あなたは、出会いの場の提供があれば、利用してみたいですか。 問21 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を知っていますか。 問22 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を利用してみたいと思いますか。 問23 利用したくない理由は何ですか。 問24 特定のパートナー(恋人)と付き合いたくない理由はどのようなことですか。 問25 将来子どもが欲しいと思いますか。 問26 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えに最も近いものはどれですか。 問27 あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。 問28 結婚生活をスタートさせるに当たって必要だと思う世帯年収はどれくらいだと考えますか。 問29 あなたは、何歳までに結婚したいと思いますか。 問30 将来結婚したいと思う理由は何ですか。 問31 結婚して子どもができた後、どのような働き方を望みますか。 問32 将来結婚したくない理由は何ですか。</p>

【県民向け調査項目（つづき）】

<p>子育てについて</p>	<p>問 33 あなたが子育てをして感じたことについて(A)～(H)の各項目にあてはまる番号に○をつけてください。</p> <p>問 34 あなたは、子育てをする上で悩みや不安がありますか。</p> <p>問 35 あなたの子育ての心理面での悩みはどんなことですか。</p> <p>問 36 あなたの子育ての環境面での悩みはどんなことですか。</p> <p>問 37 あなたが子育てをしていく上で、それぞれの時期の大変さの程度について、あてはまる番号に○を付けてください。</p> <p>問 38 あなたは以下の子育て支援サービスをご存知ですか。また、利用したことがありますか。</p> <p>問 39 あなたは、子育て費用がご自身や世帯の家計に占める割合についてどのように感じていますか。</p> <p>問 40 あなたは、お子さんの進学目標（最終学歴）をどのように考えますか。</p> <p>問 41 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談する相手はだれですか。</p> <p>問 42 あなたは、子育てに関する情報をどのように入手していますか。</p> <p>問 43 配偶者の育児の関わり方についてお尋ねします。次の項目について、あなたは配偶者のどのような点を評価しますか。</p> <p>問 44 配偶者の育児への関わり方について不満を感じている点についてお尋ねします。次の項目について、あなたが配偶者に対して不満を感じている点は何ですか。</p> <p>問 45 あなたご自身にとって、以前（3年ほど前もしくはあなたご自身が子育てをされていた時期）と比べて、子育てはしやすくなりましたか。</p>
<p>仕事と育児の両立について</p>	<p>問 46 あなたは、子育て支援のために、企業に整備してほしい制度は何だと思えますか。</p> <p>問 47 あなたは、鹿児島県における男性の育児への関わり方について、どんな印象がありますか。</p> <p>問 48 あなたは、男性が女性とともに積極的に子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思えますか。</p> <p>問 49 あなたは、男性の育児休業制度を知っていますか。</p> <p>問 50 あなたは、男性が育児休業制度を利用することをどう思えますか。</p> <p>問 51 あなたは、男性の育児休業の取得を促進するには何が必要だと思えますか。</p> <p>問 52 あなたのお勤めの会社には育児休業制度の規定がありますか。</p> <p>問 53 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。</p> <p>問 54 あなたが育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）と思う理由は何ですか。</p> <p>問 55 あなたは、育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できましたか。</p>
<p>少子化問題について</p>	<p>問 56 少子化問題についてどのようにお考えですか。</p> <p>問 57 あなたは、子どもの数が減少してきている原因は何だと思えますか。</p> <p>問 58 あなたは、子どもの数が減少するとどのような影響が出てくると思えますか。</p> <p>問 59 あなたは、人生設計（ライフプラン）について考えたことがありますか。</p> <p>問 60 あなたにとって理想とする子どもの数は何人ですか。</p> <p>問 61 子どもを持ちたいのは、どのような理由からですか。</p> <p>問 62 子どもを持ちたくないのは、どのような理由からですか。</p> <p>問 63 あなたは、実際に何人の子どもを持ちたいですか。</p> <p>問 64 その理由は何ですか。</p> <p>問 65 本県でも、未婚化と晩婚化が進んでいますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。</p>

【県民向け調査項目（つづき）】

少子化問題 について (つづき)	問 66 あなたは、結婚を希望する人の結婚を支援する施策として何が重要だと思えますか。 問 67 あなたご自身にとって、以前（3年ほど前）と比べて、仕事と家庭の両立はしやすくなりましたか。 問 68 その理由は何ですか。 問 69 あなたは、子どもを健やかに産み育てるためには、国や県、市町村にどのようなことを期待しますか。 問 70 あなたは、以下の行政の取組についてどのように感じていますか。重要度、満足度をそれぞれお答えください。 問 71 あなたは、将来子どもを安心して産み育てることができる社会づくりの推進や少子化対策を進めるためにどのような取組が必要と考えますか。ご自由にご意見などを記入してください。
------------------------	--

(2) 県内企業を対象とした調査

【事業所向け調査項目】

貴社のこと について	問 1 貴社の主な業種についてあてはまるものをお答えください。 問 2 貴社の従業員数を教えてください。 問 3 貴社の所在地はどちらですか。
働き方について	問 4 貴社では、ワーク・ライフ・バランスの取組についてどのように認識していますか。 問 5 貴社では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような取組をしていますか。 問 6 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかったと思う内容はどれですか。 問 7 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでどのようなメリットがありましたか。 問 8 貴社で、ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由は何ですか。 問 9 ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政にどのようなことを希望しますか。 問 10 あなたは「イクボス宣言」という言葉を知っていますか。 問 11 貴社で「イクボス宣言」をされた方はいらっしゃいますか。
結婚支援について	問 12 企業が従業員の結婚支援に取り組むことについてどう考えていますか。 問 13 貴社で取り組んでいる結婚支援の内容についてお答えください。 問 14 結婚支援に取り組んでいる理由をお答えください。 問 15 今後、貴社で取り組みたい結婚支援の内容についてお答えください。 問 16 企業が従業員の結婚支援を行うことの課題についてお答えください。 問 17 鹿児島県が実施している主な結婚支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものをすべて選択してください。 問 18 行政に期待する結婚支援についてお答えください。
育児休業制度 について	問 19 貴社ではこれまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。 問 20 貴社の男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容についてお答えください。

【事業所向け調査項目（つづき）】

子育て支援 について	問 21 貴社の女性の働き方として、どのような形が多いですか。 問 22 企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えますか。 問 23 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容についてお答えください。 問 24 子育て支援に取り組んでいる理由をお答えください。 問 25 今後、貴社で取り組みたい子育て支援の内容についてお答えください。 問 26 企業が従業員の子育て支援を行うことの課題についてお答えください。 問 27 鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。 問 28 行政に期待する子育て支援についてお答えください。 問 29 少子化問題についてのご意見、この調査に対するご感想がありましたら、ご自由にお書きください。
---------------	--

4. 集計上の留意点

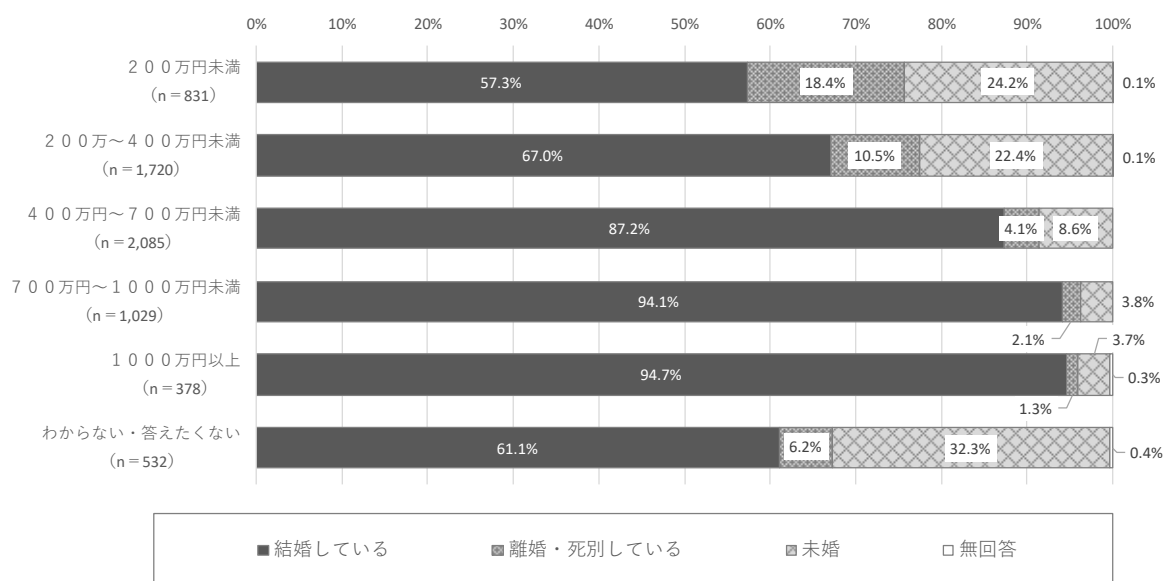
- ・グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- ・集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。

II 調査結果総括

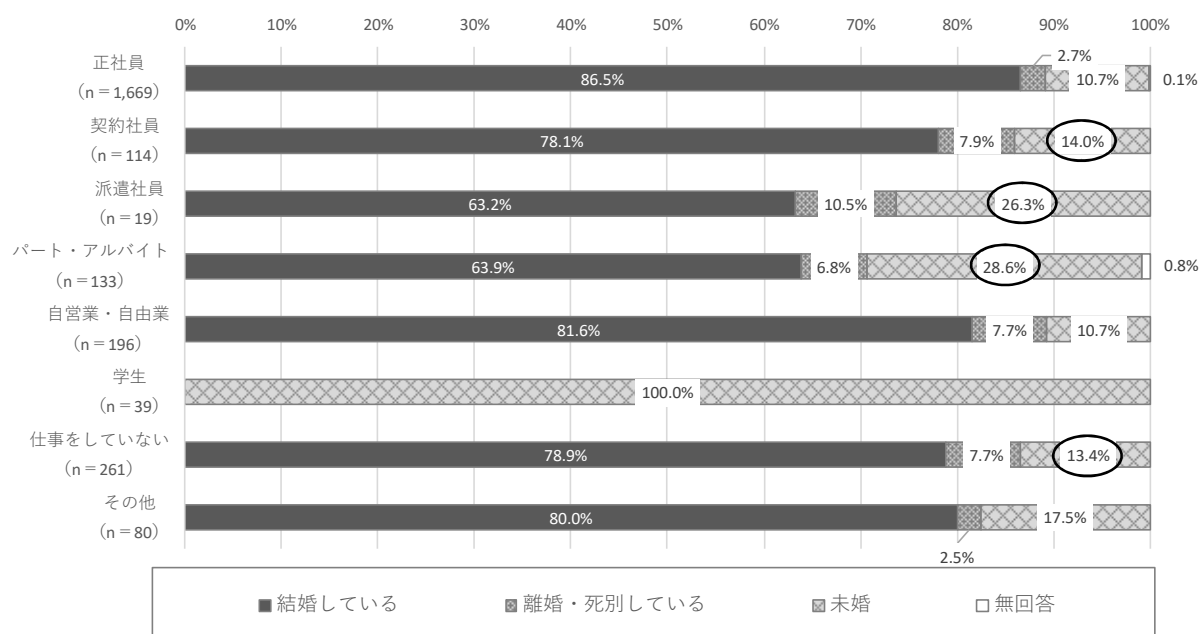
1. 回答者本人の現状について

- ・婚姻状況について、「結婚している」が77.4%、「離別・死別している」が7.3%、「未婚」が15.2%となっている。
- ・現在の世帯年収別に婚姻状況を見ると、世帯年収が多くなるほど「結婚している」割合が高くなる傾向がある。
- ・男性の雇用形態別に婚姻状況を見ると、正社員と比べて契約社員や派遣社員、パート・アルバイト、仕事をしていない人の「未婚」の割合が高くなっている。

【婚姻状況（現在の世帯年収別）】



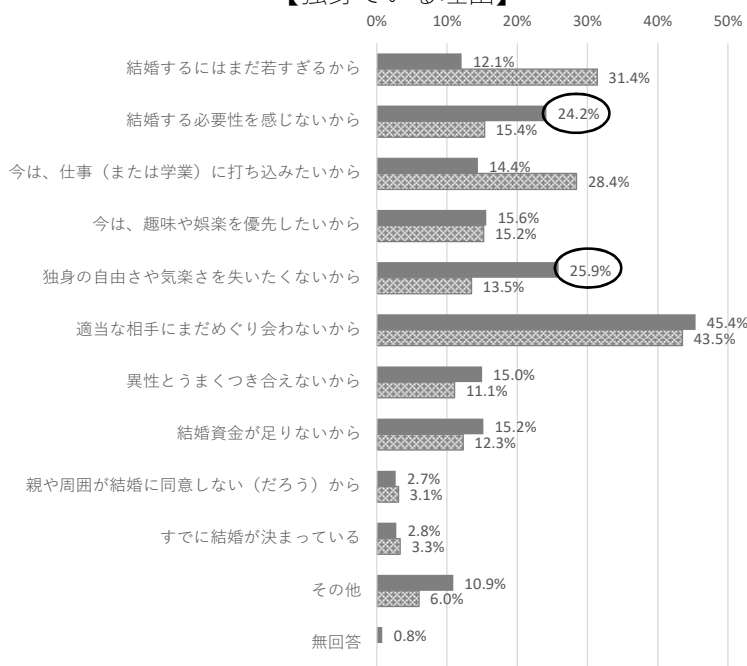
【婚姻状況（男性・雇用形態別）】



2. 結婚観について

- ・ **特定のパートナー（恋人）の有無**について、「いる」は 24.6%、「いない」は 74.2%となっており、年齢別では「いない」の割合は 20 歳代で約 7 割、30 歳代～40 歳代で約 8 割となっている。
- ・ **パートナー（恋人）と出会ったきっかけ**について、「インターネット」が約 2 割を占め、前回調査時から 12.9 ポイント増加している。**具体的なインターネットサービス**としては、約 7 割が「マッチングアプリ」を挙げていることから、マッチングアプリをはじめとするインターネットサービスが新たな出会い方として浸透していることがうかがえる。
- ・ **現状、独身でいる理由**について、前回調査時から「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が 12.4 ポイント、「結婚する必要性を感じないから」が 8.8 ポイントそれぞれ増加していることから、結婚を必要とせず、個人の生活や価値観を大切にする人が増えていることがうかがえる。
- ・ **パートナー（恋人）と付き合う意向**について、30 歳代以下で「付き合いたい」は半数以上を占めている。一方、**パートナー（恋人）と出会うために取り組んでいること**について、「特に何もしていない」が半数近くを占めている。
- ・ 本県が出会いの場のひとつとして提供する「かごしま出会いサポートセンター」を約 4 割が「利用してみたい」と回答している一方で、**利用したくない理由**については、「自然に出会いがしたい」に次いで「恥ずかしい」「人の目が気になる」が多くなっていることから、自宅から登録・閲覧・申込ができるようになった（R5～）ことの広報周知が求められる。
- ・ **結婚に対する考え**について、前回調査時から「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 10.4 ポイント、「一生結婚するつもりはない」が 5.9 ポイントそれぞれ増加している。
- ・ **結婚相手を決めるときに重視する点**について、前回調査時から「相手の収入などの経済力」が 7.2 ポイント増加している。
- ・ **結婚・出産後の働き方**について、「夫婦ともに働き続ける（育休、保育所等を利用して）」が約 6 割を占めている。
- ・ **結婚したくない理由**について、「1 人であるほうが気楽」が約 6 割を占めている。

【独身でいる理由】



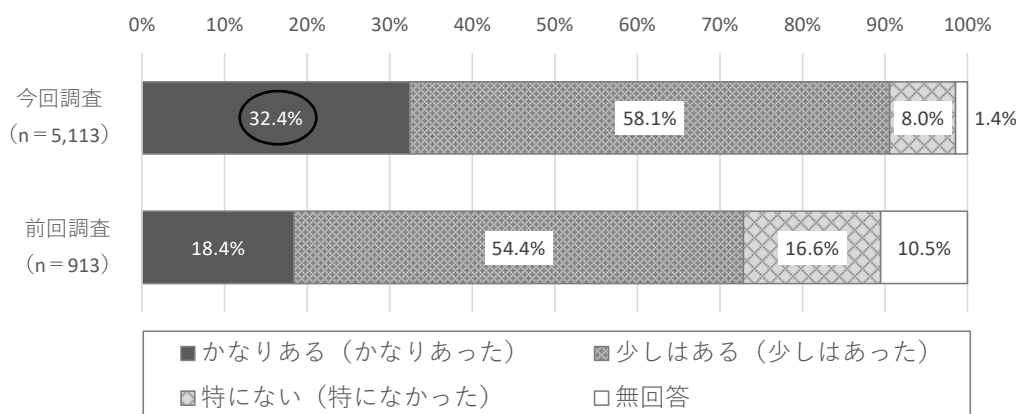
※複数回答

■ 今回調査 (n=1,001) ■ 前回調査 (n=749)

3. 子育てについて

- ・ **子育てする上での悩みや不安の有無**について、「かなりある（かなりあった）」が約 3 割を占めており、前回調査時から 14.0 ポイント増加している。
- ・ **子育ての心理面での悩み**について、男性は「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」、女性は「仕事と子育ての両立が難しい」がそれぞれ最も多くなっている。
- ・ **子育ての環境面での悩み**について、男性、女性いずれも「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」が最も多くなっている。また、年齢別では、20 歳代は「子どもの出産や育児にお金がかかる」、その他の年代は「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」がそれぞれ最も多くなっている。
- ・ **家計に占める子育て費用の割合**について、『お金をかけたい』（「もっと子育てにお金をかけたい」と「もう少し子育てにお金をかけたい」の合計）が約 6 割を占めており、前回調査時から 13.5 ポイント増加している。
- ・ **子育て支援サービスの認知度**について、「延長保育」は 9 割近くが知っているものの、「子育て短期支援（ショートステイ）」「子育て世代包括支援センター」「ファミリー・サポート・センター」は「知っている」が半数以下にとどまっている。
- ・ **子育てに関する情報の入手方法**について、20 歳代～40 歳代は「インターネット」、50 歳代は「近所の人、知人、友人」がそれぞれ最も多くなっていることから、年代に合わせた効果的な情報提供が求められる。
- ・ **配偶者の育児の関わり方で評価する点**について、性別、年齢別問わず「子どもの日常の世話をする（食事・お風呂・トイレなど）」が最も多くなっている。一方、**配偶者の育児の関わり方で不満な点**について、男性は「特にない」、女性は「日常の家事をしない」がそれぞれ最も多くなっており、性差がみられた。

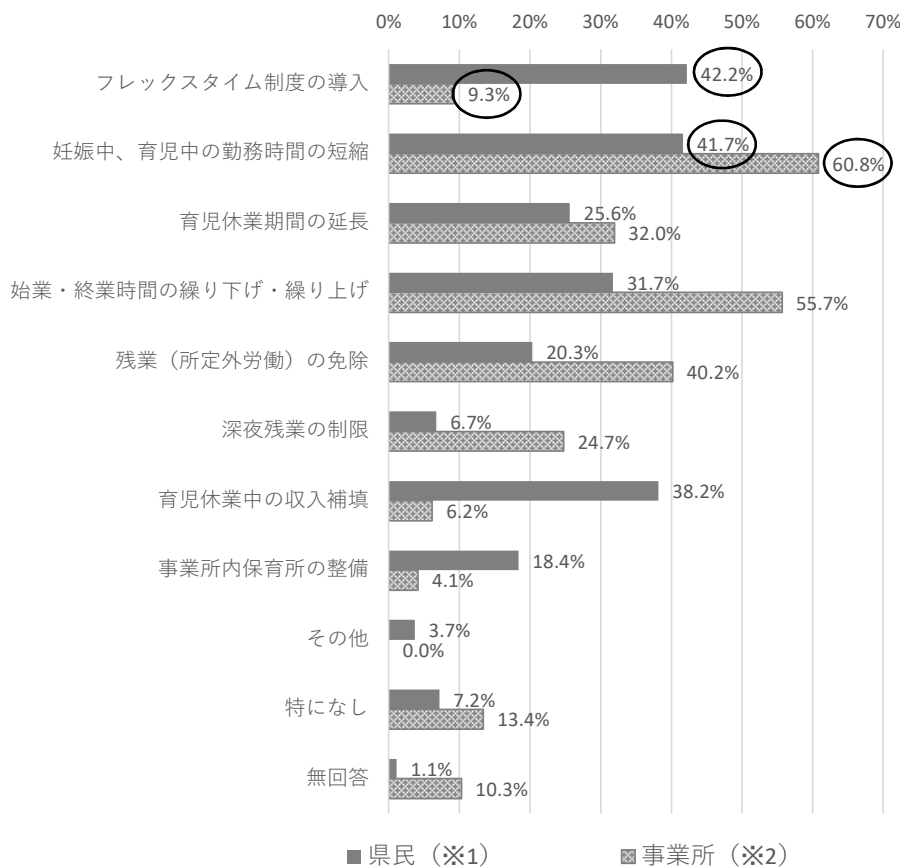
【子育てする上での悩みや不安の有無】



4. 仕事と育児の両立について

- ・ 事業所におけるワーク・ライフ・バランスの取組状況 について、回答事業所の約6割が「取り組んでいる」としている。
- ・ 県民を対象とした調査では、子育て支援のため企業に整備してほしい制度 について、男性は「フレックスタイム制度の導入」、女性は「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」がそれぞれ最も多くなっている。
- ・ 一方、事業所が取り組む子育て支援の内容 として、「フレックスタイム制度の導入」は9.3%にとどまっている。また、約6割の事業所が「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」に既に取り組んでいることから、事業所側の取組が十分に理解されていない状況がうかがえる。
- ・ 男性が積極的に子育てするために必要な点 について、性別、年代別問わず「家事や育児は女性の役割だ」という固定的な考えを改めることが最も多くなっている。
- ・ 男性の育児休業制度の利用に対する意向 について、男性、女性いずれも「可能な限り取得したほうがよい」が最も多くなっているものの、育児休業制度を「利用したことがある」と回答した男性は5.7%にとどまっており、女性（27.0%）を21.3ポイント下回っている。
- ・ 育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由 について、「職場に迷惑がかかるから」が約7割を占めており、男性の育児休業取得促進に向けて必要な点 について、「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」が8割を占めている。

【県民が子育て支援のため企業に整備してほしい内容と県内企業が取り組んでいる子育て支援の内容】



※複数回答

(n = 6,595)

(n = 97)

※1 県民調査において、企業に取り組んで欲しい子育て支援の内容

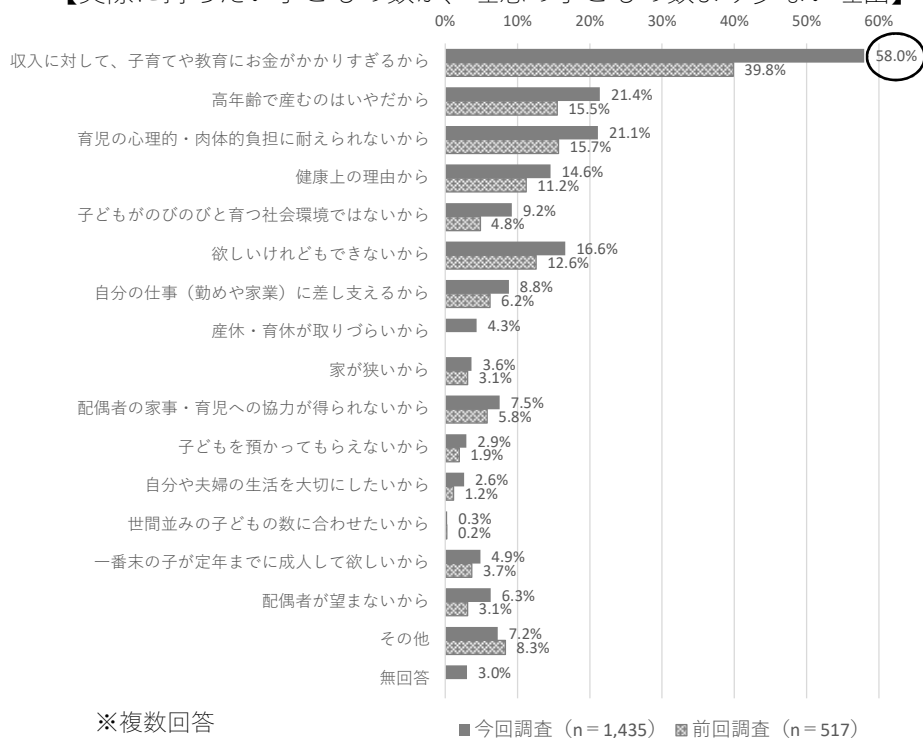
※2 事業所調査において、取り組んでいる子育て支援の内容

5. 少子化問題について

- ・ **少子化問題に関する関心度**について、『関心がある』（「大変関心がある」と「多少関心がある」の合計）が約9割を占めており、前回調査時から9.1ポイント増加していることから、少子化問題に関する関心が高まっていることがうかがえる。
- ・ **理想の子どもの数**について、「3人」が47.2%で最も多い一方、**実際に持ちたい子どもの数**について、「2人」が41.4%で最も多くなっており、理想より持ちたい子どもの数は少なくなっている。
- ・ **実際に持ちたい子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由**について、性別、年齢別問わず「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く、経済面から理想とする子どもの数に至っていない現状がうかがえる。
- ・ **本県における未婚化・晩婚化の要因**について、20歳代以下は「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」、30歳代は「結婚に魅力を感じないから」、40歳代以上は「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」がそれぞれ最も多く、年齢によって違いがみられた。
- ・ **結婚を希望する人への支援策**について、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が最も多く、次いで「安定した雇用環境を提供すること」、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」となっており、賃上げや雇用環境の整備を求める声が多くなっている。
- ・ **子どもを健やかに産み育てるために国や県、市町村に期待する点**について、性別、年齢別問わず「児童手当、医療費助成などの経済的支援」が最も多く、前回調査時から7.7ポイント増加している。
- ・ **行政における少子化対策の取組**について、満足度と今後の重要度の相関による分析を行ったところ、重要度が高く満足度が低い「重点改善領域」※に位置する施策として、「子育ての経済的負担の軽減」「子どもの貧困対策の推進」「仕事と生活の両立の推進」「雇用の場の確保」「企業の少子化対策や両立支援の取り組みを促進」が挙げられている。

※重点改善領域とは、今後の少子化対策における重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

【実際に持ちたい子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由】

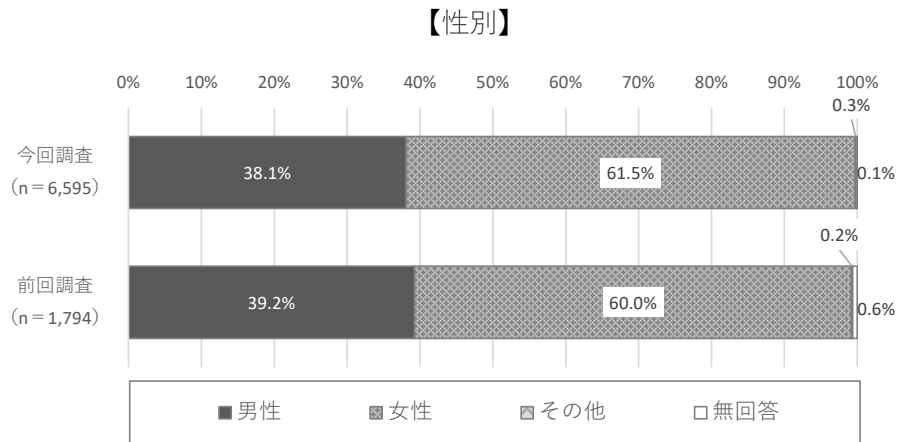


Ⅲ 調査結果（県民）

1. 回答者本人の現状について

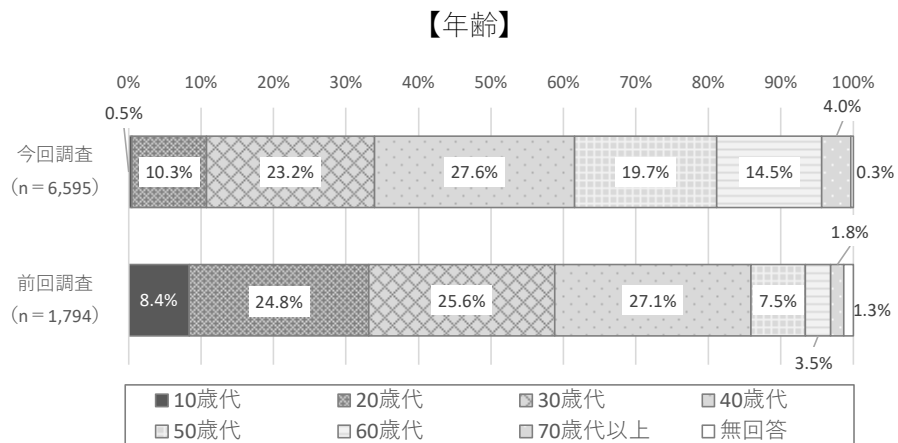
問1 あなたの性別を教えてください。

性別について、「男性」が38.1%、「女性」が61.5%、「その他」が0.3%となっている。



問2 あなたの年齢を教えてください。

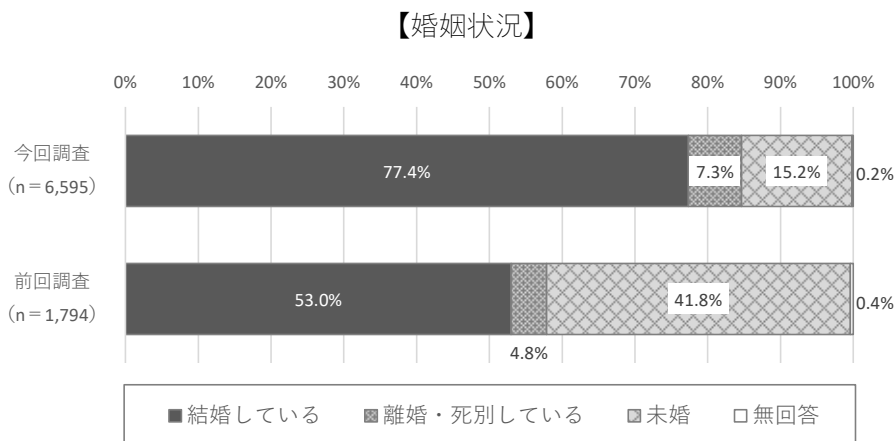
年齢について、「40歳代」が27.6%で最も多く、次いで「30歳代」(23.2%)、「50歳代」(19.7%)となっている。



問3 あなたは結婚されていますか。

婚姻状況について、「結婚している」が77.4%、「離別・死別している」が7.3%、「未婚」が15.2%となっている。

年齢別でみると、20歳代以下で「未婚」が半数以上を占める一方、「結婚している」は30歳代以上で大半を占めている。



		合計	結婚している	離婚・死別	未婚	無回答
上段：度数						
下段：%						
今回調査		6,595	5,102	481	1,001	11
		100.0	77.4	7.3	15.2	0.2
前回調査		1,794	951	87	749	7
		100.0	53.0	4.8	41.8	0.4
性別	男性	2,514	2,060	102	347	5
		100.0	81.9	4.1	13.8	0.2
	女性	4,059	3,029	379	648	3
	100.0	74.6	9.3	16.0	0.1	
	その他	17	13	0	4	0
		100.0	76.5	0.0	23.5	0.0
年齢	10歳代	31	0	0	31	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代	676	288	11	377	0
		100.0	42.6	1.6	55.8	0.0
	30歳代	1,531	1,224	61	244	2
		100.0	79.9	4.0	15.9	0.1
	40歳代	1,819	1,470	165	181	3
	100.0	80.8	9.1	10.0	0.2	
50歳代	1,296	1,071	113	110	2	
	100.0	82.6	8.7	8.5	0.2	
60歳代	953	809	98	46	0	
	100.0	84.9	10.3	4.8	0.0	
70歳代以上	267	231	32	4	0	
	100.0	86.5	12.0	1.5	0.0	
地域別	鹿児島地域	3,934	3,052	284	596	2
		100.0	77.6	7.2	15.1	0.1
	南薩地域	383	293	31	59	0
		100.0	76.5	8.1	15.4	0.0
	北薩地域	512	381	39	92	0
		100.0	74.4	7.6	18.0	0.0
	始良・伊佐地域	829	663	59	105	2
	100.0	80.0	7.1	12.7	0.2	
大隅地域	614	487	42	84	1	
	100.0	79.3	6.8	13.7	0.2	
熊毛地域	99	71	10	18	0	
	100.0	71.7	10.1	18.2	0.0	
大島地域	176	127	13	36	0	
	100.0	72.2	7.4	20.5	0.0	

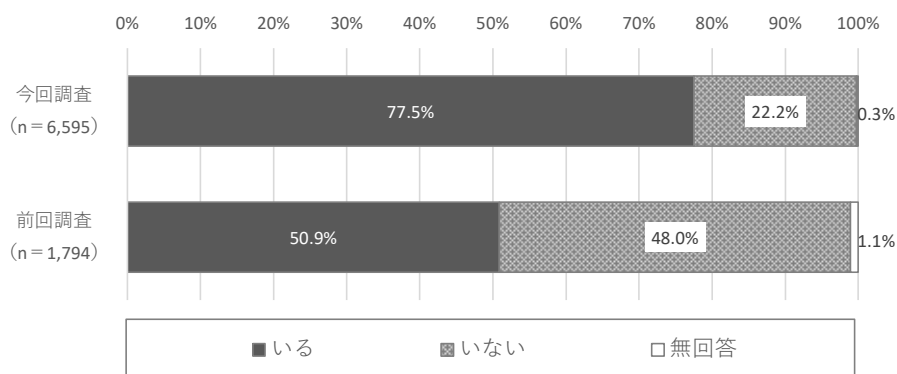
問4 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。

子どもの有無について、「いる」が77.5%、「いない」が22.2%となっている。

年齢別でみると、20歳代以下で「いない」が半数以上を占める一方、30歳代以上では「いる」が7割以上を占めている。

前回調査と比較すると、「いる」は26.6ポイント増加している。

【子どもの有無】



		サンプル数	いる	いない	無回答
上段：度数 下段：%					
今回調査		6,595 100.0	5,113 77.5	1,465 22.2	17 0.3
前回調査		1,794 100.0	913 50.9	862 48.0	19 1.1
性別	男性	2,514 100.0	1,966 78.2	540 21.5	8 0.3
	女性	4,059 100.0	3,137 77.3	917 22.6	5 0.1
	その他	17 100.0	10 58.8	7 41.2	0 0.0
年齢	10歳代	31 100.0	0 0.0	31 100.0	0 0.0
	20歳代	676 100.0	226 33.4	450 66.6	0 0.0
	30歳代	1,531 100.0	1,147 74.9	382 25.0	2 0.1
	40歳代	1,819 100.0	1,538 84.6	276 15.2	5 0.3
	50歳代	1,296 100.0	1,100 84.9	193 14.9	3 0.2
	60歳代	953 100.0	849 89.1	102 10.7	2 0.2
	70歳代以上	267 100.0	244 91.4	22 8.2	1 0.4
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	3,033 77.1	893 22.7	8 0.2
	南薩地域	383 100.0	302 78.9	81 21.1	0 0.0
	北薩地域	512 100.0	391 76.4	121 23.6	0 0.0
	姶良・伊佐地域	829 100.0	667 80.5	161 19.4	1 0.1
	大隅地域	614 100.0	499 81.3	115 18.7	0 0.0
	熊毛地域	99 100.0	68 68.7	31 31.3	0 0.0
	大島地域	176 100.0	128 72.7	48 27.3	0 0.0

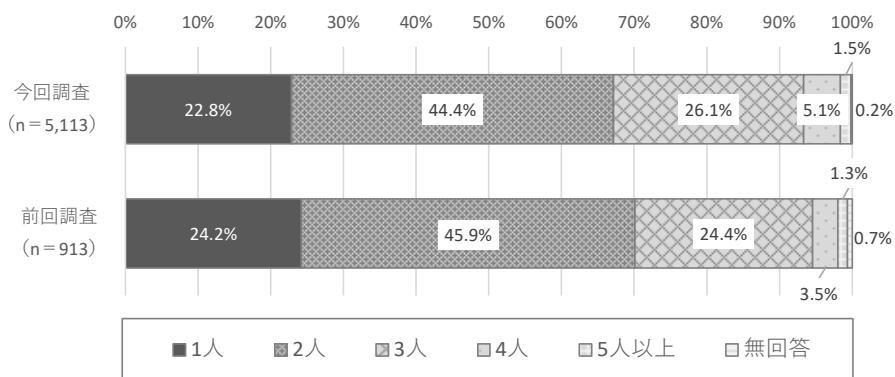
問5 お子さんの人数を教えてください。

【回答者：「問4で「いる」と回答した方】

子どもの人数について、「2人」が44.4%で最も多く、次いで「3人」(26.1%)、「1人」(22.8%)となっている。

年齢別でみると、20歳代は「1人」、30歳代以上は「2人」がそれぞれ最も多くなっている。

【子どもの人数】

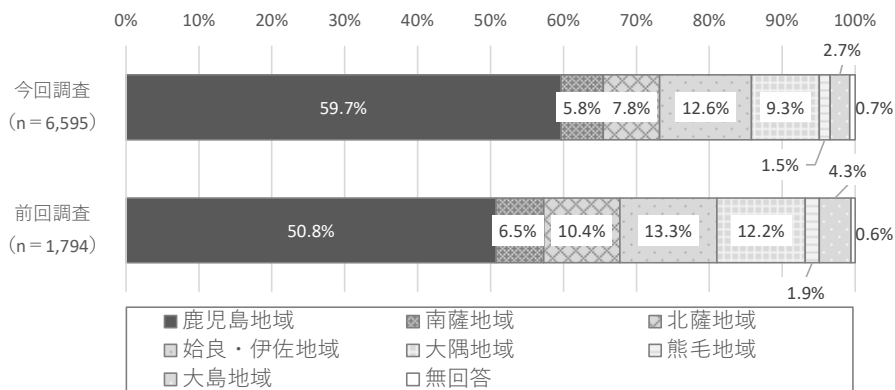


		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		5,113	1,167	2,268	1,335	259	75	9
前回調査		913	221	419	223	32	12	6
性別	男性	1,966	365	942	542	90	21	6
	女性	3,137	800	1,321	791	169	54	2
	その他	10	2	5	2	0	0	1
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	226	134	73	15	1	3	0
	30歳代	1,147	374	453	242	64	11	3
	40歳代	1,538	320	678	414	88	38	0
	50歳代	1,100	210	526	289	55	15	5
	60歳代	849	113	406	282	40	7	1
	70歳代以上	244	15	129	88	11	1	0
地域別	鹿児島地域	3,033	713	1,433	730	124	29	4
	南薩地域	302	52	125	99	20	6	0
	北薩地域	391	77	155	116	30	13	0
	姶良・伊佐地域	667	157	275	184	37	12	2
	大隅地域	499	112	197	146	33	10	1
	熊毛地域	68	15	29	19	4	1	0
	大島地域	128	36	42	36	10	3	1
		100.0	28.1	32.8	28.1	7.8	2.3	0.8

問6 あなたのお住まいはどちらですか。

居住地について、「鹿児島地域」が59.7%で最も多く、次いで「始良・伊佐地域」(12.6%)、「大隅地域」(9.3%)となっている。

【居住地】

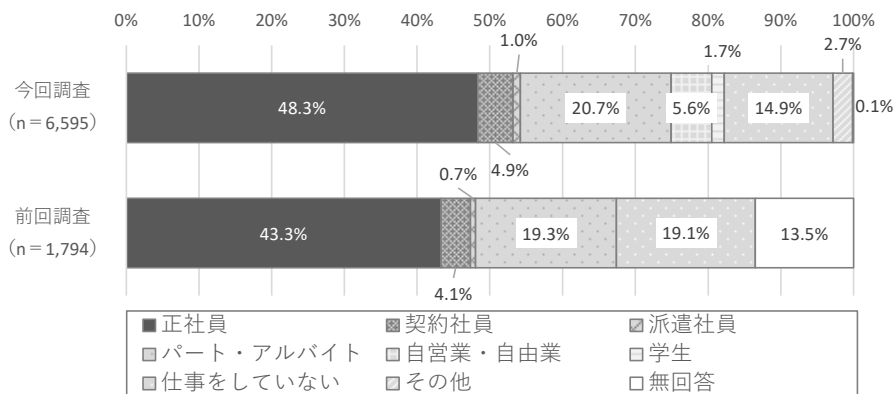


		サンプル数	鹿児島地域	南薩地域	北薩地域	始良・伊佐地域	大隅地域	熊毛地域	大島地域	無回答
上段：度数										
下段：%										
今回調査		6,595	3,934	383	512	829	614	99	176	48
前回調査		1,794	911	117	187	239	218	34	78	10
性別	男性	2,514	1,506	154	210	318	206	32	71	17
	女性	4,059	2,422	227	300	505	407	66	104	28
	その他	17	5	2	1	6	1	1	1	0
年齢	10歳代	31	17	2	1	3	3	1	3	1
	20歳代	676	373	40	57	89	79	11	19	8
	30歳代	1,531	870	83	110	202	176	28	55	7
	40歳代	1,819	1,095	105	150	205	163	30	57	14
	50歳代	1,296	798	76	102	161	106	18	28	7
	60歳代	953	606	60	67	132	63	7	11	7
	70歳代以上	267	169	13	20	37	21	4	3	0
地域別	鹿児島地域	3,934	3,934	0	0	0	0	0	0	0
	南薩地域	383	0	383	0	0	0	0	0	0
	北薩地域	512	0	0	512	0	0	0	0	0
	始良・伊佐地域	829	0	0	0	829	0	0	0	0
	大隅地域	614	0	0	0	0	614	0	0	0
	熊毛地域	99	0	0	0	0	0	99	0	0
	大島地域	176	0	0	0	0	0	0	176	0

問7 あなたの雇用形態をお聞かせください。

雇用形態について、「正社員」が48.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」(20.7%)、「仕事をしていない」(14.9%)となっている。

【雇用形態】



		サンプル数	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	自営業・自由業	学生	仕事をしていない	その他	無回答
上段：度数 下段：%											
今回調査		6,595	3,187	320	69	1,363	372	112	985	178	9
前回調査		1,794	776	73	13	347	—	—	343	—	242
		100.0	48.3	4.9	1.0	20.7	5.6	1.7	14.9	2.7	0.1
性別	男性	2,514	1,669	114	19	133	196	39	261	80	3
		100.0	66.4	4.5	0.8	5.3	7.8	1.6	10.4	3.2	0.1
	女性	4,059	1,506	206	50	1,227	175	71	723	98	3
	100.0	37.1	5.1	1.2	30.2	4.3	1.7	17.8	2.4	0.1	
	その他	17	10	0	0	3	1	2	1	0	0
	100.0	58.8	0.0	0.0	17.6	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	31	5	2	0	2	0	21	0	0	1
		100.0	16.1	6.5	0.0	6.5	0.0	67.7	0.0	0.0	3.2
	20歳代	676	388	16	6	83	10	87	68	18	0
		100.0	57.4	2.4	0.9	12.3	1.5	12.9	10.1	2.7	0.0
	30歳代	1,531	836	51	23	317	69	0	200	34	1
		100.0	54.6	3.3	1.5	20.7	4.5	0.0	13.1	2.2	0.1
	40歳代	1,819	993	81	17	426	130	0	143	28	1
	100.0	54.6	4.5	0.9	23.4	7.1	0.0	7.9	1.5	0.1	
50歳代	1,296	691	61	16	294	70	0	136	26	2	
	100.0	53.3	4.7	1.2	22.7	5.4	0.0	10.5	2.0	0.2	
60歳代	953	256	99	6	209	64	0	273	45	1	
	100.0	26.9	10.4	0.6	21.9	6.7	0.0	28.6	4.7	0.1	
70歳代以上	267	8	9	1	31	27	0	164	27	0	
	100.0	3.0	3.4	0.4	11.6	10.1	0.0	61.4	10.1	0.0	
地域別	鹿児島地域	3,934	1,869	206	57	821	186	76	624	94	1
		100.0	47.5	5.2	1.4	20.9	4.7	1.9	15.9	2.4	0.0
	南薩地域	383	183	11	2	75	40	7	58	7	0
		100.0	47.8	2.9	0.5	19.6	10.4	1.8	15.1	1.8	0.0
	北薩地域	512	255	19	2	105	36	11	66	17	1
		100.0	49.8	3.7	0.4	20.5	7.0	2.1	12.9	3.3	0.2
	始良・伊佐地域	829	411	35	5	180	36	13	119	29	1
	100.0	49.6	4.2	0.6	21.7	4.3	1.6	14.4	3.5	0.1	
大隅地域	614	299	28	2	127	46	2	93	17	0	
	100.0	48.7	4.6	0.3	20.7	7.5	0.3	15.1	2.8	0.0	
熊毛地域	99	50	6	1	15	11	1	8	7	0	
	100.0	50.5	6.1	1.0	15.2	11.1	1.0	8.1	7.1	0.0	
大島地域	176	103	13	0	27	17	0	11	5	0	
	100.0	58.5	7.4	0.0	15.3	9.7	0.0	6.3	2.8	0.0	

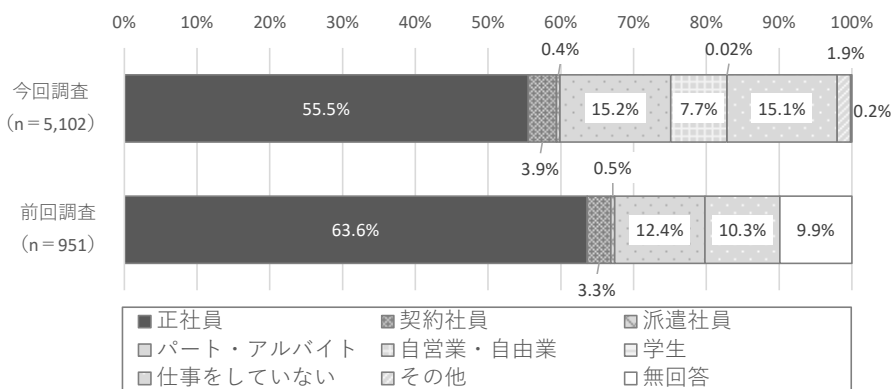
※「自営業・自由業」、「学生」、「その他」は今回調査から追加

問8 配偶者の雇用形態をお聞かせください。

【回答者：問3で「結婚している」と回答した方】

配偶者の雇用形態について、「正社員」が55.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」(15.2%)、「仕事をしていない」(15.1%)となっている。

【配偶者の雇用形態】



	サンプル数	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	自営業・自由業	学生	仕事をしていない	その他	無回答
今回調査	5,102	2,833	199	22	778	394	1	770	96	9
前回調査	951	605	31	5	118	-	-	98	-	94
性別										
男性	2,060	572	95	17	664	91	0	583	34	4
女性	3,029	2,256	103	5	110	301	1	186	62	5
その他	13	5	1	0	4	2	0	1	0	0
年齢										
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	288	238	6	2	13	11	0	9	8	1
30歳代	1,224	915	21	4	116	85	1	72	9	1
40歳代	1,470	919	52	6	231	134	0	109	16	3
50歳代	1,071	604	58	7	192	82	0	108	19	1
60歳代	809	144	57	3	202	62	0	311	29	1
70歳代以上	231	7	5	0	24	18	0	160	15	2
地域別										
鹿児島地域	3,052	1,679	128	18	459	197	0	511	56	4
南薩地域	293	147	9	0	51	46	1	35	4	0
北薩地域	381	210	19	0	58	34	0	54	6	0
始良・伊佐地域	663	372	22	3	111	46	0	93	14	2
大隅地域	487	289	14	0	69	50	0	54	10	1
熊毛地域	71	39	2	1	11	11	0	6	1	0
大島地域	127	78	5	0	18	10	0	14	2	0

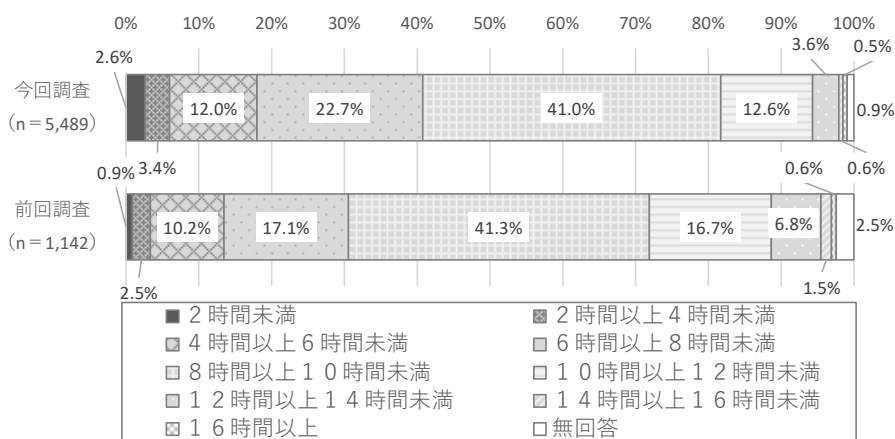
※「自営業・自由業」、「学生」、「その他」は今回調査から追加

問9 平均的な1日の労働時間（残業を含む）と通勤時間を合計した時間はどの程度ですか。

【回答者：問7で「正社員」「契約社員」「派遣社員」「パート・アルバイト」「自営業・自由業」「その他」と回答した方】

平均的な1日の労働時間（残業を含む）と通勤時間を合計した時間について、「8時間以上10時間未満」が41.0%で最も多く、次いで「6時間以上8時間未満」（22.7%）、「10時間以上12時間未満」（12.6%）となっている。

【平均的な1日の労働時間（残業を含む）と通勤時間を合計した時間】

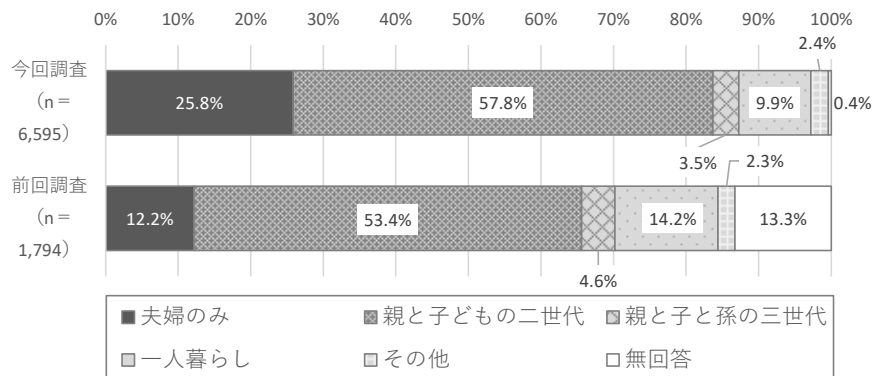


		サンプル数	2時間未満	2時間以上4時間未満	4時間以上6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上10時間未満	10時間以上12時間未満	12時間以上14時間未満	14時間以上16時間未満	16時間以上	無回答
上段：度数 下段：%												
今回調査		5,489	145 2.6	186 3.4	658 12.0	1,247 22.7	2,248 41.0	693 12.6	197 3.6	34 0.6	30 0.5	51 0.9
前回調査		1,142	10 0.9	28 2.5	116 10.2	195 17.1	472 41.3	191 16.7	78 6.8	17 1.5	7 0.6	28 2.5
性別	男性	2,211	67 3.0	46 2.1	77 3.5	359 16.2	1,081 48.9	391 17.7	123 5.6	23 1.0	17 0.8	27 1.2
	女性	3,262	78 2.4	140 4.3	579 17.7	883 27.1	1,161 35.6	300 9.2	74 2.3	10 0.3	13 0.4	24 0.7
	その他	14	0 0.0	0 0.0	2 14.3	4 28.6	6 42.9	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0
年齢	10歳代	9	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	521	10 1.9	11 2.1	38 7.3	95 18.2	251 48.2	73 14.0	25 4.8	5 1.0	4 0.8	9 1.7
	30歳代	1,330	37 2.8	36 2.7	148 11.1	292 22.0	571 42.9	180 13.5	42 3.2	8 0.6	7 0.5	9 0.7
	40歳代	1,675	27 1.6	53 3.2	220 13.1	354 21.1	679 40.5	234 14.0	81 4.8	10 0.6	7 0.4	10 0.6
	50歳代	1,158	23 2.0	33 2.8	136 11.7	252 21.8	485 41.9	160 13.8	45 3.9	9 0.8	10 0.9	5 0.4
	60歳代	679	36 5.3	37 5.4	89 13.1	225 33.1	236 34.8	42 6.2	4 0.6	2 0.3	2 0.3	6 0.9
	70歳代以上	103	12 11.7	16 15.5	26 25.2	24 23.3	12 11.7	3 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 9.7
地域別	鹿児島地域	3,233	92 2.8	114 3.5	400 12.4	716 22.1	1,274 39.4	447 13.8	129 4.0	24 0.7	18 0.6	19 0.6
	南薩地域	318	4 1.3	7 2.2	36 11.3	76 23.9	147 46.2	34 10.7	10 3.1	1 0.3	1 0.3	2 0.6
	北薩地域	434	8 1.8	17 3.9	46 10.6	102 23.5	188 43.3	50 11.5	14 3.2	2 0.5	0 0.0	7 1.6
	始良・伊佐地域	696	19 2.7	20 2.9	87 12.5	153 22.0	285 40.9	82 11.8	27 3.9	4 0.6	5 0.7	14 2.0
	大隅地域	519	13 2.5	19 3.7	62 11.9	135 26.0	223 43.0	50 9.6	8 1.5	1 0.2	4 0.8	4 0.8
	熊毛地域	90	3 3.3	4 4.4	8 8.9	22 24.4	40 44.4	7 7.8	2 2.2	2 2.2	1 1.1	1 1.1
	大島地域	165	4 2.4	5 3.0	15 9.1	38 23.0	76 46.1	18 10.9	5 3.0	0 0.0	1 0.6	3 1.8

問 10 あなたの世帯構成（同居している家族構成）は以下のどれにあてはまりますか。

世帯構成について、「親と子どもの二世帯」が 57.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(25.8%)、「一人暮らし」(9.9%) となっている。

【世帯構成】



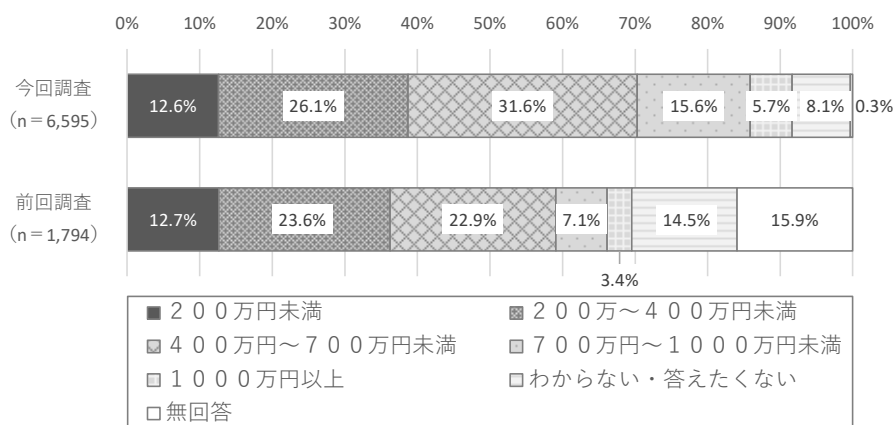
		サンプル数	夫婦のみ	代親と子どもの二世帯	代親と子と孫の三世帯	一人暮らし	その他	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		6,595	1,704	3,815	234	656	159	27
		100.0	25.8	57.8	3.5	9.9	2.4	0.4
前回調査		1,794	219	958	82	255	42	238
		100.0	12.2	53.4	4.6	14.2	2.3	13.3
性別	男性	2,514	877	1,252	51	257	66	11
		100.0	34.9	49.8	2.0	10.2	2.6	0.4
	女性	4,059	820	2,553	183	397	93	13
	100.0	20.2	62.9	4.5	9.8	2.3	0.3	
	その他	17	7	10	0	0	0	0
		100.0	41.2	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	31	0	18	3	8	1	1
		100.0	0.0	58.1	9.7	25.8	3.2	3.2
	20歳代	676	108	362	22	144	36	4
		100.0	16.0	53.6	3.3	21.3	5.3	0.6
	30歳代	1,531	243	1,082	55	112	33	6
		100.0	15.9	70.7	3.6	7.3	2.2	0.4
	40歳代	1,819	174	1,412	81	112	34	6
		100.0	9.6	77.6	4.5	6.2	1.9	0.3
50歳代	1,296	407	689	39	125	34	2	
	100.0	31.4	53.2	3.0	9.6	2.6	0.2	
60歳代	953	579	207	26	120	17	4	
	100.0	60.8	21.7	2.7	12.6	1.8	0.4	
70歳代以上	267	192	32	6	33	4	0	
	100.0	71.9	12.0	2.2	12.4	1.5	0.0	
地域別	鹿児島地域	3,934	1,026	2,280	134	397	87	10
		100.0	26.1	58.0	3.4	10.1	2.2	0.3
	南薩地域	383	110	215	17	30	11	0
		100.0	28.7	56.1	4.4	7.8	2.9	0.0
	北薩地域	512	119	294	28	57	13	1
		100.0	23.2	57.4	5.5	11.1	2.5	0.2
	始良・伊佐地域	829	233	478	26	70	18	4
		100.0	28.1	57.7	3.1	8.4	2.2	0.5
大隅地域	614	145	388	17	48	15	1	
	100.0	23.6	63.2	2.8	7.8	2.4	0.2	
熊毛地域	99	19	55	3	18	4	0	
	100.0	19.2	55.6	3.0	18.2	4.0	0.0	
大島地域	176	37	89	8	33	8	1	
	100.0	21.0	50.6	4.5	18.8	4.5	0.6	

問 11 あなたの世帯年収はどのくらいですか。

世帯年収について、「400万円～700万円未満」が31.6%で最も多く、次いで「200万～400万円未満」(26.1%)、「700万円～1000万円未満」(15.6%)となっている。

年齢別でみると、20歳代、60歳代以上は「200万～400万円未満」、30歳代～50歳代は「400万円～700万円未満」がそれぞれ最も多くなっている。

【世帯年収】



		サンプル数	200万円未満	200万～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円～1000万円未満	1000万円以上	わからない・答えたくない	無回答
上段：度数									
下段：%									
今回調査		6,595	831	1,720	2,085	1,029	378	532	20
前回調査		1,794	227	423	410	127	61	260	286
性別	男性	2,514	219	637	874	469	183	125	7
	女性	4,059	610	1,077	1,207	559	194	402	286
	その他	17	2	5	3	1	1	5	0
年齢	10歳代	31	5	7	4	0	0	14	1
	20歳代	676	97	246	172	52	14	92	3
	30歳代	1,531	149	376	619	223	51	107	6
	40歳代	1,819	212	357	647	345	131	126	1
	50歳代	1,296	124	211	380	342	133	105	1
	60歳代	953	194	372	216	60	45	63	3
	70歳代以上	267	49	148	43	5	4	17	1
地域別	鹿児島地域	3,934	489	962	1,199	671	275	331	7
	南薩地域	383	56	111	127	47	12	29	1
	北薩地域	512	68	146	179	56	23	39	1
	姶良・伊佐地域	829	106	237	261	124	38	61	2
	大隅地域	614	80	175	210	74	21	53	1
	熊毛地域	99	8	26	38	19	1	7	0
	大島地域	176	20	47	60	34	5	9	1

2. 結婚観について 【問 12~32 は問 3 で「未婚」を選択した方のみ回答】

問 12 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。(〇は3つまで)

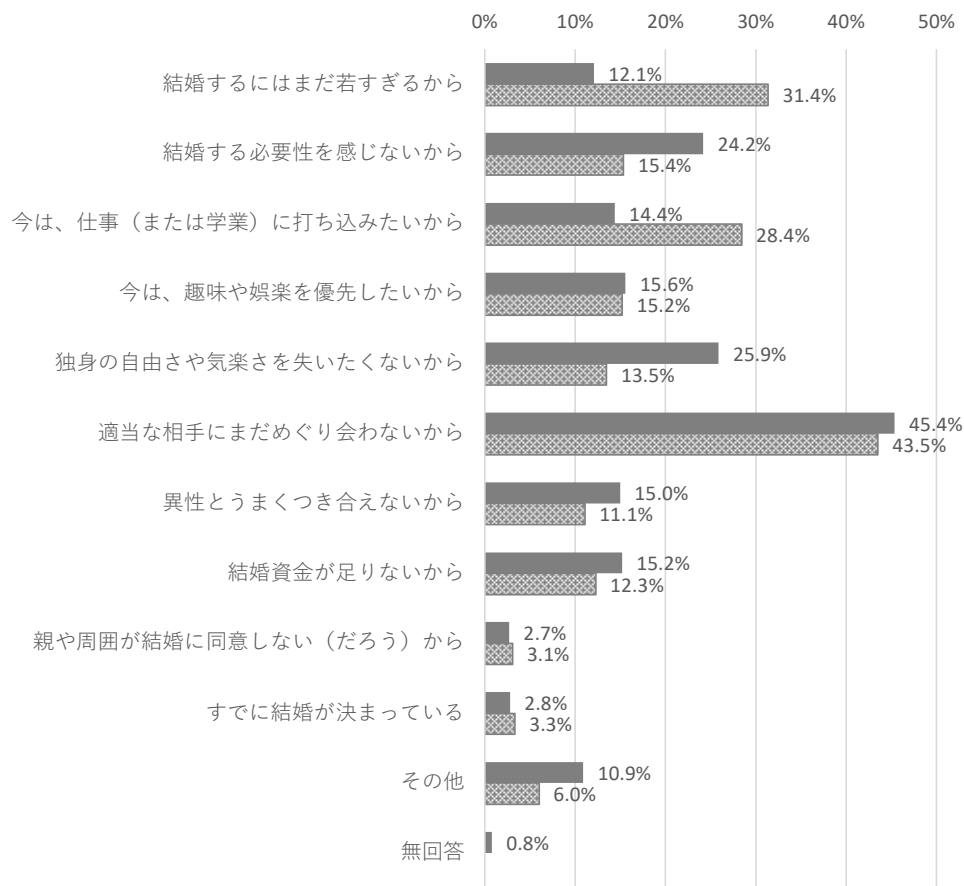
独身でいる理由について、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が45.4%で最も多く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(25.9%)、「結婚する必要性を感じないから」(24.2%)となっている。

年齢別でみると、10歳代は「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」、20歳代以上は「適当な相手にまだめぐり会わないから」がそれぞれ最も多くなっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が12.4ポイント、「結婚する必要性を感じないから」が8.8ポイントそれぞれ増加した一方、「結婚するにはまだ若すぎるから」は19.3ポイント、「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」は14.0ポイントそれぞれ減少している。

【独身でいる理由】



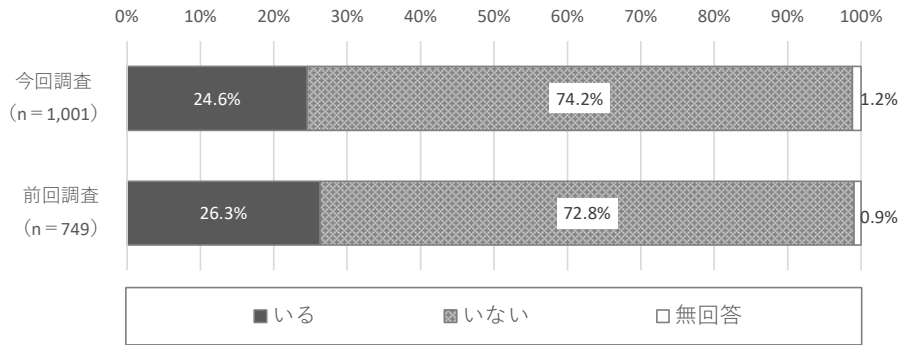
■ 今回調査 (n=1,001) ■ 前回調査 (n=749)

		サ ン プ ル 数	若 婚 す る か ら	結 婚 す る 必 要 性 を	感 じ な い か ら	結 婚 す る 必 要 性 を	み た い か ら	今 は、 学 業 に 打 ち 込 み	今 は、 仕 事 （ ま た は ）	を 優 先 し た い か ら	今 は、 趣 味 や 娯 楽	い か ら	楽 さ を 失 い た く な い	独 身 の 自 由 さ や 気 楽 さ	ら め ぐ り 会 わ な い か ら	適 当 な 相 手 に ま だ	合 え な い か ら	異 性 と う ま く つ き	い か ら	結 婚 資 金 が 足 り な い	う ） か ら	同 意 し な い （ だ ろ う ）	親 や 周 圍 が 結 婚 に	ま っ て い る	す で に 結 婚 が 決 ま っ て い る	そ の 他	無 回 答	
上段：度数																												
下段：%																												
今回調査		1,001 100.0	121 12.1	242 24.2	144 14.4	156 15.6	259 25.9	454 45.4	150 15.0	152 15.2	27 2.7	28 2.8	109 10.9	8 0.8														
前回調査		749 100.0	235 31.4	115 15.4	213 28.4	114 15.2	101 13.5	326 43.5	83 11.1	92 12.3	23 3.1	25 3.3	45 6.0	— —														
性別	男性	347 100.0	40 11.5	69 19.9	46 13.3	53 15.3	77 22.2	149 42.9	68 19.6	78 22.5	6 1.7	13 3.7	34 9.8	4 1.2														
	女性	648 100.0	80 12.3	171 26.4	97 15.0	103 15.9	181 27.9	302 46.6	80 12.3	72 11.1	21 3.2	15 2.3	74 11.4	4 0.6														
	その他	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0														
年齢	10歳代	31 100.0	18 58.1	2 6.5	20 64.5	2 6.5	0 0.0	14 45.2	0 0.0	2 6.5	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0														
	20歳代	377 100.0	99 26.3	68 18.0	94 24.9	96 25.5	68 18.0	143 37.9	43 11.4	65 17.2	8 2.1	13 3.4	24 6.4	3 0.8														
	30歳代	244 100.0	0 0.0	68 27.9	19 7.8	48 19.7	87 35.7	109 44.7	54 22.1	40 16.4	9 3.7	9 3.7	26 10.7	2 0.8														
	40歳代	181 100.0	0 0.0	59 32.6	6 3.3	6 3.3	56 30.9	106 58.6	28 15.5	29 16.0	6 3.3	5 2.8	26 14.4	2 1.1														
	50歳代	110 100.0	2 1.8	31 28.2	3 2.7	2 1.8	30 27.3	55 50.0	15 13.6	8 7.3	2 1.8	0 0.0	21 19.1	1 0.9														
	60歳代	46 100.0	0 0.0	12 26.1	0 0.0	2 4.3	17 37.0	22 47.8	8 17.4	7 15.2	1 2.2	1 2.2	7 15.2	0 0.0														
	70歳代以上	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0														
地域別	鹿児島地域	596 100.0	75 12.6	143 24.0	92 15.4	89 14.9	166 27.9	268 45.0	86 14.4	93 15.6	17 2.9	15 2.5	62 10.4	6 1.0														
	南薩地域	59 100.0	8 13.6	12 20.3	10 16.9	10 16.9	17 28.8	28 47.5	12 20.3	7 11.9	2 3.4	1 1.7	6 10.2	0 0.0														
	北薩地域	92 100.0	9 9.8	30 32.6	8 8.7	16 17.4	22 23.9	44 47.8	10 10.9	11 12.0	3 3.3	2 2.2	9 9.8	0 0.0														
	始良・伊佐地域	105 100.0	15 14.3	27 25.7	14 13.3	16 15.2	21 20.0	41 39.0	15 14.3	22 21.0	4 3.8	6 5.7	11 10.5	1 1.0														
	大隅地域	84 100.0	8 9.5	17 20.2	7 8.3	16 19.0	21 25.0	42 50.0	19 22.6	13 15.5	1 1.2	2 2.4	14 16.7	0 0.0														
	熊毛地域	18 100.0	1 5.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	3 16.7	9 50.0	2 11.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	3 16.7	0 0.0														
	大島地域	36 100.0	3 8.3	9 25.0	8 22.2	4 11.1	7 19.4	20 55.6	5 13.9	4 11.1	0 0.0	2 5.6	3 8.3	1 2.8														

問 13 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）はいますか。（○はひとつ）

特定のパートナー（恋人）の有無について、「いる」は24.6%、「いない」は74.2%となっている。
年齢別でみると、「いない」は20歳代以上で年代が上がるにつれて増加している。

【特定のパートナー（恋人）の有無】



		サ ン プ ル 数	い る	い な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		1,001 100.0	246 24.6	743 74.2	12 1.2
前回調査		749 100.0	197 26.3	545 72.8	7 0.9
性 別	男性	347 100.0	68 19.6	274 79.0	5 1.4
	女性	648 100.0	178 27.5	463 71.5	7 1.1
	その他	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
年 齢	10歳代	31 100.0	7 22.6	23 74.2	1 3.2
	20歳代	377 100.0	128 34.0	248 65.8	1 0.3
	30歳代	244 100.0	50 20.5	191 78.3	3 1.2
	40歳代	181 100.0	35 19.3	142 78.5	4 2.2
	50歳代	110 100.0	19 17.3	89 80.9	2 1.8
	60歳代	46 100.0	7 15.2	39 84.8	0 0.0
	70歳代以上	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
地 域 別	鹿児島地域	596 100.0	162 27.2	425 71.3	9 1.5
	南薩地域	59 100.0	11 18.6	48 81.4	0 0.0
	北薩地域	92 100.0	16 17.4	75 81.5	1 1.1
	姶良・伊佐地域	105 100.0	31 29.5	74 70.5	0 0.0
	大隅地域	84 100.0	15 17.9	69 82.1	0 0.0
	熊毛地域	18 100.0	3 16.7	15 83.3	0 0.0
	大島地域	36 100.0	4 11.1	31 86.1	1 2.8

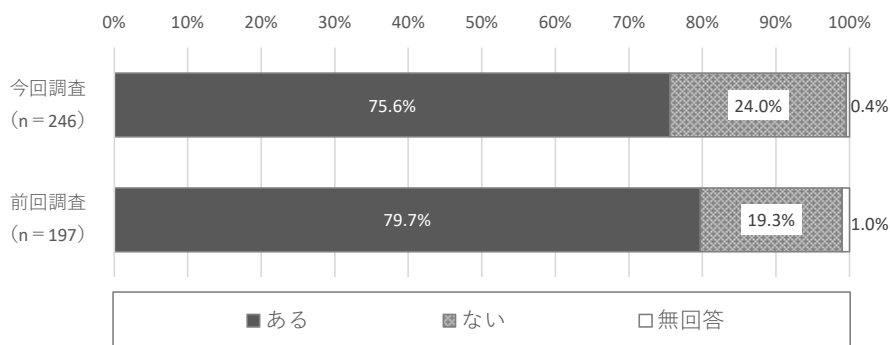
問 14 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）と結婚する意思がありますか。（〇はひとつ）

【回答者：問 13 で「いる」と回答した方】

パートナー（恋人）と結婚する意思について、「ある」が75.6%、「ない」が24.0%となっている。

年齢別でみると、「ある」は30歳代以下で8割超を占めており、40歳代、60歳代では約6割、50歳代では約5割となっている。

【パートナー（恋人）と結婚する意思】



		サンプル数	ある	ない	無回答
上段：度数					
下段：%					
今回調査		246	186	59	1
		100.0	75.6	24.0	0.4
前回調査		197	157	38	2
		100.0	79.7	19.3	1.0
性別	男性	68	55	13	0
		100.0	80.9	19.1	0.0
	女性	178	131	46	1
	100.0	73.6	25.8	0.6	
	その他	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	7	7	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代	128	106	22	0
		100.0	82.8	17.2	0.0
	30歳代	50	40	10	0
		100.0	80.0	20.0	0.0
	40歳代	35	20	15	0
	100.0	57.1	42.9	0.0	
50歳代	19	9	10	0	
	100.0	47.4	52.6	0.0	
60歳代	7	4	2	1	
	100.0	57.1	28.6	14.3	
70歳代以上	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	162	119	42	1
		100.0	73.5	25.9	0.6
	南薩地域	11	6	5	0
		100.0	54.5	45.5	0.0
	北薩地域	16	13	3	0
		100.0	81.3	18.8	0.0
	始良・伊佐地域	31	25	6	0
	100.0	80.6	19.4	0.0	
大隅地域	15	12	3	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	
熊毛地域	3	3	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	
大島地域	4	4	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	

問 15 現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）と出会ったきっかけは何ですか。（〇はひとつ）

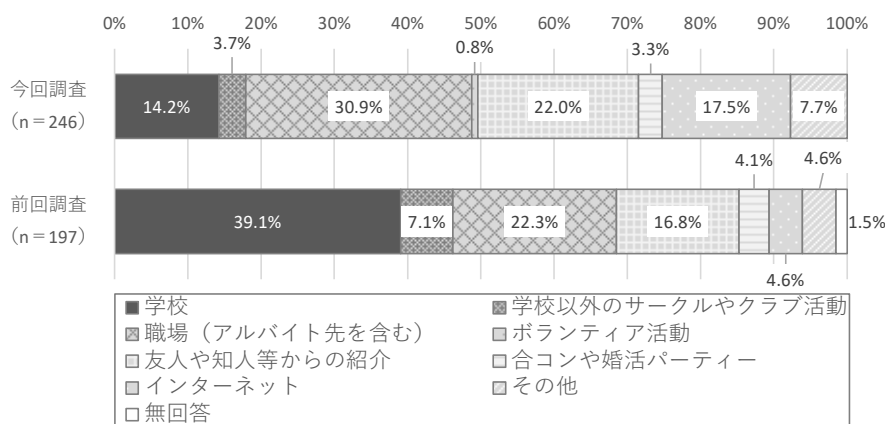
【回答者：問 13 で「いる」と回答した方】

パートナー（恋人）と出会ったきっかけについて、「職場（アルバイト先を含む）」が 30.9%で最も多く、次いで「友人や知人等からの紹介」（22.0%）、「インターネット」（17.5%）となっている。

年齢別でみると、20 歳代は「学校」、その他の年代は「職場（アルバイト先を含む）」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「インターネット」が 12.9 ポイント、「職場（アルバイト先を含む）」が 8.6 ポイント、「友人や知人等からの紹介」が 5.2 ポイントそれぞれ増加している。

【パートナー（恋人）と出会ったきっかけ】



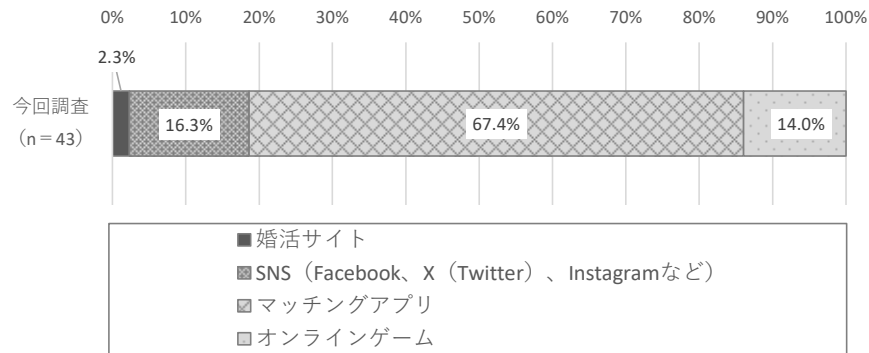
		サンプル数	学校	学校以外のクラブ活動	先を職場（アルバイト）	ボランティア活動	友人や知人等からの紹介	合コンや婚活パーティー	インターネット	その他	無回答
上段：度数											
下段：%											
今回調査		246	35	9	76	2	54	8	43	19	0
前回調査		197	77	14	44	0	33	8	9	9	3
今回調査		100.0	14.2	3.7	30.9	0.8	22.0	3.3	17.5	7.7	0.0
前回調査		100.0	39.1	7.1	22.3	0.0	16.8	4.1	4.6	4.6	1.5
性別	男性	68	11	3	15	0	15	1	14	9	0
	女性	178	24	6	61	2	39	7	29	10	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢	10歳代	7	1	0	2	0	1	1	2	0	0
	20歳代	128	29	8	26	1	26	2	25	11	0
	30歳代	50	4	0	18	0	10	4	10	4	0
	40歳代	35	1	0	13	1	11	1	6	2	0
	50歳代	19	0	1	13	0	4	0	0	1	0
	60歳代	7	0	0	4	0	2	0	0	1	0
	70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域別	162	21	5	48	2	41	6	23	16	0
鹿児島地域	100.0	13.0	3.1	29.6	1.2	25.3	3.7	14.2	9.9	0.0	
南薩地域	11	1	0	5	0	2	0	3	0	0	
北薩地域	16	2	0	7	0	0	1	5	1	0	
姶良・伊佐地域	31	7	2	11	0	3	1	6	1	0	
大隅地域	15	2	2	3	0	3	0	4	1	0	
熊毛地域	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
大島地域	4	0	0	1	0	3	0	0	0	0	

問 16 出会ったきっかけとなった具体的なインターネットサービスについて教えてください。(〇はひとつ)

【回答者：問 15 で「インターネット」と回答した方】

具体的なインターネットサービスについて、「マッチングアプリ」が 67.4%で最も多く、次いで「SNS (Facebook、X (Twitter)、Instagram など)」(16.3%)、「オンラインゲーム」(14.0%)となっている。

【具体的なインターネットサービス】



		サ ン プ ル 数	婚 活 サ イ ト	S N S	マ ッ チ ン グ ア プ リ	オ ン ラ イ ン ゲ ー ム	そ の 他	無 回 答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		43	1	7	29	6	0	0
		100.0	2.3	16.3	67.4	14.0	0.0	0.0
性 別	男性	14	0	2	11	1	0	0
		100.0	0.0	14.3	78.6	7.1	0.0	0.0
	女性	29	1	5	18	5	0	0
		100.0	3.4	17.2	62.1	17.2	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 齢	10歳代	2	0	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	25	0	4	18	3	0	0
		100.0	0.0	16.0	72.0	12.0	0.0	0.0
	30歳代	10	1	2	6	1	0	0
		100.0	10.0	20.0	60.0	10.0	0.0	0.0
	40歳代	6	0	0	5	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
	50歳代	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地 域 別	鹿児島地域	23	1	3	15	4	0	0
		100.0	4.3	13.0	65.2	17.4	0.0	0.0
	南薩地域	3	0	0	2	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	北薩地域	5	0	1	4	0	0	0
		100.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	始良・伊佐地域	6	0	2	4	0	0	0
	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	
大隅地域	4	0	1	3	0	0	0	
	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	
熊毛地域	1	0	0	0	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
大島地域	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※今回調査から実施

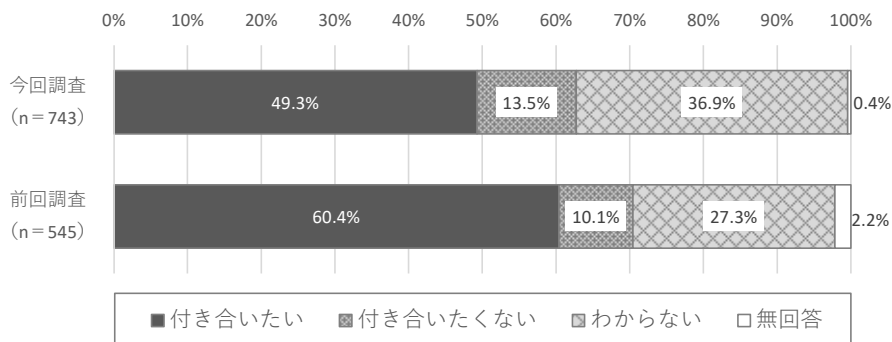
問 17 あなたは、特定のパートナー（恋人）とお付き合いしたいと思いますか。（〇はひとつ）

【回答者：問 13 で「いない」と回答した方】

パートナー（恋人）と付き合う意向について、「付き合いたい」が 49.3%、「付き合いたくない」が 13.5%、「わからない」が 36.9%となっている。

年齢別でみると、30 歳代以下で「付き合いたい」は半数以上を占めている。

【パートナー（恋人）と付き合う意向】



		サンプル数	付き合いたい	付き合いたくない	わからない	無回答
上段：度数						
下段：%						
今回調査		743	366	100	274	3
		100.0	49.3	13.5	36.9	0.4
前回調査		545	329	55	149	12
		100.0	60.4	10.1	27.3	2.2
性別	男性	274	152	28	92	2
		100.0	55.5	10.2	33.6	0.7
	女性	463	210	70	182	1
		100.0	45.4	15.1	39.3	0.2
	その他	4	2	2	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	23	17	1	5	0
		100.0	73.9	4.3	21.7	0.0
	20歳代	248	139	30	78	1
		100.0	56.0	12.1	31.5	0.4
	30歳代	191	98	30	62	1
		100.0	51.3	15.7	32.5	0.5
	40歳代	142	63	21	58	0
	100.0	44.4	14.8	40.8	0.0	
50歳代	89	32	8	48	1	
	100.0	36.0	9.0	53.9	1.1	
60歳代	39	11	8	20	0	
	100.0	28.2	20.5	51.3	0.0	
70歳代以上	4	0	1	3	0	
	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	425	211	57	156	1
		100.0	49.6	13.4	36.7	0.2
	南薩地域	48	17	6	25	0
		100.0	35.4	12.5	52.1	0.0
	北薩地域	75	38	12	25	0
		100.0	50.7	16.0	33.3	0.0
	姶良・伊佐地域	74	36	8	29	1
	100.0	48.6	10.8	39.2	1.4	
大隅地域	69	33	11	24	1	
	100.0	47.8	15.9	34.8	1.4	
熊毛地域	15	9	2	4	0	
	100.0	60.0	13.3	26.7	0.0	
大島地域	31	19	3	9	0	
	100.0	61.3	9.7	29.0	0.0	

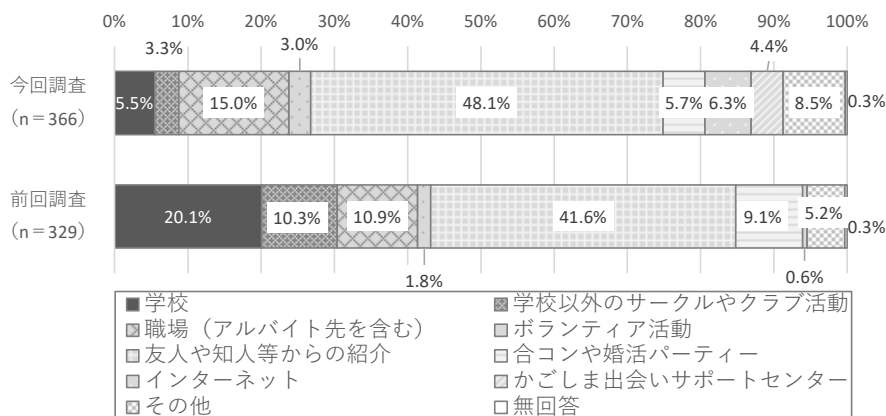
問 18 あなたは、どのような出会い方（出会いの場）を望んでいますか。（〇はひとつ）
【回答者：問 17 で「付き合いたい」と回答した方】

望んでいる出会い方（出会いの場）について、「友人や知人等からの紹介」が 48.1%で最も多く、次いで「職場（アルバイト先を含む）」（15.0%）、「その他」（8.5%）となっている。なお、「その他」の内容としては、「自然な出会い」「趣味を通じた出会い」等が挙げられた。

年齢別でみると、全ての年代で「友人や知人等からの紹介」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「友人や知人等からの紹介」が 6.5 ポイント、「インターネット」が 5.7 ポイント増加した一方、「学校」は 14.6 ポイント、「学校以外のサークルやクラブ活動」は 7.0 ポイント減少している。

【望んでいる出会い方（出会いの場）】



※今回調査から「かごしま出会いサポートセンター」を追加

	サンプル数	学校	学校以外のサークルやクラブ活動	先を職場（アルバイト先を含む）	ボランティア活動	友人や知人等からの紹介	アイコンや婚活パーティー	インターネット	ボランティア活動	かごしま出会いサポートセンター	その他	無回答
今回調査	366	20	12	55	11	176	21	23	16	31	1	
前回調査	329	66	34	36	6	137	30	2	—	17	1	
性別												
男性	152	9	7	19	4	61	13	14	12	13	0	
女性	210	11	5	35	7	114	8	9	4	16	1	
その他	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
年齢												
10歳代	17	5	1	2	0	8	0	0	0	1	0	
20歳代	139	13	3	29	2	64	5	10	1	12	0	
30歳代	98	0	4	12	3	52	9	7	6	4	1	
40歳代	63	0	4	8	1	29	5	6	5	5	0	
50歳代	32	0	0	4	5	14	0	0	3	6	0	
60歳代	11	0	0	0	0	7	1	0	1	2	0	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域別												
鹿児島地域	211	14	8	28	8	102	9	13	12	17	0	
南薩地域	17	2	0	1	0	10	1	1	1	1	0	
北薩地域	38	1	1	8	1	18	3	4	0	2	0	
姪良・伊佐地域	36	1	1	7	2	19	1	1	1	3	0	
大隅地域	33	1	2	4	0	15	1	3	1	5	1	
熊毛地域	9	0	0	2	0	1	3	0	1	2	0	
大島地域	19	1	0	5	0	8	3	1	0	1	0	

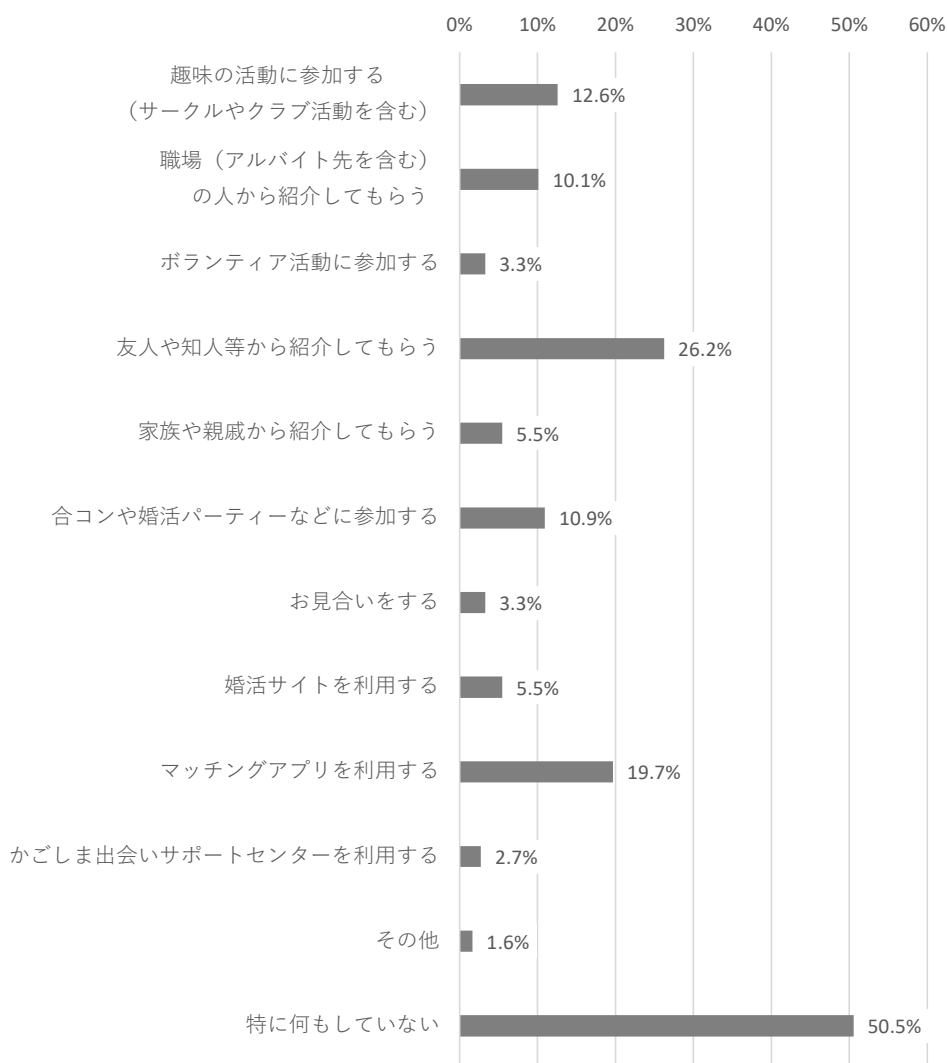
問 19 あなたは、パートナーと出会うために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

【回答者：問 17 で「付き合いたい」と回答した方】

パートナーと出会うために取り組んでいることについて、「特に何もしていない」が 50.5%で最も多く、次いで「友人や知人等から紹介してもらう」(26.2%)、「マッチングアプリを利用する」(19.7%)となっている。

年齢別でみると、「特に何もしていない」は 20 歳代で約 5 割、30 歳代で約 4 割、40 歳代以上で半数以上を占めている。

【パートナーと出会うために取り組んでいること】



■ 今回調査 (n=366)

※今回調査から実施

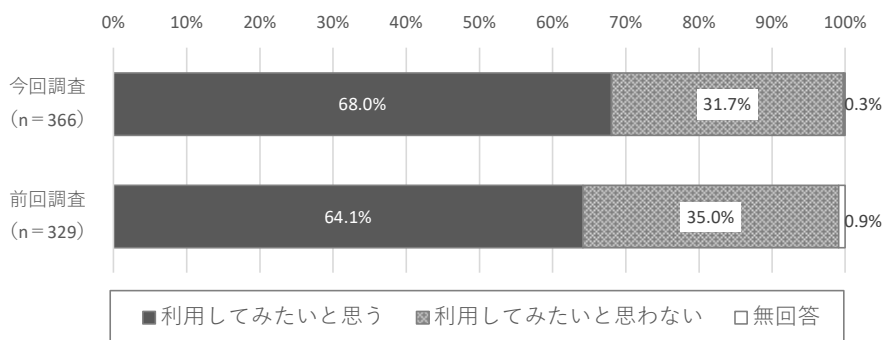
	サンプル数	むくする(サークルや	趣味の活動に参加	ら紹介してもらうか	先を含む)の人か	職場(アルバイト	に参加する	ボランティア活動	紹介し知人等から	友人や知人等から	家族や親戚から紹	介してもらう	家族や親戚から紹	介してもらう	合コンや婚活パ	パーティーなどに参加	お見合いをする	婚活サイトを利用	婚活サイトを利用	マツチングアプリ	を利用する	ポトセンターを	かごしま出会いサ	その他	い	特に何もしない	無回答
上段：度数																											
下段：%																											
今回調査	366 100.0	46 12.6	37 10.1	12 3.3	96 26.2	20 5.5	40 10.9	12 3.3	20 5.5	72 19.7	10 2.7	6 1.6	185 50.5	0 0.0													
性別	男性	152 100.0	28 17.1	18 11.8	7 4.6	43 28.3	11 7.2	17 11.2	7 4.6	9 5.9	25 16.4	4 2.6	3 2.0	74 48.7	0 0.0												
	女性	210 100.0	19 9.0	19 9.0	5 2.4	53 25.2	9 4.3	22 10.5	5 2.4	11 5.2	46 21.9	6 2.9	2 1.0	109 51.9	0 0.0												
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0												
		17 100.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 76.5	0 0.0											
年齢	10歳代	139 100.0	19 13.7	19 13.7	0 0.0	40 28.8	4 2.9	18 11.5	2 1.4	5 3.6	33 23.7	1 0.7	2 1.4	68 48.9	0 0.0												
	20歳代	98 100.0	11 11.2	10 10.2	3 3.1	30 30.6	7 7.1	18 16.3	3 3.1	4 4.1	26 26.5	4 4.1	1 1.0	38 38.8	0 0.0												
	30歳代	63 100.0	10 15.9	6 9.5	5 7.9	11 17.5	4 6.3	8 12.7	5 7.9	10 15.9	10 15.9	3 4.8	0 0.0	0 57.1	0 0.0												
	40歳代	32 100.0	3 9.4	1 3.1	3 9.4	7 21.9	2 6.3	2 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	3 9.4	7 59.4	0 0.0											
	50歳代	11 100.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	4 36.4	3 27.3	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 63.6	0 0.0											
	60歳代	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0											
	70歳代以上	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0											
地域別	鹿児島地域	211 100.0	28 13.3	19 9.0	5 2.4	57 27.0	7 3.3	22 10.4	6 2.8	11 5.2	48 22.7	4 1.9	1 0.5	102 48.3	0 0.0												
	南薩地域	17 100.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0	2 11.8	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 64.7	0 0.0												
	北薩地域	38 100.0	4 10.5	5 13.2	1 2.6	8 21.1	5 13.2	5 13.2	1 2.6	2 5.3	10 26.3	1 2.6	1 2.6	1 50.0	0 0.0												
	姶良・伊佐地域	36 100.0	6 16.7	4 11.1	4 11.1	10 27.8	3 8.3	4 11.1	3 8.3	2 5.6	7 19.4	3 8.3	2 5.6	2 47.2	0 0.0												
	大隅地域	33 100.0	2 6.1	5 15.2	0 0.0	13 39.4	1 3.0	4 12.1	0 0.0	3 9.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	1 48.5	0 0.0												
	熊毛地域	9 100.0	4 44.4	1 11.1	1 11.1	2 22.2	1 11.1	2 22.2	1 11.1	2 22.2	2 22.2	1 11.1	0 0.0	4 44.4	0 0.0												
	大島地域	19 100.0	1 5.3	1 5.3	1 5.3	4 21.1	3 15.8	2 10.5	1 5.3	0 0.0	2 10.5	0 0.0	1 5.3	1 68.4	0 0.0												

**問 20 あなたは、出会いの場の提供があれば、利用してみたいですか。(〇はひとつ)
【回答者：問 17 で「付き合いたい」と回答した方】**

出会いの場の利用意向について、「利用してみたいと思う」が 68.0%、「利用してみたいと思わない」が 31.7%となっている。

年齢別でみると、「利用してみたいと思う」は 20 歳代、40 歳代～60 歳代で約 6 割、30 歳代で約 9 割を占めている。

【出会いの場の利用意向】



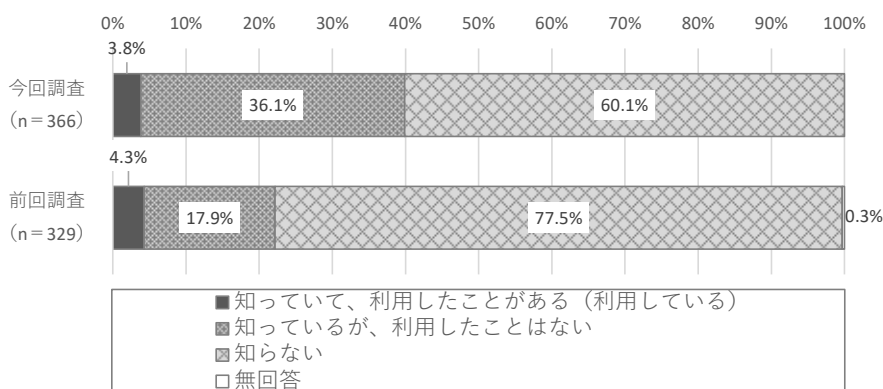
		サンプル数	利用してみたいと	利用してみたいと思わない	無回答
上段：度数 下段：%					
今回調査		366 100.0	249 68.0	116 31.7	1 0.3
前回調査		329 100.0	211 64.1	115 35.0	3 0.9
性別	男性	152 100.0	108 71.1	44 28.9	0 0.0
	女性	210 100.0	139 66.2	70 33.3	1 0.5
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
年齢	10歳代	17 100.0	6 35.3	11 64.7	0 0.0
	20歳代	139 100.0	88 63.3	50 36.0	1 0.7
	30歳代	98 100.0	88 89.8	10 10.2	0 0.0
	40歳代	63 100.0	36 57.1	27 42.9	0 0.0
	50歳代	32 100.0	20 62.5	12 37.5	0 0.0
	60歳代	11 100.0	7 63.6	4 36.4	0 0.0
	70歳代以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	地域別	鹿児島地域	211 100.0	145 68.7	65 30.8
南薩地域		17 100.0	9 52.9	8 47.1	0 0.0
北薩地域		38 100.0	25 65.8	13 34.2	0 0.0
始良・伊佐地域		36 100.0	26 72.2	10 27.8	0 0.0
大隅地域		33 100.0	21 63.6	12 36.4	0 0.0
熊毛地域		9 100.0	7 77.8	2 22.2	0 0.0
大島地域		19 100.0	14 73.7	5 26.3	0 0.0

**問 21 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を知っていますか。(○はひとつ)
【回答者：問 17 で「付き合いたい」と回答した方】**

かごしま出会いサポートセンターの認知度について、「知っていて、利用したことがある（利用している）」が 3.8%、「知っているが、利用したことはない」が 36.1%、「知らない」が 60.1%となっている。

年齢別でみると、「知らない」は 20 歳代以下で 7 割以上、30 歳代～40 歳代で約半数、50 歳代以上で約 6 割を占めている。

【かごしま出会いサポートセンターの認知度】



		サンプル数	（利用している）	知ったことか、利用	知っててこい、は、ない利	知らない	無回答
上段：度数							
下段：%							
今回調査		366	14	132	220	0	0
		100.0	3.8	36.1	60.1	0.0	0.0
前回調査		329	14	59	255	1	0
		100.0	4.3	17.9	77.5	0.3	0.0
性別	男性	152	9	40	103	0	0
		100.0	5.9	26.3	67.8	0.0	0.0
	女性	210	5	90	115	0	0
		100.0	2.4	42.9	54.8	0.0	0.0
	その他	2	0	1	1	0	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	17	0	1	16	0	0
		100.0	0.0	5.9	94.1	0.0	0.0
	20歳代	139	1	38	100	0	0
		100.0	0.7	27.3	71.9	0.0	0.0
	30歳代	98	6	45	47	0	0
		100.0	6.1	45.9	48.0	0.0	0.0
	40歳代	63	5	29	29	0	0
	100.0	7.9	46.0	46.0	0.0	0.0	
	50歳代	32	1	12	19	0	0
		100.0	3.1	37.5	59.4	0.0	0.0
	60歳代	11	0	4	7	0	0
		100.0	0.0	36.4	63.6	0.0	0.0
	70歳代以上	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	鹿児島地域	211	6	87	118	0	0
		100.0	2.8	41.2	55.9	0.0	0.0
	南薩地域	17	0	8	9	0	0
		100.0	0.0	47.1	52.9	0.0	0.0
	北薩地域	38	2	10	26	0	0
		100.0	5.3	26.3	68.4	0.0	0.0
	始良・伊佐地域	36	2	14	20	0	0
	100.0	5.6	38.9	55.6	0.0	0.0	
大隅地域	33	3	9	21	0	0	
	100.0	9.1	27.3	63.6	0.0	0.0	
熊毛地域	9	1	1	7	0	0	
	100.0	11.1	11.1	77.8	0.0	0.0	
大島地域	19	0	3	16	0	0	
	100.0	0.0	15.8	84.2	0.0	0.0	

**問 22 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を利用してみたいと思いますか。
(○はひとつ)**

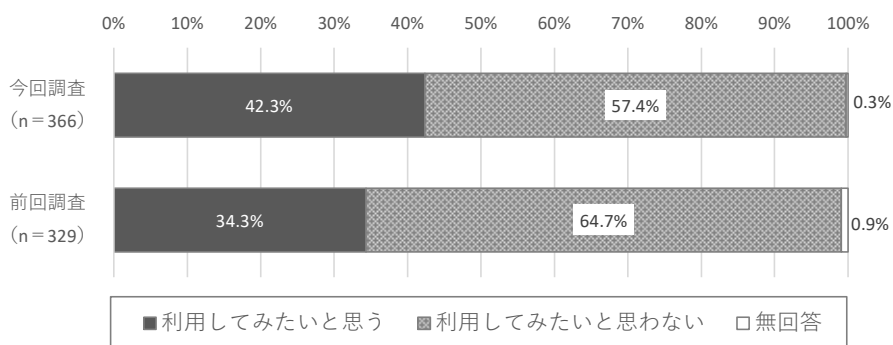
【回答者：問 17 で「付き合いたい」と回答した方】

かごしま出会いサポートセンターの利用意向について、「利用してみたいと思う」が 42.3%、「利用してみたいと思わない」が 57.4%となっている。

性別でみると、「利用してみたいと思う」は男性で約半数、女性で約 4 割を占めている。

年齢別でみると、「利用してみたいと思う」は 30 歳代で半数以上を占め、他の年代より多くなっている。

【かごしま出会いサポートセンターの利用意向】



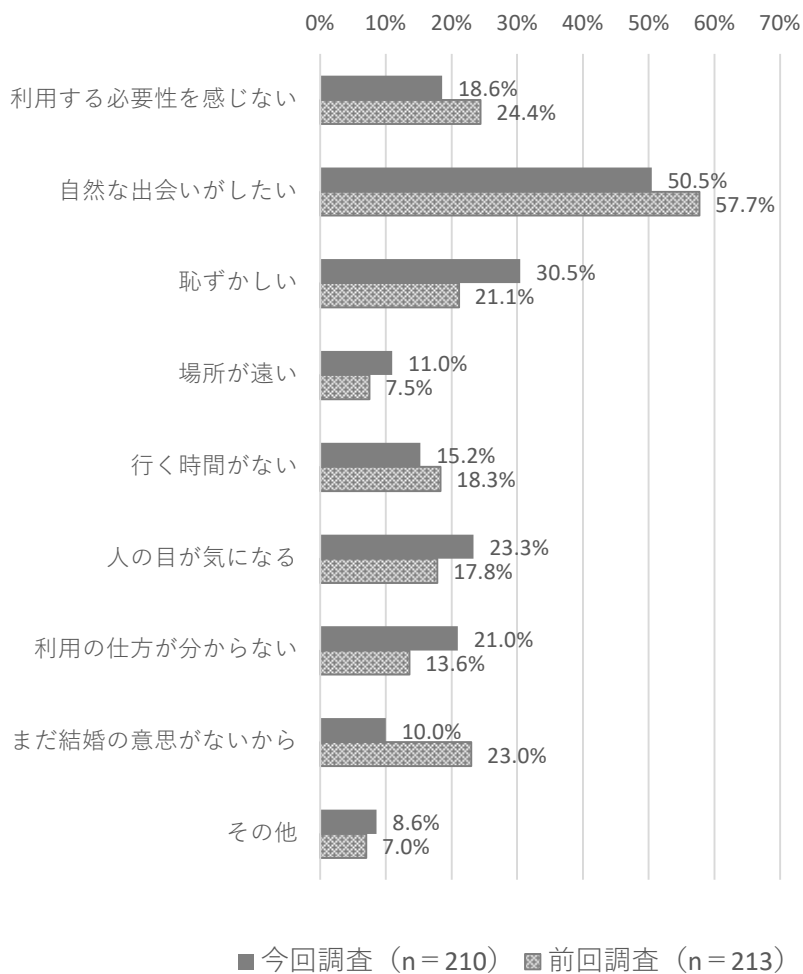
		サンプル数	利用してみたい	利用しない	無回答
上段：度数					
下段：%					
今回調査		366	155	210	1
		100.0	42.3	57.4	0.3
前回調査		329	113	213	3
		100.0	34.3	64.7	0.9
性別	男性	152	72	80	0
		100.0	47.4	52.6	0.0
	女性	210	82	127	1
	100.0	39.0	60.5	0.5	
	その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	
年齢	10歳代	17	3	14	0
		100.0	17.6	82.4	0.0
	20歳代	139	52	86	1
		100.0	37.4	61.9	0.7
	30歳代	98	55	43	0
		100.0	56.1	43.9	0.0
	40歳代	63	27	36	0
		100.0	42.9	57.1	0.0
50歳代	32	15	17	0	
	100.0	46.9	53.1	0.0	
60歳代	11	1	10	0	
	100.0	9.1	90.9	0.0	
70歳代以上	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	211	90	121	0
		100.0	42.7	57.3	0.0
	南薩地域	17	6	11	0
		100.0	35.3	64.7	0.0
	北薩地域	38	15	23	0
		100.0	39.5	60.5	0.0
	始良・伊佐地域	36	15	21	0
		100.0	41.7	58.3	0.0
大隅地域	33	14	19	0	
	100.0	42.4	57.6	0.0	
熊毛地域	9	6	3	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	
大島地域	19	9	10	0	
	100.0	47.4	52.6	0.0	

問 23 利用したくない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「利用してみたいと思わない」と回答した方】

かごしま出会いサポートセンターを利用したくない理由について、「自然な出会いがしたい」が50.5%で最も多く、次いで「恥ずかしい」(30.5%)、「人の目が気になる」(23.3%)となっている。性別、年齢別問わず、「自然な出会いがしたい」が最も多くなっている。

【かごしま出会いサポートセンターを利用したくない理由】



		サ ン プ ル 数	感 じ な い	利 用 す る 必 要 性 を	た 自 然 な 出 会 い が し	恥 ず か し い	場 所 が 遠 い	行 く 時 間 が な い	人 の 目 が 気 に な る	ら 利 用 の 仕 方 が 分 か	な ま だ 結 婚 の 意 思 が	そ の 他	無 回 答
上段：度数 下段：%													
今回調査		210 100.0	39 18.6	106 50.5	64 30.5	23 11.0	32 15.2	49 23.3	44 21.0	21 10.0	18 8.6	0 0.0	
前回調査		213 100.0	52 24.4	123 57.7	45 21.1	16 7.5	39 18.3	38 17.8	29 13.6	49 23.0	15 7.0	— 0.0	
性 別	男性	80 100.0	16 20.0	44 55.0	18 22.5	12 15.0	14 17.5	13 16.3	14 17.5	8 10.0	8 10.0	0 0.0	
	女性	127 100.0	22 17.3	62 48.8	44 34.6	10 7.9	17 13.4	35 27.6	30 23.6	13 10.2	10 7.9	0 0.0	
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年 齢	10歳代	14 100.0	6 42.9	9 64.3	3 21.4	1 7.1	1 7.1	2 14.3	3 21.4	3 21.4	0 0.0	0 0.0	
	20歳代	86 100.0	17 19.8	47 54.7	31 36.0	4 4.7	9 10.5	25 29.1	18 20.9	13 15.1	1 1.2	0 0.0	
	30歳代	43 100.0	5 11.6	19 44.2	15 34.9	7 16.3	7 16.3	11 25.6	14 32.6	4 9.3	5 11.6	0 0.0	
	40歳代	36 100.0	7 19.4	14 38.9	7 19.4	4 11.1	7 19.4	6 16.7	3 8.3	1 2.8	7 19.4	0 0.0	
	50歳代	17 100.0	4 23.5	8 47.1	4 23.5	4 23.5	4 41.2	3 17.6	4 23.5	0 0.0	4 23.5	0 0.0	
	60歳代	10 100.0	0 0.0	7 70.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	
	70歳代以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
地 域 別	鹿児島地域	121 100.0	22 18.2	64 52.9	34 28.1	3 2.5	17 14.0	30 24.8	22 18.2	12 9.9	7 5.8	0 0.0	
	南薩地域	11 100.0	5 45.5	3 27.3	3 27.3	3 27.3	2 18.2	3 27.3	4 36.4	0 0.0	2 18.2	0 0.0	
	北薩地域	23 100.0	5 21.7	5 21.7	8 34.8	4 17.4	5 21.7	3 13.0	5 21.7	2 8.7	4 17.4	0 0.0	
	始良・伊佐地域	21 100.0	4 19.0	12 57.1	6 28.6	4 19.0	1 4.8	6 28.6	4 19.0	3 14.3	2 9.5	0 0.0	
	大隅地域	19 100.0	0 0.0	12 63.2	7 36.8	7 36.8	4 21.1	4 21.1	4 21.1	0 0.0	2 10.5	0 0.0	
	熊毛地域	3 100.0	0 0.0	2 66.7	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	大島地域	10 100.0	3 30.0	8 80.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	

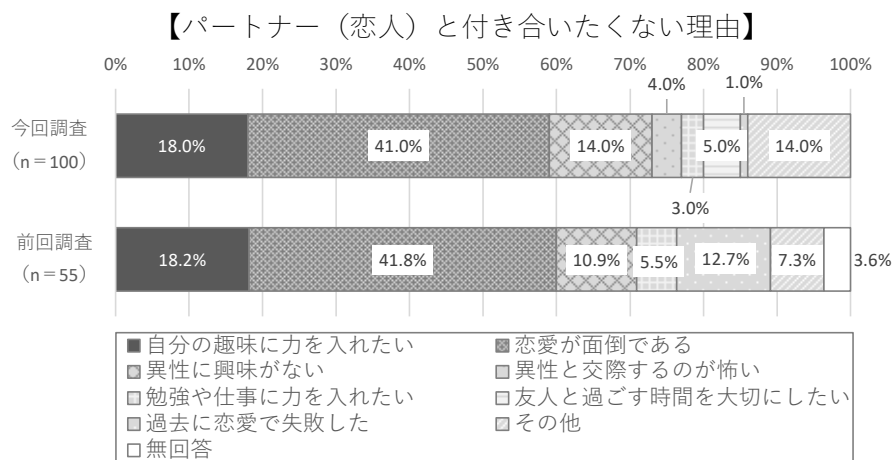
問 24 特定のパートナー（恋人）と付き合いたくない理由はどのようなことですか。（〇はひとつ）

【回答者：問 17 で「付き合いたくない」と回答した方】

パートナー（恋人）と付き合いたくない理由について、「恋愛が面倒である」が41.0%で最も多く、次いで「自分の趣味に力を入れたい」（18.0%）、「異性に興味がない」「その他」（いずれも 14.0%）となっている。なお、「その他」の内容としては、「収入が少ないから」「人間関係が面倒」等が挙げられた。

性別で見ると、男性は「自分の趣味に力を入れたい」、女性は「恋愛が面倒である」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別で見ると、全ての年代で「恋愛が面倒である」が最も多くなっている。



		サンプル数	自分の趣味に力を入れたい	恋愛が面倒である	異性に興味がない	異性と交際するのが怖い	勉強や仕事に力を入れたい	友人と過ごす時間を大切にしたい	過去に恋愛で失敗した	その他	無回答
上段：度数											
下段：%											
今回調査		100	18	41	14	4	3	5	1	14	0
前回調査		55	10	23	6	0	3	0	7	4	2
		100.0	18.2	41.8	10.9	0.0	5.5	0.0	12.7	7.3	3.6
性別	男性	28	11	8	3	0	1	0	0	5	0
		100.0	39.3	28.6	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	17.9	0.0
	女性	70	7	32	10	4	2	5	1	9	0
	100.0	10.0	45.7	14.3	5.7	2.9	7.1	1.4	12.9	0.0	
	その他	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	30	6	9	5	2	3	2	0	3	0
		100.0	20.0	30.0	16.7	6.7	10.0	6.7	0.0	10.0	0.0
	30歳代	30	7	14	4	1	0	0	0	4	0
		100.0	23.3	46.7	13.3	3.3	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	40歳代	21	3	9	2	1	0	1	0	5	0
		100.0	14.3	42.9	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	23.8	0.0
50歳代	8	0	5	2	0	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	
60歳代	8	2	3	0	0	0	1	1	1	0	
	100.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	
70歳代以上	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	57	11	26	5	2	1	3	1	8	0
		100.0	19.3	45.6	8.8	3.5	1.8	5.3	1.8	14.0	0.0
	南薩地域	6	0	1	2	0	0	1	0	2	0
		100.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	北薩地域	12	3	5	3	0	0	0	0	1	0
		100.0	25.0	41.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	始良・伊佐地域	8	1	2	2	1	2	0	0	0	0
		100.0	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大隅地域	11	1	5	1	1	0	0	0	3	0	
	100.0	9.1	45.5	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	
熊毛地域	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
大島地域	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

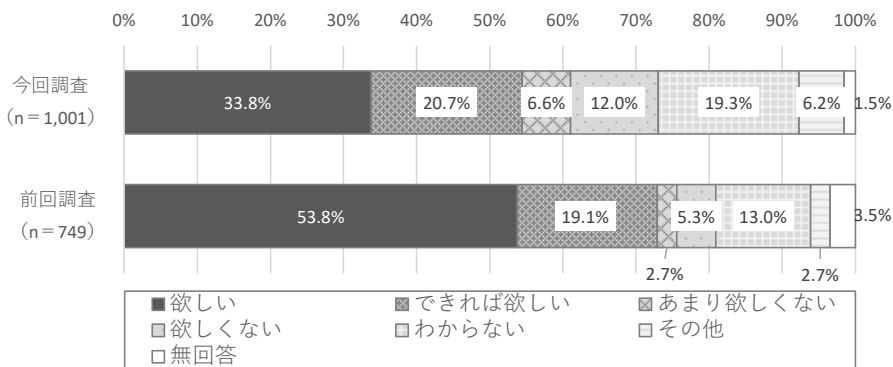
問 25 将来子どもが欲しいと思いますか。(○はひとつ)

将来の子どもの希望について、『欲しい』(「欲しい」と「できれば欲しい」の合計)が54.5%、『欲しくない』(「欲しくない」と「あまり欲しくない」の合計)が18.6%となっている。

性別でみると、『欲しい』は男性で約6割、女性で約半数を占めている。

年齢別でみると、『欲しい』は30歳代以下で半数以上を占めている。

【将来の子どもの希望】



		サンプル数	欲しい	できれば欲しい	あまり欲しくない	欲しくない	わからない	その他	無回答
上段：度数									
下段：%									
今回調査		1,001	338	207	66	120	193	62	15
		100.0	33.8	20.7	6.6	12.0	19.3	6.2	1.5
前回調査		749	403	143	20	40	97	20	26
		100.0	53.8	19.1	2.7	5.3	13.0	2.7	3.5
性別	男性	347	133	82	21	27	72	5	7
		100.0	38.3	23.6	6.1	7.8	20.7	1.4	2.0
	女性	648	203	123	45	92	120	57	8
	100.0	31.3	19.0	6.9	14.2	18.5	8.8	1.2	
	その他	4	1	1	0	1	1	0	0
		100.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	31	21	5	0	0	4	0	1
		100.0	67.7	16.1	0.0	0.0	12.9	0.0	3.2
	20歳代	377	192	78	26	20	52	3	6
		100.0	50.9	20.7	6.9	5.3	13.8	0.8	1.6
	30歳代	244	84	65	15	23	49	5	3
		100.0	34.4	26.6	6.1	9.4	20.1	2.0	1.2
	40歳代	181	24	41	18	31	41	23	3
		100.0	13.3	22.7	9.9	17.1	22.7	12.7	1.7
50歳代	110	10	10	7	30	29	22	2	
	100.0	9.1	9.1	6.4	27.3	26.4	20.0	1.8	
60歳代	46	4	5	0	14	14	9	0	
	100.0	8.7	10.9	0.0	30.4	30.4	19.6	0.0	
70歳代以上	4	0	0	0	0	4	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	596	210	115	38	69	112	46	6
		100.0	35.2	19.3	6.4	11.6	18.8	7.7	1.0
	南薩地域	59	17	9	5	6	17	5	0
		100.0	28.8	15.3	8.5	10.2	28.8	8.5	0.0
	北薩地域	92	26	25	4	13	20	3	1
		100.0	28.3	27.2	4.3	14.1	21.7	3.3	1.1
	始良・伊佐地域	105	33	28	9	15	16	2	2
		100.0	31.4	26.7	8.6	14.3	15.2	1.9	1.9
大隅地域	84	26	17	6	11	16	5	3	
	100.0	31.0	20.2	7.1	13.1	19.0	6.0	3.6	
熊毛地域	18	6	6	0	2	4	0	0	
	100.0	33.3	33.3	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	
大島地域	36	17	6	4	4	5	0	0	
	100.0	47.2	16.7	11.1	11.1	13.9	0.0	0.0	

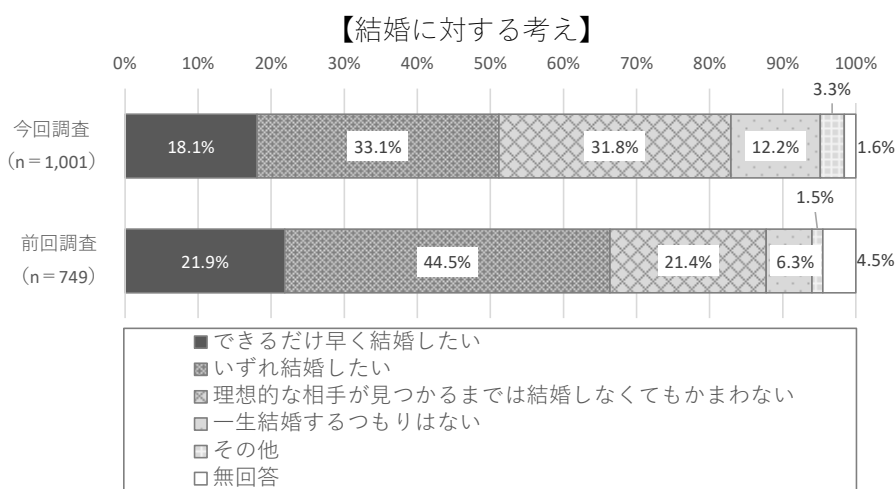
問 26 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えに最も近いものはどれですか。(〇はひとつ)

結婚に対する考えについて、「いずれ結婚したい」が33.1%で最も多く、次いで「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」(31.8%)、「できるだけ早く結婚したい」(18.1%)となっている。

性別でみると、男性は「いずれ結婚したい」、女性は「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、30歳代以下は「いずれ結婚したい」、40歳代以上は「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が10.4ポイント、「一生結婚するつもりはない」が5.9ポイント増加し、「いずれ結婚したい」は11.4ポイント減少している。



		サンプル数	できるだけ早く結婚したい	いずれ結婚したい	なしつづけるまでもかまわない	理想的な結婚するつもり	その他	無回答
上段：度数 下段：%								
今回調査		1,001	181	331	318	122	33	16
前回調査		749	164	333	160	47	11	34
		100.0	21.9	44.5	21.4	6.3	1.5	4.5
性別	男性	347	67	124	104	43	4	5
		100.0	19.3	35.7	30.0	12.4	1.2	1.4
	女性	648	113	203	213	79	29	11
		100.0	17.4	31.3	32.9	12.2	4.5	1.7
	その他	4	0	3	1	0	0	0
		100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	31	5	19	6	0	0	1
		100.0	16.1	61.3	19.4	0.0	0.0	3.2
	20歳代	377	83	156	109	18	5	6
		100.0	22.0	41.4	28.9	4.8	1.3	1.6
	30歳代	244	49	80	73	31	7	4
		100.0	20.1	32.8	29.9	12.7	2.9	1.6
	40歳代	181	28	49	56	35	12	1
		100.0	15.5	27.1	30.9	19.3	6.6	0.6
50歳代	110	10	19	47	23	7	4	
	100.0	9.1	17.3	42.7	20.9	6.4	3.6	
60歳代	46	5	5	22	13	1	0	
	100.0	10.9	10.9	47.8	28.3	2.2	0.0	
70歳代以上	4	0	0	2	1	1	0	
	100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	596	117	194	184	75	19	7
		100.0	19.6	32.6	30.9	12.6	3.2	1.2
	南薩地域	59	5	21	21	8	4	0
		100.0	8.5	35.6	35.6	13.6	6.8	0.0
	北薩地域	92	15	31	31	13	1	1
		100.0	16.3	33.7	33.7	14.1	1.1	1.1
	姶良・伊佐地域	105	18	40	34	8	3	2
		100.0	17.1	38.1	32.4	7.6	2.9	1.9
大隅地域	84	13	24	31	9	4	3	
	100.0	15.5	28.6	36.9	10.7	4.8	3.6	
熊毛地域	18	4	7	3	3	1	0	
	100.0	22.2	38.9	16.7	16.7	5.6	0.0	
大島地域	36	7	12	12	4	0	1	
	100.0	19.4	33.3	33.3	11.1	0.0	2.8	

問 27 あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。(〇は3つまで)

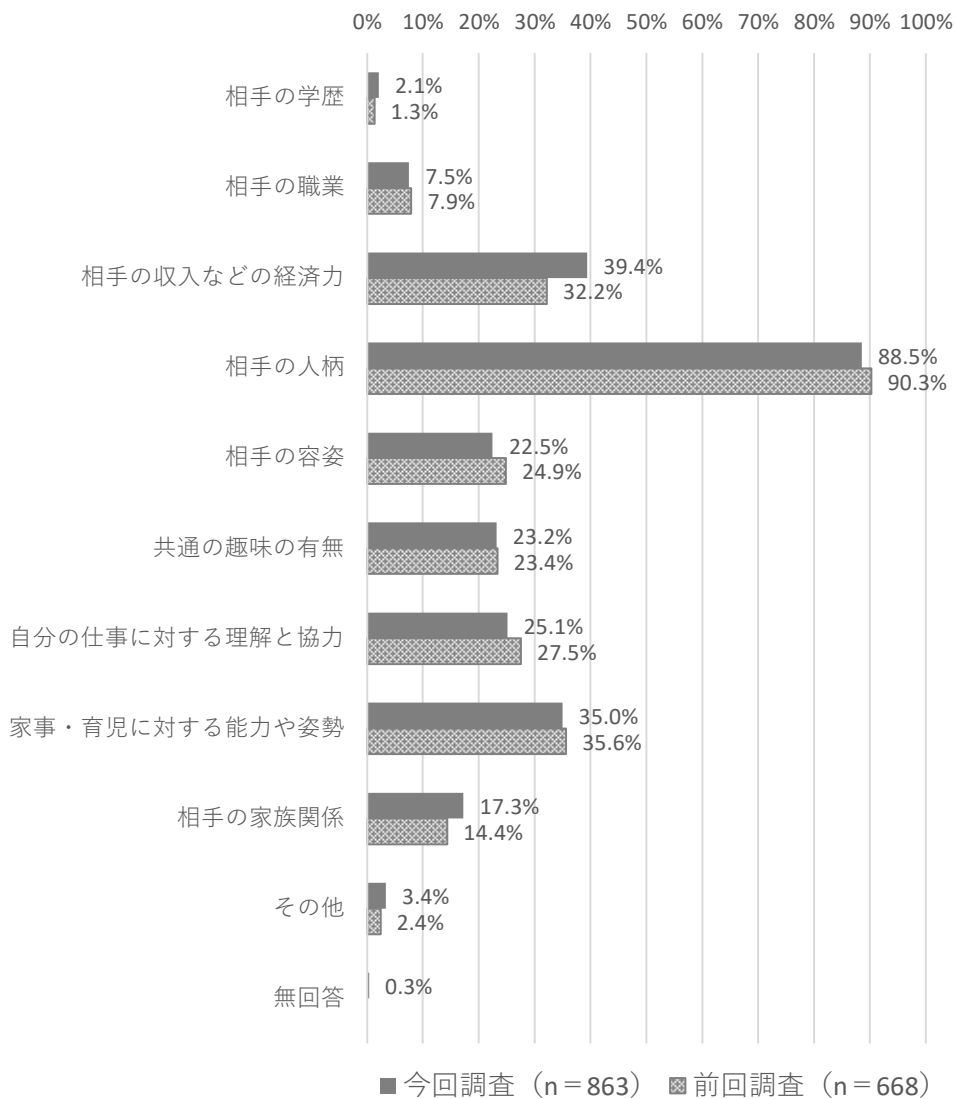
【回答者：問 26 で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方】

結婚相手を決めるときに重視する点について、「相手の人柄」が88.5%で最も多く、次いで「相手の収入などの経済力」(39.4%)、「家事・育児に対する能力や姿勢」(35.0%)となっている。

性別、年齢別問わず「相手の人柄」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「相手の収入などの経済力」が7.2ポイント増加している。

【結婚相手を決めるときに重視する点】



		サ ン プ ル 数	相 手 の 学 歴	相 手 の 職 業	経 済 力 の 収 入 な ど の	相 手 の 人 柄	相 手 の 容 姿	共 通 の 趣 味 の 有 無	理 解 と 協 力 に 対 す	自 分 の 仕 事 に 対 す	家 事 ・ 育 児 に 対 す	相 手 の 家 族 関 係	そ の 他	無 回 答
上段：度数 下段：%														
今回調査		863 100.0	18 2.1	65 7.5	340 39.4	764 88.5	194 22.5	200 23.2	217 25.1	302 35.0	149 17.3	29 3.4	3 0.3	
前回調査		868 100.0	9 1.3	53 7.9	215 32.2	603 90.3	166 24.9	156 23.4	184 27.5	238 35.6	96 14.4	16 2.4	— —	
性 別	男性	299 100.0	8 2.7	16 5.4	33 11.0	262 87.6	108 36.1	97 32.4	83 27.8	77 25.8	49 16.4	7 2.3	2 0.7	
	女性	558 100.0	10 1.8	49 8.8	306 54.8	499 89.4	84 15.1	103 18.5	130 23.3	220 39.4	99 17.7	22 3.9	1 0.2	
	その他	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	
年 齢	10歳代	30 100.0	2 6.7	4 13.3	12 40.0	27 90.0	4 13.3	6 20.0	5 16.7	12 40.0	3 10.0	1 3.3	0 0.0	
	20歳代	353 100.0	5 1.4	30 8.5	148 41.9	312 88.4	96 27.2	78 22.1	87 24.6	146 41.4	38 10.8	7 2.0	0 0.0	
	30歳代	209 100.0	6 2.9	15 7.2	80 38.3	180 86.1	41 19.6	50 23.9	63 30.1	87 41.6	36 17.2	10 4.8	1 0.5	
	40歳代	145 100.0	3 2.1	10 6.9	55 37.9	129 89.0	27 18.6	34 23.4	35 24.1	38 26.2	34 23.4	4 2.8	1 0.7	
	50歳代	83 100.0	1 1.2	4 4.8	31 37.3	75 90.4	17 20.5	21 25.3	19 22.9	11 13.3	23 27.7	4 4.8	1 1.2	
	60歳代	33 100.0	0 0.0	1 3.0	10 30.3	32 97.0	8 24.2	10 30.3	5 15.2	3 9.1	12 36.4	3 9.1	0 0.0	
	70歳代以上	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	
地 域 別	鹿児島地域	514 100.0	12 2.3	36 7.0	199 38.7	468 91.1	118 23.0	106 20.6	144 28.0	185 36.0	88 17.1	18 3.5	1 0.2	
	南薩地域	51 100.0	2 3.9	4 7.8	21 41.2	43 84.3	11 21.6	12 23.5	10 19.6	21 41.2	7 13.7	3 5.9	0 0.0	
	北薩地域	78 100.0	1 1.3	6 7.7	27 34.6	69 88.5	13 16.7	23 29.5	23 26.9	29 37.2	12 15.4	1 1.3	0 0.0	
	始良・伊佐地域	95 100.0	1 1.1	10 10.5	46 48.4	79 83.2	14 14.7	28 29.5	21 22.1	33 34.7	17 17.9	3 3.2	1 1.1	
	大隅地域	72 100.0	0 0.0	5 6.9	31 43.1	63 87.5	20 27.8	15 20.8	11 15.3	19 26.4	14 19.4	3 4.2	0 0.0	
	熊毛地域	15 100.0	1 6.7	0 0.0	6 40.0	11 73.3	5 33.3	5 33.3	2 13.3	2 13.3	4 26.7	1 6.7	0 0.0	
	大島地域	31 100.0	0 0.0	4 12.9	9 29.0	27 87.1	13 41.9	9 29.0	6 19.4	12 38.7	6 19.4	0 0.0	0 0.0	

問 28 結婚生活をスタートさせるに当たって必要だと思う世帯年収はどれくらいだと思いますか。(〇はひとつ)

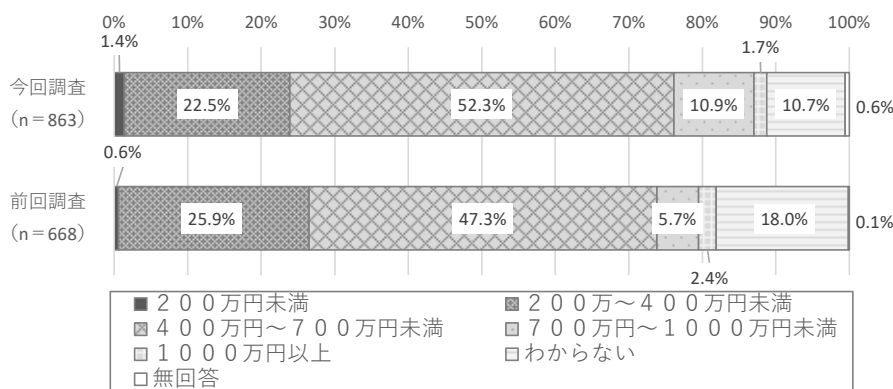
【回答者：問 26 で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方】

結婚生活のスタート時に必要な世帯年収について、「400万円～700万円未満」が52.3%で最も多く、次いで「200万円～400万円未満」(22.5%)、「700万円～1000万円未満」(10.9%)となっている。

年齢別でみると、「400万円～700万円未満」は20歳代～40歳代で約半数、50歳代～60歳代で約6割を占めている。

前回調査と比較すると、「700万円～1000万円未満」が5.2ポイント、「400万円～700万円未満」が5.0ポイントそれぞれ増加している。

【結婚生活のスタート時に必要な世帯年収】



		サンプル数	200万円未満	400万円～700万円未満	700万円～1000万円未満	1000万円以上	わからない	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		863	12	194	451	94	15	92
前回調査		668	4	173	316	38	16	120
性別								
性別	男性	299	5	71	156	25	4	34
	女性	558	7	122	291	69	10	58
	その他	4	0	1	2	0	1	0
年齢								
年齢	10歳代	30	0	8	13	0	0	9
	20歳代	353	3	89	184	38	7	32
	30歳代	209	4	55	100	23	3	22
	40歳代	145	5	21	75	19	3	19
	50歳代	83	0	12	51	10	2	8
	60歳代	33	0	5	22	4	0	2
	70歳代以上	3	0	2	1	0	0	0
地域別								
地域別	鹿児島地域	514	7	111	281	61	8	45
	南薩地域	51	0	11	22	7	0	10
	北薩地域	78	0	20	41	5	3	8
	姶良・伊佐地域	95	2	22	45	14	1	10
	大隅地域	72	3	20	31	5	2	11
	熊毛地域	15	0	4	7	1	0	3
	大島地域	31	0	6	21	1	0	3

問 29 あなたは、何歳までに結婚したいと思いますか。(〇はひとつ)

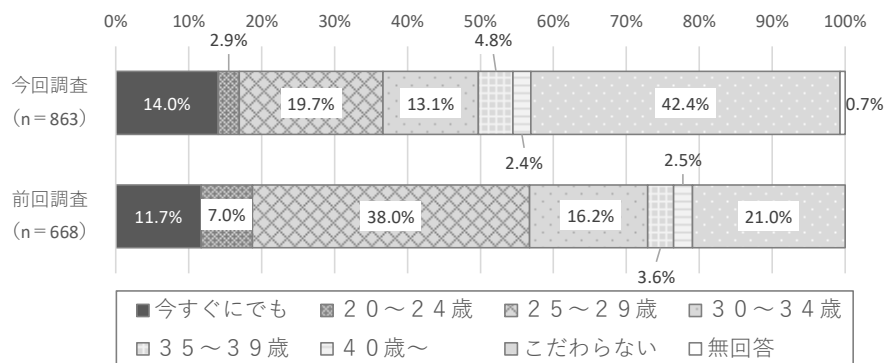
【回答者：問 26 で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方】

結婚したい年齢について、「こだわらない」が42.4%で最も多く、次いで「25～29歳」(19.7%)、「今すぐにも」(14.0%)となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「こだわらない」が最も多くなっている。

年齢別でみると、20歳代以下は「25～29歳」、30歳代以上は「こだわらない」がそれぞれ最も多くなっている。

【結婚したい年齢】



	サンプル数	結婚したい年齢								
		今すぐにも	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳～	こだわらない	無回答	
上段：度数										
下段：%										
今回調査	863	121	25	170	113	41	21	366	6	
	100.0	14.0	2.9	19.7	13.1	4.8	2.4	42.4	0.7	
前回調査	668	78	47	254	108	24	17	140	0	
	100.0	11.7	7.0	38.0	16.2	3.6	2.5	21.0	0.0	
性別	男性	299	49	4	46	45	20	12	118	5
		100.0	16.4	1.3	15.4	15.1	6.7	4.0	39.5	1.7
	女性	558	72	21	122	68	21	9	245	0
	100.0	12.9	3.8	21.9	12.2	3.8	1.6	43.9	0.0	
その他	4	0	0	2	0	0	0	2	0	
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
年齢	10歳代	30	0	7	17	2	0	0	4	0
		100.0	0.0	23.3	56.7	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0
	20歳代	353	33	17	147	74	7	1	74	0
		100.0	9.3	4.8	41.6	21.0	2.0	0.3	21.0	0.0
	30歳代	209	46	1	2	33	33	8	84	2
		100.0	22.0	0.5	1.0	15.8	15.8	3.8	40.2	1.0
	40歳代	145	27	0	1	0	0	6	107	4
		100.0	18.6	0.0	0.7	0.0	0.0	4.1	73.8	2.8
50歳代	83	7	0	1	1	0	6	68	0	
	100.0	8.4	0.0	1.2	1.2	0.0	7.2	81.9	0.0	
60歳代	33	6	0	0	1	0	0	26	0	
	100.0	18.2	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	78.8	0.0	
70歳代以上	3	1	0	0	0	0	0	2	0	
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	
地域別	鹿児島地域	514	73	9	112	62	25	15	216	2
		100.0	14.2	1.8	21.8	12.1	4.9	2.9	42.0	0.4
	南薩地域	51	4	1	9	5	3	1	27	1
		100.0	7.8	2.0	17.6	9.8	5.9	2.0	52.9	2.0
	北薩地域	78	7	5	12	9	8	1	36	0
		100.0	9.0	6.4	15.4	11.5	10.3	1.3	46.2	0.0
	始良・伊佐地域	95	9	4	15	19	3	3	41	1
		100.0	9.5	4.2	15.8	20.0	3.2	3.2	43.2	1.1
大隅地域	72	17	3	13	12	1	0	25	1	
	100.0	23.6	4.2	18.1	16.7	1.4	0.0	34.7	1.4	
熊毛地域	15	3	1	1	3	1	0	6	0	
	100.0	20.0	6.7	6.7	20.0	6.7	0.0	40.0	0.0	
大島地域	31	6	2	6	3	0	1	12	1	
	100.0	19.4	6.5	19.4	9.7	0.0	3.2	38.7	3.2	

問 30 将来結婚したいと思う理由は何ですか。(○はひとつ)

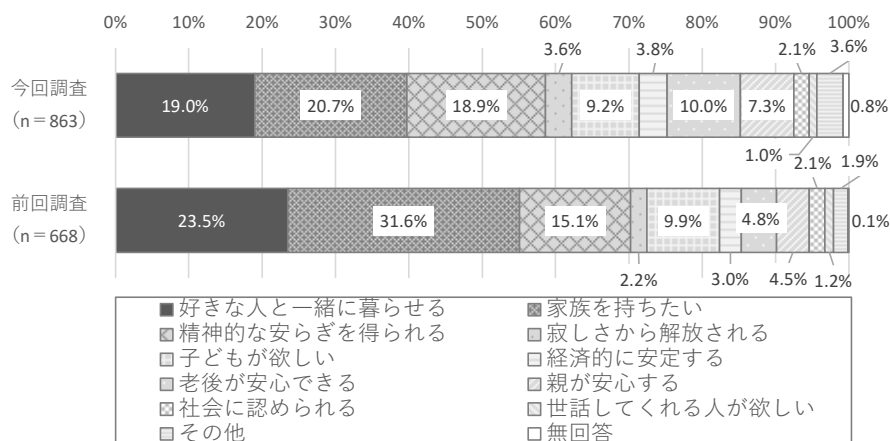
【回答者：問 26 で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方】

結婚したい理由について、「家族を持ちたい」が 20.7% で最も多く、次いで「好きな人と一緒に暮らせる」(19.0%)、「精神的な安らぎを得られる」(18.9%) となっている。

性別でみると、男性は「好きな人と一緒に暮らせる」、女性は「精神的な安らぎを得られる」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、30 歳代以下は「家族を持ちたい」、40 歳代～60 歳代は「精神的な安らぎを得られる」がそれぞれ最も多くなっている。

【結婚したい理由】



		サンプル数	好きな人と一緒に暮らせる	家族を持ちたい	精神的な安らぎを得られる	寂しさから解放される	子どもが欲しい	経済的に安定する	老後が安心できる	親が安心する	社会に認められる	世話してくれる人が欲しい	その他	無回答
上段：度数														
下段：%														
今回調査		863	164	179	163	31	79	33	86	63	18	9	31	7
前回調査		668	157	211	101	15	66	20	32	30	14	8	13	1
性別														
性別	男性	299	77	71	45	12	20	5	23	25	7	5	5	4
	女性	558	87	108	116	18	59	28	63	37	11	4	25	2
	その他	4	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
年齢														
年齢	10歳代	30	7	12	4	1	3	0	2	1	0	0	0	0
	20歳代	353	77	89	59	14	45	15	16	20	6	1	9	2
	30歳代	209	37	46	28	7	22	8	12	29	5	3	9	3
	40歳代	145	20	22	35	4	5	7	32	8	3	2	6	1
	50歳代	83	16	3	23	2	3	2	18	4	3	3	5	1
	60歳代	33	6	4	13	1	1	0	5	1	1	0	1	0
	70歳代以上	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
地域別														
地域別	鹿児島地域	514	91	102	104	22	53	14	53	37	10	7	19	2
	南薩地域	51	9	10	7	3	4	3	6	4	0	0	3	2
	北薩地域	78	18	16	16	3	3	6	6	5	2	0	3	0
	始良・伊佐地域	95	18	20	19	1	8	4	10	7	5	0	1	2
	大隅地域	72	14	22	9	0	5	4	6	4	1	2	4	1
	熊毛地域	15	3	5	3	0	2	0	0	1	0	0	1	0
	大島地域	31	9	3	4	1	4	2	4	4	0	0	0	0
	大島地域	100.0	29.0	9.7	12.9	3.2	12.9	6.5	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0

問 31 結婚して子どもができた後、どのような働き方を望みますか。(〇はひとつ)

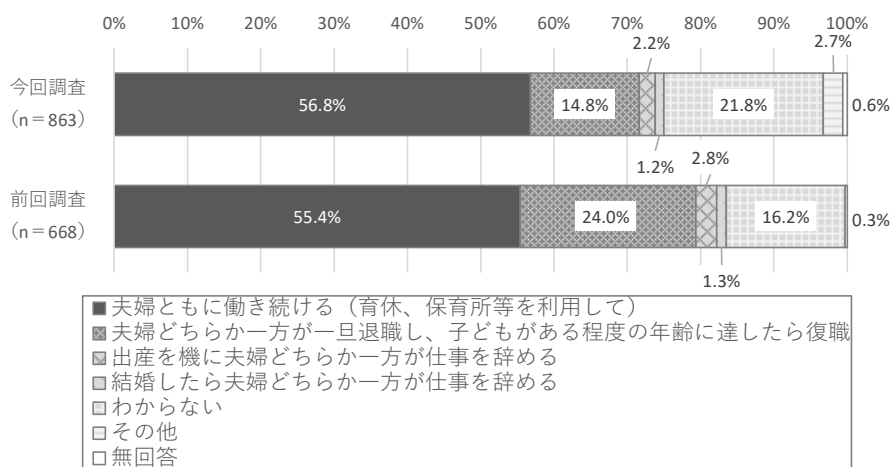
【回答者：問 26 で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方】

結婚・出産後の働き方について、「夫婦ともに働き続ける（育休、保育所等を利用して）」が 56.8% で最も多く、次いで「わからない」（21.8%）、「夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職」（14.8%）となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「夫婦ともに働き続ける（育休、保育所等を利用して）」が最も多くなっている。

年齢別でみると、40 歳代以下は「夫婦ともに働き続ける（育休、保育所等を利用して）」、50 歳代以上は「わからない」がそれぞれ最も多くなっている。

【結婚・出産後の働き方】



		サンプル数	夫婦ともに働き続ける (育休、保育所等を利用して)	夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職	出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める	結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める	わからない	その他	無回答
上段：度数 下段：%									
今回調査		863	490	128	19	10	188	23	5
今回調査		100.0	56.8	14.8	2.2	1.2	21.8	2.7	0.6
前回調査		668	370	160	19	9	108	—	2
前回調査		100.0	55.4	24.0	2.8	1.3	16.2	—	0.3
性別	男性	299	167	44	7	4	68	6	3
	男性	100.0	55.9	14.7	2.3	1.3	22.7	2.0	1.0
	女性	558	321	84	12	6	117	16	2
女性	100.0	57.5	15.1	2.2	1.1	21.0	2.9	0.4	
その他	4	1	0	0	0	2	1	0	0
その他	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	30	19	5	2	0	4	0	0
	10歳代	100.0	63.3	16.7	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0
	20歳代	353	224	65	10	7	42	4	1
	20歳代	100.0	63.5	18.4	2.8	2.0	11.9	1.1	0.3
	30歳代	209	129	27	2	1	39	9	2
	30歳代	100.0	61.7	12.9	1.0	0.5	18.7	4.3	1.0
	40歳代	145	75	18	4	2	43	2	1
	40歳代	100.0	51.7	12.4	2.8	1.4	29.7	1.4	0.7
50歳代	83	25	6	1	0	44	6	1	
50歳代	100.0	30.1	7.2	1.2	0.0	53.0	7.2	1.2	
60歳代	33	12	5	0	0	14	2	0	
60歳代	100.0	36.4	15.2	0.0	0.0	42.4	6.1	0.0	
70歳代以上	3	1	0	0	0	2	0	0	
70歳代以上	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	
地域別	鹿児島地域	514	289	80	15	6	110	11	3
	鹿児島地域	100.0	56.2	15.6	2.9	1.2	21.4	2.1	0.6
	南薩地域	51	30	4	0	1	13	2	1
	南薩地域	100.0	58.8	7.8	0.0	2.0	25.5	3.9	2.0
	北薩地域	78	46	14	1	0	17	0	0
	北薩地域	100.0	59.0	17.9	1.3	0.0	21.8	0.0	0.0
	始良・伊佐地域	95	57	13	0	0	20	4	1
	始良・伊佐地域	100.0	60.0	13.7	0.0	0.0	21.1	4.2	1.1
大隅地域	72	40	9	2	2	16	3	0	
大隅地域	100.0	55.6	12.5	2.8	2.8	22.2	4.2	0.0	
熊毛地域	15	7	1	0	0	7	0	0	
熊毛地域	100.0	46.7	6.7	0.0	0.0	46.7	0.0	0.0	
大島地域	31	19	6	0	1	3	2	0	
大島地域	100.0	61.3	19.4	0.0	3.2	9.7	6.5	0.0	

※今回調査から「その他」を追加

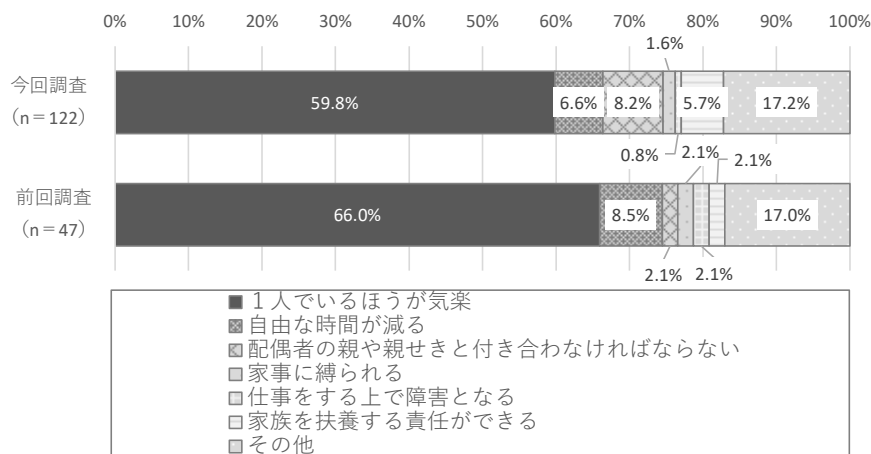
問 32 将来結婚したくない理由は何ですか。(〇はひとつ)

【回答者：問 26 で「一生結婚するつもりはない」を回答した方】

結婚したくない理由について、「1人であるほうが気楽」が 59.8%で最も多く、次いで「その他」(17.2%)、「配偶者の親や親せきと付き合いなければならない」(8.2%) となっている。なお、「その他」の内容としては、「お金がない」「必要性を感じない」等が挙げられた。

性別、年齢別問わず「1人であるほうが気楽」が最も多くなっている。

【結婚したくない理由】



		サンプル数	1人であるほうが	自由な時間が減る	配偶者の親や親せきと付き合いなければならない	家事に縛られる	仕事をする上で障害となる	家族を扶養する責任ができる	その他	無回答
上段：度数										
下段：%										
今回調査		122	73	8	10	2	1	7	21	0
前回調査		47	31	4	1	1	1	1	8	0
性別										
男性	43	24	1	1	1	1	1	6	9	0
女性	79	49	7	9	1	0	1	12	12	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢										
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	18	10	3	0	1	0	1	3	3	0
30歳代	31	17	2	3	0	1	4	4	4	0
40歳代	35	20	2	4	1	0	0	8	8	0
50歳代	23	13	1	2	0	0	2	5	5	0
60歳代	13	11	0	1	0	0	0	1	1	0
70歳代以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別										
鹿児島地域	75	42	6	7	2	0	3	15	15	0
南薩地域	8	5	0	1	0	0	0	2	2	0
北薩地域	13	9	2	0	0	0	1	1	1	0
始良・伊佐地域	8	4	0	1	0	1	2	0	0	0
大隅地域	9	6	0	1	0	0	1	1	1	0
熊毛地域	3	2	0	0	0	0	0	1	1	0
大島地域	4	4	0	0	0	0	0	33.3	33.3	0

3. 子育てについて 【問 33~45 は問 4 子どもの有無で「いる」を選択した方のみ回答】

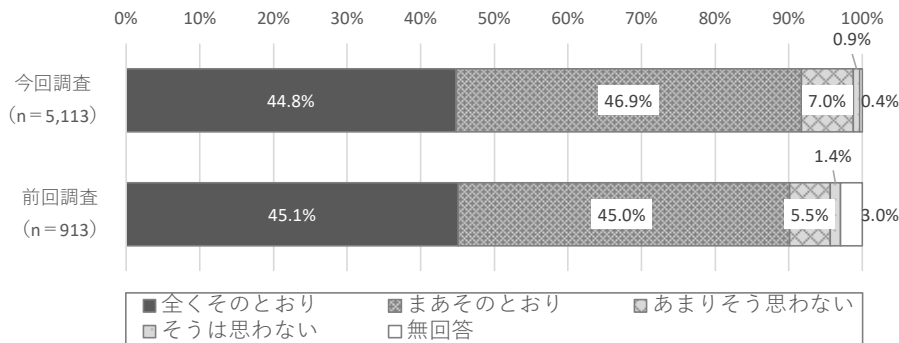
問 33 あなたが子育てをして感じたことについて(A)～(H)の各項目にあてはまる番号に○をつけてください。

<A 家族との会話がはずむようになった>

家族との会話がはずむようになったかについて、『そのとおり』（「全くその通り」と「まあそのとおり」の合計）が 91.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が 7.9%となっている。

性別、年齢別問わず『そのとおり』が 9 割以上を占めている。

【家族との会話がはずむようになった】



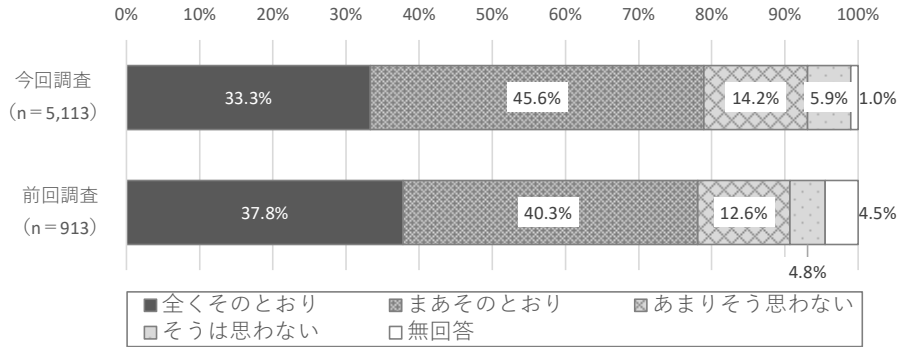
		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数							
下段：%							
今回調査		5,113	2,290	2,400	359	45	19
		100.0	44.8	46.9	7.0	0.9	0.4
前回調査		913	412	411	50	13	27
		100.0	45.1	45.0	5.5	1.4	3.0
性別	男性	1,966	868	962	113	13	10
		100.0	44.2	48.9	5.7	0.7	0.5
	女性	3,137	1,418	1,432	246	32	9
	100.0	45.2	45.6	7.8	1.0	0.3	
	その他	10	4	6	0	0	0
		100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	123	82	18	2	1
		100.0	54.4	36.3	8.0	0.9	0.4
	30歳代	1,147	482	545	98	14	8
		100.0	42.0	47.5	8.5	1.2	0.7
	40歳代	1,538	680	731	110	16	1
		100.0	44.2	47.5	7.2	1.0	0.1
50歳代	1,100	537	490	64	8	1	
	100.0	48.8	44.5	5.8	0.7	0.1	
60歳代	849	362	426	53	5	3	
	100.0	42.6	50.2	6.2	0.6	0.4	
70歳代以上	244	100	124	15	0	5	
	100.0	41.0	50.8	6.1	0.0	2.0	
地域別	鹿児島地域	3,033	1,355	1,434	210	28	6
		100.0	44.7	47.3	6.9	0.9	0.2
	南薩地域	302	115	158	26	3	0
		100.0	38.1	52.3	8.6	1.0	0.0
	北薩地域	391	179	179	26	5	2
		100.0	45.8	45.8	6.6	1.3	0.5
	始良・伊佐地域	667	299	312	46	5	5
		100.0	44.8	46.8	6.9	0.7	0.7
大隅地域	499	234	220	38	2	5	
	100.0	46.9	44.1	7.6	0.4	1.0	
熊毛地域	68	36	27	4	1	0	
	100.0	52.9	39.7	5.9	1.5	0.0	
大島地域	128	62	57	8	0	1	
	100.0	48.4	44.5	6.3	0.0	0.8	

<B 配偶者との信頼が深まった>

配偶者との信頼が深まったかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が78.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が20.1%となっている。

性別、年齢別問わず『そのとおり』が7割以上を占めている。

【配偶者との信頼が深まった】



		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数							
下段：%							
今回調査		5,113	1,704	2,331	726	300	52
		100.0	33.3	45.6	14.2	5.9	1.0
前回調査		913	345	368	115	44	41
		100.0	37.8	40.3	12.6	4.8	4.5
性別	男性	1,966	760	968	177	43	18
		100.0	38.7	49.2	9.0	2.2	0.9
	女性	3,137	941	1,357	548	257	34
		100.0	30.0	43.3	17.5	8.2	1.1
	その他	10	3	6	1	0	0
		100.0	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	107	85	22	11	1
		100.0	47.3	37.6	9.7	4.9	0.4
	30歳代	1,147	390	490	173	81	13
		100.0	34.0	42.7	15.1	7.1	1.1
	40歳代	1,538	473	667	247	134	17
		100.0	30.8	43.4	16.1	8.7	1.1
50歳代	1,100	359	514	167	54	6	
	100.0	32.6	46.7	15.2	4.9	0.5	
60歳代	849	280	443	98	19	9	
	100.0	33.0	52.2	11.5	2.2	1.1	
70歳代以上	244	91	128	18	1	6	
	100.0	37.3	52.5	7.4	0.4	2.5	
地域別	鹿児島地域	3,033	998	1,397	436	184	18
		100.0	32.9	46.1	14.4	6.1	0.6
	南薩地域	302	87	146	42	24	3
		100.0	28.8	48.3	13.9	7.9	1.0
	北薩地域	391	125	181	54	27	4
		100.0	32.0	46.3	13.8	6.9	1.0
	始良・伊佐地域	667	232	298	88	36	13
		100.0	34.8	44.7	13.2	5.4	1.9
大隅地域	499	176	216	78	22	7	
	100.0	35.3	43.3	15.6	4.4	1.4	
熊毛地域	68	31	23	11	1	2	
	100.0	45.6	33.8	16.2	1.5	2.9	
大島地域	128	49	57	14	5	3	
	100.0	38.3	44.5	10.9	3.9	2.3	

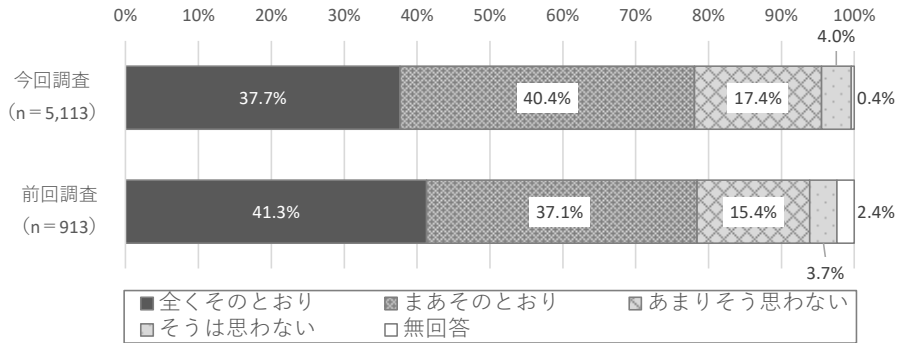
<C 子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった>

子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がったかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が78.1%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が21.4%となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも『そのとおり』が大半を占めている。

年齢別でみると、『そのとおり』は20歳代で約6割、30歳代以上で7割以上を占めている。

【子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった】



		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	いあまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数							
下段：%							
今回調査		5,113	1,927	2,064	892	207	23
		100.0	37.7	40.4	17.4	4.0	0.4
前回調査		913	377	339	141	34	22
		100.0	41.3	37.1	15.4	3.7	2.4
性別	男性	1,966	597	862	421	75	11
		100.0	30.4	43.8	21.4	3.8	0.6
	女性	3,137	1,327	1,197	469	132	12
	100.0	42.3	38.2	15.0	4.2	0.4	
	その他	10	3	5	2	0	0
		100.0	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	69	65	61	30	1
		100.0	30.5	28.8	27.0	13.3	0.4
	30歳代	1,147	325	428	297	88	9
		100.0	28.3	37.3	25.9	7.7	0.8
	40歳代	1,538	602	609	268	57	2
		100.0	39.1	39.6	17.4	3.7	0.1
50歳代	1,100	494	453	130	20	3	
	100.0	44.9	41.2	11.8	1.8	0.3	
60歳代	849	338	400	97	10	4	
	100.0	39.8	47.1	11.4	1.2	0.5	
70歳代以上	244	95	105	38	2	4	
	100.0	38.9	43.0	15.6	0.8	1.6	
地域別	鹿児島地域	3,033	1,133	1,208	570	112	10
		100.0	37.4	39.8	18.8	3.7	0.3
	南薩地域	302	123	122	43	14	0
		100.0	40.7	40.4	14.2	4.6	0.0
	北薩地域	391	150	163	57	19	2
		100.0	38.4	41.7	14.6	4.9	0.5
	始良・伊佐地域	667	241	279	114	29	4
		100.0	36.1	41.8	17.1	4.3	0.6
大隅地域	499	183	210	73	27	6	
	100.0	36.7	42.1	14.6	5.4	1.2	
熊毛地域	68	39	21	8	0	0	
	100.0	57.4	30.9	11.8	0.0	0.0	
大島地域	128	50	53	21	3	1	
	100.0	39.1	41.4	16.4	2.3	0.8	

<D 子育ての経験が仕事や趣味の活動に役立った>

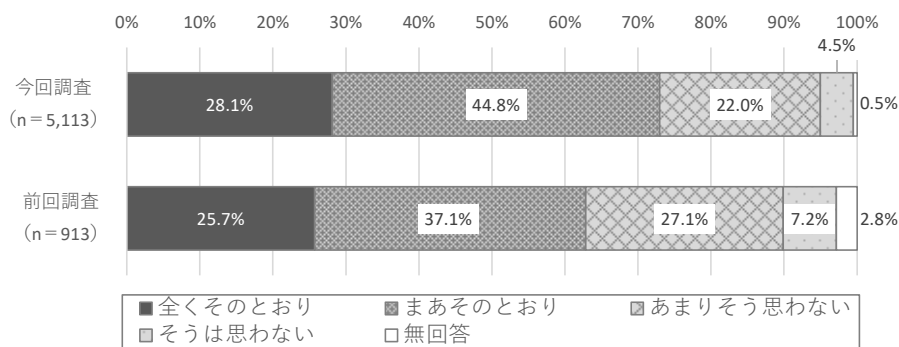
子育ての経験が仕事や趣味の活動に役立ったかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が 72.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が 26.5%となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも『そのとおり』が 7 割以上を占めている。

年齢別でみると、『そのとおり』は 30 歳代以下で約 6 割、40 歳代、70 歳代以上で約 7 割、50 歳代～60 歳代で約 8 割を占めている。

前回調査と比較すると、『そのとおり』が 10.1 ポイント増加し、『そう思わない』は 7.8 ポイント減少している。

【子育ての経験が仕事や趣味の活動に役立った】



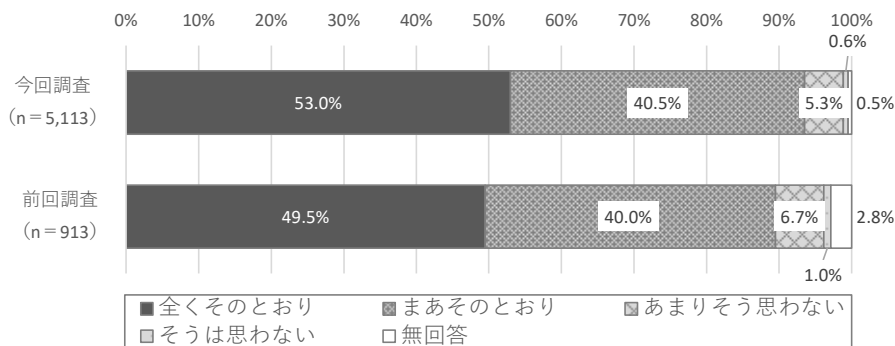
		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査		5,113	1,439	2,292	1,125	231	26
前回調査		913	235	339	247	66	28
性別	男性	1,966	487	952	436	79	12
	女性	3,137	949	1,335	687	152	14
	その他	10	3	5	2	0	0
		100.0	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	226	49	85	69	22	1
	30歳代	1,147	260	470	319	89	9
	40歳代	1,538	452	672	337	74	3
	50歳代	1,100	350	518	208	21	3
	60歳代	849	254	436	139	16	4
	70歳代以上	244	71	107	53	8	5
地域別	鹿児島地域	3,033	857	1,366	669	130	11
	南薩地域	302	78	140	68	16	0
	北薩地域	391	104	176	90	19	2
	始良・伊佐地域	667	178	295	161	28	5
	大隅地域	499	144	232	87	30	6
	熊毛地域	68	28	24	14	2	0
	大島地域	128	43	49	31	3	2
		100.0	33.6	38.3	24.2	2.3	1.6

<E 子育てによって自分も成長していると感じられる>

子育てによって自分も成長していると感じられるかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が93.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が5.9%となっている。

性別、年齢別問わず『そのとおり』が9割以上を占めている。

【子育てによって自分も成長していると感じられる】



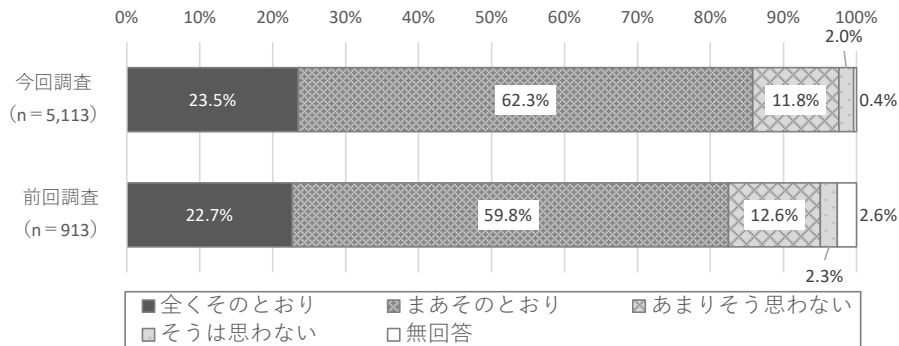
		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査		5,113	2,709	2,073	273	33	25
前回調査		913	452	365	61	9	28
性別	男性	1,966	960	864	120	11	11
	女性	3,137	1,744	1,205	153	22	13
	その他	10	5	4	0	0	1
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	226	127	83	14	0	2
	30歳代	1,147	595	455	82	8	7
	40歳代	1,538	849	599	71	16	3
	50歳代	1,100	614	434	43	5	4
	60歳代	849	408	392	43	3	3
	70歳代以上	244	111	106	20	1	6
地域別	鹿児島地域	3,033	1,620	1,231	155	19	8
	南薩地域	302	150	125	20	4	3
	北薩地域	391	188	179	19	3	2
	始良・伊佐地域	667	349	260	48	5	5
	大隅地域	499	265	203	23	2	6
	熊毛地域	68	44	22	2	0	0
	大島地域	128	83	39	5	0	1

<F 自分の子どもは結構うまく育っていると思う>

自分の子どもは結構うまく育っていると思うかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が 85.8%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が 13.8%となっている。

性別、年齢別問わず『そのとおり』が 9 割程度を占めている。

【自分の子どもは結構うまく育っていると思う】



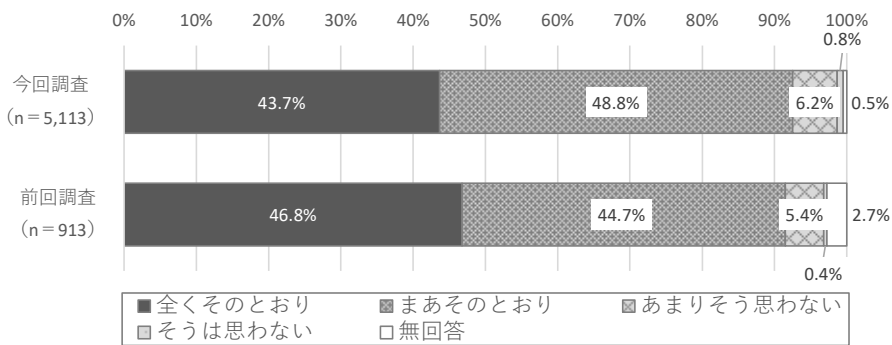
		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数							
下段：%							
今回調査		5,113	1,204	3,183	602	104	20
		100.0	23.5	62.3	11.8	2.0	0.4
前回調査		913	207	546	115	21	24
		100.0	22.7	59.8	12.6	2.3	2.6
性別	男性	1,966	510	1,213	194	38	11
		100.0	25.9	61.7	9.9	1.9	0.6
	女性	3,137	691	1,964	407	66	9
		100.0	22.0	62.6	13.0	2.1	0.3
	その他	10	3	6	1	0	0
		100.0	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	64	134	27	0	1
		100.0	28.3	59.3	11.9	0.0	0.4
	30歳代	1,147	215	718	170	35	9
		100.0	18.7	62.6	14.8	3.1	0.8
	40歳代	1,538	340	956	195	45	2
		100.0	22.1	62.2	12.7	2.9	0.1
50歳代	1,100	307	679	100	13	1	
	100.0	27.9	61.7	9.1	1.2	0.1	
60歳代	849	212	536	88	10	3	
	100.0	25.0	63.1	10.4	1.2	0.4	
70歳代以上	244	62	156	21	1	4	
	100.0	25.4	63.9	8.6	0.4	1.6	
地域別	鹿児島地域	3,033	747	1,877	341	61	7
		100.0	24.6	61.9	11.2	2.0	0.2
	南薩地域	302	57	194	41	10	0
		100.0	18.9	64.2	13.6	3.3	0.0
	北薩地域	391	77	254	49	9	2
		100.0	19.7	65.0	12.5	2.3	0.5
	姪良・伊佐地域	667	153	421	77	12	4
		100.0	22.9	63.1	11.5	1.8	0.6
大隅地域	499	121	290	76	7	5	
	100.0	24.2	58.1	15.2	1.4	1.0	
熊毛地域	68	17	42	7	1	1	
	100.0	25.0	61.8	10.3	1.5	1.5	
大島地域	128	27	86	10	4	1	
	100.0	21.1	67.2	7.8	3.1	0.8	

<G 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う>

子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が92.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が7.0%となっている。

性別、年齢別問わず『そのとおり』が9割以上を占めている。

【子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う】



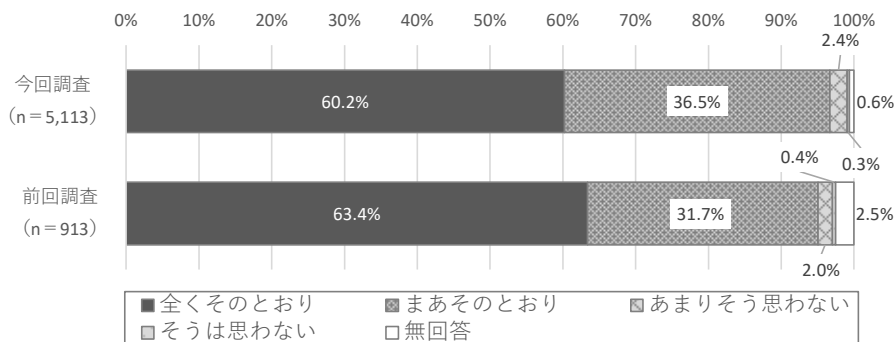
		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査		5,113	2,232	2,497	316	43	25
		100.0	43.7	48.8	6.2	0.8	0.5
前回調査		913	427	408	49	4	25
		100.0	46.8	44.7	5.4	0.4	2.7
性別	男性	1,966	901	942	92	18	13
		100.0	45.8	47.9	4.7	0.9	0.7
	女性	3,137	1,326	1,551	223	25	12
		100.0	42.3	49.4	7.1	0.8	0.4
	その他	10	5	4	1	0	0
		100.0	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	142	71	11	1	1
		100.0	62.8	31.4	4.9	0.4	0.4
	30歳代	1,147	529	528	68	14	8
		100.0	46.1	46.0	5.9	1.2	0.7
	40歳代	1,538	686	732	102	16	2
		100.0	44.6	47.6	6.6	1.0	0.1
50歳代	1,100	479	541	71	6	3	
	100.0	43.5	49.2	6.5	0.5	0.3	
60歳代	849	304	492	43	6	4	
	100.0	35.8	58.0	5.1	0.7	0.5	
70歳代以上	244	88	128	21	0	7	
	100.0	36.1	52.5	8.6	0.0	2.9	
地域別	鹿児島地域	3,033	1,336	1,481	181	25	10
		100.0	44.0	48.8	6.0	0.8	0.3
	南薩地域	302	122	158	18	3	1
		100.0	40.4	52.3	6.0	1.0	0.3
	北薩地域	391	154	201	33	1	2
		100.0	39.4	51.4	8.4	0.3	0.5
	姶良・伊佐地域	667	278	331	43	9	6
		100.0	41.7	49.6	6.4	1.3	0.9
大隅地域	499	234	231	26	3	5	
	100.0	46.9	46.3	5.2	0.6	1.0	
熊毛地域	68	35	30	3	0	0	
	100.0	51.5	44.1	4.4	0.0	0.0	
大島地域	128	63	55	7	2	1	
	100.0	49.2	43.0	5.5	1.6	0.8	

<H 子どもがかわいくてたまらない>

子どもがかわいくてたまらないかについて、『そのとおり』（「全くそのとおり」と「まあそのとおり」の合計）が96.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そうは思わない」の合計）が2.7%となっている。

性別、年齢別問わず『そのとおり』が9割以上を占めている。

【子どもがかわいくてたまらない】



		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査		5,113	3,080	1,864	121	15	33
		100.0	60.2	36.5	2.4	0.3	0.6
前回調査		913	579	289	18	4	23
		100.0	63.4	31.7	2.0	0.4	2.5
性別	男性	1,966	1,135	756	49	6	20
		100.0	57.7	38.5	2.5	0.3	1.0
	女性	3,137	1,939	1,105	71	9	13
		100.0	61.8	35.2	2.3	0.3	0.4
	その他	10	6	3	1	0	0
		100.0	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	196	26	3	0	1
		100.0	86.7	11.5	1.3	0.0	0.4
	30歳代	1,147	786	330	13	5	13
		100.0	68.5	28.8	1.1	0.4	1.1
	40歳代	1,538	945	546	35	8	4
		100.0	61.4	35.5	2.3	0.5	0.3
50歳代	1,100	645	417	33	2	3	
	100.0	58.6	37.9	3.0	0.2	0.3	
60歳代	849	397	418	27	0	7	
	100.0	46.8	49.2	3.2	0.0	0.8	
70歳代以上	244	104	125	10	0	5	
	100.0	42.6	51.2	4.1	0.0	2.0	
地域別	鹿児島地域	3,033	1,806	1,128	75	8	16
		100.0	59.5	37.2	2.5	0.3	0.5
	南薩地域	302	170	118	9	2	3
		100.0	56.3	39.1	3.0	0.7	1.0
	北薩地域	391	245	135	9	0	2
		100.0	62.7	34.5	2.3	0.0	0.5
	始良・伊佐地域	667	400	248	14	0	5
		100.0	60.0	37.2	2.1	0.0	0.7
大隅地域	499	320	161	9	3	6	
	100.0	64.1	32.3	1.8	0.6	1.2	
熊毛地域	68	42	25	1	0	0	
	100.0	61.8	36.8	1.5	0.0	0.0	
大島地域	128	84	39	2	2	1	
	100.0	65.6	30.5	1.6	1.6	0.8	

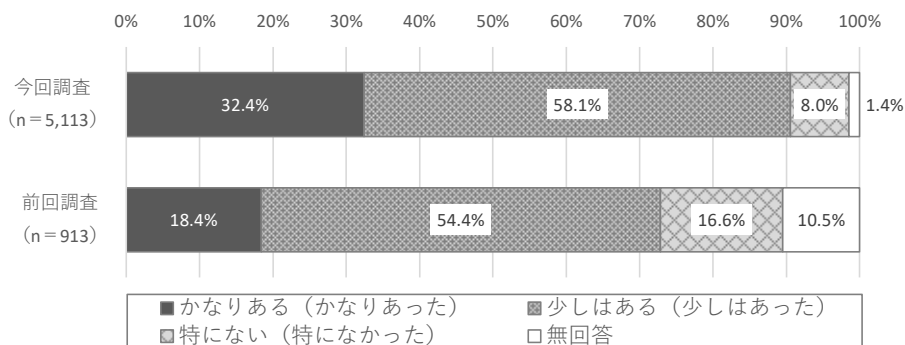
問 34 あなたは、子育てをする上で悩みや不安がありますか。(〇はひとつ)

子育てする上での悩みや不安の有無について、「かなりある(かなりあった)」が32.4%、「少しはある(少しはあった)」が58.1%、「特にない(特になかった)」が8.0%となっている。

性別、年齢別問わず「少しはある(少しはあった)」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「かなりある(かなりあった)」が14.0ポイント増加した一方、「特にない(特になかった)」は8.6ポイント減少している。

【子育てする上での悩みや不安の有無】



		サンプル数	かなりある(かなりあった) (かな)	少しはある(少しはあった) (少し)	特にない(特になかった) (特にな)	無回答
上段：度数						
下段：%						
今回調査		5,113	1,659	2,971	409	74
		100.0	32.4	58.1	8.0	1.4
前回調査		913	168	497	152	96
		100.0	18.4	54.4	16.6	10.5
性別	男性	1,966	521	1,198	223	24
		100.0	26.5	60.9	11.3	1.2
	女性	3,137	1,133	1,769	185	50
		100.0	36.1	56.4	5.9	1.6
	その他	10	5	4	1	0
		100.0	50.0	40.0	10.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	57	140	27	2
		100.0	25.2	61.9	11.9	0.9
	30歳代	1,147	399	668	61	19
		100.0	34.8	58.2	5.3	1.7
	40歳代	1,538	519	888	102	29
	100.0	33.7	57.7	6.6	1.9	
50歳代	1,100	403	606	78	13	
	100.0	36.6	55.1	7.1	1.2	
60歳代	849	238	515	89	7	
	100.0	28.0	60.7	10.5	0.8	
70歳代以上	244	41	148	51	4	
	100.0	16.8	60.7	20.9	1.6	
地域別	鹿児島地域	3,033	999	1,759	246	29
		100.0	32.9	58.0	8.1	1.0
	南薩地域	302	88	188	19	7
		100.0	29.1	62.3	6.3	2.3
	北薩地域	391	123	234	27	7
		100.0	31.5	59.8	6.9	1.8
	姶良・伊佐地域	667	231	377	45	14
	100.0	34.6	56.5	6.7	2.1	
大隅地域	499	147	297	46	9	
	100.0	29.5	59.5	9.2	1.8	
熊毛地域	68	20	38	8	2	
	100.0	29.4	55.9	11.8	2.9	
大島地域	128	43	63	16	6	
	100.0	33.6	49.2	12.5	4.7	

問 35 あなたの子育ての心理面での悩みはどんなことですか。(〇はいくつでも)

【回答者：問 34 で「かなりある (かなりあった)」「少しはある (少しはあった)」と回答した方】

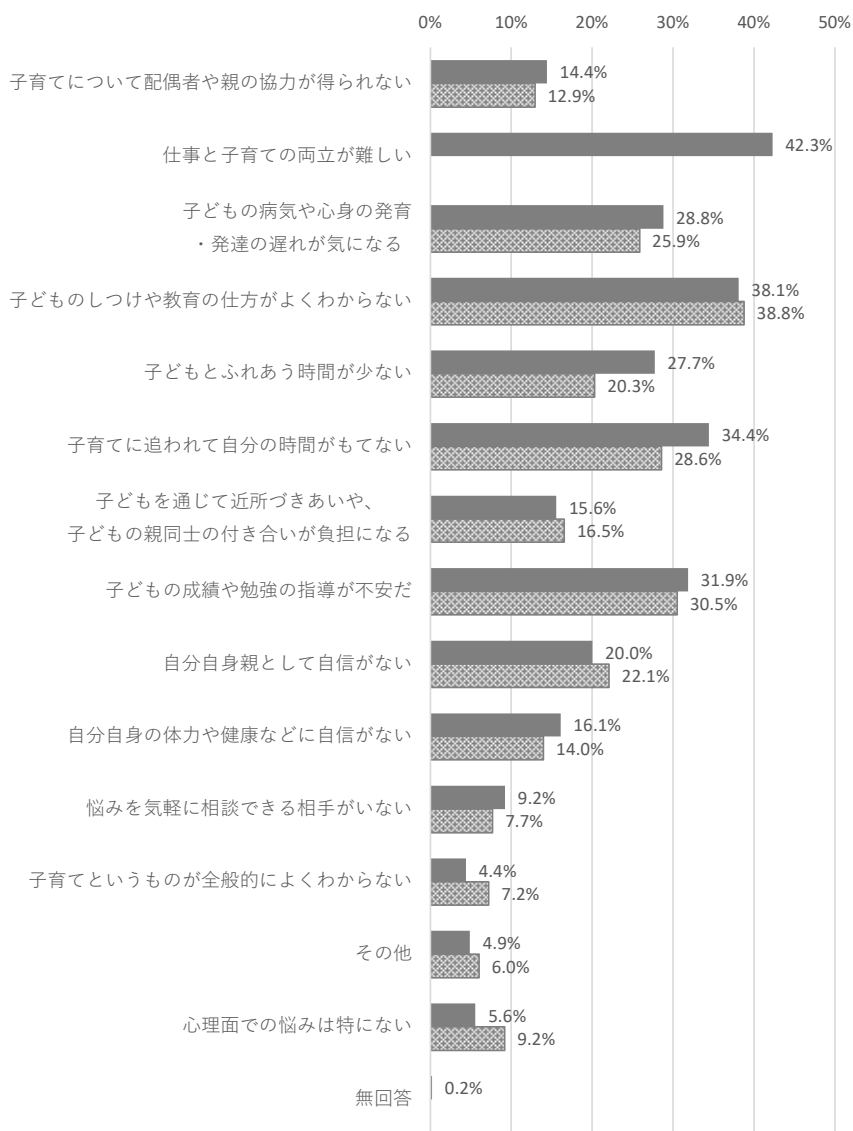
子育ての心理面の悩みについて、「仕事と子育ての両立が難しい」が 42.3%で最も多く、次いで「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」(38.1%)、「子育てに追われて自分の時間がもてない」(34.4%)となっている。

性別でみると、男性は「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」、女性は「仕事と子育ての両立が難しい」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、40 歳代以下と 70 歳代以上で「仕事と子育ての両立が難しい」、50 歳代～60 歳代で「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「子どもとふれあう時間が少ない」が 7.4 ポイント、「子育てに追われて自分の時間がもてない」が 5.8 ポイントそれぞれ増加している。

【子育ての心理面での悩み】



■ 今回調査 (n=4,630) ▨ 前回調査 (n=665)

※今回調査から「仕事と子育ての両立が難しい」を追加

問 36 あなたの子育ての環境面での悩みはどんなことですか。(〇はいくつでも)

【回答者：問 34 で「かなりある (かなりあった)」「少しはある (少しはあった)」と回答した方】

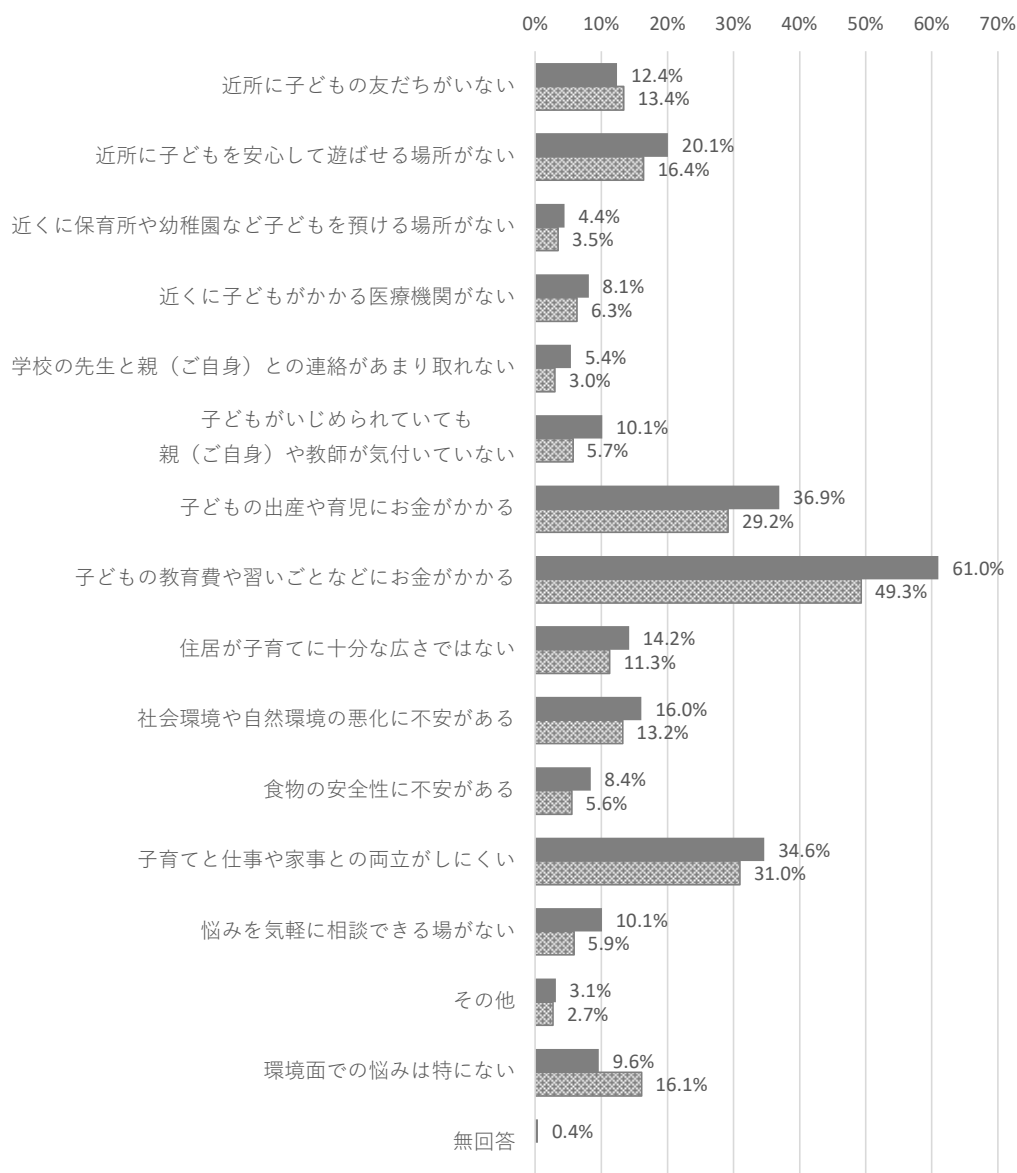
子育ての環境面での悩みについて、「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」が61.0%で最も多く、次いで「子どもの出産や育児にお金がかかる」(36.9%)、「子育てと仕事や家事との両立がしにくい」(34.6%)となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代は「子どもの出産や育児にお金がかかる」、その他の年代は「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」が11.7ポイント、「子どもの出産や育児にお金がかかる」が7.7ポイントそれぞれ増加している。

【子育ての環境面での悩み】



■ 今回調査 (n=4,630) ▨ 前回調査 (n=665)

	サンプル数	近所に子どもがいない	近所に子どもを遊ばせる場所がない	近所に子どもを預ける場所がない	近くに保育所や幼稚園などがない	近くに医療機関がない	近くに子どもが絡があまり取れない	（ご自身）や教師が気をつけていない	子どもが親（ご）に金がかかるといわれる	子どものお金がかかる	子どもが教育費がかかる	子どもが住居が広さではない	環境の悪化に不安がある	社会環境や自然環境の悪化に不安がある	食物の安全性に不安がある	くすの両立が難しい	子育てと仕事に悩む	できる場がない	悩みを気軽に相談	その他	環境面での悩みは	無回答
上段：度数																						
下段：%																						
今回調査	4,630	573	931	206	375	250	469	1,709	2,824	657	743	388	1,604	466	144	446	20					
	100.0	12.4	20.1	4.4	8.1	5.4	10.1	36.9	61.0	14.2	16.0	8.4	34.6	10.1	3.1	9.6	0.4					
前回調査	865	89	109	23	42	20	38	194	328	75	88	37	206	39	18	107	—					
	100.0	10.3	12.4	2.7	4.8	2.3	4.4	22.4	37.9	8.6	10.1	4.3	23.8	2.2	2.1	12.3	—					
性別																						
男性	1,719	177	315	64	115	98	216	331	484	223	268	104	437	139	34	214	12					
	100.0	10.3	18.3	3.7	6.7	5.6	12.6	30.9	57.2	13.0	15.6	6.1	25.4	9.2	2.0	12.4	0.7					
女性	2,902	395	614	142	259	153	252	1,174	1,835	434	475	284	1,166	307	110	229	8					
	100.0	13.6	21.2	4.9	8.9	5.3	8.7	40.5	63.2	15.0	16.4	9.8	40.2	10.6	3.8	7.9	0.3					
その他	9	1	2	0	1	1	1	4	5	0	0	0	1	0	0	3	0					
	100.0	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0					
年齢																						
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
20歳代	197	37	40	19	12	4	4	135	109	47	23	12	90	14	5	13	2					
	100.0	18.8	20.3	9.6	6.1	2.0	2.0	70.6	55.3	23.9	12.2	6.1	45.7	7.1	2.5	6.6	1.0					
30歳代	1,067	218	295	79	108	44	43	618	684	244	165	90	512	88	42	46	3					
	100.0	20.4	27.6	7.4	10.1	4.1	4.0	57.9	64.1	22.9	15.5	8.4	48.0	8.2	3.9	4.3	0.3					
40歳代	1,407	168	321	46	119	78	116	482	957	217	205	117	520	124	52	121	4					
	100.0	11.9	22.8	3.3	8.5	5.5	8.2	34.3	68.0	15.4	14.6	8.3	37.0	8.8	3.7	8.6	0.3					
50歳代	1,009	95	157	28	59	65	137	273	354	86	169	79	265	128	25	116	2					
	100.0	9.4	15.6	2.8	5.8	6.4	13.6	27.1	62.8	8.5	16.7	7.8	26.3	12.7	2.5	11.5	0.2					
60歳代	753	46	90	25	65	42	136	170	361	51	132	72	179	86	18	115	4					
	100.0	6.1	12.0	3.3	8.6	5.6	18.1	22.6	47.9	6.8	17.5	9.6	23.8	11.4	2.4	15.3	0.5					
70歳代以上	189	7	27	9	12	16	31	25	75	12	12	47	17	35	24	34	4					
	100.0	3.7	14.3	4.8	6.3	8.5	16.4	13.2	39.7	6.3	24.9	9.0	18.5	12.7	1.1	18.0	2.1					
地域別																						
鹿児島地域	2,758	289	516	137	133	154	285	1,006	1,730	404	467	232	974	288	82	268	6					
	100.0	10.5	18.7	5.0	4.8	5.6	10.3	36.5	62.7	14.6	16.9	8.4	35.3	10.4	3.0	9.7	0.2					
南薩地域	276	43	86	5	43	21	27	34	164	30	38	19	30	27	9	23	1					
	100.0	17.4	23.9	1.8	17.4	7.6	9.8	34.1	59.4	10.9	13.0	6.9	29.0	9.8	3.3	8.3	0.4					
北薩地域	357	63	93	9	28	16	41	134	202	46	52	21	124	35	10	34	2					
	100.0	17.6	26.1	2.5	7.8	4.5	11.5	37.5	56.6	12.9	14.6	5.9	34.7	9.8	2.8	9.5	0.6					
姶良・伊佐地域	608	70	110	28	44	31	58	228	374	92	96	59	199	57	27	64	6					
	100.0	11.5	18.1	4.6	7.2	5.1	9.5	37.5	61.5	15.1	15.8	9.7	32.7	9.4	4.4	10.5	1.0					
大隅地域	444	83	104	15	82	24	44	174	248	49	68	33	154	41	10	38	4					
	100.0	18.7	23.4	3.4	18.5	5.4	9.9	39.2	55.9	11.0	15.3	7.4	34.7	9.2	2.3	8.6	0.9					
熊毛地域	38	9	11	5	13	2	8	15	31	5	8	7	20	6	1	8	0					
	100.0	15.5	19.0	8.6	22.4	3.4	13.8	31.0	53.4	13.8	13.8	12.1	34.5	13.8	1.7	10.3	0.0					
大島地域	106	8	28	6	24	0	3	43	62	24	10	12	43	8	5	10	1					
	100.0	7.5	26.4	5.7	22.6	0.0	2.8	40.6	58.5	22.6	9.4	11.3	40.6	7.5	4.7	9.4	0.9					

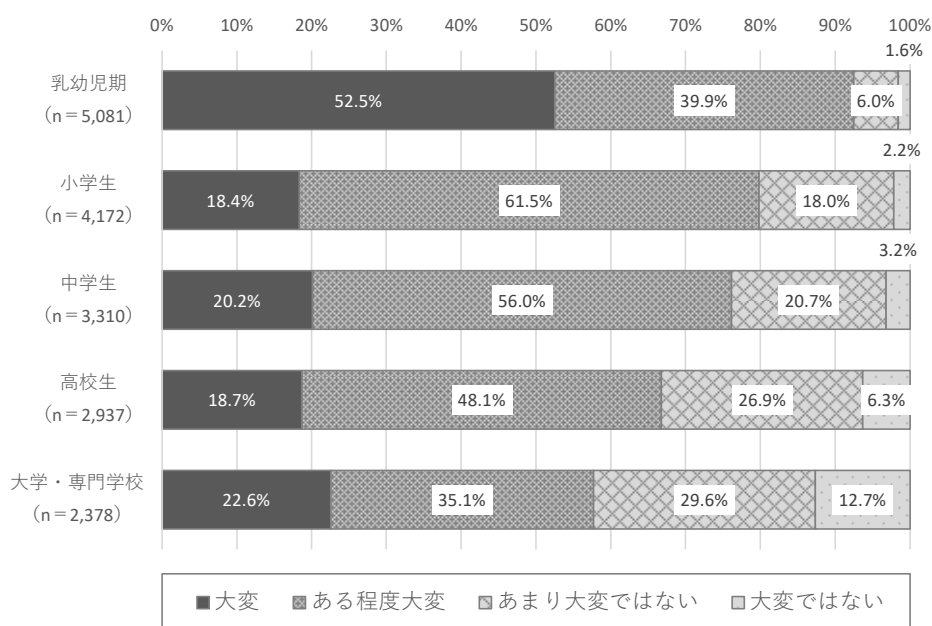
問 37 あなたが子育てをしていく上で、それぞれの時期の大変さの程度について、あてはまる番号に○を付けてください。なお、子育てを既に終えた方は、過去の経験についてお答えください。(時期ごとに○はひとつ)

子育ての大変さの程度について、『大変』（「大変」と「ある程度大変」の合計）は、乳幼児期が約9割と最も多く、小学生、中学生が約8割、高校生が約7割、大学・専門学生が約6割と、子どもが成長するにつれて大変さの程度は低くなっている。

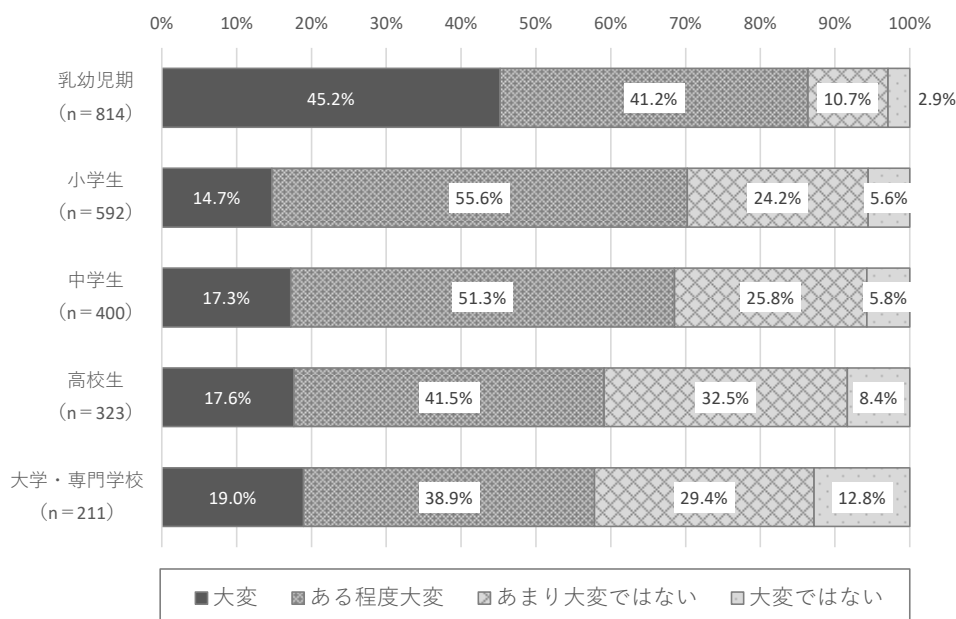
前回調査と比較すると、『大変』は乳幼児期が6.0ポイント、小学生が9.6ポイント、中学生が7.6ポイント、高校生が7.7ポイントそれぞれ増加している。

【子育ての大変さの程度】

<今回>



<前回>



問 38 あなたは以下の子育て支援サービスをご存知ですか。また、利用したことがありますか。

(※知っているかどうか、利用したことがあるか、それぞれ○をひとつずつ)

<認知度>

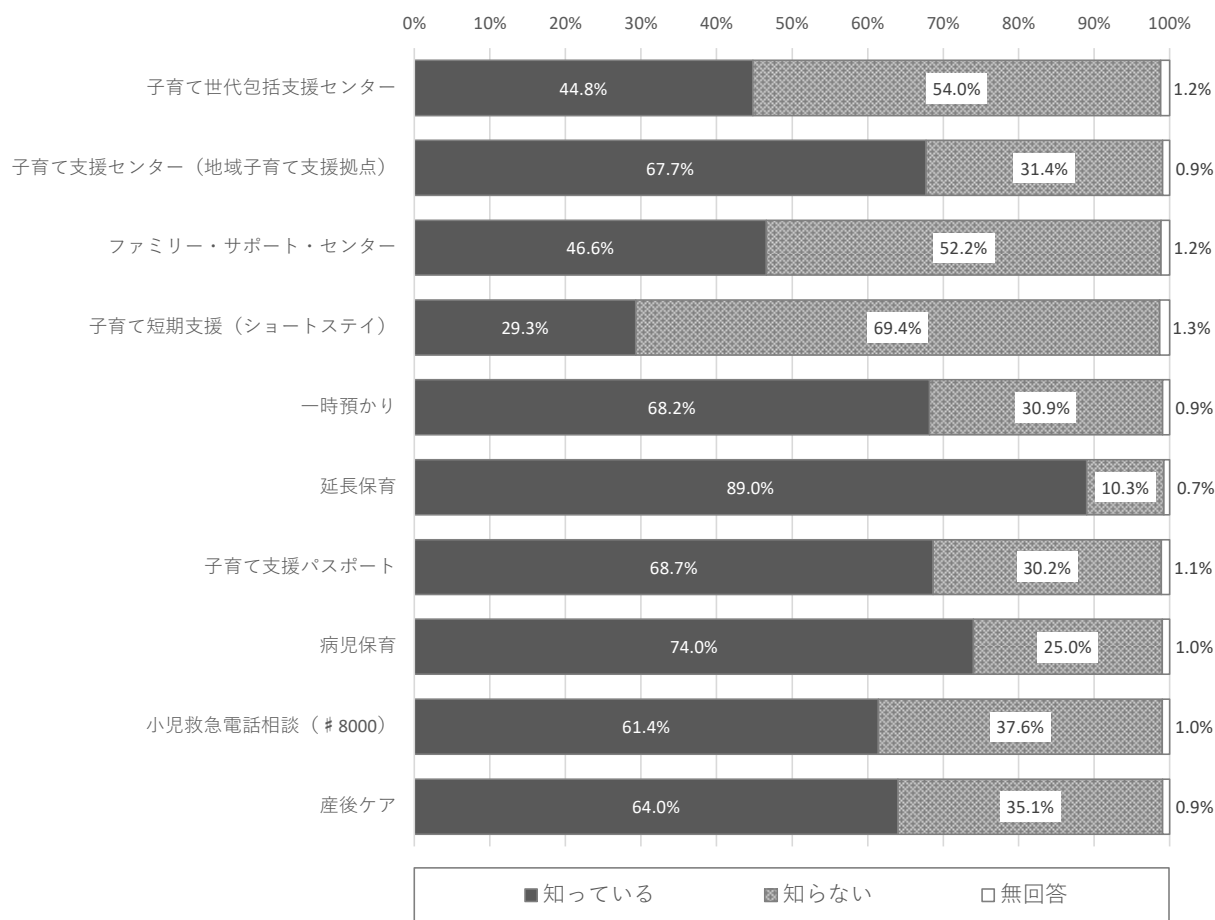
子育て支援サービスの認知度について、「知っている」は「延長保育」が89.0%で最も高く、次いで「病児保育」(74.0%)、「子育て支援パスポート」(68.7%)となっている。

「子育て短期支援(ショートステイ)」「子育て世代包括支援センター」「ファミリー・サポート・センター」において、「知っている」は半数以下にとどまっている。

前回調査と比較すると、「知っている」は「病児保育」が12.9ポイント、「子育て世代包括支援センター」が11.3ポイント、「ファミリー・サポート・センター」が10.7ポイント、「子育て短期支援(ショートステイ)」が6.6ポイント、「延長保育」が6.3ポイントそれぞれ増加している。

【子育て支援サービスの認知度】

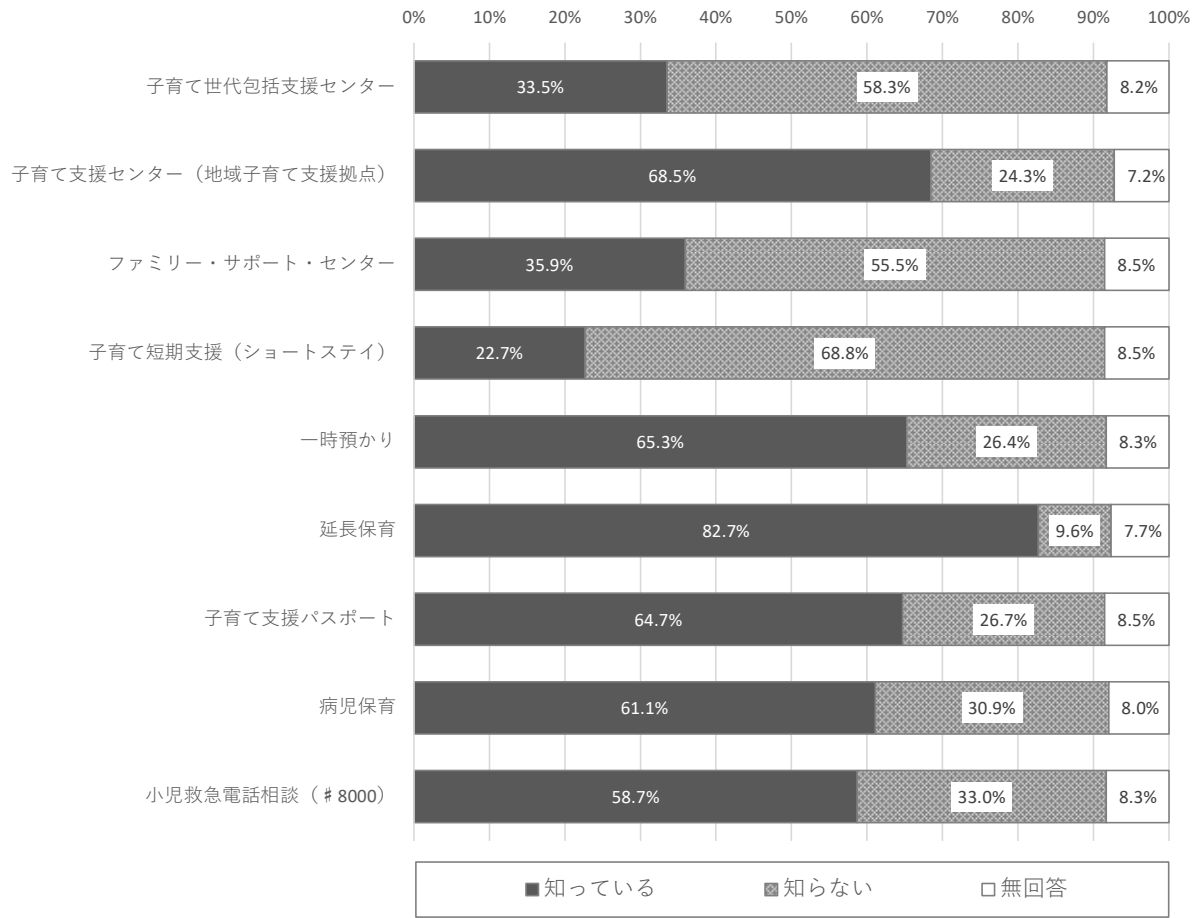
<今回>



今回調査 (n=5,113)

※今回調査から「産後ケア」を追加

< 前回 >



前回調査 (n=913)

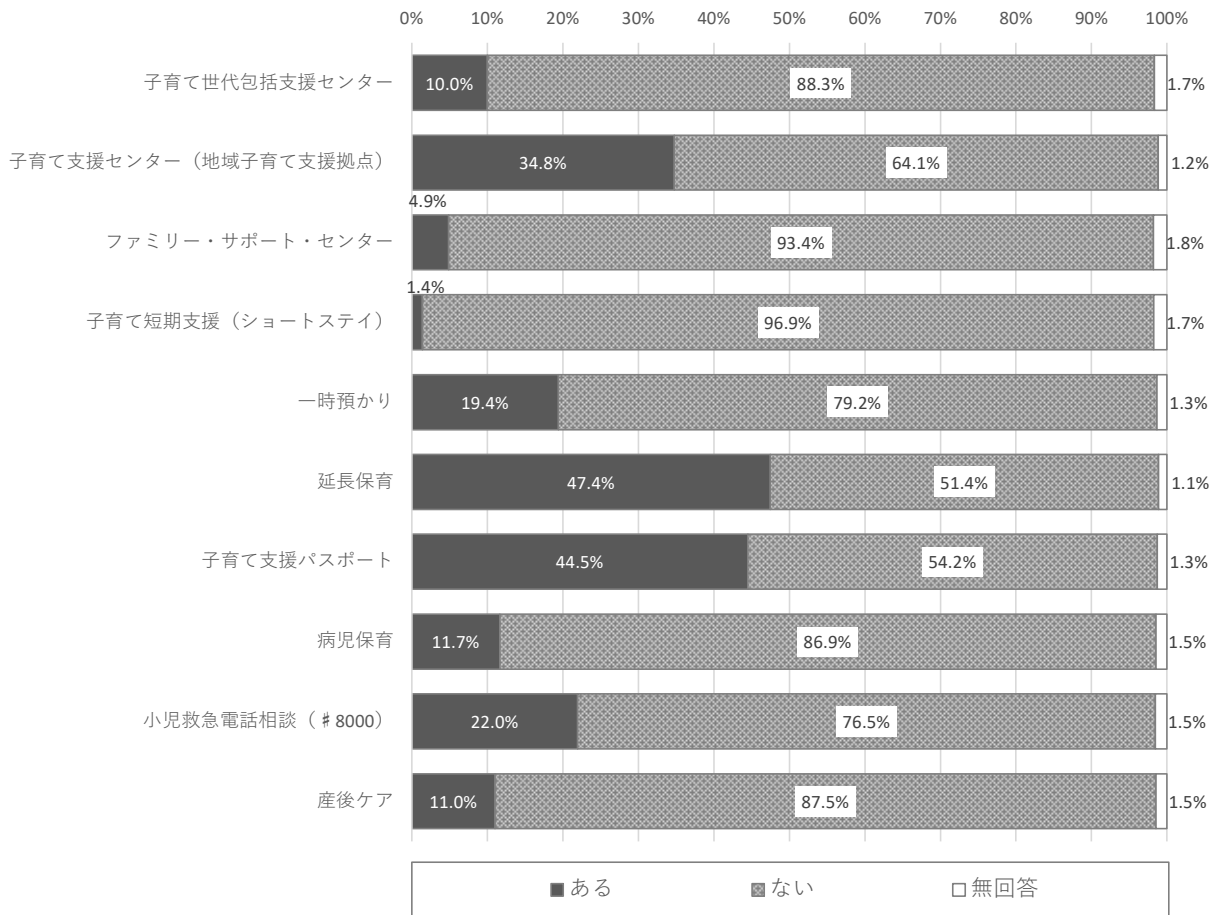
<利用状況>

子育て支援サービスの利用状況について、利用したことが「ある」は「延長保育」が 47.4%で最も多く、次いで「子育て支援パスポート」(44.5%)、「子育て支援センター（地域子育て支援拠点）」(34.8%) となっている。

前回調査と比較すると、利用したことが「ある」は、「延長保育」で 5.3 ポイント増加している。

【子育て支援サービスの利用状況】

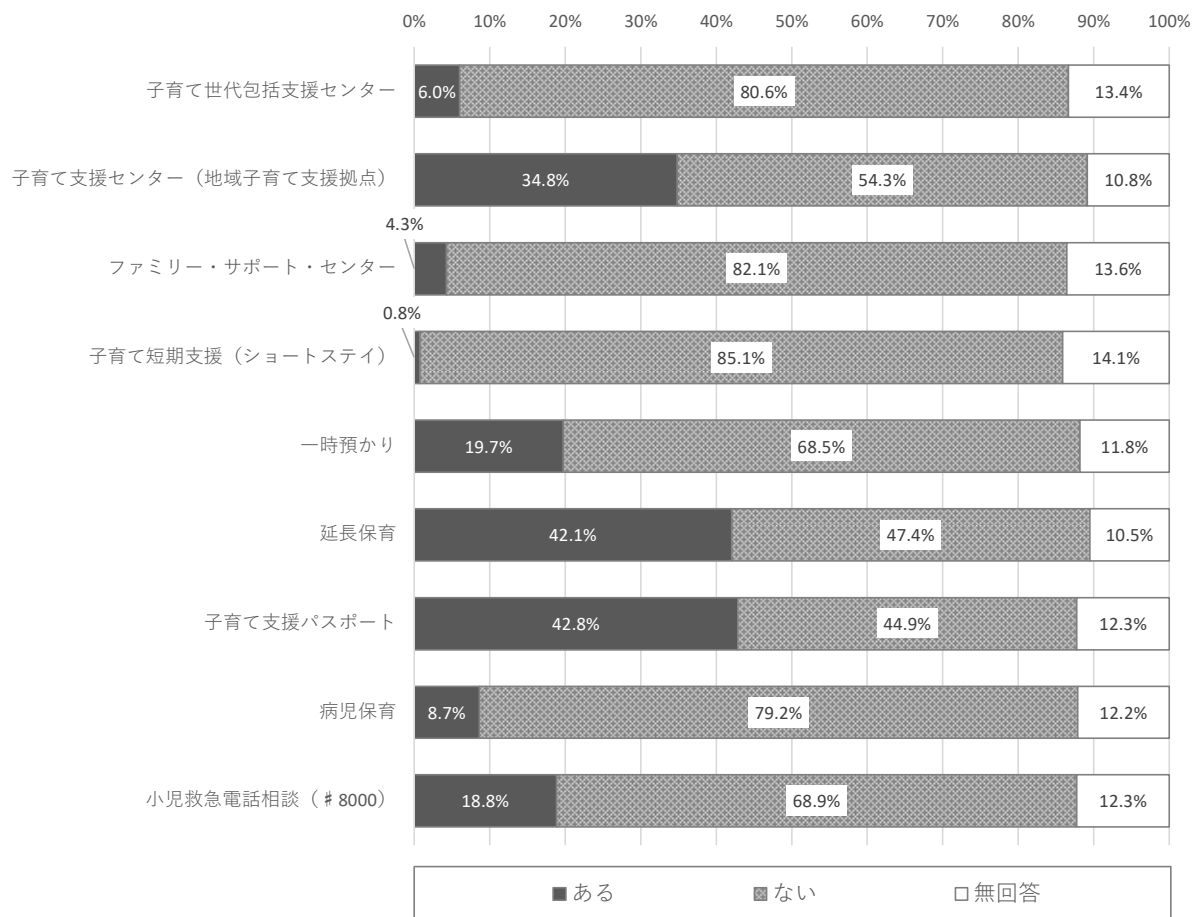
<今回>



今回調査（n=5,113）

※今回調査から「産後ケア」を追加

< 前回 >



前回調査 (n=913)

<子育て世代包括支援センター>
認知度

		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	2,291 44.8	2,761 54.0	61 1.2
前回調査		913 100.0	306 33.5	532 58.3	75 8.2
性 別	男性	1,966 100.0	797 40.5	1,138 57.9	31 1.6
	女性	3,137 100.0	1,486 47.4	1,621 51.7	30 1.0
	その他	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	134 59.3	90 39.8	2 0.9
	30歳代	1,147 100.0	580 50.6	557 48.6	10 0.9
	40歳代	1,538 100.0	708 46.0	817 53.1	13 0.8
	50歳代	1,100 100.0	437 39.7	652 59.3	11 1.0
	60歳代	849 100.0	328 38.6	505 59.5	16 1.9
	70歳代以上	244 100.0	100 41.0	136 55.7	8 3.3
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,289 42.5	1,718 56.6	26 0.9
	南薩地域	302 100.0	142 47.0	152 50.3	8 2.6
	北薩地域	391 100.0	194 49.6	192 49.1	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	281 42.1	372 55.8	14 2.1
	大隅地域	499 100.0	266 53.3	228 45.7	5 1.0
	熊毛地域	68 100.0	33 48.5	33 48.5	2 2.9
	大島地域	128 100.0	76 59.4	51 39.8	1 0.8

利用状況

		サ ン プ ル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	512 10.0	4,516 88.3	85 1.7
前回調査		913 100.0	55 6.0	736 80.6	122 13.4
性 別	男性	1,966 100.0	140 7.1	1,788 90.9	38 1.9
	女性	3,137 100.0	370 11.8	2,720 86.7	47 1.5
	その他	10 100.0	2 20.0	8 80.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	47 20.8	178 78.8	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	196 17.1	930 81.1	21 1.8
	40歳代	1,538 100.0	193 12.5	1,317 85.6	28 1.8
	50歳代	1,100 100.0	60 5.5	1,031 93.7	9 0.8
	60歳代	849 100.0	15 1.8	817 96.2	17 2.0
	70歳代以上	244 100.0	1 0.4	235 96.3	8 3.3
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	276 9.1	2,713 89.4	44 1.5
	南薩地域	302 100.0	31 10.3	264 87.4	7 2.3
	北薩地域	391 100.0	51 13.0	335 85.7	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	62 9.3	589 88.3	16 2.4
	大隅地域	499 100.0	65 13.0	425 85.2	9 1.8
	熊毛地域	68 100.0	6 8.8	60 88.2	2 2.9
	大島地域	128 100.0	18 14.1	108 84.4	2 1.6

<子育て支援センター>
認知度

		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	3,463 67.7	1,603 31.4	47 0.9
前回調査		913 100.0	625 68.5	222 24.3	66 7.2
性 別	男性	1,966 100.0	1,027 52.2	913 46.4	26 1.3
	女性	3,137 100.0	2,427 77.4	689 22.0	21 0.7
	その他	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	196 86.7	29 12.8	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	972 84.7	168 14.6	7 0.6
	40歳代	1,538 100.0	1,138 74.0	389 25.3	11 0.7
	50歳代	1,100 100.0	625 56.8	467 42.5	8 0.7
	60歳代	849 100.0	411 48.4	424 49.9	14 1.6
	70歳代以上	244 100.0	116 47.5	122 50.0	6 2.5
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,975 65.1	1,041 34.3	17 0.6
	南薩地域	302 100.0	202 66.9	94 31.1	6 2.0
	北薩地域	391 100.0	282 72.1	106 27.1	3 0.8
	始良・伊佐地域	667 100.0	460 69.0	197 29.5	10 1.5
	大隅地域	499 100.0	388 77.8	103 20.6	8 1.6
	熊毛地域	68 100.0	52 76.5	14 20.6	2 2.9
	大島地域	128 100.0	85 66.4	42 32.8	1 0.8

利用状況

		サ ン プ ル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	1,778 34.8	3,275 64.1	60 1.2
前回調査		913 100.0	318 34.8	496 54.3	99 10.8
性 別	男性	1,966 100.0	341 17.3	1,595 81.1	30 1.5
	女性	3,137 100.0	1,431 45.6	1,676 53.4	30 1.0
	その他	10 100.0	6 60.0	4 40.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	121 53.5	104 46.0	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	700 61.0	435 37.9	12 1.0
	40歳代	1,538 100.0	702 45.6	816 53.1	20 1.3
	50歳代	1,100 100.0	208 18.9	886 80.5	6 0.5
	60歳代	849 100.0	38 4.5	798 94.0	13 1.5
	70歳代以上	244 100.0	6 2.5	231 94.7	7 2.9
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,021 33.7	1,983 65.4	29 1.0
	南薩地域	302 100.0	85 28.1	210 69.5	7 2.3
	北薩地域	391 100.0	134 34.3	254 65.0	3 0.8
	始良・伊佐地域	667 100.0	253 37.9	403 60.4	11 1.6
	大隅地域	499 100.0	210 42.1	282 56.5	7 1.4
	熊毛地域	68 100.0	29 42.6	38 55.9	1 1.5
	大島地域	128 100.0	35 27.3	91 71.1	2 1.6

<ファミリー・サポート・センター>

認知度

		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	2,383 46.6	2,671 52.2	59 1.2
前回調査		913 100.0	328 35.9	507 55.5	78 8.5
性 別	男性	1,966 100.0	540 27.5	1,399 71.2	27 1.4
	女性	3,137 100.0	1,835 58.5	1,270 40.5	32 1.0
	その他	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	119 52.7	104 46.0	3 1.3
	30歳代	1,147 100.0	682 59.5	454 39.6	11 1.0
	40歳代	1,538 100.0	802 52.1	720 46.8	16 1.0
	50歳代	1,100 100.0	478 43.5	613 55.7	9 0.8
	60歳代	849 100.0	240 28.3	598 70.4	11 1.3
	70歳代以上	244 100.0	57 23.4	179 73.4	8 3.3
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,389 45.8	1,619 53.4	25 0.8
	南薩地域	302 100.0	128 42.4	166 55.0	8 2.6
	北薩地域	391 100.0	180 46.0	206 52.7	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	303 45.4	353 52.9	11 1.6
	大隅地域	499 100.0	269 53.9	224 44.9	6 1.2
	熊毛地域	68 100.0	31 45.6	34 50.0	3 4.4
	大島地域	128 100.0	69 53.9	58 45.3	1 0.8

利用状況

		サ ン プ ル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	249 4.9	4,773 93.4	91 1.8
前回調査		913 100.0	39 4.3	750 82.1	124 13.6
性 別	男性	1,966 100.0	73 3.7	1,853 94.3	40 2.0
	女性	3,137 100.0	175 5.6	2,911 92.8	51 1.6
	その他	10 100.0	1 10.0	9 90.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	8 3.5	216 95.6	2 0.9
	30歳代	1,147 100.0	71 6.2	1,057 92.2	19 1.7
	40歳代	1,538 100.0	103 6.7	1,404 91.3	31 2.0
	50歳代	1,100 100.0	47 4.3	1,040 94.5	13 1.2
	60歳代	849 100.0	14 1.6	820 96.6	15 1.8
	70歳代以上	244 100.0	5 2.0	229 93.9	10 4.1
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	154 5.1	2,836 93.5	43 1.4
	南薩地域	302 100.0	6 2.0	288 95.4	8 2.6
	北薩地域	391 100.0	21 5.4	361 92.3	9 2.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	25 3.7	625 93.7	17 2.5
	大隅地域	499 100.0	28 5.6	462 92.6	9 1.8
	熊毛地域	68 100.0	3 4.4	62 91.2	3 4.4
	大島地域	128 100.0	10 7.8	116 90.6	2 1.6

<子育て短期支援（ショートステイ）>

認知度

		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	1,499 29.3	3,547 69.4	67 1.3
前回調査		913 100.0	207 22.7	628 68.8	78 8.5
性 別	男性	1,966 100.0	431 21.9	1,502 76.4	33 1.7
	女性	3,137 100.0	1,062 33.9	2,041 65.1	34 1.1
	その他	10 100.0	6 60.0	4 40.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	88 38.9	137 60.6	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	394 34.4	743 64.8	10 0.9
	40歳代	1,538 100.0	461 30.0	1,061 69.0	16 1.0
	50歳代	1,100 100.0	302 27.5	786 71.5	12 1.1
	60歳代	849 100.0	199 23.4	632 74.4	18 2.1
	70歳代以上	244 100.0	53 21.7	182 74.6	9 3.7
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	850 28.0	2,160 71.2	23 0.8
	南薩地域	302 100.0	94 31.1	200 66.2	8 2.6
	北薩地域	391 100.0	115 29.4	270 69.1	6 1.5
	始良・伊佐地域	667 100.0	213 31.9	439 65.8	15 2.2
	大隅地域	499 100.0	174 34.9	318 63.7	7 1.4
	熊毛地域	68 100.0	18 26.5	46 67.6	4 5.9
	大島地域	128 100.0	32 25.0	92 71.9	4 3.1

利用状況

		サ ン プ ル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	72 1.4	4,952 96.9	89 1.7
前回調査		913 100.0	7 0.8	777 85.1	129 14.1
性 別	男性	1,966 100.0	28 1.4	1,902 96.7	36 1.8
	女性	3,137 100.0	44 1.4	3,040 96.9	53 1.7
	その他	10 100.0	0 0.0	10 100.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	3 1.3	220 97.3	3 1.3
	30歳代	1,147 100.0	13 1.1	1,113 97.0	21 1.8
	40歳代	1,538 100.0	28 1.8	1,480 96.2	30 2.0
	50歳代	1,100 100.0	18 1.6	1,072 97.5	10 0.9
	60歳代	849 100.0	6 0.7	829 97.6	14 1.6
	70歳代以上	244 100.0	4 1.6	230 94.3	10 4.1
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	38 1.3	2,950 97.3	45 1.5
	南薩地域	302 100.0	5 1.7	289 95.7	8 2.6
	北薩地域	391 100.0	4 1.0	381 97.4	6 1.5
	始良・伊佐地域	667 100.0	14 2.1	636 95.4	17 2.5
	大隅地域	499 100.0	9 1.8	481 96.4	9 1.8
	熊毛地域	68 100.0	1 1.5	65 95.6	2 2.9
	大島地域	128 100.0	1 0.8	125 97.7	2 1.6

<一時預かり>

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	3,487 68.2	1,578 30.9	48 0.9
前回調査		913 100.0	596 65.3	241 26.4	76 8.3
性別	男性	1,966 100.0	1,120 57.0	820 41.7	26 1.3
	女性	3,137 100.0	2,358 75.2	757 24.1	22 0.7
	その他	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	193 85.4	32 14.2	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	944 82.3	197 17.2	6 0.5
	40歳代	1,538 100.0	1,085 70.5	442 28.7	11 0.7
	50歳代	1,100 100.0	680 61.8	412 37.5	8 0.7
	60歳代	849 100.0	467 55.0	367 43.2	15 1.8
	70歳代以上	244 100.0	111 45.5	126 51.6	7 2.9
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	2,023 66.7	994 32.8	16 0.5
	南薩地域	302 100.0	206 68.2	89 29.5	7 2.3
	北薩地域	391 100.0	277 70.8	110 28.1	4 1.0
	始良・伊佐地域	667 100.0	457 68.5	198 29.7	12 1.8
	大隅地域	499 100.0	360 72.1	133 26.7	6 1.2
	熊毛地域	68 100.0	50 73.5	16 23.5	2 2.9
	大島地域	128 100.0	99 77.3	28 21.9	1 0.8

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	992 19.4	4,052 79.2	69 1.3
前回調査		913 100.0	180 19.7	625 68.5	108 11.8
性別	男性	1,966 100.0	269 13.7	1,666 84.7	31 1.6
	女性	3,137 100.0	720 23.0	2,379 75.8	38 1.2
	その他	10 100.0	3 30.0	7 70.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	37 16.4	188 83.2	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	274 23.9	860 75.0	13 1.1
	40歳代	1,538 100.0	409 26.6	1,105 71.8	24 1.6
	50歳代	1,100 100.0	203 18.5	888 80.7	9 0.8
	60歳代	849 100.0	56 6.6	781 92.0	12 1.4
	70歳代以上	244 100.0	12 4.9	223 91.4	9 3.7
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	574 18.9	2,430 80.1	29 1.0
	南薩地域	302 100.0	54 17.9	241 79.8	7 2.3
	北薩地域	391 100.0	70 17.9	315 80.6	6 1.5
	始良・伊佐地域	667 100.0	147 22.0	506 75.9	14 2.1
	大隅地域	499 100.0	101 20.2	391 78.4	7 1.4
	熊毛地域	68 100.0	12 17.6	54 79.4	2 2.9
	大島地域	128 100.0	29 22.7	95 74.2	4 3.1

<延長保育>

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	4,550 89.0	525 10.3	38 0.7
前回調査		913 100.0	755 82.7	88 9.6	70 7.7
性別	男性	1,966 100.0	1,613 82.0	333 16.9	20 1.0
	女性	3,137 100.0	2,927 93.3	192 6.1	18 0.6
	その他	10 100.0	10 100.0	0 0.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	212 93.8	13 5.8	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	1,074 93.6	66 5.8	7 0.6
	40歳代	1,538 100.0	1,376 89.5	151 9.8	11 0.7
	50歳代	1,100 100.0	987 89.7	105 9.5	8 0.7
	60歳代	849 100.0	720 84.8	123 14.5	6 0.7
	70歳代以上	244 100.0	173 70.9	66 27.0	5 2.0
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	2,683 88.5	337 11.1	13 0.4
	南薩地域	302 100.0	270 89.4	29 9.6	3 1.0
	北薩地域	391 100.0	354 90.5	32 8.2	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	595 89.2	63 9.4	9 1.3
	大隅地域	499 100.0	457 91.6	38 7.6	4 0.8
	熊毛地域	68 100.0	55 80.9	11 16.2	2 2.9
	大島地域	128 100.0	114 89.1	12 9.4	2 1.6

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	2,426 47.4	2,630 51.4	57 1.1
前回調査		913 100.0	384 42.1	433 47.4	96 10.5
性別	男性	1,966 100.0	757 38.5	1,187 60.4	22 1.1
	女性	3,137 100.0	1,664 53.0	1,438 45.8	35 1.1
	その他	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	64 28.3	161 71.2	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	566 49.3	569 49.6	12 1.0
	40歳代	1,538 100.0	935 60.8	586 38.1	17 1.1
	50歳代	1,100 100.0	573 52.1	520 47.3	7 0.6
	60歳代	849 100.0	260 30.6	577 68.0	12 1.4
	70歳代以上	244 100.0	21 8.6	215 88.1	8 3.3
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,503 49.6	1,506 49.7	24 0.8
	南薩地域	302 100.0	136 45.0	162 53.6	4 1.3
	北薩地域	391 100.0	173 44.2	212 54.2	6 1.5
	始良・伊佐地域	667 100.0	282 42.3	373 55.9	12 1.8
	大隅地域	499 100.0	239 47.9	253 50.7	7 1.4
	熊毛地域	68 100.0	27 39.7	39 57.4	2 2.9
	大島地域	128 100.0	53 41.4	73 57.0	2 1.6

<子育て支援パスポート>
認知度

		サン ブル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	3,512 68.7	1,545 30.2	56 1.1
前回調査		913 100.0	591 64.7	244 26.7	78 8.5
性別	男性	1,966 100.0	1,092 55.5	843 42.9	31 1.6
	女性	3,137 100.0	2,411 76.9	701 22.3	25 0.8
	その他	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	180 79.6	44 19.5	2 0.9
	30歳代	1,147 100.0	998 87.0	141 12.3	8 0.7
	40歳代	1,538 100.0	1,283 82.1	265 17.2	10 0.7
	50歳代	1,100 100.0	682 62.0	410 37.3	8 0.7
	60歳代	849 100.0	308 36.3	520 61.2	21 2.5
	70歳代以上	244 100.0	74 30.3	163 66.8	7 2.9
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	2,147 70.8	865 28.5	21 0.7
	南薩地域	302 100.0	194 64.2	103 34.1	5 1.7
	北薩地域	391 100.0	273 69.8	114 29.2	4 1.0
	始良・伊佐地域	667 100.0	394 59.1	258 38.7	15 2.2
	大隅地域	499 100.0	380 76.2	112 22.4	7 1.4
	熊毛地域	68 100.0	37 54.4	29 42.6	2 2.9
	大島地域	128 100.0	68 53.1	58 45.3	2 1.6

利用状況

		サン ブル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	2,275 44.5	2,771 54.2	67 1.3
前回調査		913 100.0	391 42.8	410 44.9	112 12.3
性別	男性	1,966 100.0	646 32.9	1,290 65.6	30 1.5
	女性	3,137 100.0	1,624 51.8	1,476 47.1	37 1.2
	その他	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	105 46.5	120 53.1	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	739 64.4	396 34.5	12 1.0
	40歳代	1,538 100.0	979 63.7	540 35.1	19 1.2
	50歳代	1,100 100.0	395 35.9	697 63.4	8 0.7
	60歳代	849 100.0	46 5.4	786 92.6	17 2.0
	70歳代以上	244 100.0	6 2.5	229 93.9	9 3.7
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,482 48.9	1,523 50.2	28 0.9
	南薩地域	302 100.0	115 38.1	180 59.6	7 2.3
	北薩地域	391 100.0	154 39.4	232 59.3	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	213 31.9	441 66.1	13 1.9
	大隅地域	499 100.0	252 50.5	238 47.7	9 1.8
	熊毛地域	68 100.0	16 23.5	50 73.5	2 2.9
	大島地域	128 100.0	35 27.3	90 70.3	3 2.3

<病児保育>
認知度

		サン ブル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	3,785 74.0	1,279 25.0	49 1.0
前回調査		913 100.0	558 61.1	282 30.9	73 8.0
性別	男性	1,966 100.0	1,026 52.2	916 46.6	24 1.2
	女性	3,137 100.0	2,751 87.7	361 11.5	25 0.8
	その他	10 100.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	198 87.6	26 11.5	2 0.9
	30歳代	1,147 100.0	1,011 88.1	128 11.2	8 0.7
	40歳代	1,538 100.0	1,242 80.8	287 18.7	9 0.6
	50歳代	1,100 100.0	790 71.8	301 27.4	9 0.8
	60歳代	849 100.0	444 52.3	391 46.1	14 1.6
	70歳代以上	244 100.0	95 38.9	143 58.6	6 2.5
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	2,280 75.2	739 24.4	14 0.5
	南薩地域	302 100.0	196 64.9	97 32.1	9 3.0
	北薩地域	391 100.0	295 75.4	91 23.3	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	482 72.3	176 26.4	9 1.3
	大隅地域	499 100.0	386 77.4	106 21.2	7 1.4
	熊毛地域	68 100.0	41 60.3	24 35.3	3 4.4
	大島地域	128 100.0	89 69.5	38 29.7	1 0.8

利用状況

		サン ブル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	596 11.7	4,441 86.9	76 1.5
前回調査		913 100.0	79 8.7	723 79.2	111 12.2
性別	男性	1,966 100.0	180 9.2	1,753 89.2	33 1.7
	女性	3,137 100.0	415 13.2	2,679 85.4	43 1.4
	その他	10 100.0	1 10.0	9 90.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	21 9.3	204 90.3	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	190 16.6	945 82.4	12 1.0
	40歳代	1,538 100.0	268 17.4	1,241 80.7	29 1.9
	50歳代	1,100 100.0	90 8.2	1,002 91.1	8 0.7
	60歳代	849 100.0	18 2.1	814 95.9	17 2.0
	70歳代以上	244 100.0	7 2.9	229 93.9	8 3.3
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	397 13.1	2,602 85.8	34 1.1
	南薩地域	302 100.0	19 6.3	276 91.4	7 2.3
	北薩地域	391 100.0	45 11.5	341 87.2	5 1.3
	始良・伊佐地域	667 100.0	66 9.9	586 87.9	15 2.2
	大隅地域	499 100.0	46 9.2	443 88.8	10 2.0
	熊毛地域	68 100.0	5 7.4	61 89.7	2 2.9
	大島地域	128 100.0	16 12.5	109 85.2	3 2.3

<小児救急電話相談（#8000）>

認知度

		サン ブル 数	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	3,141 61.4	1,922 37.6	50 1.0
前回調査		913 100.0	536 58.7	301 33.0	76 8.3
性別	男性	1,966 100.0	794 40.4	1,146 58.3	26 1.3
	女性	3,137 100.0	2,340 74.6	773 24.6	24 0.8
	その他	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	199 88.1	25 11.1	2 0.9
	30歳代	1,147 100.0	985 85.9	154 13.4	8 0.7
	40歳代	1,538 100.0	1,084 70.5	446 29.0	8 0.5
	50歳代	1,100 100.0	521 47.4	570 51.8	9 0.8
	60歳代	849 100.0	270 31.8	565 66.5	14 1.6
	70歳代以上	244 100.0	79 32.4	157 64.3	8 3.3
	地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,849 61.0	1,170 38.6
南薩地域		302 100.0	169 56.0	125 41.4	8 2.6
北薩地域		391 100.0	251 64.2	134 34.3	6 1.5
始良・伊佐地域		667 100.0	412 61.8	244 36.6	11 1.6
大隅地域		499 100.0	333 66.7	158 31.7	8 1.6
熊毛地域		68 100.0	37 54.4	29 42.6	2 2.9
大島地域		128 100.0	76 59.4	51 39.8	1 0.8

利用状況

		サン ブル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	1,124 22.0	3,910 76.5	79 1.5
前回調査		913 100.0	172 18.8	629 68.9	112 12.3
性別	男性	1,966 100.0	265 13.5	1,662 84.5	39 2.0
	女性	3,137 100.0	857 27.3	2,240 71.4	40 1.3
	その他	10 100.0	2 20.0	8 80.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	82 36.3	143 63.3	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	458 39.9	675 58.8	14 1.2
	40歳代	1,538 100.0	415 27.0	1,096 71.3	27 1.8
	50歳代	1,100 100.0	123 11.2	968 88.0	9 0.8
	60歳代	849 100.0	34 4.0	798 94.0	17 2.0
	70歳代以上	244 100.0	10 4.1	224 91.8	10 4.1
	地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	679 22.4	2,324 76.6
南薩地域		302 100.0	41 13.6	252 83.4	9 3.0
北薩地域		391 100.0	85 21.7	298 76.2	8 2.0
始良・伊佐地域		667 100.0	157 23.5	493 73.9	17 2.5
大隅地域		499 100.0	125 25.1	364 72.9	10 2.0
熊毛地域		68 100.0	9 13.2	57 83.8	2 2.9
大島地域		128 100.0	23 18.0	102 79.7	3 2.3

<産後ケア>

認知度

		サン ブル 数	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	3,273 64.0	1,793 35.1	47 0.9
性別	男性	1,966 100.0	962 48.9	976 49.6	28 1.4
	女性	3,137 100.0	2,302 73.4	816 26.0	19 0.6
	その他	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	185 81.9	39 17.3	2 0.9
	30歳代	1,147 100.0	891 77.7	251 21.9	5 0.4
	40歳代	1,538 100.0	1,014 65.9	512 33.3	12 0.8
	50歳代	1,100 100.0	634 57.6	459 41.7	7 0.6
	60歳代	849 100.0	426 50.2	410 48.3	13 1.5
	70歳代以上	244 100.0	119 48.8	117 48.0	8 3.3
	地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,938 63.9	1,080 35.6
南薩地域		302 100.0	172 57.0	124 41.1	6 2.0
北薩地域		391 100.0	271 69.3	115 29.4	5 1.3
始良・伊佐地域		667 100.0	430 64.5	225 33.7	12 1.8
大隅地域		499 100.0	323 64.7	170 34.1	6 1.2
熊毛地域		68 100.0	43 63.2	24 35.3	1 1.5
大島地域		128 100.0	80 62.5	46 35.9	2 1.6

利用状況

		サン ブル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%					
今回調査		5,113 100.0	563 11.0	4,475 87.5	75 1.5
性別	男性	1,966 100.0	146 7.4	1,782 90.6	38 1.9
	女性	3,137 100.0	417 13.3	2,683 85.5	37 1.2
	その他	10 100.0	0 0.0	10 100.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	43 19.0	182 80.5	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	201 17.5	932 81.3	14 1.2
	40歳代	1,538 100.0	190 12.4	1,324 86.1	24 1.6
	50歳代	1,100 100.0	84 7.6	1,008 91.6	8 0.7
	60歳代	849 100.0	35 4.1	798 94.0	16 1.9
	70歳代以上	244 100.0	10 4.1	224 91.8	10 4.1
	地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	305 10.1	2,694 88.8
南薩地域		302 100.0	24 7.9	270 89.4	8 2.6
北薩地域		391 100.0	71 18.2	315 80.6	5 1.3
始良・伊佐地域		667 100.0	62 9.3	590 88.5	15 2.2
大隅地域		499 100.0	63 12.6	428 85.8	8 1.6
熊毛地域		68 100.0	12 17.6	54 79.4	2 2.9
大島地域		128 100.0	23 18.0	102 79.7	3 2.3

問 39 あなたは、子育て費用がご自身や世帯の家計に占める割合についてどのように感じていますか。(〇はひとつ)

家計に占める子育て費用の割合について、「もう少し子育てにお金をかけたい」が32.5%で最も多く、次いで「もっと子育てにお金をかけたい」(24.2%)となっており、この2項目を合計した『お金をかけたい』は56.7%となっている。

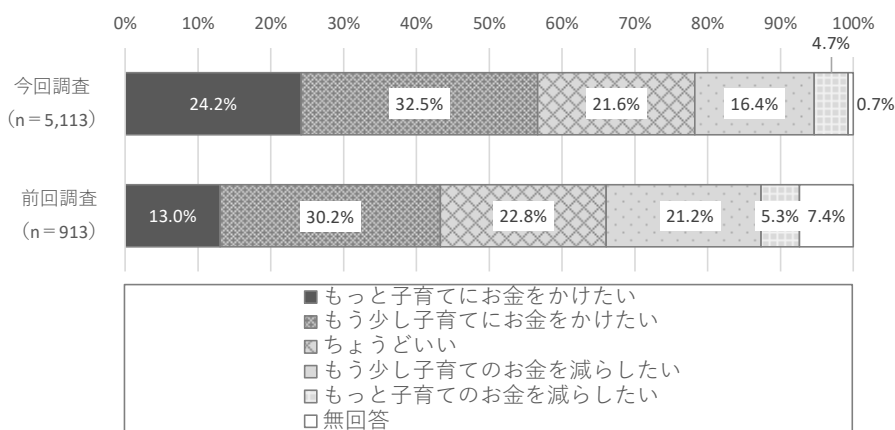
一方、『お金を減らしたい』(「もう少し子育てのお金を減らしたい」と「もっと子育てのお金を減らしたい」の合計)は21.1%、「ちょうどいい」は21.6%となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも『お金をかけたい』が半数以上を占めている。

年齢別で見ると、『お金をかけたい』は20歳代~30歳代で約7割、40歳代で約6割、50歳代以上で半数以下となっている。

前回調査と比較すると、『お金をかけたい』が13.5ポイント増加し、『お金を減らしたい』は5.4ポイント減少している。

【家計に占める子育て費用の割合】



		サンプル数	もっと子育てにお金をかけたい	もう少し子育てにお金をかけたい	ちょうどいい	もう少し子育てのお金を減らしたい	もっと子育てのお金を減らしたい	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		5,113	1,235	1,661	1,104	838	239	36
		100.0	24.2	32.5	21.6	16.4	4.7	0.7
前回調査		913	119	276	208	194	48	68
		100.0	13.0	30.2	22.8	21.2	5.3	7.4
性別	男性	1,966	432	636	517	286	76	19
		100.0	22.0	32.3	26.3	14.5	3.9	1.0
	女性	3,137	800	1,024	582	551	163	17
	100.0	25.5	32.6	18.6	17.6	5.2	0.5	
	その他	10	3	1	5	1	0	0
		100.0	30.0	10.0	50.0	10.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	82	67	38	29	9	1
		100.0	36.3	29.6	16.8	12.8	4.0	0.4
	30歳代	1,147	419	405	155	121	42	5
		100.0	36.5	35.3	13.5	10.5	3.7	0.4
	40歳代	1,538	437	517	273	220	85	6
	100.0	28.4	33.6	17.8	14.3	5.5	0.4	
50歳代	1,100	171	327	273	263	63	3	
	100.0	15.5	29.7	24.8	23.9	5.7	0.3	
60歳代	849	93	263	279	175	27	12	
	100.0	11.0	31.0	32.9	20.6	3.2	1.4	
70歳代以上	244	31	77	85	30	12	9	
	100.0	12.7	31.6	34.8	12.3	4.9	3.7	
地域別	鹿児島地域	3,033	735	972	683	502	129	12
		100.0	24.2	32.0	22.5	16.6	4.3	0.4
	南薩地域	302	53	88	66	72	20	3
		100.0	17.5	29.1	21.9	23.8	6.6	1.0
	北薩地域	391	100	123	82	60	23	3
		100.0	25.6	31.5	21.0	15.3	5.9	0.8
	始良・伊佐地域	667	162	229	137	105	25	9
		100.0	24.3	34.3	20.5	15.7	3.7	1.3
大隅地域	499	127	176	94	71	26	5	
	100.0	25.5	35.3	18.8	14.2	5.2	1.0	
熊毛地域	68	13	24	16	8	6	1	
	100.0	19.1	35.3	23.5	11.8	8.8	1.5	
大島地域	128	34	43	23	17	8	3	
	100.0	26.6	33.6	18.0	13.3	6.3	2.3	

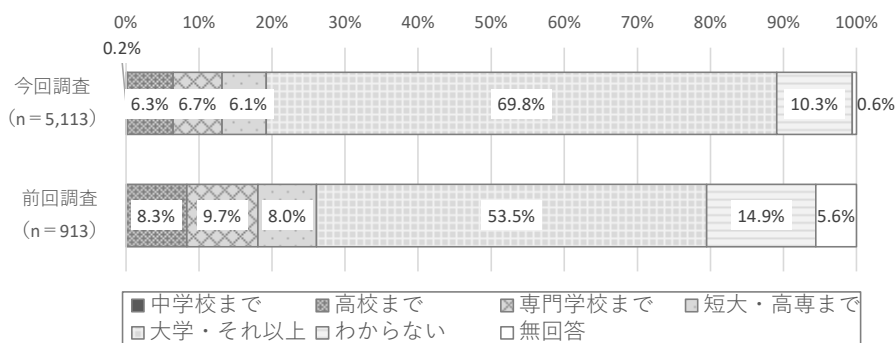
問 40 あなたは、お子さんの進学目標（最終学歴）をどのように考えますか。（〇はひとつ）

進学目標（最終学歴）に対する意向について、「大学・それ以上」が69.8%で最も多く、次いで「わからない」（10.3%）、「専門学校まで」（6.7%）となっている。

性別、年齢別問わず「大学・それ以上」が最も多くなっており、年齢別では年代が上がるにつれて割合が増加している。

前回調査と比較すると、「大学・それ以上」が16.3ポイント増加している。

【進学目標（最終学歴）に対する意向】



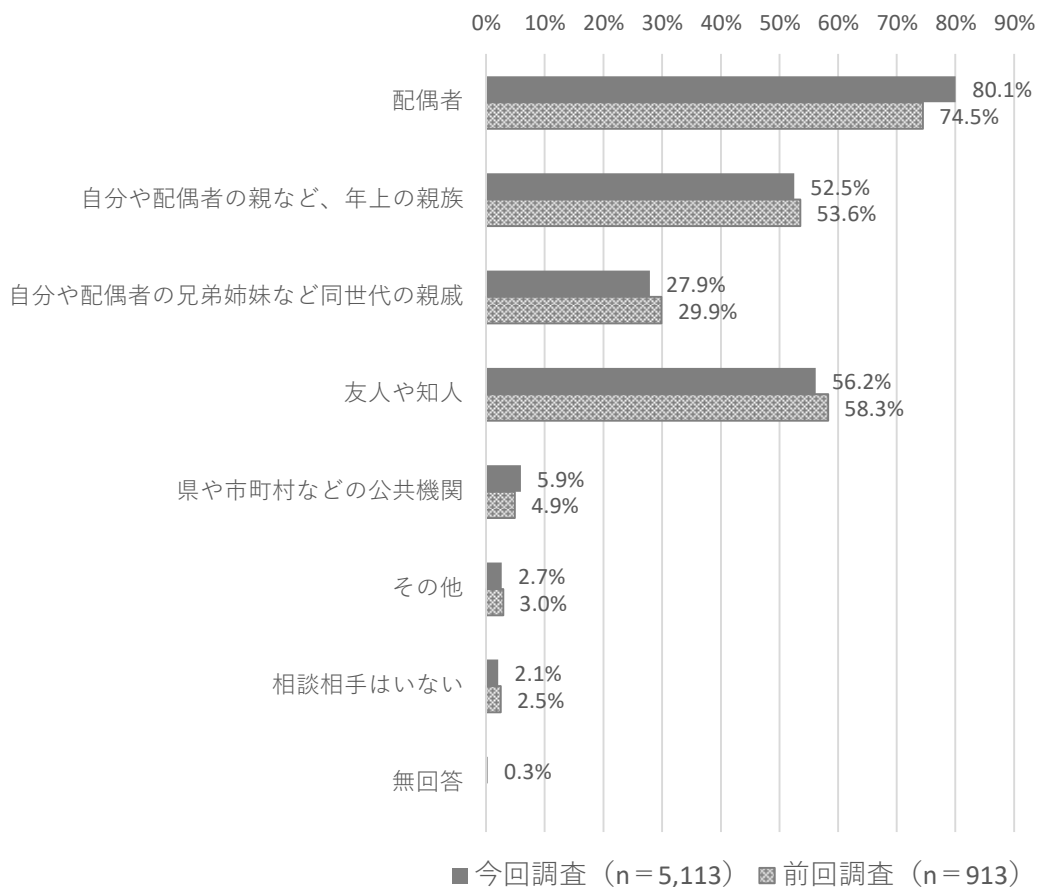
		サンプル数	中学校まで	高校まで	専門学校まで	短大・高専まで	大学・それ以上	わからない	無回答
上段：度数									
下段：%									
今回調査		5,113	8	323	341	311	3,571	528	31
		100.0	0.2	6.3	6.7	6.1	69.8	10.3	0.6
前回調査		913	0	76	89	73	488	136	51
		100.0	0.0	8.3	9.7	8.0	53.5	14.9	5.6
性別	男性	1,966	4	117	91	86	1,493	163	12
		100.0	0.2	6.0	4.6	4.4	75.9	8.3	0.6
	女性	3,137	4	206	248	225	2,071	364	19
	100.0	0.1	6.6	7.9	7.2	66.0	11.6	0.6	
	その他	10	0	0	2	0	7	1	0
		100.0	0.0	0.0	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	226	1	18	19	12	129	46	1
		100.0	0.4	8.0	8.4	5.3	57.1	20.4	0.4
	30歳代	1,147	4	63	84	57	744	189	6
		100.0	0.3	5.5	7.3	5.0	64.9	16.5	0.5
	40歳代	1,538	1	117	108	89	1,066	151	6
	100.0	0.1	7.6	7.0	5.8	69.3	9.8	0.4	
50歳代	1,100	1	71	71	75	797	81	4	
	100.0	0.1	6.5	6.5	6.8	72.5	7.4	0.4	
60歳代	849	1	40	50	56	644	49	9	
	100.0	0.1	4.7	5.9	6.6	75.9	5.8	1.1	
70歳代以上	244	0	14	8	22	184	11	5	
	100.0	0.0	5.7	3.3	9.0	75.4	4.5	2.0	
地域別	鹿児島地域	3,033	4	168	157	148	2,287	260	9
		100.0	0.1	5.5	5.2	4.9	75.4	8.6	0.3
	南薩地域	302	1	20	28	17	188	45	3
		100.0	0.3	6.6	9.3	5.6	62.3	14.9	1.0
	北薩地域	391	1	39	41	26	227	53	4
		100.0	0.3	10.0	10.5	6.6	58.1	13.6	1.0
	姶良・伊佐地域	667	1	45	51	57	423	83	7
		100.0	0.1	6.7	7.6	8.5	63.4	12.4	1.0
大隅地域	499	0	42	42	51	298	61	5	
	100.0	0.0	8.4	8.4	10.2	59.7	12.2	1.0	
熊本地域	68	0	4	8	4	46	5	1	
	100.0	0.0	5.9	11.8	5.9	67.6	7.4	1.5	
大島地域	128	1	4	11	7	85	18	2	
	100.0	0.8	3.1	8.6	5.5	66.4	14.1	1.6	

問 41 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談する相手はだれですか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

子育ての悩みや不安の相談相手について、「配偶者」が 80.1%で最も多く、次いで「友人や知人」(56.2%)、「自分や配偶者の親など、年上の親族」(52.5%) となっている。

性別、年齢別問わず「配偶者」が最も多くなっている。

【子育ての悩みや不安の相談相手】



		サ ン プ ル 数	配 偶 者	自 分 や 年 上 の 親 族	の 親 戚	弟 妹 な ど の 同 世 代	自 分 や 配 偶 者 の 兄	友 人 や 知 人	公 共 機 関	県 や 市 町 村 な ど の	そ の 他	相 談 相 手 は い ない	無 回 答
上段：度数 下段：%													
今回調査		5,113 100.0	4,093 80.1	2,684 52.5	1,426 27.9	2,871 56.2	304 5.9	136 2.7	106 2.1	15 0.3			
前回調査		913 100.0	680 74.5	489 53.6	273 29.9	532 58.3	45 4.9	27 3.0	23 2.5	— —			
性別	男性	1,966 100.0	1,738 88.4	853 43.4	413 21.0	787 40.0	74 3.8	27 1.4	40 2.0	7 0.4			
	女性	3,137 100.0	2,346 74.8	1,824 58.1	1,007 32.1	2,079 66.3	229 7.3	108 3.4	66 2.1	8 0.3			
	その他	10 100.0	9 90.0	7 70.0	6 60.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0			
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
	20歳代	226 100.0	198 87.6	182 80.5	72 31.9	133 58.8	21 9.3	9 4.0	3 1.3	1 0.4			
	30歳代	1,147 100.0	956 83.3	774 67.5	381 33.2	697 60.8	90 7.8	38 3.3	17 1.5	3 0.3			
	40歳代	1,538 100.0	1,189 77.3	835 54.3	423 27.5	922 59.9	89 5.8	50 3.3	49 3.2	5 0.3			
	50歳代	1,100 100.0	854 77.6	472 42.9	303 27.5	594 54.0	60 5.5	26 2.4	20 1.8	1 0.1			
	60歳代	849 100.0	698 82.2	330 38.9	189 22.3	419 49.4	39 4.6	12 1.4	13 1.5	2 0.2			
	70歳代以上	244 100.0	189 77.5	87 35.7	55 22.5	100 41.0	5 2.0	1 0.4	4 1.6	3 1.2			
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	2,437 80.3	1,582 52.2	802 26.4	1,698 56.0	161 5.3	78 2.6	60 2.0	3 0.1			
	南薩地域	302 100.0	237 78.5	146 48.3	86 28.5	164 54.3	15 5.0	5 1.7	11 3.6	1 0.3			
	北薩地域	391 100.0	300 76.7	206 52.7	112 28.6	216 55.2	29 7.4	12 3.1	11 2.8	3 0.8			
	始良・伊佐地域	667 100.0	536 80.4	352 52.8	189 28.3	388 58.2	46 6.9	21 3.1	13 1.9	4 0.6			
	大隅地域	499 100.0	409 82.0	265 53.1	159 31.9	269 53.9	37 7.4	14 2.8	5 1.0	3 0.6			
	熊毛地域	68 100.0	52 76.5	44 64.7	28 41.2	44 64.7	3 4.4	2 2.9	1 1.5	0 0.0			
	大島地域	128 100.0	107 83.6	75 58.6	41 32.0	78 60.9	8 6.3	2 1.6	5 3.9	1 0.8			

問 42 あなたは、子育てに関する情報をどのように入手していますか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

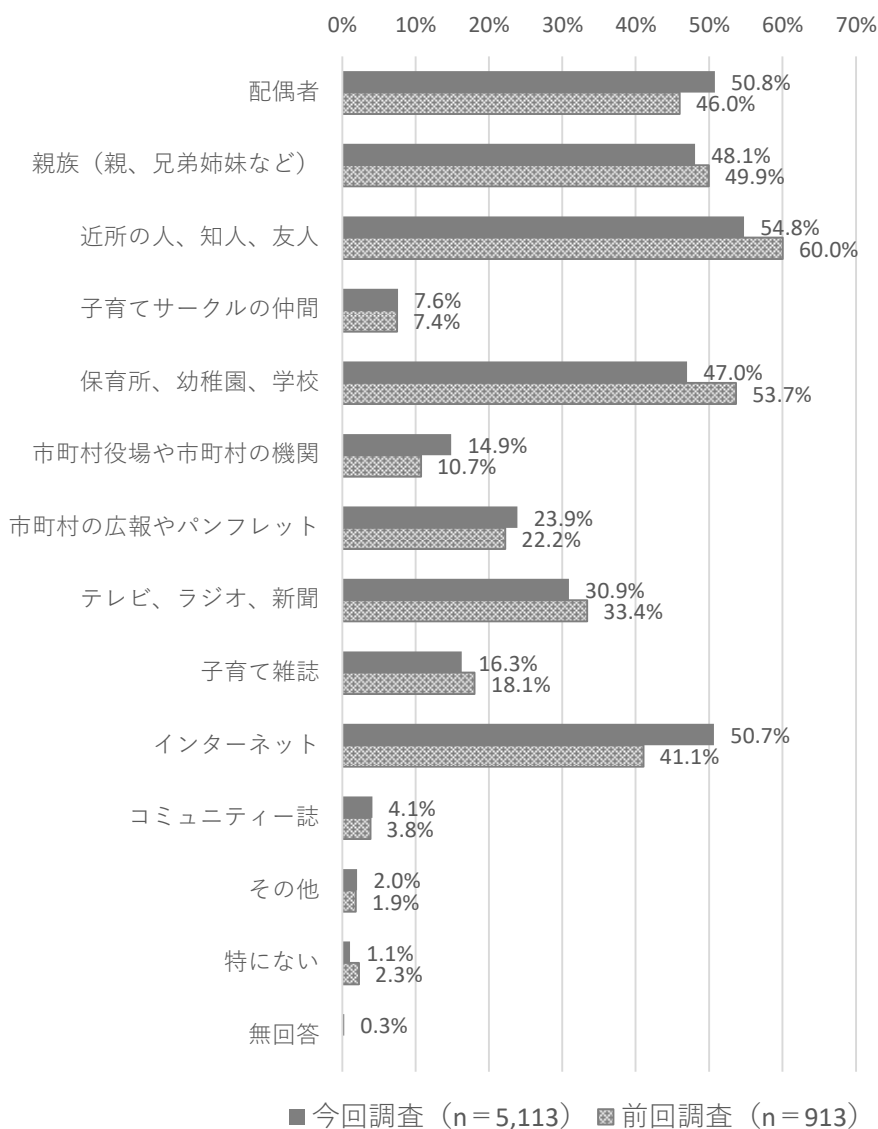
子育てに関する情報の入手方法について、「近所の人、知人、友人」が54.8%で最も多く、次いで「配偶者」(50.8%)、「インターネット」(50.7%)となっている。

性別で見ると、男性は「配偶者」、女性は「近所の人、知人、友人」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代～40歳代は「インターネット」、50歳代は「近所の人、知人、友人」、60歳代以上は「配偶者」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「インターネット」が9.6ポイント増加した一方、「保育所、幼稚園、学校」は6.7ポイント、「近所の人、知人、友人」は5.2ポイントそれぞれ減少している。

【子育てに関する情報の入手方法】



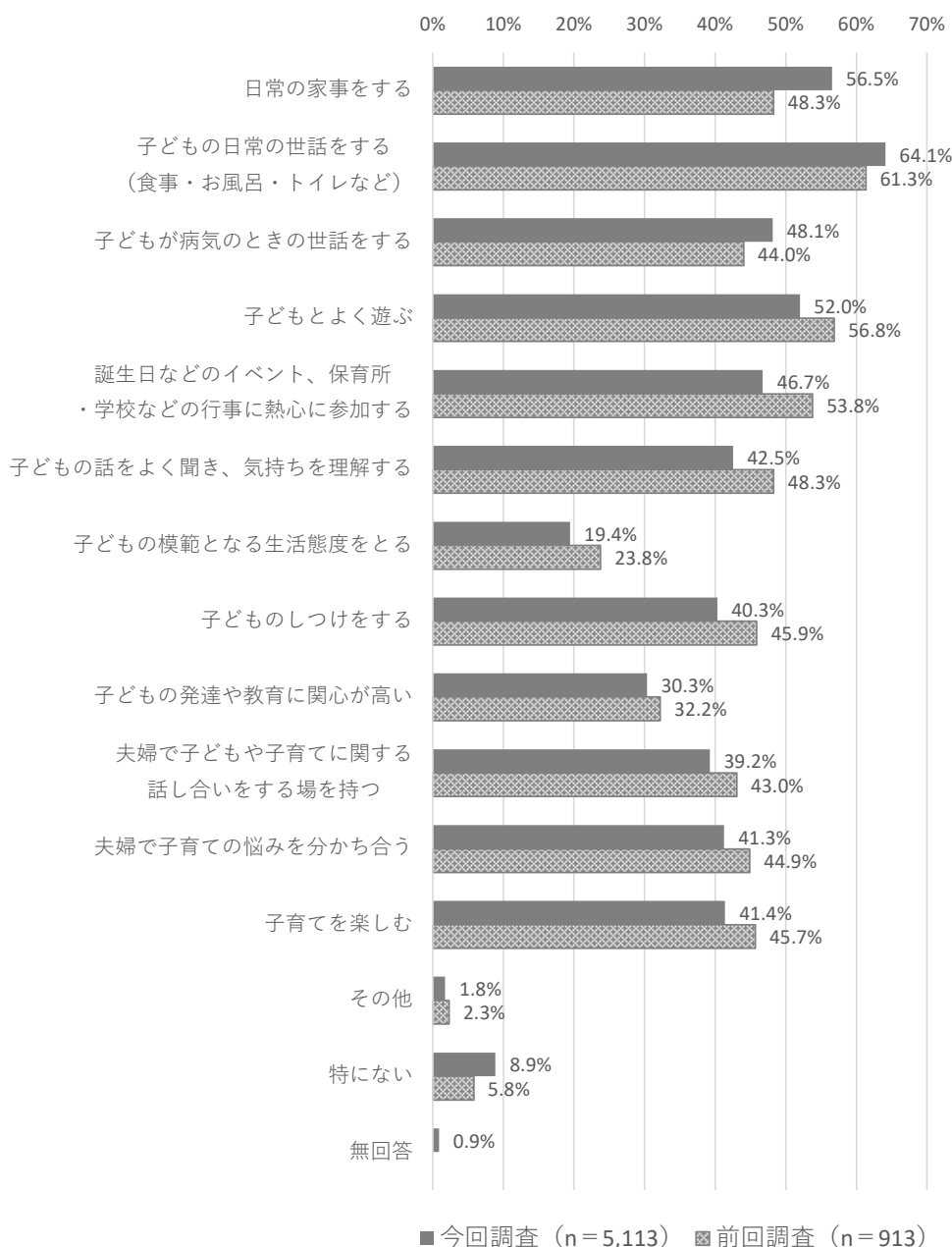
		サ ン プ ル 数	配 偶 者	親 族 (親、 兄弟 姉 妹 な ど)	近 所 の 人 、 知 人	仲 間 育 て サ ー ク ル の	学 校 保 育 所 、 幼 稚 園	市 町 村 機 関 の 機 関 や 市 町	市 町 村 の 広 報 や パ ン フ レ ッ ト	新 聞 テ レ ビ 、 ラ ジ オ	子 育 て 雑 誌	イ ン タ ー ネ ッ ト	コ ミ ュ ニ テ ィ ー 誌	そ の 他	特 に な い	無 回 答
上段：度数 下段：%																
今回調査		5,113 100.0	2,596 50.8	2,458 48.1	2,800 54.8	388 7.6	2,403 47.0	761 14.9	1,221 23.9	1,581 30.9	835 16.3	2,591 50.7	210 4.1	104 2.0	55 1.1	15 0.3
前回調査		913 100.0	420 46.0	456 49.9	548 60.0	68 7.4	490 53.7	98 10.7	203 22.2	305 33.4	165 18.1	375 41.1	35 3.8	17 1.9	21 2.3	— —
性 別	男性	1,966 100.0	1,606 81.7	861 43.8	801 40.7	59 3.0	631 32.1	265 13.5	401 20.4	593 30.2	180 9.2	843 42.9	67 3.4	21 1.1	25 1.3	8 0.4
	女性	3,137 100.0	983 31.3	1,592 50.7	1,996 63.6	329 10.5	1,765 56.3	492 15.7	816 26.0	985 31.4	654 20.8	1,740 55.5	142 4.5	83 2.6	30 1.0	7 0.2
	その他	10 100.0	7 70.0	5 50.0	3 30.0	0 0.0	7 70.0	4 40.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	104 46.0	156 69.0	108 47.8	19 8.4	102 45.1	29 12.8	46 20.4	35 15.5	32 14.2	160 70.8	3 1.3	14 6.2	0 0.0	1 0.4
	30歳代	1,147 100.0	542 47.3	631 55.0	629 54.8	100 8.7	587 51.2	166 14.5	242 21.1	272 23.7	178 15.5	808 70.4	38 3.3	32 2.8	8 0.7	4 0.3
	40歳代	1,538 100.0	729 47.4	704 45.8	877 57.0	100 6.5	745 48.4	233 15.1	423 27.5	456 29.6	213 13.8	922 59.9	67 4.4	31 2.0	26 1.7	3 0.2
	50歳代	1,100 100.0	570 51.8	495 45.0	612 55.6	95 8.6	545 49.5	178 16.2	278 25.3	398 36.2	231 21.0	474 43.1	58 5.3	17 1.5	8 0.7	1 0.1
	60歳代	849 100.0	506 59.6	356 41.9	453 53.4	63 7.4	335 39.5	121 14.3	175 20.6	321 37.8	149 17.6	195 23.0	32 3.8	6 0.7	10 1.2	4 0.5
	70歳代以上	244 100.0	142 58.2	114 46.7	115 47.1	11 4.5	83 34.0	31 12.7	54 22.1	97 39.8	30 12.3	28 11.5	11 4.5	4 1.6	3 1.2	2 0.8
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,541 50.8	1,442 47.5	1,651 54.4	220 7.3	1,408 46.4	352 11.6	720 23.7	972 32.0	506 16.7	1,536 50.6	139 4.6	60 2.0	28 0.9	3 0.1
	南薩地域	302 100.0	154 51.0	146 48.3	152 50.3	20 6.6	149 49.3	69 22.8	62 20.5	84 27.8	50 16.6	136 45.0	10 3.3	1 0.3	10 3.3	1 0.3
	北薩地域	391 100.0	187 47.8	183 46.8	216 55.2	34 8.7	186 47.6	80 20.5	104 26.6	122 31.2	55 14.1	193 49.4	10 2.6	9 2.3	6 1.5	3 0.8
	姶良・伊佐地域	667 100.0	346 51.9	319 47.8	375 56.2	52 7.8	287 43.0	96 14.4	156 23.4	208 31.2	109 16.3	335 50.2	20 3.0	15 2.2	8 1.2	4 0.6
	大隅地域	499 100.0	249 49.9	253 50.7	269 53.9	41 8.2	260 52.1	107 21.4	118 23.6	132 26.5	74 14.8	281 56.3	17 3.4	13 2.6	1 0.2	3 0.6
	熊毛地域	68 100.0	29 42.6	38 55.9	42 61.8	7 10.3	36 52.9	21 30.9	23 33.8	18 26.5	12 17.6	30 44.1	3 4.4	2 2.9	0 0.0	0 0.0
	大島地域	128 100.0	79 61.7	63 49.2	79 61.7	10 7.8	62 48.4	32 25.0	32 25.0	35 27.3	22 17.2	69 53.9	10 7.8	4 3.1	2 1.6	1 0.8

問 43 配偶者の育児の関わり方についてお尋ねします。次の項目について、あなたは配偶者のどのような点を評価しますか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

配偶者の育児の関わり方で評価する点について、「子どもの日常の世話をする（食事・お風呂・トイレなど）」が64.1%で最も多く、次いで「日常の家事をする」(56.5%)、「子どもとよく遊ぶ」(52.0%)となっている。

性別、年齢別問わず「子どもの日常の世話をする（食事・お風呂・トイレなど）」が最も多くなっている。

【配偶者の育児の関わり方で評価する点】



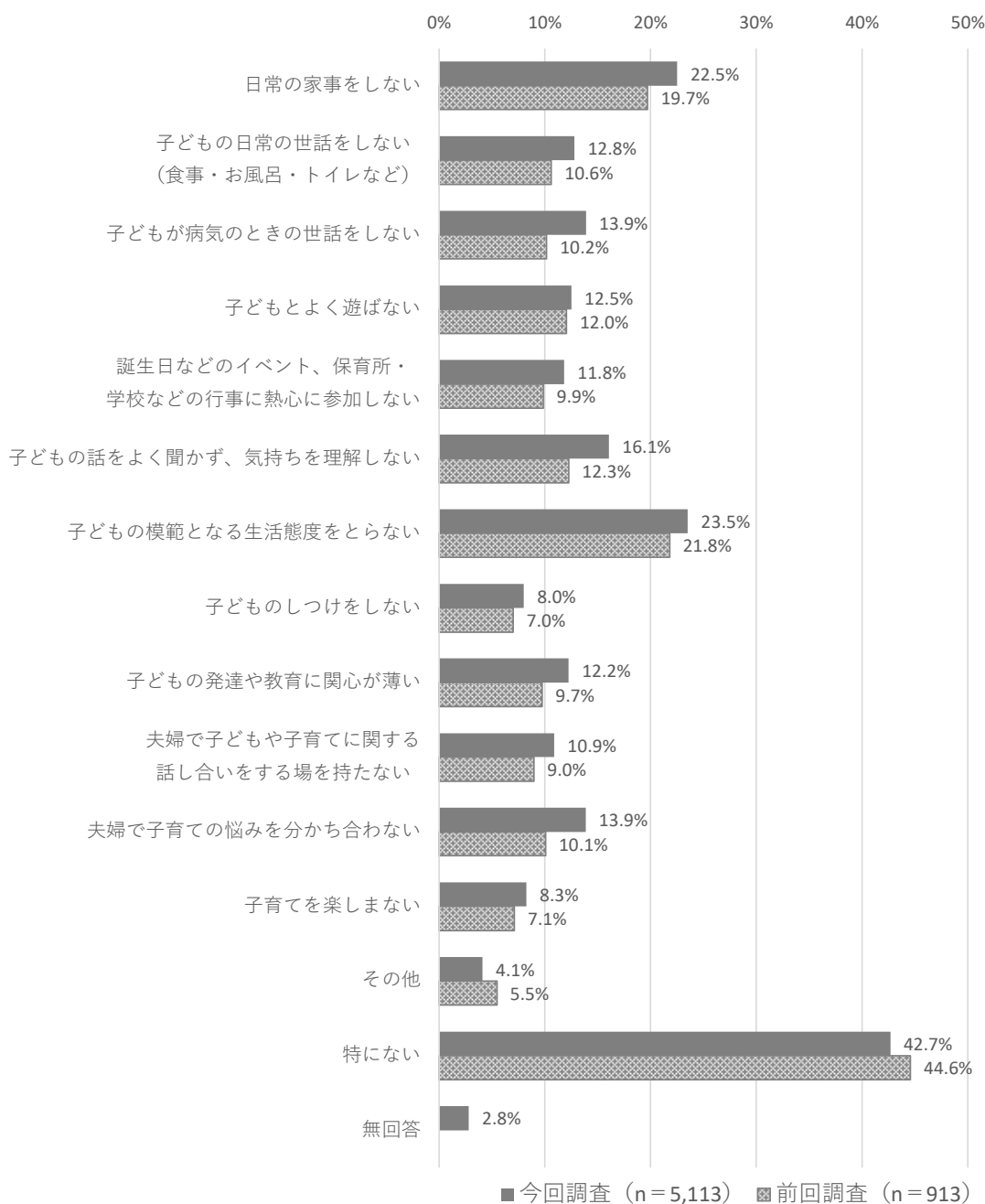
	サンプル数	日常の家事をする	子どもの日常の世話を する(食事・お風呂・トイ など)	子どもが病気のときの世 話を する	子どもとよく遊ぶ	誕生日などのイベント、 保育所・学校などの行事 に熱心に参加する	子どもの話をよく聞き、 気持ちを理解する	子どもの模範となる生活 態度をとる	子どものしつけをする	子どもの発達や教育に関 心が高い	夫婦で子どもや子育てに 関する話し合いをする場 場	夫婦で子育ての悩みを分 かち合う	子育てを楽しむ	その他	特 に な い	無 回 答
上段：度数																
下段：%																
今回調査	5,113 100.0	2,890 56.5	3,278 64.1	2,461 48.1	2,659 52.0	2,389 46.7	2,174 42.5	994 19.4	2,060 40.3	1,550 30.3	2,006 39.2	2,110 41.3	2,116 41.4	90 1.8	454 8.9	44 0.9
前回調査	913 100.0	441 48.3	560 61.3	402 44.0	519 56.8	491 53.8	441 48.3	217 23.8	419 45.9	294 32.2	393 43.0	410 44.9	417 45.7	21 2.3	53 5.8	—
性別	男性	1,966 100.0	1,641 83.5	1,644 83.6	1,547 78.7	1,127 57.3	1,217 61.9	1,181 60.1	557 28.3	1,125 57.2	939 47.8	902 45.9	932 47.4	919 46.7	14 0.7	19 1.0
	女性	3,137 100.0	1,239 39.5	1,627 51.9	910 29.0	1,527 48.7	1,167 37.2	989 31.5	436 13.9	931 29.7	608 19.4	1,099 35.0	1,174 37.4	1,192 38.0	76 2.4	435 13.9
	その他	10 100.0	10 100.0	7 70.0	4 40.0	5 50.0	5 50.0	4 40.0	1 10.0	4 40.0	3 30.0	5 50.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	148 65.5	179 79.2	102 45.1	164 72.6	106 46.9	94 41.6	52 23.0	103 45.6	88 38.9	106 46.9	115 50.9	143 63.3	6 2.7	14 6.2
	30歳代	1,147 100.0	710 61.9	804 70.1	505 44.0	703 61.3	549 47.9	463 40.4	188 16.4	464 40.5	323 28.2	463 40.4	529 46.1	566 49.3	22 1.9	89 7.8
	40歳代	1,538 100.0	850 55.3	905 58.8	724 47.1	719 46.7	712 46.3	628 40.8	272 17.7	571 37.1	450 29.3	603 39.2	633 41.2	591 38.4	32 2.1	169 11.0
	50歳代	1,100 100.0	579 52.6	675 61.4	546 49.6	534 48.5	520 47.3	485 44.1	230 20.9	426 38.7	325 29.5	427 38.8	429 39.0	442 40.2	17 1.5	116 10.5
	60歳代	849 100.0	474 55.8	550 64.8	445 52.4	414 48.8	382 45.0	384 45.2	182 21.4	363 42.8	277 32.6	312 36.7	311 36.6	296 34.9	8 0.9	51 6.0
	70歳代以上	244 100.0	123 50.4	158 64.8	133 54.5	121 49.6	115 47.1	114 46.7	68 27.0	128 52.5	83 34.0	92 37.7	89 36.5	74 30.3	5 2.0	15 6.1
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	1,688 55.7	1,926 63.5	1,446 47.7	1,569 51.7	1,390 45.8	1,279 42.2	601 19.8	1,202 39.6	935 30.8	1,187 39.1	1,261 41.6	1,227 40.5	48 1.6	290 9.6
	南薩地域	302 100.0	167 55.3	186 61.6	137 45.4	154 51.0	141 46.7	129 42.7	63 20.9	123 40.7	83 27.5	122 40.4	115 38.1	118 39.1	5 1.7	25 8.3
	北薩地域	391 100.0	221 56.5	252 64.5	191 48.8	189 48.3	177 45.3	158 40.4	67 17.1	149 38.1	103 26.3	148 37.9	155 39.6	141 36.1	5 1.3	38 9.7
	始良・伊佐地域	667 100.0	380 57.0	434 65.1	330 49.5	365 54.7	332 49.8	302 45.3	130 19.5	286 42.9	205 30.7	263 39.4	266 39.9	297 44.5	13 1.9	55 8.2
	大隅地域	498 100.0	298 59.7	326 65.3	233 46.7	257 51.5	226 45.3	202 40.5	93 18.6	190 38.1	145 29.1	190 38.1	209 41.9	222 44.5	14 2.8	29 5.8
	熊本地域	68 100.0	48 70.6	49 72.1	36 52.9	39 57.4	40 58.8	30 44.1	12 17.6	33 48.5	21 30.9	31 45.6	33 48.5	36 52.9	3 4.4	3 4.4
	大島地域	128 100.0	75 58.6	88 68.8	75 58.6	71 55.5	70 54.7	64 50.0	23 18.0	67 52.3	47 36.7	56 43.8	61 47.7	65 50.8	1 0.8	10 7.8

問 44 配偶者の育児への関わり方について不満を感じている点についてお尋ねします。次の項目について、あなたが配偶者に対して不満を感じている点は何ですか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

配偶者の育児の関わり方で不満な点について、「特にない」が42.7%で最も多く、次いで「子どもの模範となる生活態度をとらない」(23.5%)、「日常の家事をしない」(22.5%)となっている。

性別でみると、男性は「特にない」、女性は「日常の家事をしない」がそれぞれ最も多くなっている。

【配偶者の育児の関わり方で不満な点】



	サンプル数	日常の家事をしない	子どもの日常の世話をしない(食事・お風呂・トイなど)	子どもが病気のときの世話をしない	子どもとよく遊ばない	誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加しない	子どもの話をよく聞かず、気持ちを理解しない	子どもの模範となる生活態度をとらない	子どものしつけをしない	子どもの発達や教育に関心が薄い	夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持たない	夫婦で子育ての悩みを分かち合わない	子育てを楽しまない	その他	特になし	無回答	
上段：度数																	
下段：%																	
今回調査	5,113 100.0	1,151 22.5	655 12.8	710 13.9	639 12.5	605 11.8	821 16.1	1,203 23.5	410 8.0	626 12.2	557 10.9	709 13.9	423 8.3	210 4.1	2,182 42.7	144 2.8	
前回調査	913 100.0	180 19.7	97 10.6	93 10.2	110 12.0	90 9.9	112 12.3	199 21.8	64 7.0	89 9.7	82 9.0	92 10.1	65 7.1	50 5.5	407 44.6	—	
性別	男性	1,966 100.0	102 5.2	53 2.7	26 1.3	97 4.9	67 3.4	154 7.8	241 12.3	57 2.9	65 3.3	91 4.6	124 6.3	32 1.6	1,271 64.6	67 3.4	
	女性	3,137 100.0	1,049 33.4	601 19.2	683 21.8	542 17.3	536 17.1	665 21.2	961 30.6	352 11.2	561 17.9	466 14.9	585 18.6	331 10.6	905 28.8	77 2.5	
	その他	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	2 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0
年齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20歳代	226 100.0	30 13.3	12 5.3	18 8.0	14 6.2	15 6.6	9 4.0	29 12.8	9 4.0	25 11.1	16 7.1	20 8.8	5 2.2	16 7.1	124 54.9	9 4.0
	30歳代	1,147 100.0	256 22.3	137 11.9	163 14.2	147 12.8	124 10.8	181 15.8	336 29.3	87 7.6	172 15.0	134 11.7	158 13.8	76 6.6	76 6.6	440 38.4	43 3.7
	40歳代	1,538 100.0	360 23.4	226 14.7	233 15.1	227 14.8	205 13.3	274 17.8	427 27.8	150 9.8	214 13.9	181 11.8	227 14.8	143 9.3	76 4.9	616 40.1	46 3.0
	50歳代	1,100 100.0	282 25.6	153 13.9	183 16.6	135 12.3	140 12.7	204 18.5	250 22.7	101 9.2	134 12.2	124 11.3	170 15.5	101 9.2	21 1.9	463 42.1	18 1.6
	60歳代	849 100.0	175 20.6	106 12.5	93 11.0	98 11.5	97 11.4	129 15.2	131 15.4	54 6.4	64 7.5	80 9.4	104 12.2	80 9.4	18 2.1	408 48.1	19 2.2
	70歳代以上	244 100.0	46 18.9	20 8.2	19 7.8	16 6.6	23 9.4	23 9.4	29 11.9	8 3.3	16 6.6	21 8.6	29 11.9	17 7.0	3 1.2	125 51.2	9 3.7
地域別	鹿児島地域	3,033 100.0	712 23.5	404 13.3	446 14.7	387 12.8	380 12.5	499 16.5	729 24.0	253 8.3	382 12.6	335 11.0	419 13.8	255 8.4	1,290 42.5	70 2.3	
	南薩地域	302 100.0	73 24.2	40 13.2	42 13.9	36 11.9	32 10.6	50 16.6	67 22.2	30 9.9	33 10.9	29 9.6	39 12.9	21 7.0	12 4.0	133 44.0	11 3.6
	北薩地域	391 100.0	89 22.8	57 14.6	54 13.8	53 13.3	52 13.3	64 16.4	99 25.3	38 9.7	54 13.8	43 11.0	56 14.3	36 9.2	15 3.8	160 40.9	13 3.3
	姪良・伊佐地域	667 100.0	134 20.1	76 11.4	92 13.8	79 11.7	86 9.9	92 13.8	144 21.6	45 6.7	82 12.3	72 10.8	91 13.6	54 8.1	31 4.6	297 44.5	21 3.1
	大隅地域	499 100.0	103 20.6	60 12.0	58 11.6	58 13.2	58 11.6	83 16.6	120 24.0	34 6.8	54 10.8	65 13.0	80 16.0	46 9.2	21 4.2	203 40.7	18 3.6
	熊本地域	68 100.0	11 16.2	5 7.4	6 8.8	4 5.9	4 5.9	9 13.2	13 19.1	2 2.9	4 5.9	3 4.4	6 8.8	4 5.9	4 5.9	32 47.1	4 5.9
	大島地域	128 100.0	26 20.3	11 8.6	11 8.6	13 10.2	12 9.4	19 14.8	28 21.9	6 4.7	16 12.5	9 7.0	16 12.5	6 4.7	3 2.3	55 43.0	5 3.9

問 45 あなたご自身にとって、以前（3年ほど前もしくはあなたご自身が子育てをされていた時期）と比べて、子育てはしやすくなりましたか。（○はひとつ）

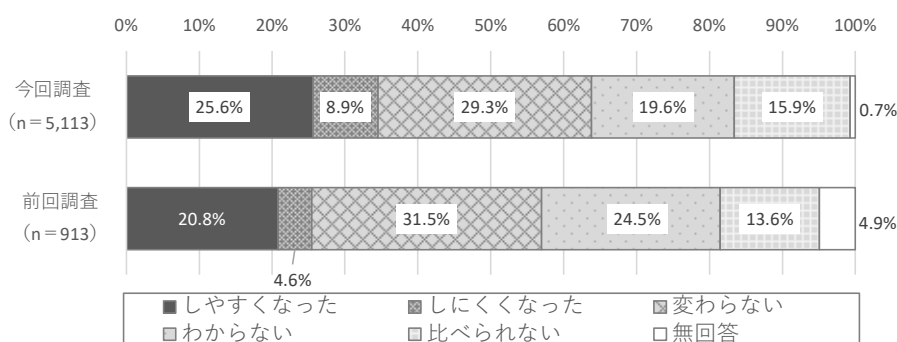
以前と比較した子育てのしやすさについて、「変わらない」が29.3%で最も多く、次いで「しやすくなった」（25.6%）、「わからない」（19.6%）となっている。

性別でみると、男性は「変わらない」、女性は「しやすくなった」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、20歳代は「比べられない」、30歳代～40歳代は「変わらない」、50歳代以上は「しやすくなった」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「しやすくなった」が4.8ポイント増加している。

【以前と比較した子育てのしやすさ】



以前（3年ほど前もしくはあなたご自身が子育てをされていた時期）と比べて、子育てが「しやすくなった」「しにくくなった」それぞれの主な理由は以下のとおり。

【「しやすくなった」主な理由】

- 各種の支援が充実し、かつ、職場も仕事と家庭の両立に配慮するようになってきたと思う。
- 医療費や保育料の補助、育児休業制度など充実している。
- 会社が男性の育児休業取得を推奨するようになっているから。
- コロナの影響で学校行事などが縮小されているので、親の負担は少し軽減されたと思う。
- SNSの普及で色々な情報が得られるようになったり、両親共に育休等が取れるようになったりするなど、昔に比べるとよくなっていると思う。
- 3人目を出産しましたが、最初の育児よりは何で泣いているかなど余裕を持って育児できている気がする。

【「しにくくなった」主な理由】

- 保育園、幼稚園等に入所しにくくなっている。
- 公園など遊ぶところが減っているように思える。
- 小学校に進学し、PTA活動や保護者が参加する学校行事が増えて、時間を作ることが負担になっている。
- スマホの普及で子どもの活動範囲が見えにくくなった。
- 金銭面の負担が大きい。仕事をしている上で家事・育児の両立が大変。
- 核家族化が進んで身近に相談できる人や気軽に預けられる人がいない。

		サ ン プ ル 数	し や す く な っ た	し に く く な っ た	変 わ ら な い	わ か ら な い	比 べ ら れ な い	無 回 答
上段：度数 下段：%								
今回調査		5,113 100.0	1,308 25.6	457 8.9	1,499 29.3	1,000 19.6	813 15.9	36 0.7
前回調査		913 100.0	190 20.8	42 4.6	288 31.5	224 24.5	124 13.6	45 4.9
性 別	男性	1,966 100.0	429 21.8	176 9.0	662 33.7	405 20.6	284 14.4	10 0.5
	女性	3,137 100.0	877 28.0	280 8.9	833 26.6	594 18.9	527 16.8	26 0.8
	その他	10 100.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	226 100.0	23 10.2	17 7.5	42 18.6	57 25.2	83 36.7	4 1.8
	30歳代	1,147 100.0	230 20.1	101 8.8	366 31.9	214 18.7	221 19.3	15 1.3
	40歳代	1,538 100.0	412 26.8	133 8.6	587 38.2	248 16.1	153 9.9	5 0.3
	50歳代	1,100 100.0	311 28.3	93 8.5	297 27.0	240 21.8	157 14.3	2 0.2
	60歳代	849 100.0	283 31.0	83 9.8	164 19.3	185 21.8	149 17.6	5 0.6
	70歳代以上	244 100.0	66 27.0	29 11.9	40 16.4	54 22.1	50 20.5	5 2.0
地 域 別	鹿児島地域	3,033 100.0	755 24.9	278 9.2	919 30.3	585 19.3	483 15.9	13 0.4
	南薩地域	302 100.0	77 25.5	22 7.3	92 30.5	53 17.5	56 18.5	2 0.7
	北薩地域	391 100.0	110 28.1	33 8.4	107 27.4	90 23.0	48 12.3	3 0.8
	始良・伊佐地域	667 100.0	178 26.7	54 8.1	178 26.7	121 18.1	127 19.0	9 1.3
	大隅地域	499 100.0	132 26.5	49 9.8	135 27.1	108 21.6	70 14.0	5 1.0
	熊毛地域	68 100.0	25 36.8	6 8.8	20 29.4	9 13.2	8 11.8	0 0.0
	大島地域	128 100.0	29 22.7	13 10.2	38 29.7	27 21.1	17 13.3	4 3.1

4. 仕事と育児の両立について

問 46 あなたは、子育て支援のために、企業に整備してほしい制度は何だと思えますか。なお、現在働いていない方も働いていると想定してお答えください。(〇は3つまで)

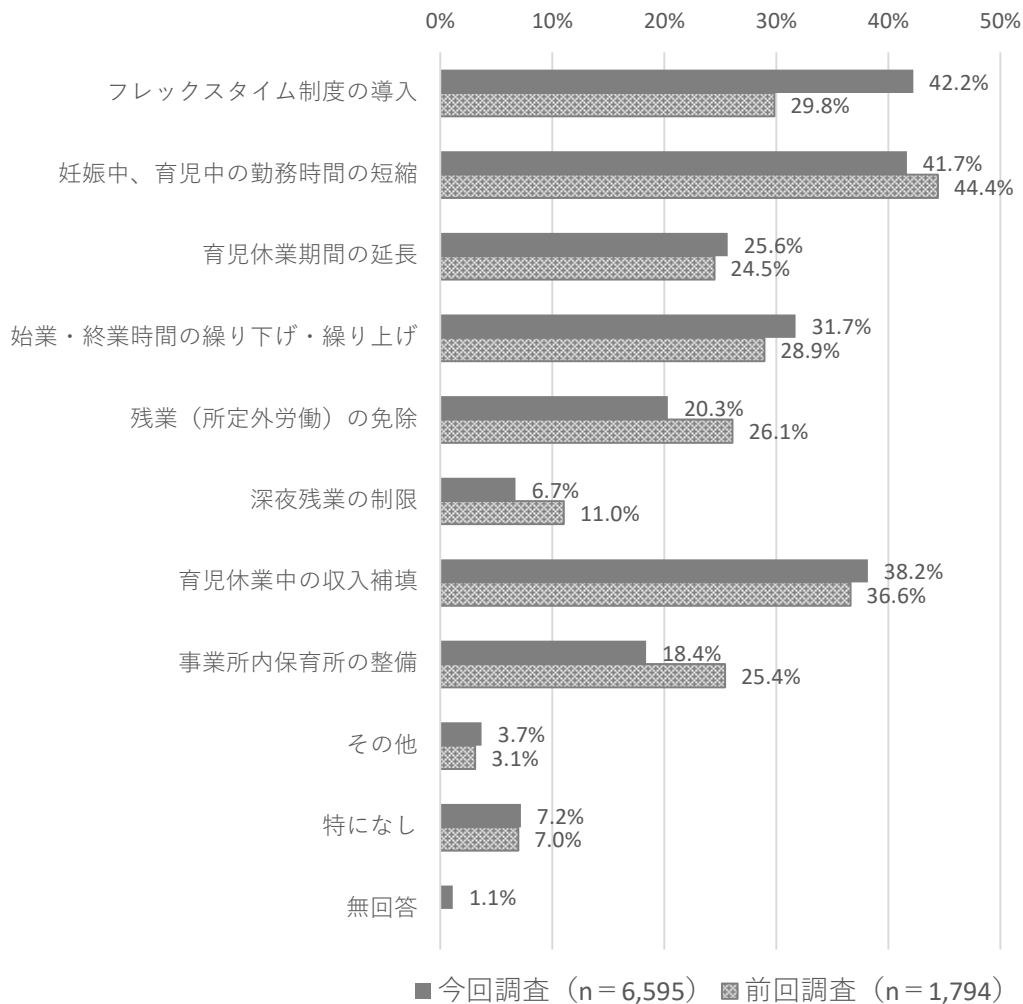
子育て支援のため企業に整備してほしい制度について、「フレックスタイム制度の導入」が42.2%で最も多く、次いで「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」(41.7%)、「育児休業中の収入補填」(38.2%)となっている。

性別でみると、男性は「フレックスタイム制度の導入」、女性は「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、30歳代以下は「育児休業中の収入補填」、40歳代～50歳代は「フレックスタイム制度の導入」、60歳代以上は「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「フレックスタイム制度の導入」が12.4ポイント増加している。

【子育て支援のため企業に整備してほしい制度】



		サンプル数	制度の導入スタイム	勤務時間の短縮	妊娠中、育児中の	長児休業期間の延長	育児休業期間の延長	始業・終業時間の繰上げ	始業・終業時間の繰上げ	（働）の免除	残業の制限	深夜残業の制限	補育児休業中の収入	整事業所内保育所の	その他	特になし	無回答
上段：度数 下段：%																	
今回調査		6,595 100.0	2,784 42.2	2,747 41.7	1,691 25.6	2,092 31.7	1,340 20.3	443 6.7	2,517 38.2	1,211 18.4	243 3.7	474 7.2	74 1.1				
前回調査		1,794 100.0	535 29.8	797 44.4	439 24.5	519 28.9	468 26.1	198 11.0	657 36.6	456 25.4	56 3.1	125 7.0	— —				
性別	男性	2,514 100.0	1,131 45.0	891 35.4	686 27.3	734 29.2	468 18.6	185 7.4	967 38.5	360 14.3	94 3.7	216 8.6	32 1.3				
	女性	4,059 100.0	1,645 40.5	1,848 45.5	998 24.6	1,352 33.3	870 21.4	256 6.3	1,543 38.0	849 20.9	148 3.6	255 6.3	40 1.0				
	その他	17 100.0	7 41.2	7 41.2	7 41.2	5 29.4	1 5.9	1 5.9	6 35.3	2 11.8	1 5.9	2 11.8	1 5.9				
年齢	10歳代	31 100.0	8 25.8	11 35.5	12 38.7	6 19.4	4 12.9	4 12.9	16 51.6	5 16.1	2 6.5	1 3.2	1 3.2				
	20歳代	676 100.0	239 35.4	322 47.6	218 32.2	167 24.7	125 18.5	31 4.6	384 56.8	111 16.4	22 3.3	37 5.5	6 0.9				
	30歳代	1,531 100.0	607 39.6	647 42.3	404 26.4	492 32.1	293 19.1	92 6.0	704 46.0	295 19.3	73 4.8	96 6.3	12 0.8				
	40歳代	1,819 100.0	769 42.3	626 34.4	325 17.9	657 36.1	348 19.1	136 7.5	551 30.3	318 17.5	100 5.5	183 10.1	22 1.2				
	50歳代	1,296 100.0	598 46.1	537 41.4	302 23.3	404 31.2	280 21.6	85 6.6	439 33.9	252 19.4	32 2.5	92 7.1	19 1.5				
	60歳代	953 100.0	438 46.0	467 49.0	330 34.6	274 28.8	223 23.4	70 7.3	329 34.5	183 19.2	13 1.4	49 5.1	9 0.9				
	70歳代以上	267 100.0	117 43.8	131 49.1	97 36.3	86 32.2	64 24.0	23 8.6	81 30.3	45 16.9	1 0.4	14 5.2	4 1.5				
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	1,747 44.4	1,632 41.5	1,054 26.8	1,248 31.7	817 20.8	245 6.2	1,459 37.1	758 19.3	140 3.6	266 6.8	36 0.9				
	南薩地域	383 100.0	144 37.6	157 41.0	86 22.5	117 30.5	84 21.9	27 7.0	151 39.4	72 18.8	12 3.1	34 8.9	5 1.3				
	北薩地域	512 100.0	197 38.5	199 38.9	121 23.6	160 31.3	105 20.5	31 6.1	201 39.3	93 18.2	13 2.5	50 9.8	8 1.6				
	始良・伊佐地域	829 100.0	334 40.3	367 44.3	221 26.7	251 30.3	159 19.2	69 8.3	332 40.0	138 16.6	32 3.9	55 6.6	8 1.0				
	大隅地域	614 100.0	226 36.8	262 42.7	144 23.5	217 35.3	121 19.7	46 7.5	247 40.2	87 14.2	21 3.4	53 8.6	9 1.5				
	熊毛地域	99 100.0	42 42.4	38 38.4	21 21.2	27 27.3	20 20.2	7 7.1	37 37.4	19 19.2	5 5.1	5 5.1	4 4.0				
	大島地域	176 100.0	72 40.9	80 45.5	34 19.3	60 34.1	27 15.3	14 8.0	76 43.2	36 20.5	17 9.7	7 4.0	2 1.1				

問 47 あなたは、鹿児島県における男性の育児への関わり方について、どんな印象がありますか。(〇はひとつ)

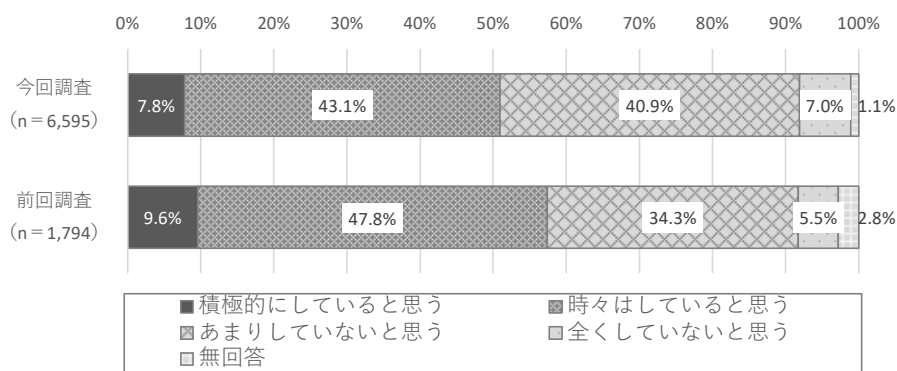
鹿児島県における男性の育児への関わり方について、「時々はしていると思う」が43.1%で最も多く、次いで「あまりしていないと思う」(40.9%)、「積極的にしていると思う」(7.8%)となっている。

『育児に関わっている』(「積極的にしていると思う」と「時々はしていると思う」の合計)は50.9%となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「時々はしていると思う」が最も多くなっている。

年代別で見ると、40歳代以下、60歳代は「時々はしていると思う」、50歳代、70歳代以上は「あまりしていないと思う」がそれぞれ最も多くなっている。

【鹿児島県における男性の育児への関わり方】



		サンプル数	積極的にしている	時々はしている	あまりしていない	全くしていない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査		6,595	516 7.8	2,843 43.1	2,700 40.9	462 7.0	74 1.1
前回調査		1,794	172 9.6	858 47.8	616 34.3	98 5.5	50 2.8
性別	男性	2,514	233 9.3	1,080 43.0	995 39.6	173 6.9	33 1.3
	女性	4,059	282 6.9	1,756 43.3	1,695 41.8	287 7.1	39 1.0
	その他	17	1 5.9	6 35.3	8 47.1	1 5.9	1 5.9
年齢	10歳代	31	1 3.2	19 61.3	9 29.0	1 3.2	1 3.2
	20歳代	676	67 9.9	316 46.7	231 34.2	56 8.3	6 0.9
	30歳代	1,531	136 8.9	627 41.0	614 40.1	139 9.1	15 1.0
	40歳代	1,819	135 7.4	774 42.6	740 40.7	146 8.0	24 1.3
	50歳代	1,296	99 7.6	559 43.1	563 43.4	57 4.4	18 1.4
	60歳代	953	64 6.7	427 44.8	407 42.7	48 5.0	7 0.7
	70歳代以上	267	12 4.5	112 41.9	130 48.7	11 4.1	2 0.7
地域別	鹿児島地域	3,934	277 7.0	1,677 42.6	1,649 41.9	296 7.5	35 0.9
	南薩地域	383	31 8.1	176 46.0	147 38.4	22 5.7	7 1.8
	北薩地域	512	45 8.8	221 43.2	210 41.0	29 5.7	7 1.4
	姶良・伊佐地域	829	82 9.9	357 43.1	322 38.8	59 7.1	9 1.1
	大隅地域	614	48 7.8	270 44.0	252 41.0	38 6.2	6 1.0
	熊毛地域	99	10 10.1	42 42.4	38 38.4	5 5.1	4 4.0
	大島地域	176	20 11.4	83 47.2	62 35.2	7 4.0	4 2.3

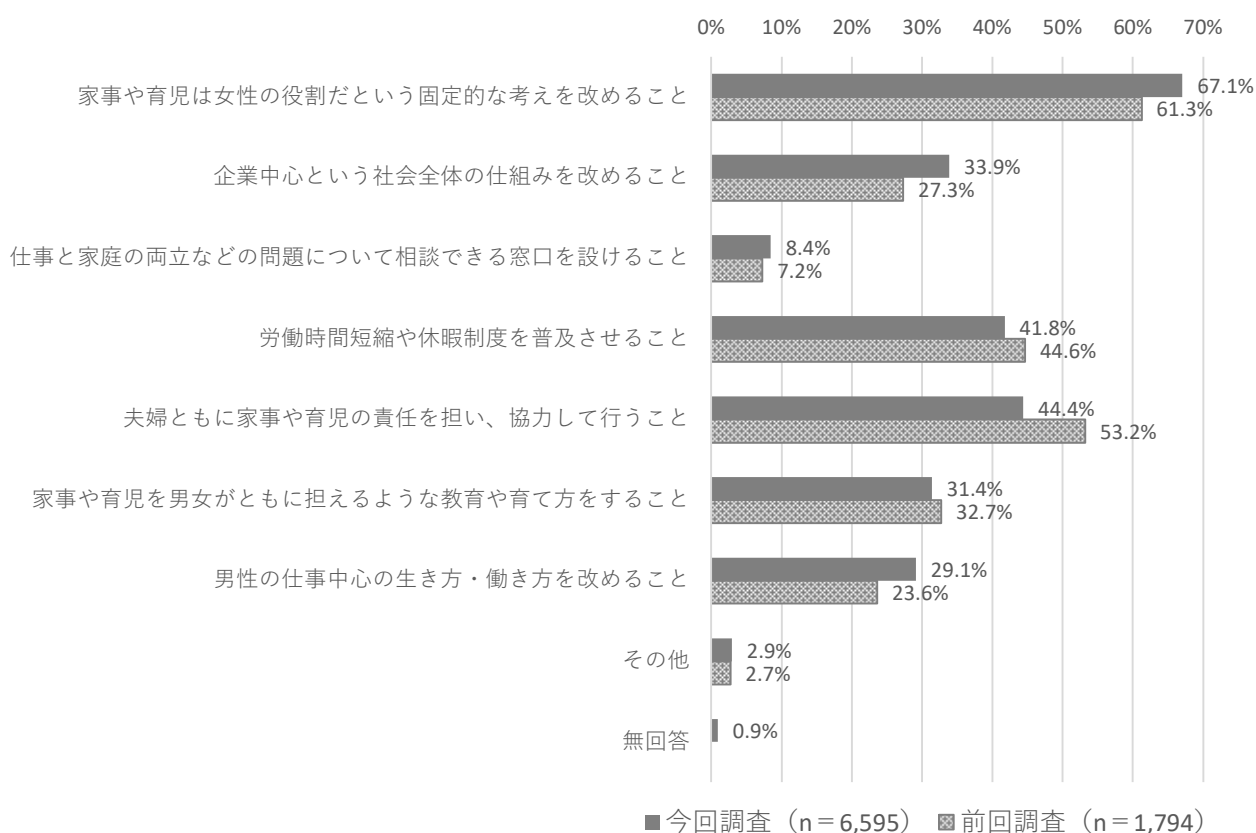
問 48 あなたは、男性が女性とともに積極的に子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男性が積極的に子育てするために必要な点について、「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が 67.1%で最も多く、次いで「夫婦ともに家事や育児の責任を担い、協力して行うこと」(44.4%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(41.8%)となっている。

性別、年代別問わず「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が最も多くなっており、年代別では年代が上がるにつれて増加している。

前回調査と比較すると、「企業中心という社会全体の仕組みを改めること」が 6.6 ポイント、「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が 5.8 ポイント、「男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること」が 5.5 ポイント増加している。

【男性が積極的に子育てするために必要な点】



	サ ン プ ル 数	改 め る こ と	だ い ご う 固 定 的 な 考 え を 割	家 事 や 育 児 は 女 性 の 役 割	の 仕 組 み を 改 め る こ と	企 業 中 心 を い か す こ と	窓 口 を 設 け る こ と	問 題 を つ け る こ と	仕 事 と 家 庭 の 両 立 な ど の	を 普 通 及 び 短 縮 と 休 暇 制 度	う こ と を 担 い 、 協 力 し て 行	夫 婦 と も に 家 事 や 育 児 の	に 方 を え る こ と	家 事 や 育 児 を 男 女 が と も	方 ・ 男 性 の 仕 事 中 心 の 生 き か た	そ の 他	無 回 答	
上段：度数 下段：%																		
今回調査	6,595 100.0	4,423 67.1	2,233 33.9	557 8.4	2,754 41.8	2,927 44.4	2,070 31.4	1,922 29.1	192 2.9	61 0.9								
前回調査	1,794 100.0	1,099 61.3	490 27.3	130 7.2	801 44.6	955 53.2	587 32.7	424 23.6	49 2.7	— —								
性別	男性	2,514 100.0	1,483 59.0	989 39.3	267 10.6	1,102 43.8	1,009 40.1	584 23.2	750 29.8	93 3.7	30 1.2							
	女性	4,059 100.0	2,927 72.1	1,237 30.5	287 7.1	1,644 40.5	1,912 47.1	1,482 36.5	1,167 28.8	99 2.4	29 0.7							
	その他	17 100.0	11 64.7	7 41.2	2 11.8	7 41.2	5 29.4	3 17.6	5 29.4	0 0.0	1 5.9							
年齢	10歳代	31 100.0	19 61.3	8 25.8	5 16.1	7 22.6	15 48.4	9 29.0	9 29.0	1 3.2	1 3.2							
	20歳代	676 100.0	422 62.4	185 27.4	57 8.4	354 52.4	328 48.5	218 32.2	176 26.0	18 2.7	4 0.6							
	30歳代	1,531 100.0	972 63.5	567 37.0	100 6.5	733 47.9	654 42.7	522 34.1	491 32.1	60 3.9	10 0.7							
	40歳代	1,819 100.0	1,231 67.7	609 33.5	140 7.7	679 37.3	779 42.8	606 33.3	560 30.8	56 3.1	18 1.0							
	50歳代	1,296 100.0	874 67.4	434 33.5	113 8.7	494 38.1	580 44.8	398 30.7	352 27.2	42 3.2	19 1.5							
	60歳代	953 100.0	696 73.0	343 36.0	112 11.8	372 39.0	440 46.2	235 24.7	250 26.2	13 1.4	6 0.6							
	70歳代以上	267 100.0	197 73.8	82 30.7	29 10.9	107 40.1	120 44.9	76 28.5	80 30.0	2 0.7	1 0.4							
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	2,640 67.1	1,398 35.5	335 8.5	1,644 41.8	1,714 43.6	1,211 30.8	1,135 28.9	118 3.0	30 0.8							
	南薩地域	383 100.0	270 70.5	102 26.6	35 9.1	143 37.3	176 46.0	116 30.3	115 30.0	13 3.4	4 1.0							
	北薩地域	512 100.0	334 65.2	171 33.4	55 10.7	210 41.0	250 48.8	152 29.7	148 28.9	11 2.1	6 1.2							
	始良・伊佐地域	829 100.0	561 67.7	272 32.8	60 7.2	359 43.3	353 42.6	259 31.2	261 31.5	26 3.1	6 0.7							
	大隅地域	614 100.0	412 67.1	193 31.4	52 8.5	264 43.0	273 44.5	209 34.0	176 28.7	15 2.4	6 1.0							
	熊毛地域	99 100.0	66 66.7	31 31.3	10 10.1	38 38.4	48 48.5	39 39.4	19 19.2	1 1.0	5 5.1							
	大島地域	176 100.0	113 64.2	51 29.0	7 4.0	77 43.8	89 50.6	70 39.8	56 31.8	7 4.0	2 1.1							

問 49 あなたは、男性の育児休業制度を知っていますか。(〇はひとつ)

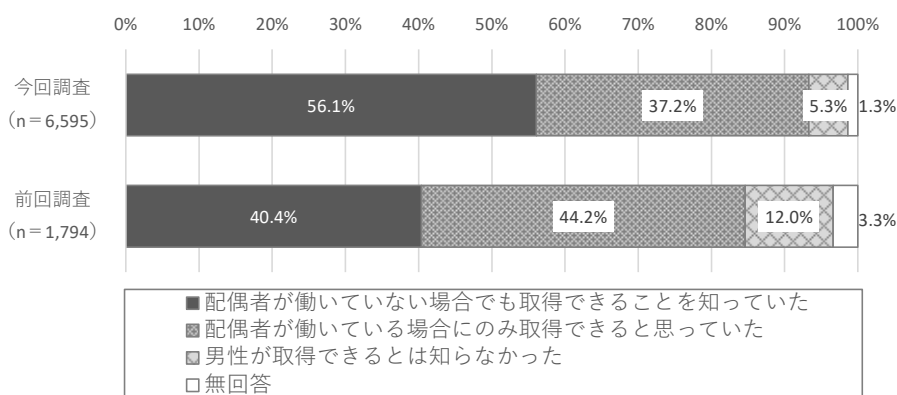
男性の育児休業制度の認知度について、「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が56.1%、「配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた」が37.2%、「男性が取得できるとは知らなかった」が5.3%となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が最も多くなっている。

年齢別でみると、10歳代は「配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた」、20歳代以上は「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が15.7ポイント増加している。

【男性の育児休業制度の認知度】



		サンプル数	知っていても取得できていない割合	配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っている割合	男性が取得できるとは知らなかった割合	無回答
上段：度数	今回調査	6,595	3,700	2,455	352	88
	前回調査	1,794	725	793	216	60
下段：%	今回調査	100.0	56.1	37.2	5.3	1.3
	前回調査	100.0	40.4	44.2	12.0	3.3
性別	男性	2,514	1,591	699	182	42
	女性	4,059	2,102	1,747	166	44
	その他	17	7	8	1	1
年齢	10歳代	31	12	14	4	1
	20歳代	676	351	273	46	6
	30歳代	1,531	863	573	79	16
	40歳代	1,819	990	709	94	26
	50歳代	1,296	766	459	49	22
	60歳代	953	577	307	56	13
	70歳代以上	267	135	110	20	2
地域別	鹿児島地域	3,934	2,220	1,448	222	44
	南薩地域	383	194	163	21	5
	北薩地域	512	278	194	30	10
	始良・伊佐地域	829	475	312	29	13
	大隅地域	614	356	221	31	6
	熊毛地域	99	52	39	4	4
	大島地域	176	101	63	9	3

問 50 あなたは、男性が育児休業制度を利用することをどう思いますか。(〇はひとつ)

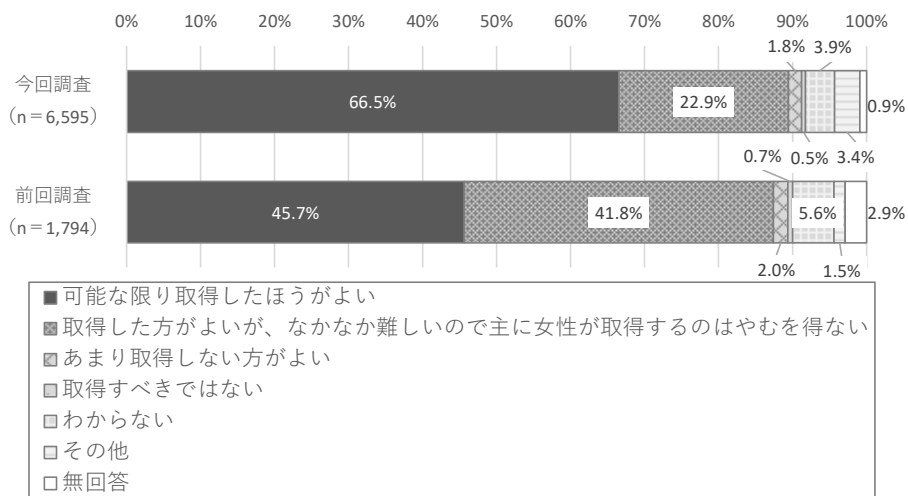
男性の育児休業制度の利用に対する意向について、「可能な限り取得したほうがよい」が66.5%で最も多く、次いで「取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない」(22.9%)となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「可能な限り取得したほうがよい」が最も多くなっている。

年齢別でみると、「可能な限り取得したほうがよい」は10歳代で約8割、20歳代～30歳代、50歳代以上で約7割、40歳代で約6割を占めている。

前回調査と比較すると、「可能な限り取得したほうがよい」が20.8ポイント増加し、「取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない」は18.9ポイント減少している。

【男性の育児休業制度の利用に対する意向】



上段：度数 下段：%		サンプル数	可能な限り取得し	取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない	あまり取得しない方がよい	取得すべきではない	わからない	その他	無回答
今回調査		6,595	4,386	1,512	117	34	259	226	61
前回調査		1,794	819	749	35	12	100	27	52
性別	男性	2,514	1,624	631	47	19	97	67	29
	女性	4,059	2,745	879	70	15	161	159	30
	その他	17	15	1	0	0	0	0	1
年齢	10歳代	31	25	2	0	1	2	0	1
	20歳代	676	491	125	7	6	23	19	5
	30歳代	1,531	1,028	327	23	6	64	73	10
	40歳代	1,819	1,113	460	47	12	92	79	16
	50歳代	1,296	873	290	24	7	46	36	20
	60歳代	953	662	233	9	2	22	18	7
	70歳代以上	267	181	70	7	0	7	1	1
地域別	鹿児島地域	3,934	2,670	865	69	19	146	132	33
	南薩地域	383	245	93	8	2	19	13	3
	北薩地域	512	342	118	10	2	18	16	6
	始良・伊佐地域	829	536	212	14	5	34	22	6
	大隅地域	614	376	159	11	3	30	29	6
	熊毛地域	99	65	24	0	0	3	4	3
	大島地域	176	116	37	5	3	5	8	2
		100.0	65.9	21.0	2.8	1.7	2.8	4.5	1.1

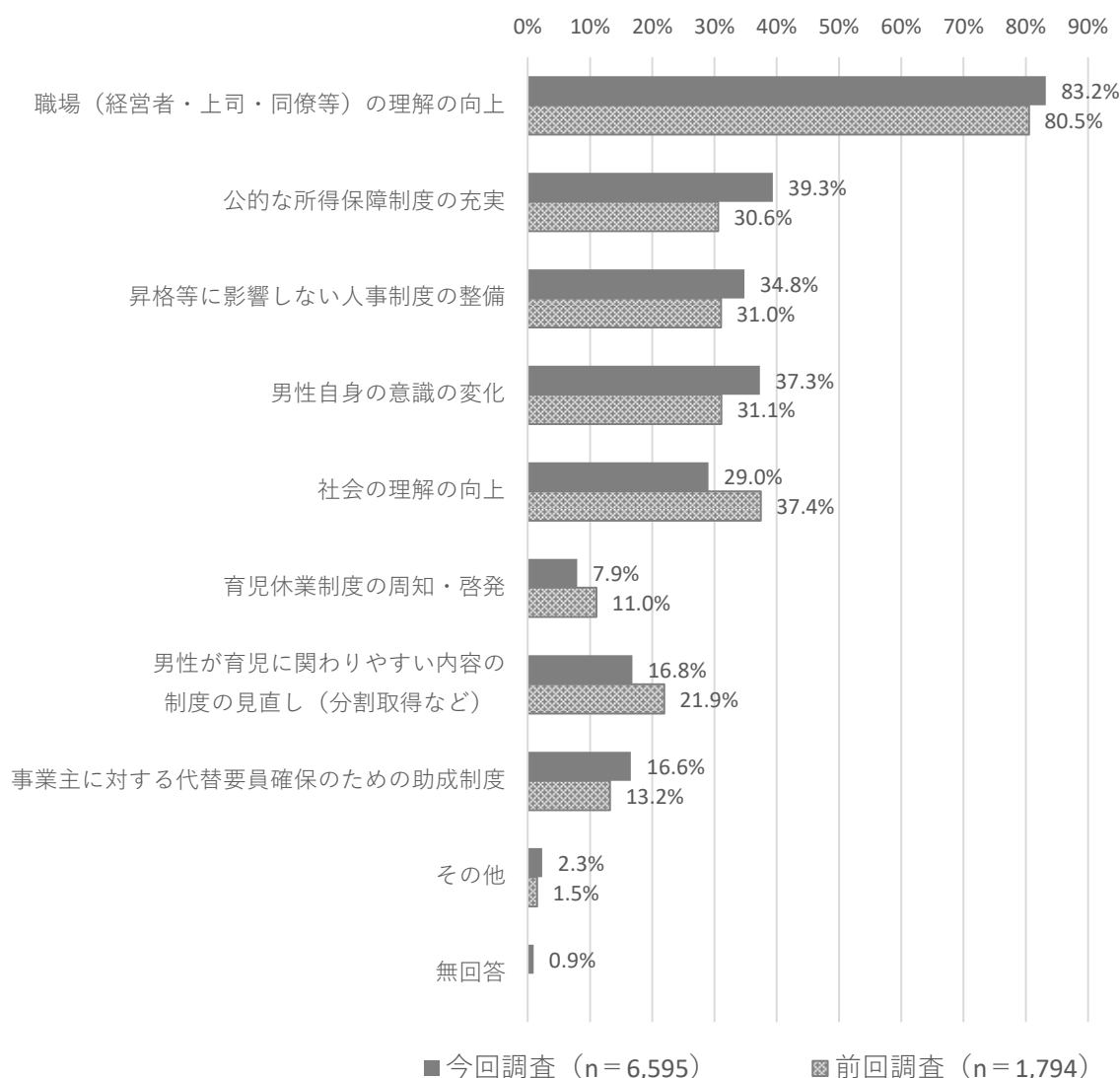
問 51 あなたは、男性の育児休業の取得を促進するには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男性の育児休業取得促進に向けて必要な点について、「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」が83.2%で最も多く、次いで「公的な所得保障制度の充実」（39.3%）、「男性自身の意識の変化」（37.3%）となっている。

性別、年齢別問わず「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」が大半を占めている。

前回調査と比較すると、「公的な所得保障制度の充実」が8.7ポイント、「男性自身の意識の変化」が6.2ポイントそれぞれ増加した一方、「社会の理解の向上」は8.4ポイント、「男性が育児に関わりやすい内容の制度の見直し（分割取得など）」は5.1ポイント減少している。

【男性の育児休業取得促進に向けて必要な点】



	サンプル数	職場（経営者・上司・同等）の理解の向上	実公的な所得保障制度の充	制昇格等に影響しない人事	男性自身の意識の変化	社会の理解の向上	育児休業制度の周知・啓	（分割取得など）の内容の育児の見直しやす	男性が育児の関わりやす	確保の主たるための助成制度	事業主に対する代替要員	その他	無回答
上段：度数 下段：%													
今回調査	6,595 100.0	5,485 83.2	2,594 39.3	2,295 34.8	2,459 37.3	1,914 29.0	523 7.9	1,107 16.8	1,093 16.6	154 2.3	62 0.9		
前回調査	1,794 100.0	1,444 80.5	549 30.6	557 31.0	558 31.1	671 37.4	198 11.0	393 21.9	237 13.2	27 1.5	— —		
性別	男性	2,514 100.0	2,063 82.1	1,070 42.6	835 33.2	764 30.4	742 29.5	389 15.5	429 17.1	75 3.0	28 1.1		
	女性	4,059 100.0	3,408 84.0	1,519 37.4	1,450 35.7	1,687 41.6	1,166 28.7	331 8.2	716 17.6	659 16.2	77 1.9	32 0.8	
	その他	17 100.0	12 70.6	4 23.5	9 52.9	6 35.3	5 29.4	0 0.0	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	
年齢	10歳代	31 100.0	23 74.2	6 19.4	10 32.3	11 35.5	11 35.5	4 12.9	7 22.6	3 9.7	0 0.0	2 6.5	
	20歳代	676 100.0	562 83.1	249 36.8	260 38.5	182 26.9	227 33.6	77 11.4	140 20.7	87 12.9	22 3.3	4 0.6	
	30歳代	1,531 100.0	1,274 83.2	651 42.5	623 40.7	530 34.6	437 28.5	123 8.0	265 17.3	274 17.9	34 2.2	13 0.8	
	40歳代	1,819 100.0	1,504 82.7	707 38.9	640 35.2	718 39.5	504 27.7	121 6.7	274 15.1	313 17.2	50 2.7	17 0.9	
	50歳代	1,296 100.0	1,056 81.5	472 36.4	370 28.5	516 39.8	384 29.6	90 6.9	237 18.3	245 18.9	32 2.5	18 1.4	
	60歳代	953 100.0	826 86.7	396 41.6	294 30.8	368 38.6	274 28.8	88 9.2	128 13.4	132 13.9	12 1.3	6 0.6	
	70歳代以上	267 100.0	223 83.5	105 39.3	91 34.1	128 47.9	69 25.8	19 7.1	51 19.1	36 13.5	4 1.5	1 0.4	
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	3,298 83.8	1,566 39.8	1,411 35.9	1,493 38.0	1,125 28.6	305 7.8	646 16.4	652 16.6	82 2.1	30 0.8	
	南薩地域	383 100.0	310 80.9	140 36.6	105 27.4	146 38.1	103 26.9	32 8.4	63 16.4	58 15.1	12 3.1	4 1.0	
	北薩地域	512 100.0	427 83.4	194 37.9	168 32.8	188 36.7	167 32.6	32 6.3	91 17.8	89 17.4	9 1.8	7 1.4	
	姪良・伊佐地域	829 100.0	682 82.3	334 40.3	296 35.7	293 35.3	229 27.6	66 8.0	148 17.9	136 16.4	20 2.4	8 1.0	
	大隅地域	614 100.0	506 82.4	241 39.3	211 34.4	230 37.5	186 30.3	59 9.6	95 15.5	100 16.3	21 3.4	6 1.0	
	熊毛地域	99 100.0	82 82.8	31 31.3	38 38.4	29 29.3	36 36.4	9 9.1	16 16.2	15 15.2	1 1.0	4 4.0	
	大島地域	176 100.0	147 83.5	69 39.2	49 27.8	69 39.2	56 31.8	16 9.1	38 21.6	35 19.9	7 4.0	1 0.6	

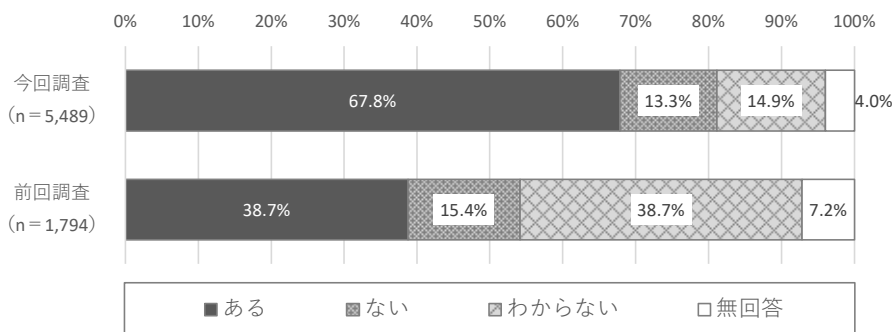
問 52 あなたのお勤めの会社には育児休業制度の規定がありますか。(〇はひとつ)

【回答者：問 7 で「学生」「仕事をしていない」以外を回答した方】

育児休業制度の規定の有無について、「ある」が 67.8%、「ない」が 13.3%、「わからない」が 14.9% となっている。

前回調査と比較すると、「ある」が 29.1 ポイント増加し、「わからない」は 23.8 ポイント減少している。

【育児休業制度の規定の有無】



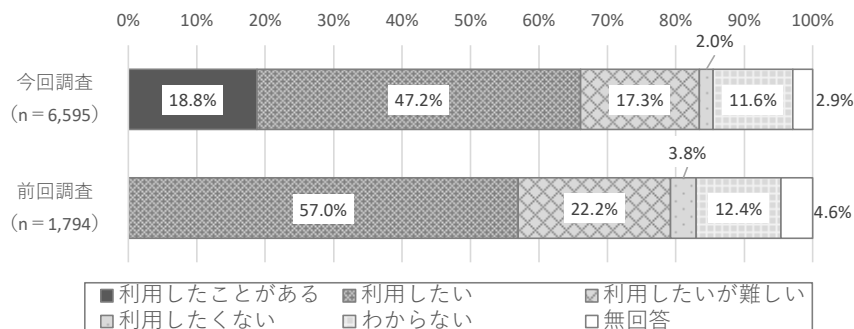
		サンプル数	ある	ない	わからない	無回答
上段：度数						
下段：%						
今回調査		5,489	3,722	731	817	219
		100.0	67.8	13.3	14.9	4.0
前回調査		1,794	695	276	694	129
		100.0	38.7	15.4	38.7	7.2
性別	男性	2,211	1,532	309	283	87
		100.0	69.3	14.0	12.8	3.9
	女性	3,262	2,177	421	533	131
		100.0	66.7	12.9	16.3	4.0
	その他	14	12	1	0	1
		100.0	85.7	7.1	0.0	7.1
年齢	10歳代	9	5	0	4	0
		100.0	55.6	0.0	44.4	0.0
	20歳代	521	406	33	73	9
		100.0	77.9	6.3	14.0	1.7
	30歳代	1,330	967	145	177	41
		100.0	72.7	10.9	13.3	3.1
	40歳代	1,675	1,118	257	267	33
	100.0	66.7	15.3	15.9	2.0	
50歳代	1,158	812	149	169	28	
	100.0	70.1	12.9	14.6	2.4	
60歳代	679	381	116	116	66	
	100.0	56.1	17.1	17.1	9.7	
70歳代以上	103	25	30	8	40	
	100.0	24.3	29.1	7.8	38.8	
地域別	鹿児島地域	3,233	2,234	395	482	122
		100.0	69.1	12.2	14.9	3.8
	南薩地域	318	194	54	62	8
		100.0	61.0	17.0	19.5	2.5
	北薩地域	434	281	72	66	15
		100.0	64.7	16.6	15.2	3.5
	始良・伊佐地域	696	490	78	95	33
		100.0	70.4	11.2	13.6	4.7
大隅地域	519	329	88	79	23	
	100.0	63.4	17.0	15.2	4.4	
熊毛地域	90	56	18	9	7	
	100.0	62.2	20.0	10.0	7.8	
大島地域	165	117	22	20	6	
	100.0	70.9	13.3	12.1	3.6	

問 53 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。現在働いていない人は働いていると想定してお答えください。出産予定がない人は出産すると想定してお答えください。(〇はひとつ)

育児休業制度の利用意向について、「利用したことがある」が 18.8%、「利用したい」が 47.2%、「利用したいが難しい」が 17.3%、「利用したくない」が 2.0%、「わからない」が 11.6%となっている。

性別でみると、「利用したことがある」と回答した女性の割合は、男性を 21.3 ポイント上回っている。

【育児休業制度の利用意向】



		サンプル数	利用したことがある	利用したい	利用したいが難しい	利用したくない	わからない	無回答
上段：度数 下段：%								
今回調査		6,595 100.0	1,242 18.8	3,115 47.2	1,144 17.3	134 2.0	768 11.6	192 2.9
前回調査		1,794 100.0	—	1,022 57.0	399 22.2	68 3.8	222 12.4	83 4.6
性別	男性	2,514 100.0	144 5.7	1,111 44.2	726 28.9	98 3.9	362 14.4	73 2.9
	女性	4,059 100.0	1,095 27.0	1,995 49.2	414 10.2	36 0.9	402 9.9	117 2.9
	その他	17 100.0	3 17.6	9 52.9	3 17.6	0 0.0	2 11.8	0 0.0
年齢	10歳代	31 100.0	0 0.0	22 71.0	2 6.5	0 0.0	4 12.9	3 9.7
	20歳代	676 100.0	112 16.6	414 61.2	65 9.6	8 1.2	57 8.4	20 3.0
	30歳代	1,531 100.0	503 32.9	600 39.2	260 17.0	27 1.8	98 6.4	43 2.8
	40歳代	1,819 100.0	384 21.1	770 42.3	354 19.5	42 2.3	221 12.1	48 2.6
	50歳代	1,296 100.0	170 13.1	646 49.8	229 17.7	31 2.4	179 13.8	41 3.2
	60歳代	953 100.0	62 6.5	507 53.2	179 18.8	20 2.1	160 16.8	25 2.6
	70歳代以上	267 100.0	9 3.4	146 54.7	53 19.9	6 2.2	43 16.1	10 3.7
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	710 18.0	1,896 48.2	696 17.7	72 1.8	455 11.6	105 2.7
	南薩地域	383 100.0	58 15.1	187 48.8	63 16.4	8 2.1	53 13.8	14 3.7
	北薩地域	512 100.0	89 17.4	245 47.9	99 19.3	11 2.1	52 10.2	16 3.1
	姶良・伊佐地域	829 100.0	166 20.0	404 48.7	125 15.1	15 1.8	101 12.2	18 2.2
	大隅地域	614 100.0	150 24.4	246 40.1	107 17.4	21 3.4	71 11.6	19 3.1
	熊本地域	99 100.0	27 27.3	40 40.4	16 16.2	1 1.0	12 12.1	3 3.0
	大島地域	176 100.0	38 21.6	76 43.2	31 17.6	4 2.3	16 9.1	11 6.3

※今回調査から「利用したことがある」を追加

問 54 あなたが育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）と思う理由は何ですか。（〇は3つまで）

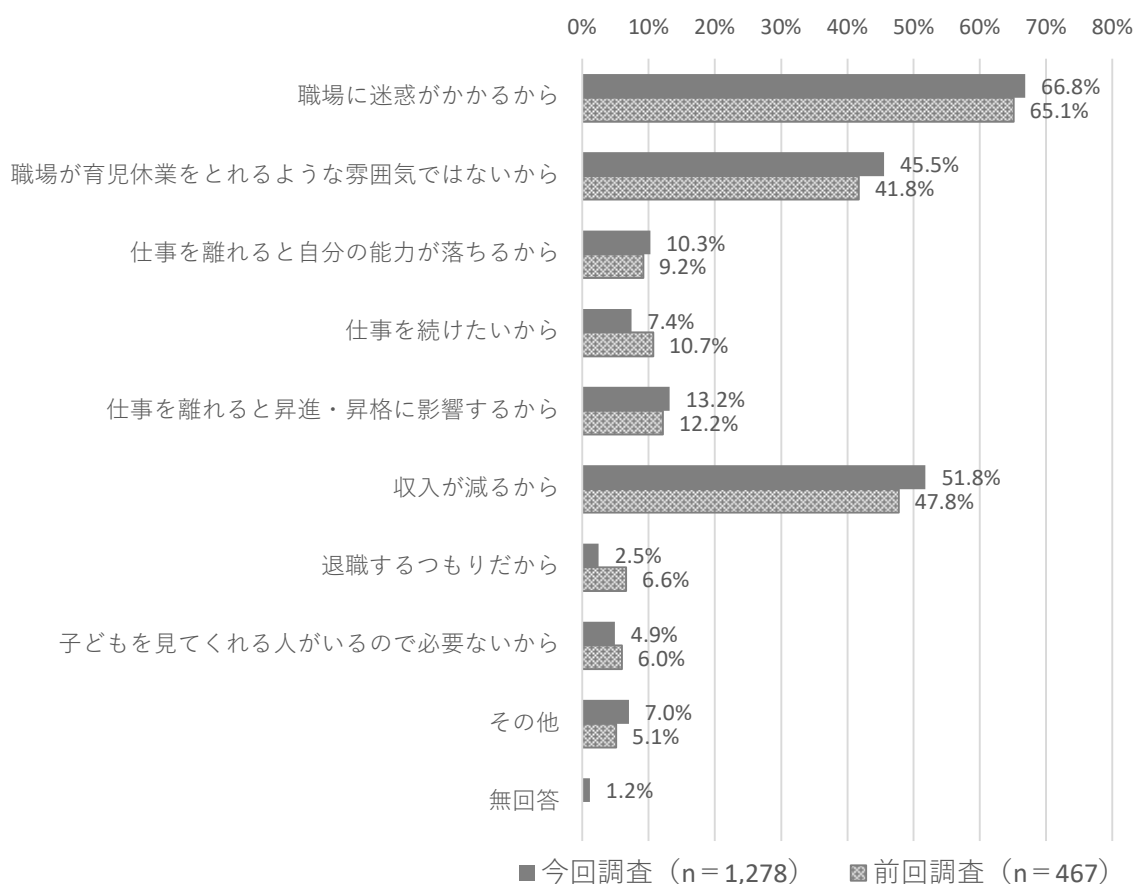
【回答者：問 53 で「利用したいが難しい」「利用したくない」と回答した方】

育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由について、「職場に迷惑がかかるから」が66.8%で最も多く、次いで「収入が減るから」（51.8%）、「職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから」（45.5%）となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「職場に迷惑がかかるから」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、10歳代で「仕事を続けたいから」、20歳代で「収入が減るから」、30歳代以上で「職場に迷惑がかかるから」がそれぞれ最も多くなっている。

【育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由】



		サンプル数	職場に迷惑がかか	職場ではないうる	職場が育児休業を	分の能力が落ちる	仕事を続けたいか	仕事を続けるか	昇格に影響する	収入が減るから	退職するつもりだ	要らないから	子どもを育てる	その他	無回答
上段：度数 下段：%															
今回調査		1,278 100.0	854 66.8	582 45.5	131 10.3	95 7.4	169 13.2	662 51.8	32 2.5	63 4.9	90 7.0	15 1.2			
前回調査		467 100.0	304 65.1	195 41.8	43 9.2	50 10.7	57 12.2	223 47.8	31 6.6	28 6.0	24 5.1	— —			
性別	男性	824 100.0	578 70.1	363 44.1	84 10.2	63 7.6	124 15.0	440 53.4	6 0.7	48 5.8	46 5.6	9 1.1			
	女性	450 100.0	272 60.4	217 48.2	47 10.4	31 6.9	44 9.8	221 49.1	26 5.8	15 3.3	44 9.8	6 1.3			
	その他	3 100.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
年齢	10歳代	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
	20歳代	73 100.0	41 56.2	35 47.9	9 12.3	8 11.0	9 12.3	42 57.5	4 5.5	0 0.0	7 9.6	1 1.4			
	30歳代	287 100.0	178 62.0	142 49.5	31 10.8	19 6.6	32 11.1	169 58.9	15 5.2	13 4.5	30 10.5	2 0.7			
	40歳代	396 100.0	263 66.4	170 42.9	37 9.3	28 7.1	49 12.4	212 53.5	8 2.0	15 3.8	32 8.1	7 1.8			
	50歳代	260 100.0	183 70.4	106 40.8	25 9.6	11 4.2	29 11.2	127 48.8	4 1.5	20 7.7	13 5.0	1 0.4			
	60歳代	199 100.0	143 71.9	96 48.2	23 11.6	20 10.1	34 17.1	91 45.7	0 0.0	12 6.0	6 3.0	3 1.5			
	70歳代以上	59 100.0	43 72.9	32 54.2	6 10.2	7 11.9	14 23.7	21 35.6	1 1.7	2 3.4	2 3.4	1 1.7			
地域別	鹿児島地域	768 100.0	519 67.6	353 46.0	77 10.0	64 8.3	107 13.9	379 49.3	18 2.3	34 4.4	48 6.3	4 0.5			
	南薩地域	71 100.0	46 64.8	32 45.1	2 2.8	6 8.5	5 7.0	39 54.9	3 4.2	6 8.5	3 4.2	4 5.6			
	北薩地域	110 100.0	76 69.1	49 44.5	19 17.3	10 9.1	15 13.6	63 57.3	2 1.8	7 6.4	12 10.9	1 0.9			
	始良・伊佐地域	140 100.0	90 64.3	70 50.0	17 12.1	6 4.3	23 16.4	79 56.4	3 2.1	6 4.3	10 7.1	1 0.7			
	大隅地域	128 100.0	86 67.2	56 43.8	10 7.8	7 5.5	11 8.6	72 56.3	6 4.7	7 5.5	10 7.8	3 2.3			
	熊毛地域	17 100.0	11 64.7	7 41.2	2 11.8	0 0.0	1 5.9	7 41.2	0 0.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9			
	大島地域	35 100.0	23 65.7	10 28.6	0 0.0	2 5.7	5 14.3	17 48.6	0 0.0	3 8.6	5 14.3	1 2.9			

問 55 あなたは、育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できましたか。(〇はひとつ)

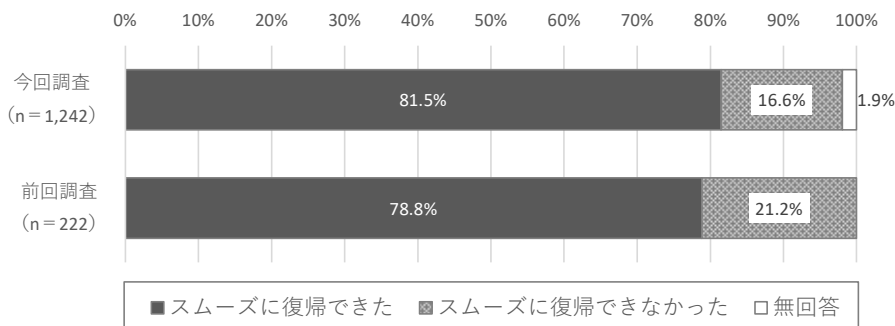
【回答者：問 53 で「利用したことがある」と回答した方】

育児休業制度利用後の職場復帰について、「スムーズに復帰できた」が 81.5%、「スムーズに復帰できなかった」が 16.6%となっている。

性別でみると、「スムーズに復帰できた」は男性で約 9 割、女性で約 8 割となっている。

年齢別でみると、「スムーズに復帰できた」は全ての年代で半数以上を占めている。

【育児休業制度利用後の職場復帰】



		サンプル数	スムーズに復帰できた	スムーズに復帰できなかった	無回答
上段：度数					
下段：%					
今回調査		1,242	1,012	206	24
		100.0	81.5	16.6	1.9
前回調査		222	175	47	—
		100.0	78.8	21.2	—
性別	男性	144	132	10	2
		100.0	91.7	6.9	1.4
	女性	1,095	877	196	22
		100.0	80.1	17.9	2.0
	その他	3	3	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	112	74	29	9
		100.0	66.1	25.9	8.0
	30歳代	503	394	101	8
		100.0	78.3	20.1	1.6
	40歳代	384	328	52	4
	100.0	85.4	13.5	1.0	
	50歳代	170	153	15	2
		100.0	90.0	8.8	1.2
	60歳代	62	54	8	0
		100.0	87.1	12.9	0.0
	70歳代以上	9	8	0	1
		100.0	88.9	0.0	11.1
地域別	鹿児島地域	710	579	117	14
		100.0	81.5	16.5	2.0
	南薩地域	58	47	10	1
		100.0	81.0	17.2	1.7
	北薩地域	89	75	11	3
		100.0	84.3	12.4	3.4
	始良・伊佐地域	166	134	30	2
		100.0	80.7	18.1	1.2
	大隅地域	150	121	27	2
		100.0	80.7	18.0	1.3
	熊毛地域	27	22	3	2
		100.0	81.5	11.1	7.4
	大島地域	38	32	6	0
		100.0	84.2	15.8	0.0

5. 少子化問題について

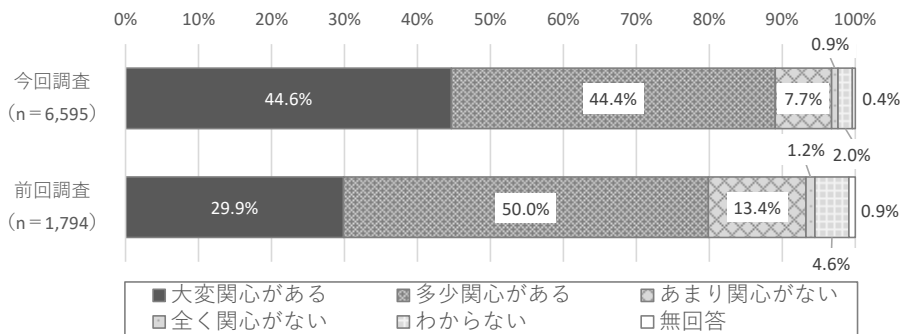
問 56 少子化問題についてどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

少子化問題に関する関心度について、『関心がある』（「大変関心がある」と「多少関心がある」の合計）が89.0%、『関心がない』（「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計）が8.6%、「わからない」が2.0%となっている。

性別、年齢別問わず『関心がある』が7割以上を占めており、年代が上がるにつれて関心度は高くなっている。

前回調査と比較すると、『関心がある』が9.1ポイント増加している。

【少子化問題に関する関心度】



		サンプル数	大変関心がある	多少関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		6,595	2,944	2,930	505	61	130	25
		100.0	44.6	44.4	7.7	0.9	2.0	0.4
前回調査		1,794	536	897	240	22	83	16
		100.0	29.9	50.0	13.4	1.2	4.6	0.9
性別	男性	2,514	1,384	890	162	28	44	6
		100.0	55.1	35.4	6.4	1.1	1.8	0.2
	女性	4,059	1,553	2,029	341	33	85	18
		100.0	38.3	50.0	8.4	0.8	2.1	0.4
	その他	17	7	8	2	0	0	0
		100.0	41.2	47.1	11.8	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	31	6	18	6	1	0	0
		100.0	19.4	58.1	19.4	3.2	0.0	0.0
	20歳代	676	222	330	86	13	21	4
		100.0	32.8	48.8	12.7	1.9	3.1	0.6
	30歳代	1,531	645	684	145	18	36	3
		100.0	42.1	44.7	9.5	1.2	2.4	0.2
	40歳代	1,819	765	856	143	15	36	4
	100.0	42.1	47.1	7.9	0.8	2.0	0.2	
50歳代	1,296	620	556	83	9	21	7	
	100.0	47.8	42.9	6.4	0.7	1.6	0.5	
60歳代	953	506	402	30	3	7	5	
	100.0	53.1	42.2	3.1	0.3	0.7	0.5	
70歳代以上	267	167	81	10	2	6	1	
	100.0	62.5	30.3	3.7	0.7	2.2	0.4	
地域別	鹿児島地域	3,934	1,751	1,777	298	32	68	8
		100.0	44.5	45.2	7.6	0.8	1.7	0.2
	南薩地域	383	168	174	27	5	9	0
		100.0	43.9	45.4	7.0	1.3	2.3	0.0
	北薩地域	512	240	210	44	4	11	3
		100.0	46.9	41.0	8.6	0.8	2.1	0.6
	姶良・伊佐地域	829	365	390	44	7	17	6
		100.0	44.0	47.0	5.3	0.8	2.1	0.7
大隅地域	614	267	256	63	11	14	3	
	100.0	43.5	41.7	10.3	1.8	2.3	0.5	
熊毛地域	99	47	36	10	1	3	2	
	100.0	47.5	36.4	10.1	1.0	3.0	2.0	
大島地域	176	86	70	15	1	3	1	
	100.0	48.9	39.8	8.5	0.6	1.7	0.6	

問 57 あなたは、子どもの数が減少してきている原因は何だと思えますか。(〇は3つまで)

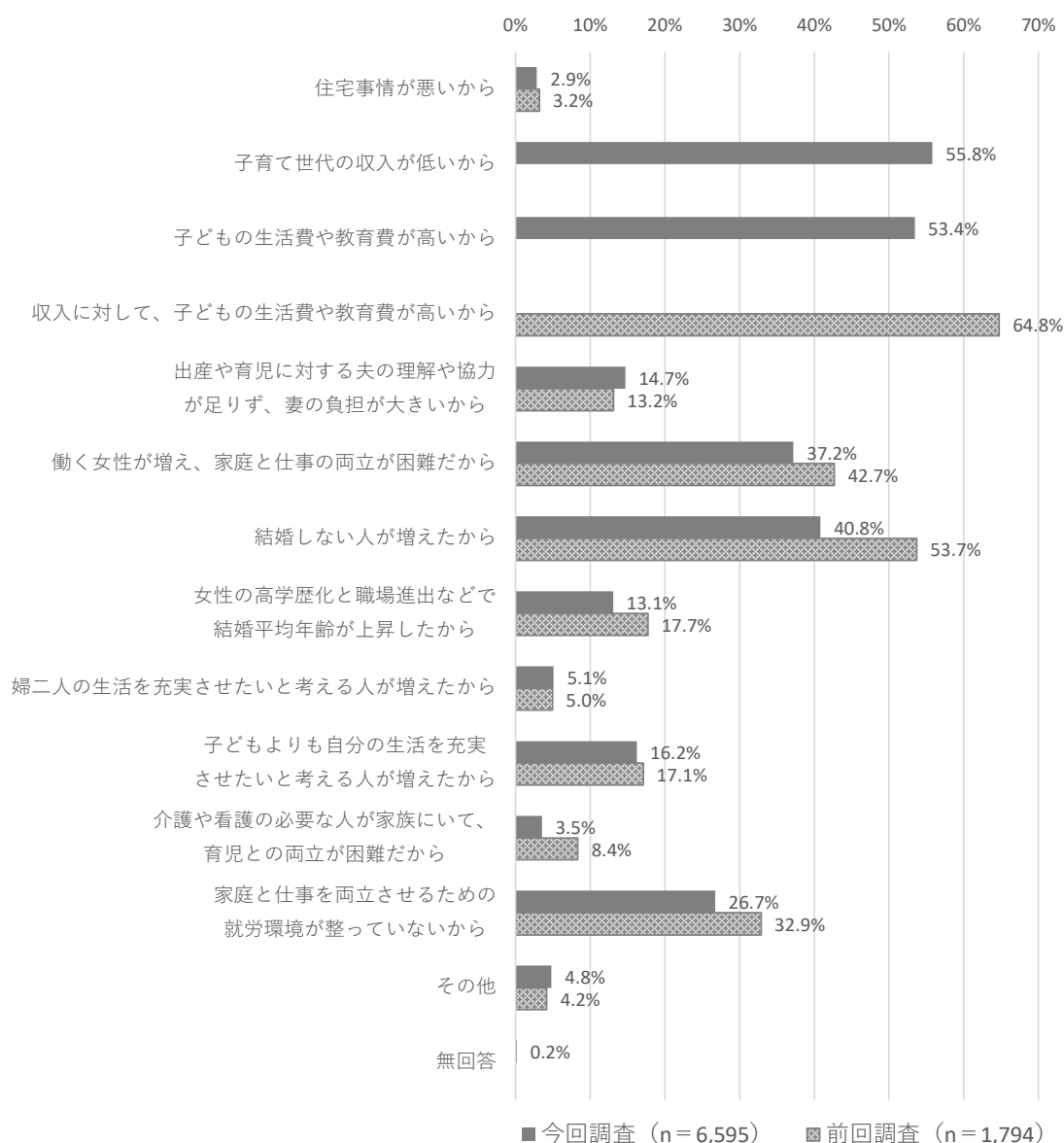
子どもが減少している要因について、「子育て世代の収入が低いから」が55.8%で最も多く、次いで「子どもの生活費や教育費が高いから」(53.4%)、「結婚しない人が増えたから」(40.8%)となっている。

性別でみると、男性は「子育て世代の収入が低いから」、女性は「子どもの生活費や教育費が高いから」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、10歳代、60歳代以上は「結婚しない人が増えたから」、20歳代～40歳代は「子育て世代の収入が低いから」、50歳代は「子どもの生活費や教育費が高いから」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」が6.2ポイント減少している。

【子どもが減少している要因】



※前回調査の「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」を今回調査では「子育て世代の収入が低いから」、「子どもの生活費や教育費が高いから」に分けて調査を実施。

		サンプル数	住宅事情が悪いから	子育て世代の収入が低い	子どもの生活費や教育費が高い	収入に對して、子どもの生活費や教育費が高い	理解や協力が足りず、妻の負担が大きい	出産や育児に對する夫の負担	仕事や両立が困難だから	結婚しない人が増えた	上昇したから	女性の高学歴と職場が	世帯収入が低いから	夫婦二人の生活が充実したから	子どもも自分の生活が	家族にいて、育児の必要	介護や看護の必要	ためたから	家庭と仕事を両立させる	その他	無回答
上段：度数																					
下段：%																					
今回調査		6,595 100.0	189 2.9	3,681 55.8	3,525 53.4	—	969 14.7	2,453 37.2	2,692 40.8	862 13.1	337 5.1	1,071 16.2	234 3.5	1,763 26.7	318 4.8	13 0.2					
前回調査		1,794 100.0	58 3.2	—	—	1,162 64.8	236 13.2	766 42.7	964 53.7	318 17.7	89 5.0	307 17.1	150 8.4	590 32.9	75 4.2	—					
性別	男性	2,514 100.0	97 3.9	1,460 58.1	1,281 51.0	—	205 8.2	701 27.9	1,181 47.0	323 12.8	173 6.9	511 20.3	93 3.7	583 23.2	154 6.1	6 0.2					
	女性	4,059 100.0	88 2.2	2,209 54.4	2,231 55.0	—	760 18.7	1,747 43.0	1,503 37.0	537 13.2	163 4.0	559 13.8	140 3.4	1,173 28.9	163 4.0	6 0.1					
	その他	17 100.0	4 23.5	11 64.7	11 64.7	—	4 23.5	3 17.6	8 47.1	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	6 35.3	0 0.0	0 0.0					
		31 100.0	2 6.5	9 29.0	15 48.4	—	4 12.9	13 41.9	16 51.6	4 12.9	4 12.9	4 12.9	0 0.0	4 12.9	0 0.0	0 0.0					
年齢	10歳代	876 100.0	21 3.1	421 62.3	393 58.1	—	78 11.5	209 30.9	236 36.4	74 10.9	22 3.3	98 14.5	31 4.6	193 28.6	39 5.8	3 0.4					
	20歳代	1,531 100.0	32 2.1	1,031 67.3	811 53.0	—	258 16.9	602 39.3	493 32.2	182 11.9	56 3.7	206 13.5	50 3.3	506 33.1	82 5.4	2 0.1					
	30歳代	1,819 100.0	58 3.1	1,050 57.7	1,014 55.7	—	284 14.5	665 36.6	722 39.7	242 13.3	79 4.3	295 16.2	67 3.7	473 26.0	86 4.7	3 0.2					
	40歳代	1,296 100.0	36 2.8	588 45.4	689 53.2	—	182 14.0	461 35.6	604 46.6	177 13.7	92 7.1	253 19.5	44 3.4	298 23.0	66 5.1	2 0.2					
	50歳代	953 100.0	29 3.0	454 47.6	466 48.9	—	141 14.8	370 38.8	473 49.6	135 14.2	62 6.5	172 18.0	31 3.3	224 23.5	42 4.4	2 0.2					
	60歳代	287 100.0	12 4.5	116 43.4	127 47.6	—	39 14.6	125 46.8	128 47.9	47 17.6	21 7.9	41 15.4	9 3.4	59 22.1	3 1.1	0 0.0					
	70歳代以上	3,934 100.0	110 2.8	2,237 56.9	2,163 55.0	—	589 15.0	1,480 37.6	1,571 39.9	505 12.8	179 4.6	613 15.6	135 3.4	1,055 26.8	180 4.6	2 0.1					
地域別	鹿児島地域	383 100.0	14 3.7	197 51.4	199 52.0	—	61 15.9	134 35.0	161 42.0	38 9.9	24 6.3	74 19.3	12 3.1	104 27.2	11 2.9	0 0.0					
	南薩地域	512 100.0	12 2.3	270 52.7	253 49.4	—	72 14.1	181 35.4	229 44.7	70 13.7	34 6.6	111 21.7	17 3.3	138 27.0	21 4.1	3 0.6					
	北薩地域	829 100.0	21 2.5	459 55.4	433 52.2	—	108 13.0	328 39.6	357 43.1	111 13.4	48 5.8	133 16.0	32 3.9	216 26.1	36 4.3	2 0.2					
	始良・伊佐地域	614 100.0	21 3.4	352 57.3	312 50.8	—	96 15.6	209 34.0	248 40.4	88 14.3	32 5.2	88 14.3	23 3.7	160 26.1	45 7.3	1 0.2					
	大隅地域	99 100.0	2 2.0	56 56.6	48 48.5	—	11 11.1	36 36.4	44 44.4	16 16.2	5 5.1	9 9.1	5 5.1	29 29.3	7 7.1	2 2.0					
	熊毛地域	176 100.0	6 3.4	89 50.6	93 52.8	—	26 14.8	66 37.5	62 35.2	31 17.6	13 7.4	37 21.0	8 4.5	51 29.0	14 8.0	1 0.6					
	大島地域																				

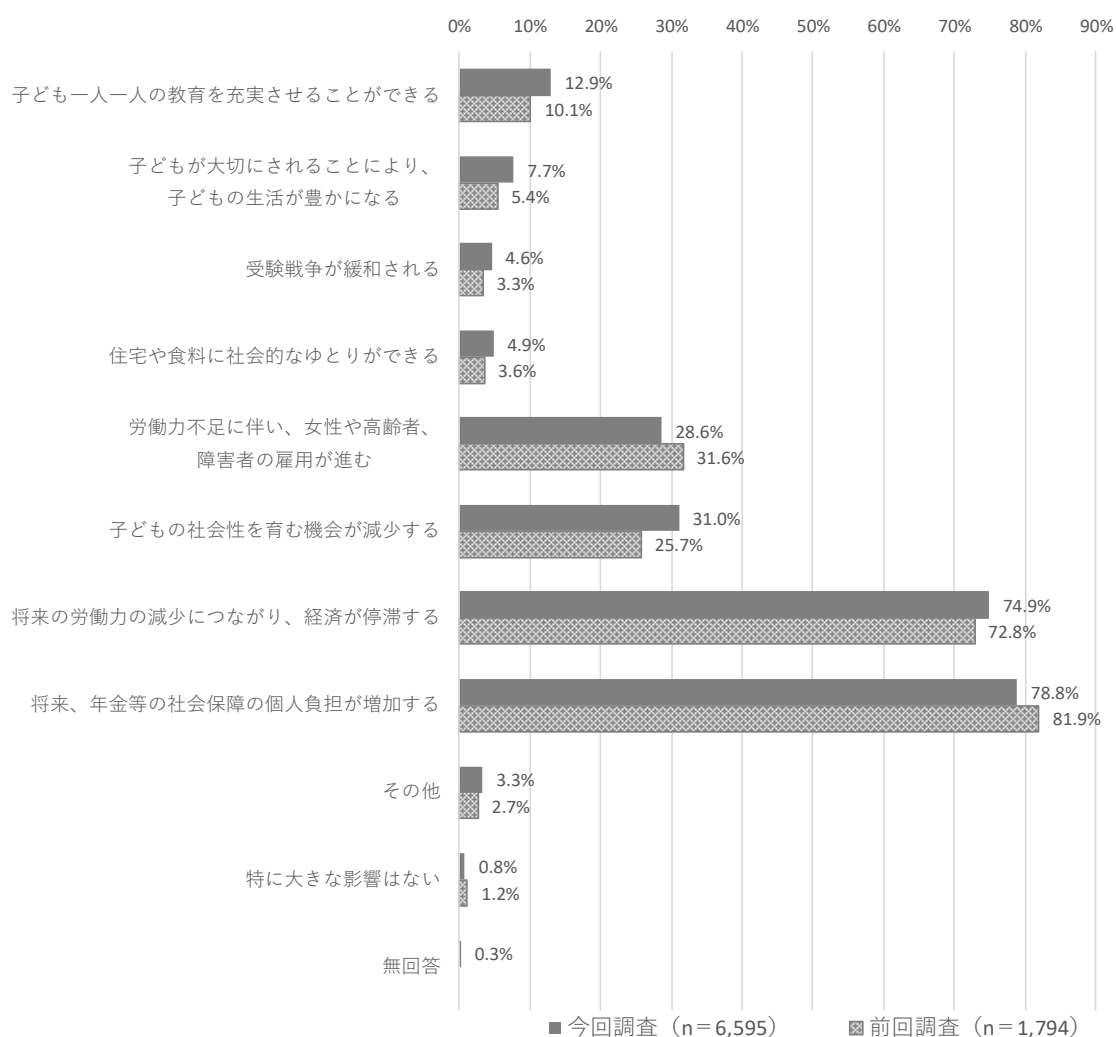
問 58 あなたは、子どもの数が減少するとどのような影響が出てくると思いますか。(〇は3つまで)

子どもが減少することによる影響について、「将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する」が78.8%で最も多く、次いで「将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する」(74.9%)、「子どもの社会性を育む機会が減少する」(31.0%)となっている。

性別で見ると、男性は「将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する」、女性は「将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別で見ると、10歳代、70歳代以上は「将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する」、20歳代～60歳代は「将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する」がそれぞれ最も多くなっている。

【子どもが減少することによる影響】



		サンプル数	充実させること ができる	子ども一人一人の 教育を	子どもが大切に される生活	子どもが 緩和される	受 験 戦 争 が 緩 和 さ れ る	と り が で き る	住 宅 や 食 料 に 社 会 的 な ゆ	が 進 む	や 高 齢 者 、 障 害 者 の 雇 用 性	労 働 力 不 足 に 伴 い 、 女 性	会 が 減 少 す る	子 ど も の 社 会 性 を 育 む 機	な が り 、 経 済 が 停 滞 す る	将 来 の 人 間 負 担 が 増 加 す る	の 保 障	其 他	特 に 大 き な 影 響 は な い	無 回 答
上段：度数 下段：%																				
今回調査		6,595 100.0	854 12.9	507 7.7	304 4.6	321 4.9	1,887 28.6	2,047 31.0	4,938 74.9	5,198 78.8	219 3.3	55 0.8	18 0.3							
前回調査		1,794 100.0	182 10.1	97 5.4	60 3.3	64 3.6	567 31.6	461 25.7	1,306 72.8	1,470 81.9	48 2.7	22 1.2	— —							
性別	男性	2,514 100.0	231 9.2	174 6.9	98 3.9	91 3.6	856 34.0	752 29.9	2,000 79.6	1,950 77.6	102 4.1	26 1.0	8 0.3							
	女性	4,059 100.0	620 15.3	331 8.2	204 5.0	228 5.6	1,024 25.2	1,287 31.7	2,925 72.1	3,231 79.6	116 2.9	29 0.7	9 0.2							
	その他	17 100.0	3 17.6	2 11.8	1 5.9	2 11.8	6 35.3	7 41.2	11 64.7	14 82.4	1 5.9	0 0.0	0 0.0							
年齢	10歳代	31 100.0	7 22.6	4 12.9	2 6.5	3 9.7	7 22.6	6 19.4	22 71.0	21 67.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0							
	20歳代	676 100.0	91 13.5	54 8.0	23 3.4	45 6.7	199 29.4	182 26.9	474 70.1	515 76.2	22 3.3	10 1.5	3 0.4							
	30歳代	1,531 100.0	246 16.1	154 10.1	70 4.6	93 6.1	364 23.8	468 30.6	1,131 73.9	1,196 78.1	63 4.1	11 0.7	3 0.2							
	40歳代	1,819 100.0	251 13.8	136 7.5	92 5.1	93 5.1	456 25.1	575 31.6	1,353 74.4	1,438 79.1	60 3.3	20 1.1	4 0.2							
	50歳代	1,296 100.0	153 11.8	77 5.9	55 4.2	45 3.5	392 30.2	423 32.6	971 74.9	1,030 79.5	42 3.2	7 0.5	4 0.3							
	60歳代	953 100.0	88 9.2	64 6.7	47 4.9	31 3.3	357 37.5	304 31.9	749 78.6	770 80.8	26 2.7	6 0.6	3 0.3							
	70歳代以上	267 100.0	16 6.0	15 5.6	14 5.2	9 3.4	105 39.3	86 32.2	225 84.3	210 78.7	4 1.5	1 0.4	0 0.0							
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	510 13.0	297 7.5	195 5.0	193 4.9	1,127 28.6	1,211 30.8	2,958 75.2	3,125 79.4	124 3.2	25 0.6	7 0.2							
	南薩地域	383 100.0	53 13.8	30 7.8	16 4.2	17 4.4	95 24.8	132 34.5	289 75.5	290 75.7	16 4.2	6 1.6	0 0.0							
	北薩地域	512 100.0	57 11.1	40 7.8	27 5.3	21 4.1	184 35.9	149 29.1	389 76.0	401 78.3	13 2.5	7 1.4	2 0.4							
	始良・伊佐地域	829 100.0	103 12.4	59 7.1	28 3.4	35 4.2	225 27.1	269 32.4	640 77.2	671 80.9	27 3.3	1 0.1	3 0.4							
	大隅地域	614 100.0	90 14.7	58 9.4	29 4.7	41 6.7	154 25.1	189 30.8	431 70.2	462 75.2	22 3.6	14 2.3	1 0.2							
	熊毛地域	99 100.0	12 12.1	7 7.1	3 3.0	6 6.1	29 29.3	36 36.4	69 69.7	78 78.8	5 5.1	0 0.0	2 2.0							
	大島地域	176 100.0	23 13.1	14 8.0	4 2.3	4 2.3	54 30.7	50 28.4	132 75.0	139 79.0	10 5.7	2 1.1	1 0.6							

問 59 あなたは、人生設計（ライフプラン）について考えたことがありますか。（〇はひとつ）

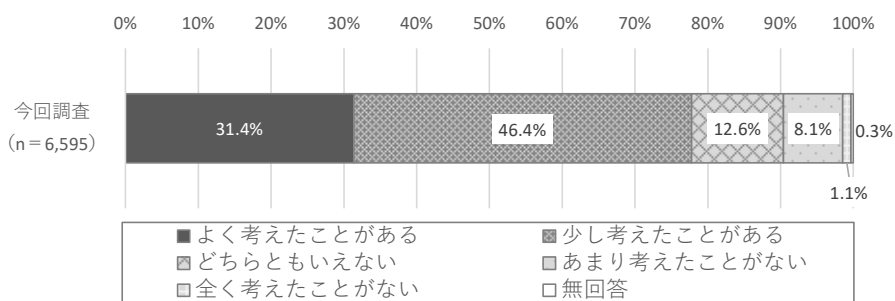
人生設計（ライフプラン）の考えの有無について、「よく考えたことがある」が31.4%、「少し考えたことがある」が46.4%となっており、この2項目を合わせた『考えたことがある』は77.8%となっている。

一方、「あまり考えたことがない」は8.1%、「全く考えたことがない」は1.1%となっており、この2項目を合わせた『考えたことがない』は9.2%となっている。なお、「どちらともいえない」は12.6%となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも『考えたことがある』が7割以上を占めている。

年齢別でみると、『考えたことがある』が全ての年代で半数以上を占め、年代が上がるにつれて増加している。

【人生設計（ライフプラン）の考えの有無】



		サンプル数	よく考えたことがある	少し考えたことがある	どちらともいえない	あまり考えたことがない	全く考えたことがない	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		6,595	2,068	3,061	833	537	75	21
		100.0	31.4	46.4	12.6	8.1	1.1	0.3
性別	男性	2,514	816	1,163	297	189	42	7
		100.0	32.5	46.3	11.8	7.5	1.7	0.3
	女性	4,059	1,243	1,894	533	346	31	12
		100.0	30.6	46.7	13.1	8.5	0.8	0.3
	その他	17	8	4	3	1	0	1
		100.0	47.1	23.5	17.6	5.9	0.0	5.9
年齢	10歳代	31	7	14	5	3	2	0
		100.0	22.6	45.2	16.1	9.7	6.5	0.0
	20歳代	676	207	304	79	70	14	2
		100.0	30.6	45.0	11.7	10.4	2.1	0.3
	30歳代	1,531	461	703	199	146	19	3
		100.0	30.1	45.9	13.0	9.5	1.2	0.2
	40歳代	1,819	547	849	239	161	19	4
	100.0	30.1	46.7	13.1	8.9	1.0	0.2	
50歳代	1,296	399	637	171	78	8	3	
	100.0	30.8	49.2	13.2	6.0	0.6	0.2	
60歳代	953	348	433	100	62	7	3	
	100.0	36.5	45.4	10.5	6.5	0.7	0.3	
70歳代以上	267	96	112	36	16	4	3	
	100.0	36.0	41.9	13.5	6.0	1.5	1.1	
地域別	鹿児島地域	3,934	1,265	1,853	477	294	39	6
		100.0	32.2	47.1	12.1	7.5	1.0	0.2
	南薩地域	383	92	183	66	33	9	0
		100.0	24.0	47.8	17.2	8.6	2.3	0.0
	北薩地域	512	152	227	72	51	8	2
		100.0	29.7	44.3	14.1	10.0	1.6	0.4
	始良・伊佐地域	829	266	376	99	81	4	3
		100.0	32.1	45.4	11.9	9.8	0.5	0.4
大隅地域	614	182	293	75	49	10	5	
	100.0	29.6	47.7	12.2	8.0	1.6	0.8	
熊本地域	99	31	38	18	10	1	1	
	100.0	31.3	38.4	18.2	10.1	1.0	1.0	
大島地域	176	61	72	22	18	2	1	
	100.0	34.7	40.9	12.5	10.2	1.1	0.6	

※今回調査から実施

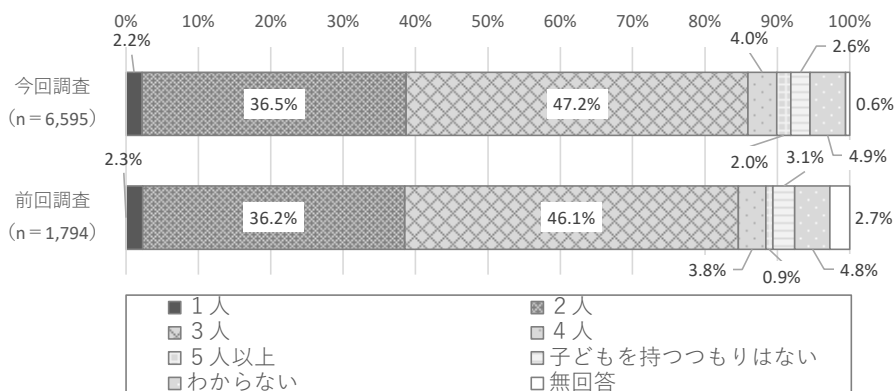
問 60 あなたにとって理想とする子どもの数は何人ですか。(〇はひとつ)

理想の子どもの数について、「3人」が47.2%で最も多く、次いで「2人」(36.5%)、「わからない」(4.9%)となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「3人」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代以下は「2人」、30歳代以上は「3人」がそれぞれ最も多くなっている。

【理想の子どもの数】



		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもを持つつもりはない	わからない	無回答
上段：度数										
下段：%										
今回調査		6,595	146	2,406	3,115	263	129	172	324	40
		100.0	2.2	36.5	47.2	4.0	2.0	2.6	4.9	0.6
前回調査		1,794	41	650	827	68	17	55	87	49
		100.0	2.3	36.2	46.1	3.8	0.9	3.1	4.8	2.7
性別	男性	2,514	32	894	1,257	97	52	52	111	19
		100.0	1.3	35.6	50.0	3.9	2.1	2.1	4.4	0.8
	女性	4,059	112	1,505	1,851	166	77	118	210	20
	100.0	2.8	37.1	45.6	4.1	1.9	2.9	5.2	0.5	
	その他	17	1	6	6	0	0	1	3	0
	100.0	5.9	35.3	35.3	0.0	0.0	5.9	17.6	0.0	
年齢	10歳代	31	0	15	11	0	0	0	5	0
		100.0	0.0	48.4	35.5	0.0	0.0	0.0	16.1	0.0
	20歳代	676	24	318	214	20	15	35	49	1
		100.0	3.6	47.0	31.7	3.0	2.2	5.2	7.2	0.1
	30歳代	1,531	56	594	649	75	33	40	78	6
		100.0	3.7	38.8	42.4	4.9	2.2	2.6	5.1	0.4
	40歳代	1,819	41	683	822	74	43	51	94	11
	100.0	2.3	37.5	45.2	4.1	2.4	2.8	5.2	0.6	
50歳代	1,296	17	437	671	41	23	37	60	10	
	100.0	1.3	33.7	51.8	3.2	1.8	2.9	4.6	0.8	
60歳代	953	7	278	572	43	13	6	28	6	
	100.0	0.7	29.2	60.0	4.5	1.4	0.6	2.9	0.6	
70歳代以上	267	0	77	164	10	2	1	9	4	
	100.0	0.0	28.8	61.4	3.7	0.7	0.4	3.4	1.5	
地域別	鹿児島地域	3,934	98	1,549	1,787	136	56	103	187	18
		100.0	2.5	39.4	45.4	3.5	1.4	2.6	4.8	0.5
	南薩地域	383	7	115	207	16	11	10	17	0
		100.0	1.8	30.0	54.0	4.2	2.9	2.6	4.4	0.0
	北薩地域	512	7	173	244	26	14	14	30	4
		100.0	1.4	33.8	47.7	5.1	2.7	2.7	5.9	0.8
	始良・伊佐地域	829	14	304	399	31	19	18	40	4
	100.0	1.7	36.7	48.1	3.7	2.3	2.2	4.8	0.5	
大隅地域	614	13	164	336	37	16	14	28	6	
	100.0	2.1	26.7	54.7	6.0	2.6	2.3	4.6	1.0	
熊毛地域	99	3	32	44	4	1	4	8	3	
	100.0	3.0	32.3	44.4	4.0	1.0	4.0	8.1	3.0	
大島地域	176	1	59	83	6	12	5	9	1	
	100.0	0.6	33.5	47.2	3.4	6.8	2.8	5.1	0.6	

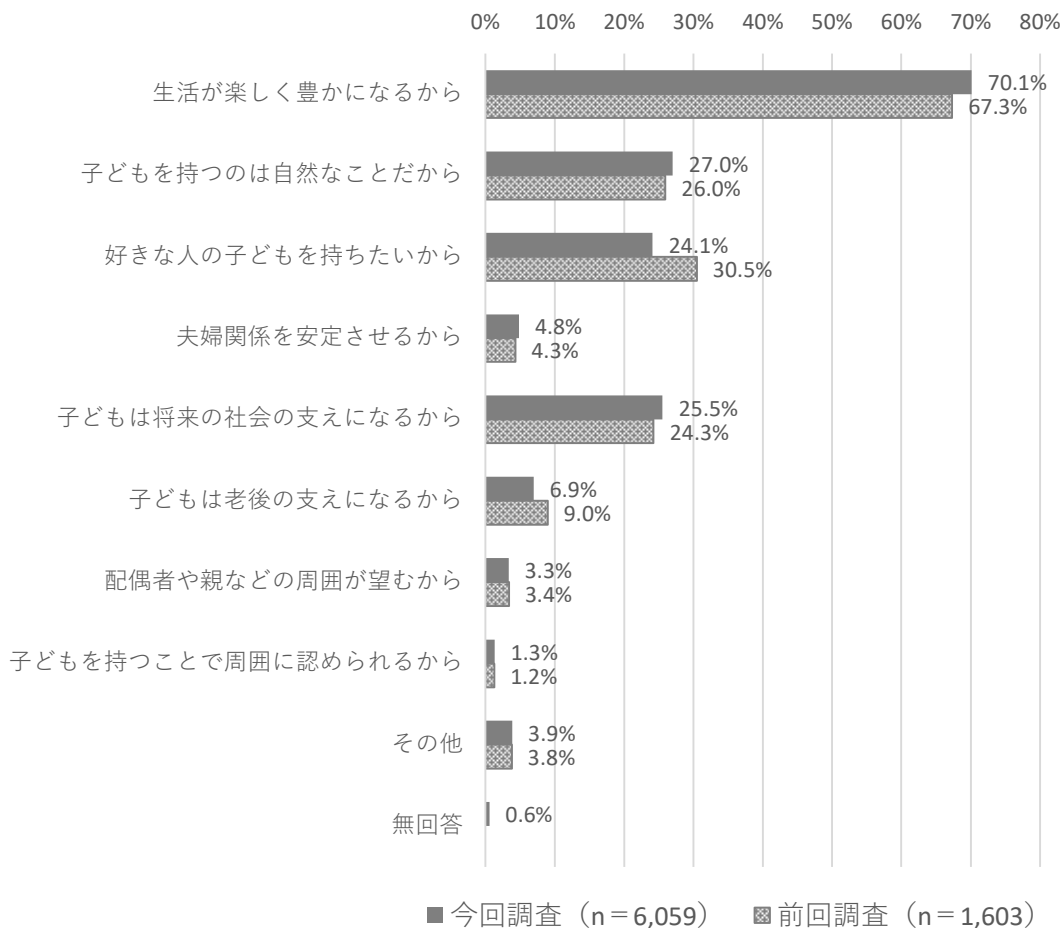
問 61 子どもを持ちたいのは、どのような理由からですか。(〇は2つまで)

【回答者：問 61 で「子どもを持つつもりはない」「わからない」以外を回答した方】

子どもを持ちたい理由について、「生活が楽しく豊かになるから」が70.1%で最も多く、次いで「子どもを持つのは自然なことだから」(27.0%)、「子どもは将来の社会の支えになるから」(25.5%)となっている。

性別、年齢別問わず「生活が楽しく豊かになるから」が最も多くなっている。

【子どもを持ちたい理由】



		サンプル数	に生活が楽しく豊か	自然なことを大切に	子どもを持つのは	好きな人の子ども	をもちたいから	夫婦関係を安定させるから	ら会支えに将来の社	子どもは老後の支	え子どもは老後の支	周囲が望むからの	配偶者や親などの	で周囲に認められ	子どもを持つこと	その他	無回答
上段：度数 下段：%																	
今回調査		6,059 100.0	4,249 70.1	1,637 27.0	1,462 24.1	291 4.8	1,548 25.5	420 6.9	202 3.3	81 1.3	234 3.9	34 0.6					
前回調査		1,603 100.0	1,079 67.3	416 26.0	489 30.5	69 4.3	389 24.3	144 9.0	54 3.4	20 1.2	61 3.8	— —					
性別	男性	2,332 100.0	1,588 68.1	753 32.3	507 21.7	178 7.6	759 32.5	150 6.4	58 2.5	22 0.9	62 2.7	11 0.5					
	女性	3,711 100.0	2,653 71.5	880 23.7	952 25.7	112 3.0	785 21.2	270 7.3	144 3.9	59 1.6	170 4.6	22 0.6					
	その他	13 100.0	8 61.5	4 30.8	3 23.1	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 7.7	0 0.0					
年齢	10歳代	26 100.0	17 65.4	6 23.1	11 42.3	2 7.7	1 3.8	2 7.7	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0					
	20歳代	591 100.0	410 69.4	90 15.2	232 39.3	25 4.2	91 15.4	47 8.0	35 5.9	6 1.0	21 3.6	4 0.7					
	30歳代	1,407 100.0	1,053 74.8	244 17.3	488 34.7	47 3.3	241 17.1	103 7.3	78 5.5	22 1.6	75 5.3	4 0.3					
	40歳代	1,663 100.0	1,192 71.7	424 25.5	402 24.2	63 3.8	393 23.6	108 6.5	48 2.9	20 1.2	68 4.1	16 1.0					
	50歳代	1,189 100.0	834 70.1	399 33.6	201 16.9	51 4.3	334 28.1	79 6.6	17 1.4	19 1.6	47 4.0	2 0.2					
	60歳代	913 100.0	595 65.2	349 38.2	108 11.8	81 8.9	362 39.6	54 5.9	17 1.9	9 1.0	20 2.2	4 0.4					
	70歳代以上	253 100.0	137 54.2	117 46.2	16 6.3	22 8.7	122 48.2	25 9.9	3 1.2	5 2.0	3 1.2	3 1.2					
地域別	鹿児島地域	3,626 100.0	2,550 70.3	989 27.3	853 23.5	167 4.6	946 26.1	246 6.8	132 3.6	48 1.3	128 3.5	17 0.5					
	南薩地域	356 100.0	257 72.2	102 28.7	78 21.9	18 5.1	93 26.1	23 6.5	7 2.0	3 0.8	8 2.2	3 0.8					
	北薩地域	464 100.0	299 64.4	137 29.5	125 26.9	34 7.3	115 24.8	40 8.6	11 2.4	5 1.1	16 3.4	1 0.2					
	始良・伊佐地域	767 100.0	549 71.6	189 24.6	185 24.1	37 4.8	205 26.7	50 6.5	24 3.1	15 2.0	31 4.0	5 0.7					
	大隅地域	566 100.0	400 70.7	150 26.5	138 24.4	22 3.9	129 22.8	45 8.0	21 3.7	7 1.2	38 6.7	4 0.7					
	熊毛地域	84 100.0	55 65.5	17 20.2	32 38.1	3 3.6	16 19.0	4 4.8	3 3.6	1 1.2	5 6.0	2 2.4					
	大島地域	161 100.0	115 71.4	46 28.6	42 26.1	7 4.3	38 23.6	9 5.6	3 1.9	1 0.6	7 4.3	1 0.6					

問 62 子どもを持ちたくないのは、どのような理由からですか。(〇は2つまで)

【回答者：問 60 で「子どもを持つつもりはない」と回答した方】

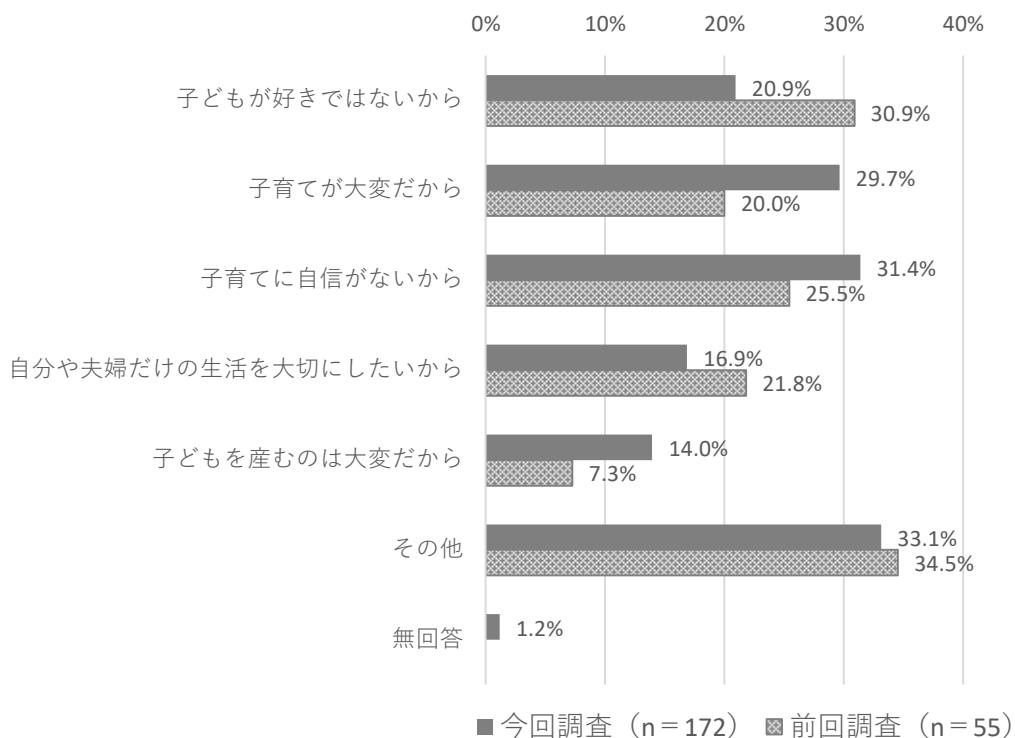
子どもを持ちたくない理由について、「その他」が33.1%で最も多く、次いで「子育てに自信がないから」(31.4%)、「子育てが大変だから」(29.7%)となっている。なお、「その他」の内容としては、「経済的に難しい」「不妊症など持病があるため」等が挙げられた。

性別で見ると、男性は「子育てが大変だから」、女性は「子育てに自信がないから」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代～30歳代は「子育てが大変だから」、40歳代は「子育てに自信がないから」、50歳代は「その他」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「子育てが大変だから」が9.7ポイント、「子どもを産むのは大変だから」が6.7ポイント、「子育てに自信がないから」が5.9ポイントそれぞれ増加し、「子どもが好きではないから」は10.0ポイント、「自分や夫婦だけの生活を大切にしたいから」は4.9ポイントそれぞれ減少している。

【子どもを持ちたくない理由】



		サ ン プ ル 数	な い ど も か ら が 好 き で は	ら 子 育 て が 大 変 だ か	い 子 育 て に 自 信 が な	い 生 活 を 大 切 に し た の	自 分 や 夫 婦 だ け の	大 変 だ か ら 産 む の は	子 ど も を 産 む の は	そ の 他	無 回 答
上段：度数 下段：%											
今回調査		172 100.0	36 20.9	51 29.7	54 31.4	29 16.9	24 14.0	57 33.1	2 1.2		
前回調査		55 100.0	17 30.9	11 20.0	14 25.5	12 21.8	4 7.3	19 34.5	— —		
性 別	男性	52 100.0	12 23.1	17 32.7	13 25.0	12 23.1	2 3.8	16 30.8	1 1.9		
	女性	118 100.0	23 19.5	34 28.8	41 34.7	17 14.4	22 18.6	40 33.9	1 0.8		
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
年 齢	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
	20歳代	35 100.0	10 28.6	14 40.0	12 34.3	4 11.4	8 22.9	10 28.6	0 0.0		
	30歳代	40 100.0	9 22.5	20 50.0	16 40.0	7 17.5	5 12.5	10 25.0	0 0.0		
	40歳代	51 100.0	10 19.6	9 17.6	16 31.4	11 21.6	7 13.7	15 29.4	2 3.9		
	50歳代	37 100.0	5 13.5	5 13.5	9 24.3	5 13.5	4 10.8	19 51.4	0 0.0		
	60歳代	6 100.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0		
	70歳代以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
地 域 別	鹿児島地域	103 100.0	19 18.4	36 35.0	37 35.9	21 20.4	17 16.5	27 26.2	1 1.0		
	南薩地域	10 100.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	7 70.0	0 0.0		
	北薩地域	14 100.0	3 21.4	5 35.7	2 14.3	3 21.4	0 0.0	4 28.6	1 7.1		
	始良・伊佐地域	18 100.0	6 33.3	3 16.7	4 22.2	1 5.6	2 11.1	9 50.0	0 0.0		
	大隅地域	14 100.0	4 28.6	4 28.6	6 42.9	1 7.1	1 7.1	6 42.9	0 0.0		
	熊毛地域	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0		
	大島地域	5 100.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0		

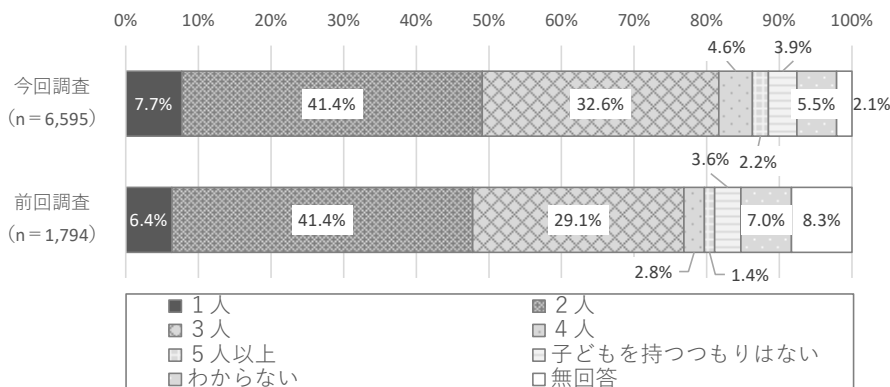
問 63 あなたは、実際に何人の子どもを持ちたいですか。現在おられるお子さんとこれから持ちたいお子さんの数を含めてお答えください。(〇はひとつ)

実際に持ちたい子どもの数について、「2人」が41.4%で最も多く、次いで「3人」(32.6%)、「1人」(7.7%)となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「2人」が最も多くなっている。

年齢別でみると、50歳代以下は「2人」、60歳代以上は「3人」がそれぞれ最も多くなっている。

【実際に持ちたい子どもの数】



		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもを持つつもりはない	わからない	無回答
上段：度数										
下段：%										
今回調査		6,595	507	2,731	2,148	305	146	257	361	140
		100.0	7.7	41.4	32.6	4.6	2.2	3.9	5.5	2.1
前回調査		1,794	114	743	522	51	25	65	125	149
		100.0	6.4	41.4	29.1	2.8	1.4	3.6	7.0	8.3
性別	男性	2,514	166	1,041	874	106	58	75	135	59
		100.0	6.6	41.4	34.8	4.2	2.3	3.0	5.4	2.3
	女性	4,059	339	1,679	1,272	199	88	181	221	80
	100.0	8.4	41.4	31.3	4.9	2.2	4.5	5.4	2.0	
	その他	17	1	9	2	0	0	1	4	0
	100.0	100.0	5.9	52.9	11.8	0.0	0.0	5.9	23.5	0.0
年齢	10歳代	31	0	12	11	0	0	0	5	3
		100.0	0.0	38.7	35.5	0.0	0.0	0.0	16.1	9.7
	20歳代	676	42	326	178	13	10	33	57	17
		100.0	6.2	48.2	26.3	1.9	1.5	4.9	8.4	2.5
	30歳代	1,531	121	679	462	78	37	47	72	35
		100.0	7.9	44.4	30.2	5.1	2.4	3.1	4.7	2.3
	40歳代	1,819	181	744	522	102	59	83	90	38
	100.0	10.0	40.9	28.7	5.6	3.2	4.6	4.9	2.1	
50歳代	1,296	113	518	422	58	23	63	82	17	
	100.0	8.7	40.0	32.6	4.5	1.8	4.9	6.3	1.3	
60歳代	953	45	358	410	43	14	25	41	17	
	100.0	4.7	37.6	43.0	4.5	1.5	2.6	4.3	1.8	
70歳代以上	267	4	89	133	11	3	4	12	11	
	100.0	1.5	33.3	49.8	4.1	1.1	1.5	4.5	4.1	
地域別	鹿児島地域	3,934	338	1,736	1,215	153	62	157	216	57
		100.0	8.6	44.1	30.9	3.9	1.6	4.0	5.5	1.4
	南薩地域	383	21	133	141	25	13	9	26	15
		100.0	5.5	34.7	36.8	6.5	3.4	2.3	6.8	3.9
	北薩地域	512	26	195	177	33	16	26	27	12
		100.0	5.1	38.1	34.6	6.4	3.1	5.1	5.3	2.3
	始良・伊佐地域	829	62	353	274	37	21	26	40	16
		100.0	7.5	42.6	33.1	4.5	2.5	3.1	4.8	1.9
大隅地域	614	35	196	252	38	23	23	23	24	
	100.0	5.7	31.9	41.0	6.2	3.7	3.7	3.7	3.9	
熊毛地域	99	11	39	22	7	2	4	9	5	
	100.0	11.1	39.4	22.2	7.1	2.0	4.0	9.1	5.1	
大島地域	176	9	63	61	9	8	8	12	6	
	100.0	5.1	35.8	34.7	5.1	4.5	4.5	6.8	3.4	

問 64 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

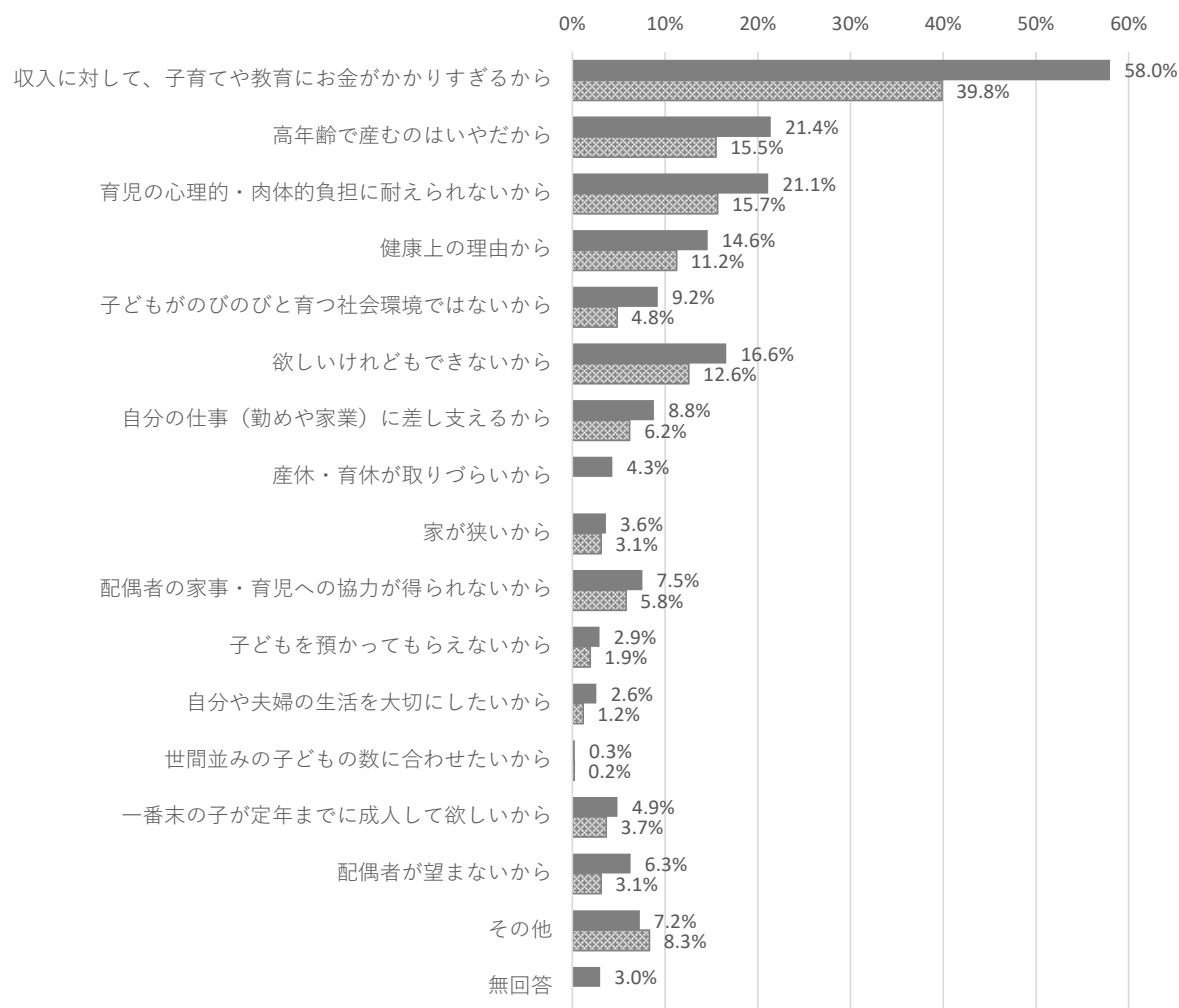
【回答者：問 63 の実際に持ちたい子どもの数が、問 60 の理想の子どもの数より少ない方】

実際に持ちたい子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由について、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が58.0%で最も多く、次いで「高年齢で産むのはいやだから」(21.4%)、「育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」(21.1%)となっている。

性別、年齢別問わず「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多くなっており、年齢別では年代が低いほど割合が多い傾向にある。

前回調査と比較すると、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が18.2ポイント、「高年齢で産むのはいやだから」が5.9ポイント、「育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」が5.4ポイントそれぞれ増加している。

【実際に持ちたい子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由】



■ 今回調査 (n=1,435) ■ 前回調査 (n=517)

※今回調査から「産休・育休が取りづらいから」を追加

	サンプル数	収入に 対して、 子育てや 教育にお 金がかり すぎ	から 高年齢で 産むのは いやだ	担に耐え られない から	育児の心 理的・肉 体的負	健康上の 理由から	社環 境では ないから	子ども のびの びと育 つ	から 欲しい けれど できな い	業）に 差し支 えるか ら	自の仕 事（勤 めや家 業）に 差し支 えるか ら	産休・ 育休が 取りづ らい	家が狭 いから	協力が 得られ ないか ら	配偶者 の家事 ・育児 への	ないか ら	子ども を預か ってら え	に した い か ら	自分や 夫婦の 生活を 大切	合 わ せ たい か ら	世間並 みの子 どもの 数に	一 番末の 子が定 年まで に	配 偶 者 が 望 ま な い か ら	そ の 他	無 回 答		
上段：度数 下段：%																											
今回調査	1,435 100.0	832 58.0	307 21.4	303 21.1	209 14.6	132 9.2	238 16.6	126 8.8	62 4.3	52 3.6	108 7.5	42 2.9	37 2.6	4 0.3	70 4.9	90 6.3	104 7.2	43 3.0									
前回調査	517 100.0	206 39.8	80 15.5	81 15.7	58 11.2	25 4.8	65 12.6	32 6.2	—	16 3.1	30 5.8	10 1.9	6 1.2	1 0.2	19 3.7	16 3.1	43 8.3	—									
性別																											
男性	524 100.0	301 57.4	114 21.8	83 12.0	83 12.0	44 8.4	92 17.6	30 5.7	22 4.2	21 4.0	18 3.4	16 3.1	11 2.1	3 0.6	16 3.1	17 3.2	39 7.4	57 10.9	32 6.1	14 2.7							
女性	908 100.0	528 58.1	193 21.3	238 26.2	146 16.1	88 9.7	146 16.1	95 10.5	39 4.3	31 3.4	100 11.0	26 2.9	20 2.2	1 0.1	31 3.4	32 3.5	71 7.8	29 3.2									
その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢																											
10歳代	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
20歳代	84 100.0	71 84.5	4 4.8	22 26.2	8 7.1	19 22.6	0 0.0	10 11.9	10 8.3	7 5.5	5 6.0	4 4.8	0 0.0	0 0.0	1 1.2	1 1.2	4 4.8	4 4.8									
30歳代	317 100.0	242 76.3	68 21.5	113 35.6	25 7.9	43 13.6	31 9.8	35 11.0	17 5.4	19 6.0	37 11.7	9 2.8	8 2.5	1 0.3	7 2.2	17 5.4	29 9.1	5 1.6									
40歳代	451 100.0	240 53.2	131 29.0	85 18.8	79 17.5	27 6.0	99 22.0	34 7.5	16 3.5	29 6.4	30 6.7	15 3.3	14 3.1	0 0.0	30 6.7	32 7.1	34 7.5	13 2.9									
50歳代	333 100.0	159 47.7	70 21.0	48 13.8	52 15.6	22 6.6	85 19.5	20 6.0	7 2.1	9 2.7	18 5.4	7 2.1	1 0.3	1 0.3	21 6.3	26 7.8	25 7.5	7 2.1									
60歳代	208 100.0	99 47.6	31 14.9	31 14.9	35 16.8	18 8.7	35 16.8	20 9.6	10 4.8	4 1.9	16 7.7	6 2.9	2 1.4	2 1.0	9 4.3	14 6.7	10 4.8	4 4.8									
70歳代以上	38 100.0	18 47.4	3 7.9	4 10.5	11 28.9	2 5.3	7 18.4	5 13.2	2 5.3	0 0.0	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.3	0 0.0	2 5.3	4 10.5									
地域別																											
鹿児島地域	877 100.0	515 58.7	197 22.5	189 21.6	128 14.6	68 7.8	145 16.5	85 9.7	38 4.3	34 3.9	72 8.2	32 3.6	26 3.0	2 0.2	41 4.7	51 5.8	59 6.7	22 2.5									
南薩地域	89 100.0	40 58.0	15 21.7	8 7.7	10 14.5	9 13.0	17 24.6	8 11.6	1 1.4	2 2.9	2 2.9	2 0.0	0 0.0	0 0.0	4 5.8	6 8.7	2 2.9	3 4.3									
北薩地域	103 100.0	58 56.3	20 19.4	23 22.3	16 15.5	12 11.7	15 14.6	6 5.8	5 4.9	3 2.9	8 7.8	0 0.0	2 1.9	0 0.0	6 5.8	13 12.6	11 10.7	3 2.9									
給良・伊佐地域	191 100.0	111 58.1	40 20.9	38 19.9	26 13.6	21 11.0	32 16.8	10 5.2	7 3.7	8 4.2	11 5.8	2 1.0	2 1.0	0 0.5	9 4.7	10 5.2	12 6.3	9 4.7									
大隅地域	121 100.0	70 57.9	21 17.4	25 20.7	19 15.7	14 11.6	16 13.2	11 9.1	9 7.4	3 2.5	12 9.9	2 1.7	2 3.3	1 0.8	6 5.0	8 4.1	8 11.6	4 3.3									
熊本地域	24 100.0	11 45.8	4 16.7	9 37.5	3 12.5	0 0.0	5 20.8	3 12.5	1 4.2	0 0.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	0 0.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	4 4.2									
大島地域	38 100.0	19 50.0	9 23.7	10 26.3	4 10.5	7 18.4	6 15.8	2 5.3	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0	2 5.3	1 2.6	3 7.9	4 10.5	0 0.0									

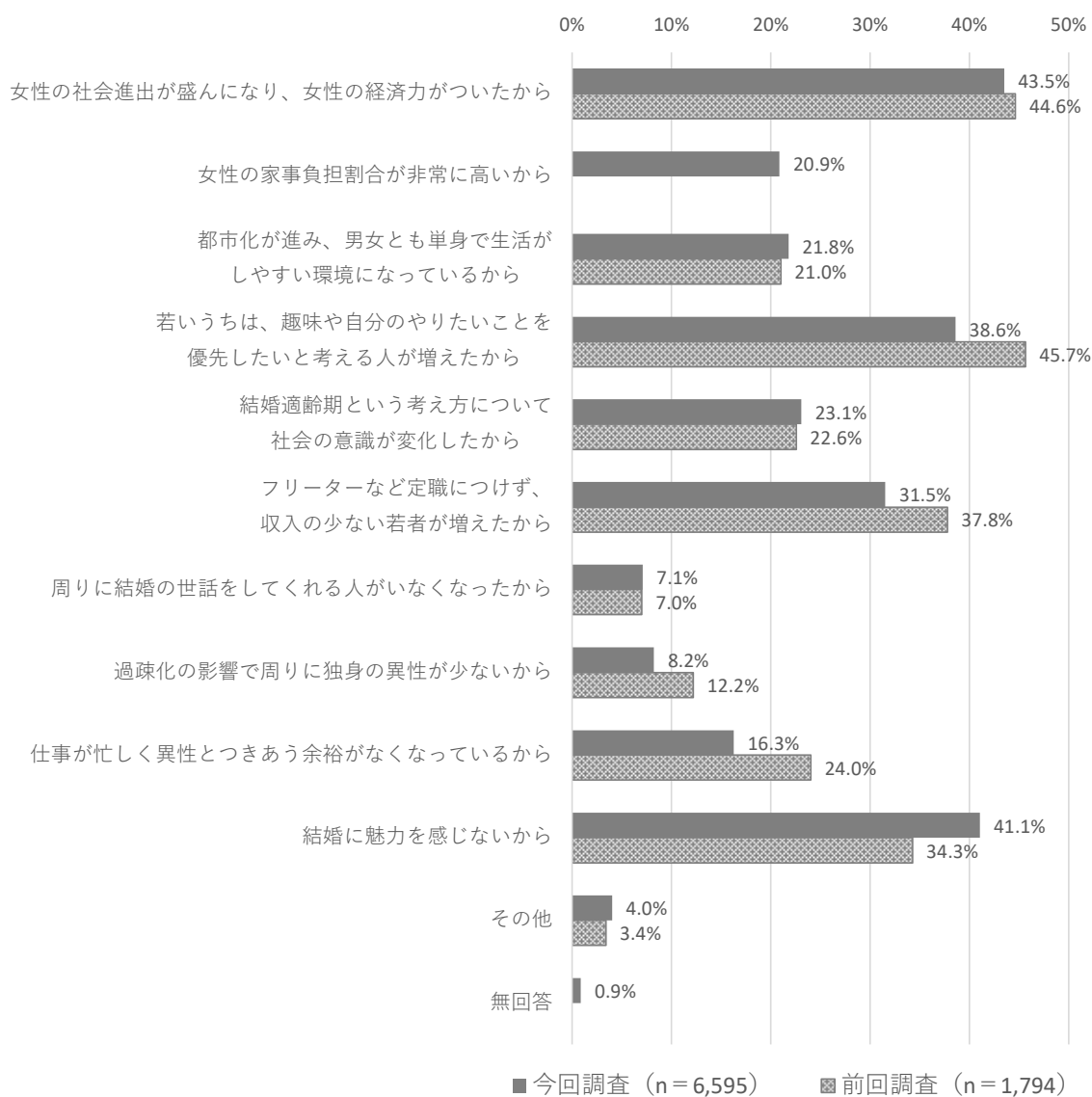
問 65 本県でも、未婚化と晩婚化が進んでいますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。(〇は3つまで)

本県における未婚化・晩婚化の要因について、「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」が43.5%で最も多く、次いで「結婚に魅力を感じないから」(41.1%)、「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」(38.6%)となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代以下は「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」、30歳代は「結婚に魅力を感じないから」、40歳代以上は「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」がそれぞれ最も多くなっている。

【本県における未婚化・晩婚化の要因】



※今回調査から「女性の家事負担割合が非常に高いから」を追加

		サンプル数	いたから	女性の社会進出が盛んに	女性の家事負担割合が非	境単身で生活しているから	都市化が進み、男女とも	かたいと考える人が増えた	若いうちは、趣味や自分	化してから社会的意識が変	結婚適齢期という意識が	けず、収入の少ない若者	フリーターなど定職につ	かられる人がいなくなつ	周りに結婚の世話をし	身の異性が少ないから独	過疎化の影響で周りに	るから余裕がなくなっ	仕事に魅力を感じない	結婚に魅力を感じない	その他	無回答
上段：度数 下段：%																						
今回調査		6,595 100.0	2,870 43.5	1,376 20.9	1,436 21.8	2,545 38.6	1,521 23.1	2,080 31.5	469 7.1	543 8.2	1,073 16.3	2,708 41.1	265 4.0	58 0.9								
前回調査		1,794 100.0	801 44.6	—	377 21.0	819 45.7	405 22.6	678 37.8	126 7.0	219 12.2	431 24.0	615 34.3	61 3.4	—								
性別	男性	2,514 100.0	1,018 40.5	278 11.1	645 25.7	1,001 39.8	618 24.6	892 35.5	214 8.5	219 8.7	443 17.6	966 38.4	117 4.7	31 1.2								
	女性	4,059 100.0	1,846 45.5	1,091 26.9	786 19.4	1,538 37.9	896 22.1	1,179 29.0	252 6.2	322 7.9	628 15.5	1,735 42.7	148 3.6	26 0.6								
	その他	17 100.0	4 23.5	6 35.3	3 17.6	6 35.3	5 29.4	9 52.9	3 17.6	2 11.8	2 11.8	6 35.3	0 0.0	0 0.0								
年齢	10歳代	31 100.0	15 48.4	6 19.4	7 22.6	16 51.6	7 22.6	6 19.4	0 0.0	2 6.5	7 22.6	8 25.8	0 0.0	0 0.0								
	20歳代	676 100.0	255 37.7	144 21.3	125 18.5	361 53.4	121 17.9	146 21.6	26 3.8	54 8.0	157 23.2	252 37.3	28 4.1	4 0.6								
	30歳代	1,531 100.0	591 38.6	366 23.9	250 16.3	626 40.9	338 22.1	410 26.8	113 7.4	140 9.1	332 21.7	673 44.0	77 5.0	11 0.7								
	40歳代	1,819 100.0	807 44.4	420 23.1	322 17.7	681 37.4	372 20.5	595 32.7	115 6.3	154 8.5	276 15.2	794 43.7	83 4.6	14 0.8								
	50歳代	1,296 100.0	582 44.9	251 19.4	336 25.9	451 34.8	302 23.3	447 34.5	93 7.2	96 7.4	155 12.0	567 43.8	54 4.2	18 1.4								
	60歳代	953 100.0	450 47.2	156 16.4	287 30.1	331 34.7	287 30.1	360 37.8	78 8.2	72 7.6	118 12.4	344 36.1	18 1.9	10 1.0								
	70歳代以上	267 100.0	160 59.9	28 10.5	105 39.3	72 27.0	90 33.7	111 41.6	42 15.7	22 8.2	27 10.1	65 24.3	3 1.1	0 0.0								
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	1,743 44.3	838 21.3	848 21.6	1,496 38.0	905 23.0	1,289 32.8	263 6.7	279 7.1	637 16.2	1,608 40.9	156 4.0	34 0.9								
	南薩地域	383 100.0	158 41.3	95 24.8	89 23.2	135 35.2	88 23.0	99 25.8	30 7.8	54 14.1	52 13.6	149 38.9	17 4.4	2 0.5								
	北薩地域	512 100.0	229 44.7	91 17.8	127 24.8	225 43.9	125 24.4	150 29.3	47 9.2	45 8.8	80 15.6	227 44.3	15 2.9	2 0.4								
	始良・伊佐地域	829 100.0	356 42.9	161 19.4	179 21.6	314 37.9	213 25.7	275 33.2	61 7.4	59 7.1	138 16.6	348 42.0	32 3.9	8 1.0								
	大隅地域	614 100.0	254 41.4	135 22.0	121 19.7	243 39.6	116 18.9	173 28.2	47 7.7	73 11.9	107 17.4	246 40.1	24 3.9	7 1.1								
	熊毛地域	99 100.0	41 41.4	11 11.1	20 20.2	44 44.4	22 22.2	34 34.3	8 8.1	10 10.1	13 13.1	37 37.4	7 7.1	2 2.0								
	大島地域	176 100.0	71 40.3	34 19.3	47 26.7	73 41.5	40 22.7	47 26.7	12 6.8	19 10.8	38 21.6	76 43.2	9 5.1	1 0.6								

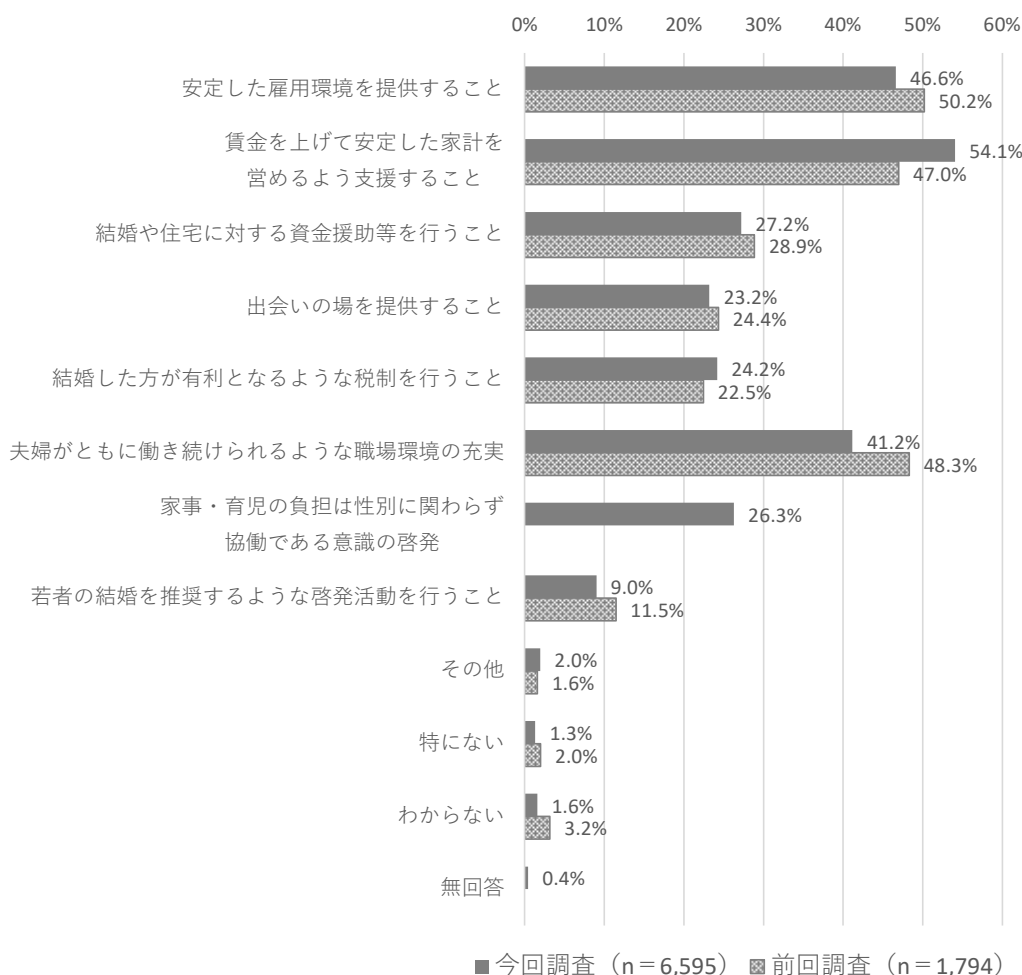
問 66 あなたは、結婚を希望する人の結婚を支援する施策として何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

結婚を希望する人への支援策について、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が54.1%で最も多く、次いで「安定した雇用環境を提供すること」(46.6%)、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」(41.2%)となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、10歳代は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」、20歳代～40歳代は「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」、50歳代以上は「安定した雇用環境を提供すること」がそれぞれ最も多くなっている。

【結婚を希望する人への支援策】



※今回調査から「家事・育児の負担は性別に関わらず協働である意識の啓発」を追加

	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	サンプル数	
上段：度数 下段：%														
今回調査	6,595 100.0	3,076 46.6	3,567 54.1	1,794 27.2	1,530 23.2	1,595 24.2	2,716 41.2	1,734 26.3	595 9.0	129 2.0	87 1.3	104 1.6	27 0.4	
前回調査	1,794 100.0	901 50.2	843 47.0	518 28.9	437 24.4	403 22.5	867 48.3	—	206 11.5	29 1.6	36 2.0	57 3.2	—	
性別	男性	2,514 100.0	1,187 47.2	1,390 55.3	772 30.7	635 25.3	797 31.7	891 35.4	390 15.5	300 11.9	70 2.8	30 1.2	43 1.7	7 0.3
	女性	4,059 100.0	1,881 46.3	2,167 53.4	1,016 25.0	887 21.9	794 19.6	1,817 44.8	1,337 32.9	294 7.2	58 1.4	57 1.4	61 1.5	19 0.5
	その他	17 100.0	7 41.2	10 58.8	6 35.3	6 35.3	3 17.6	7 41.2	5 29.4	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢	10歳代	31 100.0	13 41.9	13 41.9	13 41.9	3 9.7	7 22.6	17 54.8	7 22.6	3 9.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	676 100.0	249 36.8	432 63.9	294 43.5	124 18.3	179 26.5	233 34.5	145 21.4	39 5.8	15 2.2	9 1.3	12 1.8	2 0.3
	30歳代	1,531 100.0	644 42.1	935 61.1	493 32.2	337 22.0	405 26.5	613 40.0	441 28.8	101 6.6	35 2.3	16 1.0	26 1.7	6 0.4
	40歳代	1,819 100.0	849 46.7	977 53.7	441 24.2	401 22.0	422 23.2	726 39.9	506 27.8	143 7.9	33 1.8	34 1.9	36 2.0	7 0.4
	50歳代	1,296 100.0	641 49.5	627 48.4	265 20.4	308 23.8	290 22.4	578 44.6	353 27.2	139 10.7	34 2.6	16 1.2	18 1.4	7 0.5
	60歳代	953 100.0	521 54.7	451 47.3	221 23.2	263 27.6	214 22.5	413 43.3	227 23.8	135 14.2	10 1.0	11 1.2	10 1.0	4 0.4
	70歳代以上	267 100.0	152 56.9	118 44.2	62 23.2	89 33.3	70 26.2	128 47.9	52 19.5	35 13.1	2 0.7	1 0.4	1 0.4	0 0.0
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	1,853 47.1	2,176 55.3	1,064 27.0	892 22.7	950 24.1	1,635 41.6	1,034 26.3	356 9.0	67 1.7	50 1.3	52 1.3	14 0.4
	南薩地域	383 100.0	189 49.3	181 47.3	84 21.9	102 26.6	81 21.1	153 39.9	100 26.1	31 8.1	6 1.6	10 2.6	9 2.3	1 0.3
	北薩地域	512 100.0	234 45.7	284 55.5	144 28.1	119 23.2	140 27.3	208 40.6	127 24.8	59 11.5	9 1.8	7 1.4	7 1.4	3 0.6
	姶良・伊佐地域	829 100.0	377 45.5	439 53.0	233 28.1	197 23.8	202 24.4	345 41.6	224 27.0	73 8.8	15 1.8	9 1.1	15 1.8	1 0.1
	大隅地域	614 100.0	289 47.1	322 52.4	169 27.5	141 23.0	139 22.6	245 39.9	167 27.2	50 8.1	25 4.1	8 1.3	12 2.0	4 0.7
	熊毛地域	99 100.0	44 44.4	52 52.5	26 26.3	26 26.3	23 23.2	37 37.4	22 22.2	13 13.1	1 1.0	0 0.0	5 5.1	1 1.0
	大島地域	176 100.0	73 41.5	83 47.2	59 33.5	44 25.0	46 26.1	80 45.5	49 27.8	12 6.8	5 2.8	2 1.1	4 2.3	1 0.6

問 67 あなたご自身にとって、以前（3年ほど前）と比べて、仕事と家庭の両立はしやすくなりましたか。（〇はひとつ）

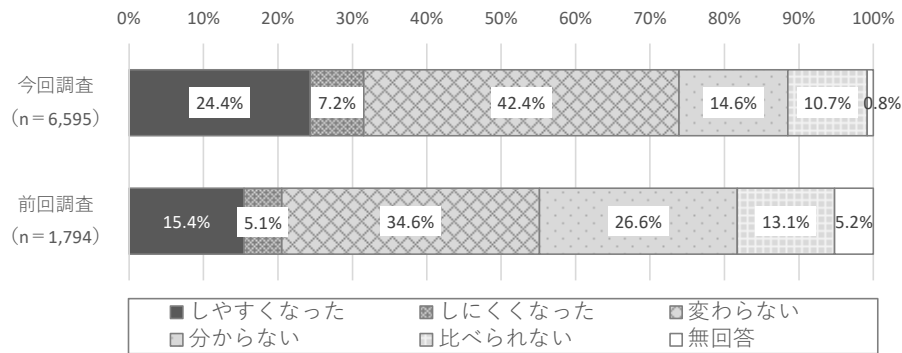
以前と比べた仕事と家庭の両立のしやすさについて、「しやすくなった」が24.4%、「しにくくなった」が7.2%、「変わらない」が42.4%、「分からない」が14.6%、「比べられない」が10.7%となっている。

性別で見ると、男性、女性いずれも「変わらない」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代以下は「分からない」、30歳代以上は「変わらない」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「しやすくなった」が9.0ポイント増加している。

【以前と比べた仕事と家庭の両立のしやすさ】



		サンプル数	しやすくなった	しにくくなった	変わらない	分からない	比べられない	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		6,595	1,608	472	2,793	964	703	55
		100.0	24.4	7.2	42.4	14.6	10.7	0.8
前回調査		1,794	277	91	621	477	235	93
		100.0	15.4	5.1	34.6	26.6	13.1	5.2
性別	男性	2,514	705	160	1,139	307	179	24
		100.0	28.0	6.4	45.3	12.2	7.1	1.0
	女性	4,059	897	311	1,646	654	521	30
	100.0	22.1	7.7	40.6	16.1	12.8	0.7	
	その他	17	5	1	7	2	2	0
	100.0	29.4	5.9	41.2	11.8	11.8	0.0	
年齢	10歳代	31	0	0	4	22	4	1
		100.0	0.0	0.0	12.9	71.0	12.9	3.2
	20歳代	676	67	49	188	196	169	7
		100.0	9.9	7.2	27.8	29.0	25.0	1.0
	30歳代	1,531	300	167	644	211	197	12
		100.0	19.6	10.9	42.1	13.8	12.9	0.8
	40歳代	1,819	441	153	890	197	128	10
	100.0	24.2	8.4	48.9	10.8	7.0	0.5	
50歳代	1,296	420	60	557	155	98	6	
	100.0	32.4	4.6	43.0	12.0	7.6	0.5	
60歳代	953	309	29	397	133	74	11	
	100.0	32.4	3.0	41.7	14.0	7.8	1.2	
70歳代以上	267	69	13	104	43	31	7	
	100.0	25.8	4.9	39.0	16.1	11.6	2.6	
地域別	鹿児島地域	3,934	959	271	1,678	583	420	23
		100.0	24.4	6.9	42.7	14.8	10.7	0.6
	南薩地域	383	86	26	164	55	49	3
		100.0	22.5	6.8	42.8	14.4	12.8	0.8
	北薩地域	512	118	39	232	71	46	6
		100.0	23.0	7.6	45.3	13.9	9.0	1.2
	始良・伊佐地域	829	216	65	322	125	95	6
		100.0	26.1	7.8	38.8	15.1	11.5	0.7
大隅地域	614	147	51	270	79	58	9	
	100.0	23.9	8.3	44.0	12.9	9.4	1.5	
熊毛地域	99	26	5	45	14	8	1	
	100.0	26.3	5.1	45.5	14.1	8.1	1.0	
大島地域	176	49	13	64	25	21	4	
	100.0	27.8	7.4	36.4	14.2	11.9	2.3	

問 68 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

【回答者：問 67 で「しやすくなった」「しにくくなった」と回答した方】

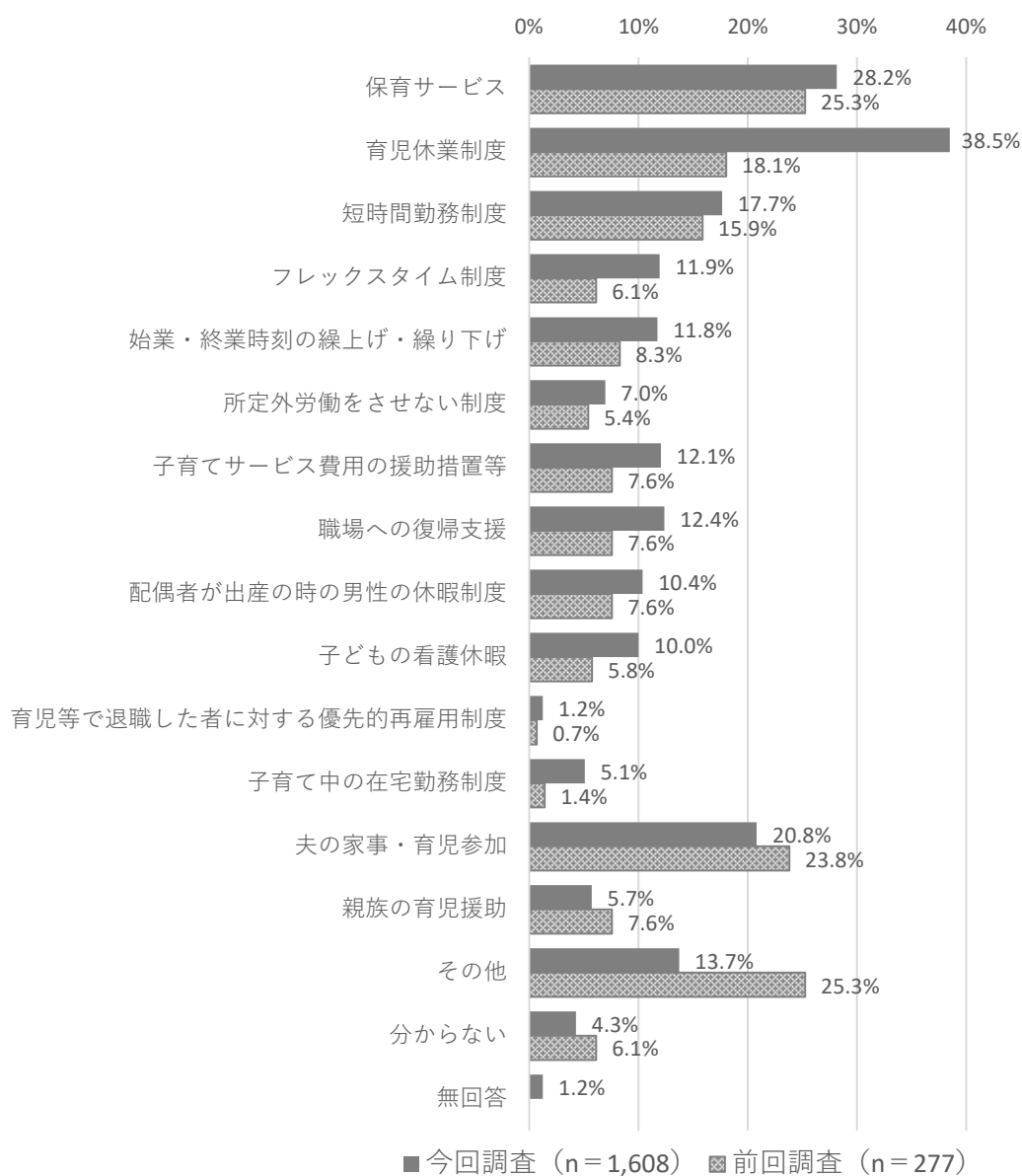
<「しやすくなった」と回答した方>

以前（3年ほど前）と比べて仕事と家庭の両立がしやすくなった項目について、「育児休業制度」が38.5%で最も多く、次いで「保育サービス」（28.2%）、「夫の家事・育児参加」（20.8%）となっている。

性別、年齢別問わず「育児休業制度」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「育児休業制度」が20.4ポイント、「フレックスタイム制度」が5.8ポイントそれぞれ増加している。

【以前（3年ほど前）と比べて仕事と家庭の両立がしやすくなった項目】



	サンプル数	保育サービス	育児休業制度	短時間勤務制度	フレックスタイトム	繰上げ・終業時刻の繰り下げ	所定外労働をさせない制度	子育てサービス費用の援助措置等	職場への復帰支援	配偶者の出産の時の休業制度	子どもの看護休暇	育児等に対する優先的措置	子育て中の在宅勤務	加齢の家事・育児参加	親族の育児援助	その他	分からない	無回答	
上段：度数 下段：%																			
今回調査	1,608 100.0	453 28.2	619 38.5	284 17.7	192 11.9	189 11.8	112 7.0	194 12.1	199 12.4	167 10.4	161 10.0	20 1.2	82 5.1	335 20.8	92 5.7	221 13.7	69 4.3	20 1.2	
前回調査	277 100.0	70 25.3	50 18.1	44 15.9	17 6.1	23 8.3	15 5.4	21 7.6	21 7.6	21 7.6	16 5.8	2 0.7	4 1.4	66 23.8	21 7.6	70 25.3	17 6.1	— —	
性別	男性	705 100.0	183 26.0	332 47.1	109 14.2	119 16.9	106 15.0	70 9.9	80 11.3	106 15.0	111 15.7	97 9.5	38 4.4	124 17.6	17 2.4	70 9.9	35 5.0	6 0.9	
	女性	897 100.0	269 30.0	285 31.8	183 20.4	73 8.1	83 9.3	42 4.7	113 12.6	93 10.4	55 6.1	92 10.3	10 1.1	43 4.8	210 23.4	75 8.4	151 16.8	34 3.8	14 1.6
年齢	その他	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20歳代	87 100.0	16 23.9	27 40.3	17 25.4	10 14.9	10 14.9	6 9.0	4 6.0	7 10.4	8 11.9	5 7.5	0 0.0	4 6.0	11 16.4	4 6.0	5 7.5	2 3.0	0 0.0
	30歳代	300 100.0	79 26.3	89 29.7	43 14.3	47 15.7	42 14.0	16 5.3	21 7.0	23 7.7	30 10.0	25 8.3	0 0.0	13 4.3	73 24.3	23 7.7	56 18.7	12 4.0	4 1.3
	40歳代	441 100.0	100 22.7	111 25.2	88 19.4	40 9.1	39 8.8	36 8.2	39 8.8	38 8.6	28 6.3	49 11.1	3 0.7	18 4.1	90 20.4	33 7.5	99 22.4	29 6.6	7 1.6
	50歳代	420 100.0	126 30.0	130 42.9	75 18.6	48 11.4	49 11.4	28 6.7	39 14.5	47 14.0	39 11.2	39 11.9	7 1.7	21 6.4	33 19.8	18 4.3	49 11.7	19 4.5	8 1.4
	60歳代	309 100.0	99 32.0	170 55.0	69 22.3	41 13.3	41 13.3	17 5.5	50 16.2	58 18.8	45 14.6	28 9.1	6 1.9	15 4.9	68 22.0	13 4.2	11 3.6	5 1.6	2 0.6
	70歳代以上	69 100.0	32 46.4	42 60.9	9 13.0	6 8.7	9 13.0	9 13.0	9 26.1	18 20.3	14 13.0	4 5.8	4 5.8	5 7.2	10 14.5	1 1.4	0 0.0	2 2.9	1 1.4
	地域別	鹿児島地域	959 100.0	263 27.4	375 39.1	181 18.9	129 13.5	124 12.9	88 9.1	99 10.3	117 12.2	96 10.0	88 9.2	11 1.1	51 5.3	184 19.2	50 5.2	125 13.0	44 4.6
南薩地域		38 100.0	25 29.1	29 33.7	12 14.0	7 8.1	7 10.5	5 5.8	5 22.1	3 12.8	3 3.5	3 4.7	2 2.3	4 17.4	2 8.1	3 15.1	3 3.5	4 4.7	
北薩地域		118 100.0	40 33.9	50 42.4	19 16.1	10 8.5	7 5.9	5 4.2	5 16.9	3 11.0	3 16.1	1 14.4	1 0.8	4 3.4	26 22.0	5 4.2	14 11.9	5 4.2	0 0.0
姶良・伊佐地域		216 100.0	68 31.5	83 38.4	37 17.1	25 11.6	23 10.6	17 7.9	17 11.1	24 14.4	31 11.6	21 9.7	2 0.9	11 5.1	51 23.6	14 6.5	35 16.2	10 4.6	2 0.9
大隅地域		147 100.0	38 24.5	50 39.5	24 16.3	15 10.2	20 13.6	15 7.5	20 13.6	18 10.9	18 10.9	18 10.9	2 1.4	9 6.1	38 25.9	11 7.5	18 12.2	3 2.0	2 1.4
熊本地域		26 100.0	7 26.9	5 19.2	5 19.2	2 7.7	3 11.5	2 7.7	3 11.5	3 11.5	3 11.5	1 3.8	2 7.7	2 34.6	9 7.7	2 7.7	3 11.5	3 11.5	3 3.8
大島地域	49 100.0	12 24.5	19 38.8	5 10.2	3 6.1	2 4.1	2 8.2	4 16.3	7 14.3	7 14.3	7 18.4	0 0.0	3 6.1	11 22.4	3 6.1	10 20.4	1 2.0	2 2.0	

以前（3年ほど前）と比べて仕事と家庭の両立がしやすくなった具体的な内容は以下のとおり。

<「しやすくなった」具体的な内容>

保育サービス

- 以前より保育園に入りやすく、金銭的援助もある。
- 病後児保育などを行っている施設が増えた。

育児休業制度

- 男性の育休取得が増えている。
- 子どものことで休みを取りやすい。上司の考えが変わり休みが取りやすく働きやすくなった。

短時間勤務制度

- 子どもが病気のときは少なく働いている。土日でも休ませてもらってるので助かる。
- 学校行事や役員会への参加のための休みが取りやすくなったから。

フレックスタイトム

- 配偶者の家事等、役割分担ができるようになった。
- フレックスタイトムの導入で有給を取らなくても、子どもの習い事や病院の送迎が可能になった。

始業・終業時刻の繰上げ・繰り下げ

- 始業・終業時刻の繰り上げ制度を利用して保育園の送迎が行える。
- 配偶者と協力して、お互いが時間を作れる日を共有、仕事に支障が出ないように終業時刻を繰り上げることができたため。

所定外労働をさせない制度

- 以前より残業が少なくなり、早く家に帰り、子育てするようになった。
- 家庭の時間を充分に取れるようになった。

子育てサービス費用の援助措置等

- 子育て世代に金銭面での支援が充実してきている。
- 保育料無償化やこどもの医療費無償化などがあった。

< 「しやすくなった」具体的な内容（つづき） >

職場への復帰支援

- 職場の理解度が深まった。各種ハラスメントに対する意識の改革の成果。
- 職場の環境改善

配偶者が出産の時の男性の休暇制度

- 出産補助休暇等は取得が必須となっている。
- 自分が知っている男性が育児休業をとっているから。

子どもの看護休暇

- 看護休暇を小学校卒業まで取得できるようになった。
- 子どもの具合が悪いとき、周りの理解があるので休暇をとりやすい。

育児等で退職した者に対する優先的再雇用制度

- 会社の理解度がかなり向上してきた。
- 意識の高い男性も非常に増えている。

子育て中の在宅勤務制度

- 子どもの体調不良時は自宅で在宅勤務できるから
- コロナを機に在宅ワークがしやすくなった

夫の家事・育児参加

- 家事を手伝ってくれることで、自分の時間がもてるから。
- 食事・買い物→主人 その他→自分と役割分担ができています。

親族の育児援助

- 子どもが3人居るが、両家両親も身近にあり、日頃子ども達の送り迎えなどの協力がある。
- 両親との同居による子育て支援により非常に助けられ、両親も孫の世話で生きがいを得た。

その他

- 子どもが成長し、手がかからなくなったから。
- 転職して近所で働いているから。

<「しにくくなった」と回答した方>

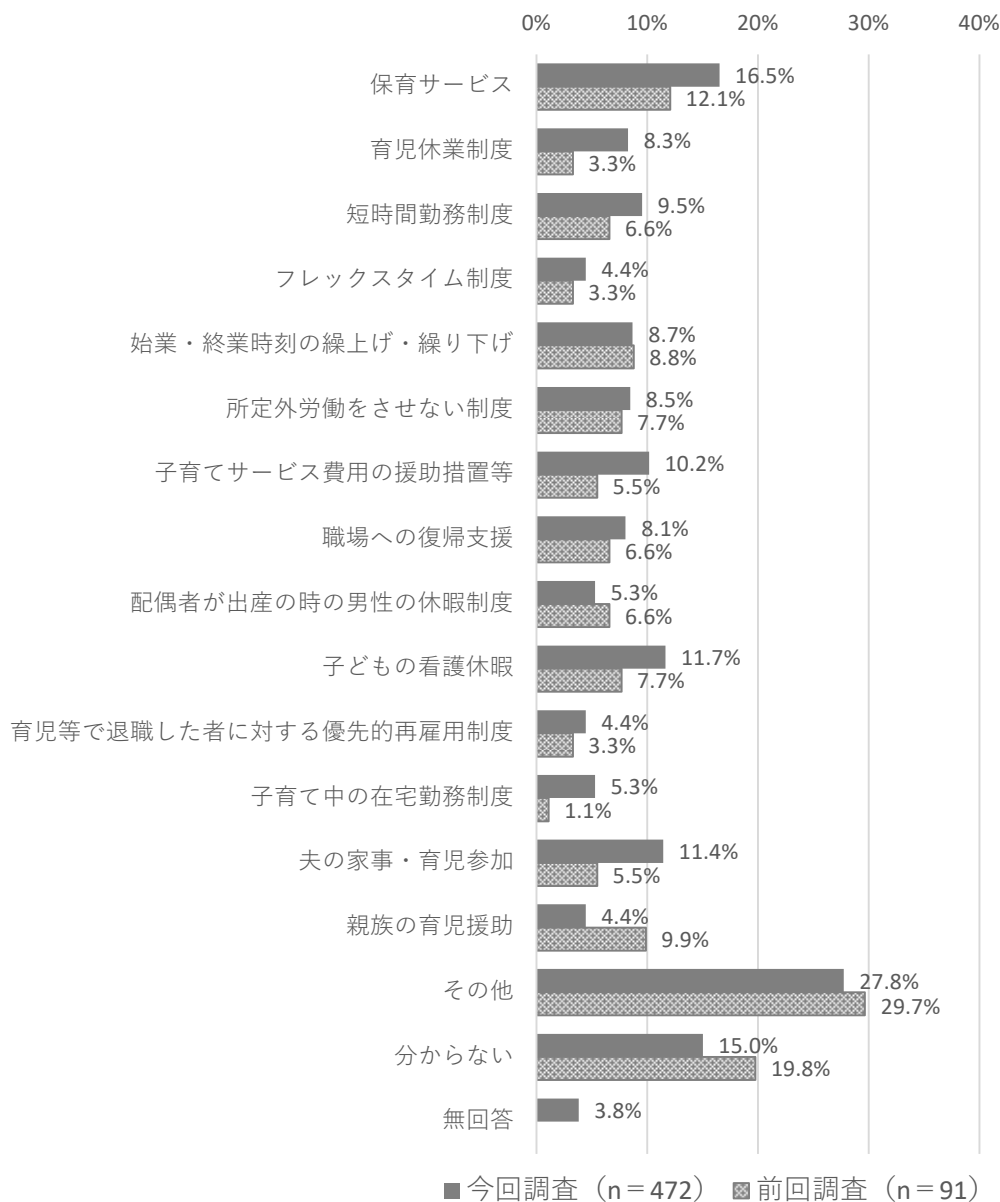
以前（3年ほど前）と比べて仕事と家庭の両立がしにくくなった項目について、「その他」が27.8%で最も多く、次いで「保育サービス」（16.5%）、「分からない」（15.0%）となっている。なお、「その他」の内容としては、「物価賃金による実質賃金の低下」「職場の人手不足等による仕事量の増加」等が多く挙げられた。

性別でみると、男性、女性いずれも「その他」が最も多くなっている。

年齢別でみると、20歳代は「保育サービス」、30歳代～50歳代は「その他」、60歳代は「育児休業制度」「所定外労働をさせない制度」「分からない」、70歳代以上は「夫の家事・育児参加」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「夫の家事・育児参加」が5.9ポイント、「育児休業制度」が5.0ポイントそれぞれ増加し、「親族の育児援助」は5.5ポイント減少している。

【以前（3年ほど前）と比べて仕事と家庭の両立がしにくくなった項目】



	サンプル数	保育サービス	育児休業制度	短時間勤務制度	フレックスタイム制度	繰上げ・繰り下げ	所定外労働をさせない制度	子育てサービスの費用	職場への復帰支援	配偶者の出産の時の休暇制度	子どもの看護休暇	育児等に対する優先的措置	子育て中の在宅勤務	加齢の家事・育児参加	親族の育児援助	その他	分からない	無回答	
上段：度数 下段：%																			
今回調査	472 100.0	78 16.5	39 8.3	45 9.5	21 4.4	41 8.7	40 8.5	48 10.2	38 8.1	25 5.3	55 11.7	21 4.4	25 5.3	54 11.4	21 4.4	131 27.8	71 15.0	18 3.8	
前回調査	91 100.0	11 12.1	3 3.3	6 6.6	3 3.3	8 8.8	7 7.7	5 5.5	6 6.6	6 6.6	7 7.7	3 3.3	1 1.1	5 5.5	9 9.9	27 29.7	18 19.8	— —	
性別																			
男性	180 100.0	24 13.3	15 8.3	5 2.8	3 1.7	10 5.6	10 5.6	11 6.1	13 7.2	13 7.2	17 9.4	7 3.9	4 2.2	17 9.4	4 2.2	39 21.7	27 15.0	9 5.0	
女性	311 100.0	54 17.4	24 7.7	40 12.9	13 4.2	24 7.7	24 7.7	28 9.0	26 8.4	12 3.9	48 15.4	14 4.5	18 5.8	37 11.9	17 5.5	82 26.4	44 14.1	9 2.9	
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢																			
10歳代	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
20歳代	49 100.0	12 24.5	5 10.2	3 6.1	3 6.1	5 10.2	5 10.2	4 8.2	4 8.2	2 4.1	4 12.2	3 12.2	3 2.0	3 6.1	1 2.0	9 18.4	8 16.3	2 4.1	
30歳代	187 100.0	45 26.9	12 7.2	21 12.6	5 3.0	12 7.2	12 7.2	24 14.4	16 9.6	10 6.0	25 15.0	6 3.6	6 3.6	21 12.6	7 4.2	51 30.5	15 9.0	4 2.4	
40歳代	153 100.0	14 9.2	9 5.9	10 6.5	10 6.5	15 9.8	12 7.8	12 7.8	7 4.6	8 5.2	13 8.5	2 1.3	9 5.9	20 13.1	9 5.9	44 28.8	29 19.0	10 6.5	
50歳代	80 100.0	7 3.3	3 10.0	4 6.7	3 3.3	5 5.0	5 8.3	3 3.3	3 3.3	3 3.3	5 3.3	2 3.3	3 3.3	5 5.0	3 3.3	19 31.7	13 21.7	0 0.0	
60歳代	29 100.0	3 10.3	3 20.7	4 13.8	1 3.4	4 13.8	4 20.7	4 13.8	1 3.4	3 10.3	5 17.2	2 6.9	2 6.9	1 3.4	1 3.4	5 17.2	6 20.7	0 0.0	
70歳代以上	13 100.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0 0.0	2 15.4	5 38.5	0 0.0	3 23.1	3 23.1	2 15.4	6 46.2	0 0.0	3 23.1	0 0.0	1 7.7	
地域別																			
鹿児島地域	271 100.0	50 18.5	25 9.2	29 10.7	16 5.9	25 9.2	29 10.7	25 9.2	21 7.7	17 6.3	24 8.9	11 4.1	10 3.7	32 11.8	12 4.4	72 26.6	42 15.5	9 3.3	
南薩地域	100.0	11.5	7.7	11.5	0.0	7.7	3.8	15.4	11.5	7.7	7.7	0.0	11.5	19.2	7.7	19.2	15.4	0.0	
北薩地域	39 100.0	2 5.1	4 10.3	5 12.8	1 2.6	3 7.7	2 5.1	7 17.9	4 10.3	5 12.8	4 10.3	3 7.7	4 10.3	4 10.3	3 7.7	7 17.9	6 15.4	1 2.6	
給良・伊佐地域	65 100.0	9 13.8	2 3.1	3 4.6	3 4.6	7 10.8	4 6.2	4 6.2	8 12.3	1 1.5	9 13.8	1 1.5	6 4.6	9 9.2	2 3.1	22 33.8	8 12.3	5 7.7	
大隅地域	100.0	21.6	11.8	9.8	2.0	7.8	7.8	13.7	3.9	0.0	21.6	7.8	5.9	11.8	0.0	33.3	9.8	3.9	
熊本地域	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	
大島地域	13 100.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	3 23.1	0 0.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	5 38.5	5 38.5	0 0.0	

以前（3年ほど前）と比べて仕事と家庭の両立がしにくくなった具体的な内容は以下のとおり。

<「しにくくなった」具体的な内容>

保育サービス

- 子どもを預けたいのに預ける保育園が定員オーバーで入れない
- 保育園が夜8時までなど長くみて欲しい

育児休業制度

- 職場の人員がギリギリで、有給等の休みが取りづらい。
- 職場で産休と育休をとっている者が複数いるが人員の補充なく業務をすることを求められている。給与は変わらないまま個人の業務量が増えており疲労により家事や趣味に時間を割く精神的な余裕がない。

短時間勤務制度

- 時短をとっているが、職場が忙しく、定時で帰れない。
- もうすぐ小学生にあがる子どもがいる。短時間で勤務したいが中々見つからない。子どもの休みに対応できそうなどところが見つからない。土日祝、長期休みの職場は少ない。

フレックスタイム制度

- 職場の理解がない

始業・終業時刻の繰上げ・繰り下げ

- 配偶者（父親）が早く帰ることは難しい為、母親が早く帰ったり、病気になったら休まないといけない。
- 労働時間が長い為

所定外労働をさせない制度

- 残業が増えて、家庭のことが疎かになることが多くなったため。
- 職場の人員不足により残業し、延長保育が最後の1人になり毎回申し訳ない気持ちになる。

< 「しにくくなった」具体的な内容（つづき） >

子育てサービス費用の援助措置等

- 児童手当が減ってしまい、生活が大変で正社員になり毎日残業している。
- 私立の高校に入って、部活で使う寮や遠征も高く、教育ローンや住宅ローンも重なって大変。大学行かせたくても経済的に難しい。療育の子もいて、仕事する時間や日数も働きたくても限度がある。

職場への復帰支援

- 職場での理解が不足している。

配偶者が出産の時の男性の休暇制度

- 育児休業を取得し、その分をカバーする職員への配慮が不足していると感じる。

子どもの看護休暇

- 子どもの急な熱など休みにくい
- 病気にかかりやすい学童期までは「仕事を休んで看護するのは母親」となるから

育児等で退職した者に対する優先的再雇用制度

- 妊娠し退職せざるを得ず、その後の再就職が出来ていない。保育園に預けられないから。

子育て中の在宅勤務制度

- 育休、時短、子育て者の在宅勤務等は増えるが、人員は増えず、一人あたりの業務量が増えたから

夫の家事・育児参加

- 子育ては女がするものという固定観念がやはり根強いから
- 子どもの用事で仕事を休むことが多く、自分に割ける時間がない。子どもの用事は全て自分にかかってくるので、負担が大きい。

親族の育児援助

- 以前は単身赴任で、親と同居して家事や育児を分業できていたが、今は親との同居を解消し、夫と同居するようになってから、家事や子に関することの 8 割が自分の仕事となり、負担に感じている。
- 核家族になり、子育ての環境が悪く、労働賃金が安い為。

その他

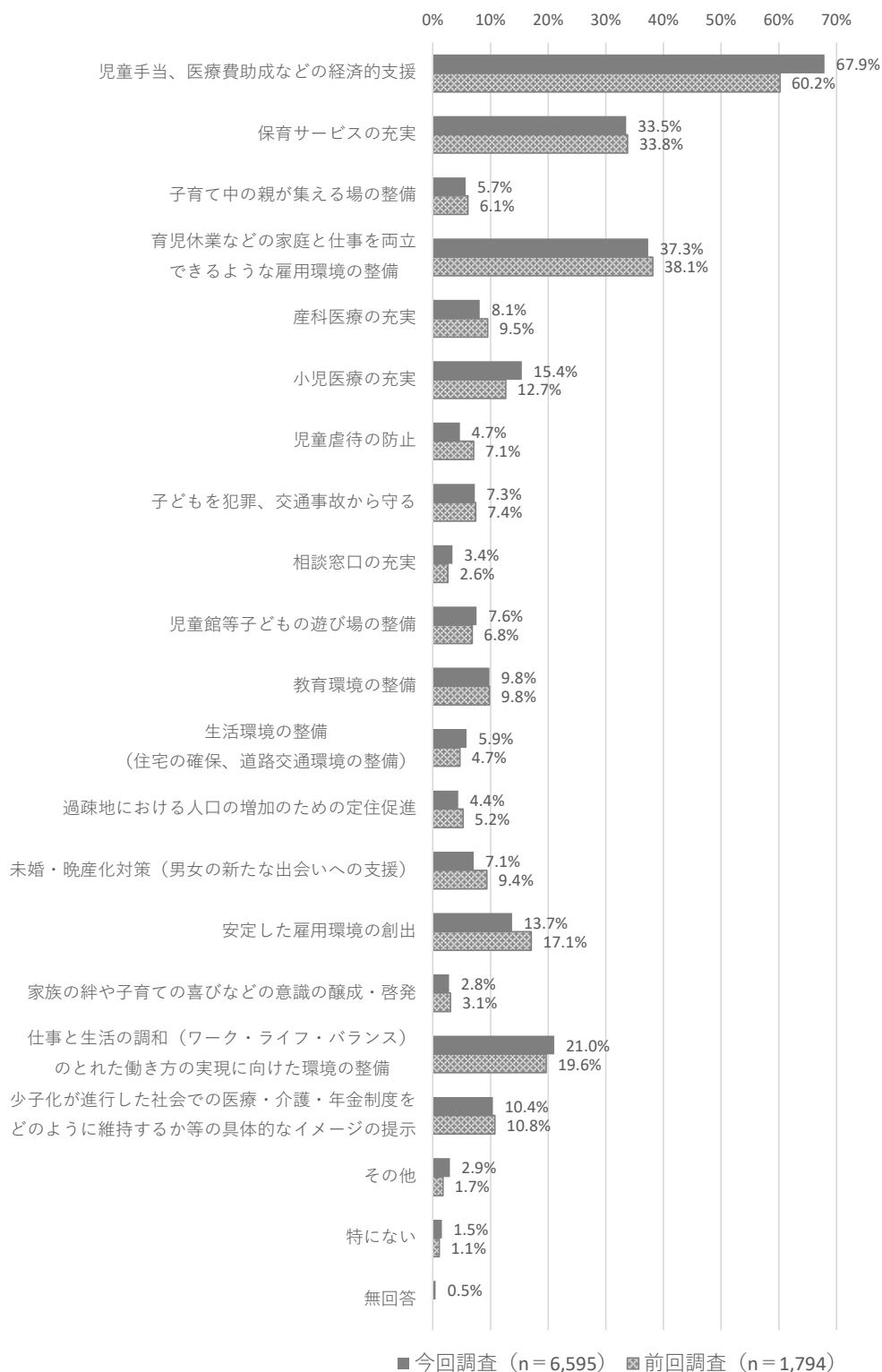
- 仕事量が増えた。
- 親の介護が加わったから。

問 69 あなたは、子どもを健やかに産み育てるためには、国や県、市町村にどのようなことを期待しますか。(〇は3つまで)

子どもを健やかに産み育てるために国や県、市町村に期待する点について、「児童手当、医療費助成などの経済的支援」が67.9%で最も多く、次いで「育児休業などの家庭と仕事を両立できるような雇用環境の整備」(37.3%)、「保育サービスの充実」(33.5%)となっている。

性別、年齢別問わず「児童手当、医療費助成などの経済的支援」が最も多くなっている。

【子どもを健やかに産み育てるために国や県、市町村に期待する点】



	サンプル数	児童の経済的支援費助成	保育サービスの充実	子育て中の親が集える場	育児休業などの家庭と雇	産科医療の充実	小児医療の充実	児童虐待の防止	子どもを犯罪、交通事故から守る	相談窓口の充実	児童館等子どもの遊び場	教育環境の整備
今回調査	6,595 100.0	4,480 67.9	2,211 33.5	373 5.7	2,461 37.3	537 8.1	1,018 15.4	308 4.7	480 7.3	222 3.4	498 7.6	647 9.8
前回調査	1,794 100.0	1,080 60.2	606 33.8	109 6.1	684 38.1	170 9.5	227 12.7	127 7.1	133 7.4	47 2.6	122 6.8	176 9.8
性別	男性	2,514 100.0	1,691 67.3	825 32.8	171 6.8	878 34.9	210 8.4	376 15.0	122 4.9	177 7.0	70 5.8	145 10.3
	女性	4,059 100.0	2,779 68.5	1,379 34.0	201 5.0	1,572 38.7	327 8.1	640 15.8	186 4.6	301 7.4	151 3.7	350 8.6
	その他	17 100.0	10 58.8	6 35.3	1 5.9	11 64.7	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	3 17.6	1 5.9
年齢	10歳代	31 100.0	19 61.3	10 32.3	4 12.9	8 25.8	0 0.0	2 6.5	1 3.2	3 9.7	2 6.5	4 12.9
	20歳代	676 100.0	502 74.3	245 36.2	50 7.4	283 41.9	58 8.6	63 9.3	36 5.3	47 7.0	34 5.0	58 8.6
	30歳代	1,531 100.0	1,128 73.7	556 36.3	78 5.1	567 37.0	126 8.2	250 16.3	52 3.4	132 8.6	33 2.2	171 11.2
	40歳代	1,819 100.0	1,293 71.1	512 28.1	91 5.0	531 29.2	112 6.2	311 17.1	92 5.1	157 8.6	51 2.8	156 8.6
	50歳代	1,296 100.0	772 59.6	402 31.0	73 5.6	486 37.5	117 9.0	220 17.0	74 5.7	77 5.9	50 3.9	50 3.9
	60歳代	953 100.0	579 60.8	378 39.7	69 7.2	442 46.4	101 10.6	137 14.4	42 4.4	53 5.6	38 4.0	45 4.7
	70歳代以上	267 100.0	173 64.8	100 37.5	6 2.2	140 52.4	21 7.9	33 12.4	8 3.0	11 4.1	12 4.5	14 5.2
地域別	鹿児島地域	3,934 100.0	2,698 68.6	1,417 36.0	199 5.1	1,541 39.2	222 5.6	509 12.9	182 4.6	295 7.5	130 3.3	254 6.5
	南薩地域	383 100.0	255 66.6	113 29.5	25 6.5	119 31.1	51 13.3	83 21.7	16 4.2	23 6.0	10 2.6	32 8.4
	北薩地域	512 100.0	325 63.5	165 32.2	35 6.8	189 36.9	50 9.8	80 15.6	29 5.7	35 6.8	25 4.9	42 8.2
	姶良・伊佐地域	829 100.0	555 66.9	240 29.0	53 6.4	310 37.4	56 6.8	126 15.2	43 5.2	57 6.9	26 3.1	82 9.9
	大隅地域	614 100.0	426 69.4	160 26.1	40 6.5	194 31.6	114 18.6	146 23.8	28 4.6	49 8.0	25 4.1	57 9.3
	熊毛地域	99 100.0	70 70.7	31 31.3	7 7.1	32 32.3	13 13.1	21 21.2	3 3.0	6 6.1	1 1.0	9 9.1
	大島地域	176 100.0	119 67.6	73 41.5	11 6.3	62 35.2	27 15.3	48 27.3	6 3.4	10 5.7	4 2.3	20 11.4

	備確生加過援の未安 保活の疎新 道境た地 交整備環 通備環(住 境の宅 整の整)	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増	の疎地 たにお 定ける 住る促 進の増
今回調査	386 5.9	287 4.4	466 7.1	906 13.7	186 2.8	1,387 21.0	687 10.4	192 2.9	102 1.5	32 0.5		
前回調査	84 4.7	94 5.2	168 9.4	306 17.1	55 3.1	352 19.6	193 10.8	31 1.7	20 1.1	— —		
性別	男性	171 6.8	156 6.2	234 9.3	374 14.9	78 3.1	472 18.8	261 10.4	73 2.9	49 1.9	11 0.4	
	女性	215 5.3	130 3.2	229 5.6	528 13.0	108 2.7	910 22.4	425 10.5	118 2.9	52 1.3	20 0.5	
	その他	0 0.0	1 5.9	3 17.6	3 17.6	0 0.0	5 29.4	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢	10歳代	1 3.2	0 0.0	1 3.2	6 19.4	0 0.0	9 29.0	4 12.9	1 3.2	1 3.2	0 0.0	
	20歳代	31 4.6	17 2.5	38 5.6	77 11.4	6 0.9	177 26.2	61 9.0	15 2.2	13 1.9	2 0.3	
	30歳代	86 5.6	43 2.8	78 5.1	176 11.5	41 2.7	371 24.2	145 9.5	71 4.6	13 0.8	9 0.6	
	40歳代	106 5.8	63 3.5	99 5.4	269 14.8	46 2.5	402 22.1	201 11.1	55 3.0	31 1.7	10 0.5	
	50歳代	79 6.1	71 5.5	114 8.8	201 15.5	52 4.0	270 20.8	150 11.6	36 2.8	20 1.5	5 0.4	
	60歳代	60 6.3	71 7.5	101 10.6	124 13.0	32 3.4	122 12.8	96 10.1	12 1.3	17 1.8	3 0.3	
	70歳代以上	21 7.9	22 8.2	32 12.0	47 17.6	9 3.4	32 12.0	29 10.9	2 0.7	5 1.9	2 0.7	
地域別	鹿児島地域	243 6.2	118 3.0	277 7.0	546 13.9	112 2.8	879 22.3	420 10.7	112 2.8	62 1.6	9 0.2	
	南薩地域	20 5.2	32 8.4	29 7.6	47 12.3	15 3.9	64 16.7	36 9.4	7 1.8	9 2.3	0 0.0	
	北薩地域	30 5.9	36 7.0	43 8.4	76 14.8	12 2.3	108 21.1	50 9.8	12 2.3	7 1.4	4 0.8	
	姶良・伊佐地域	42 5.1	48 5.8	64 7.7	121 14.6	27 3.3	173 20.9	82 9.9	30 3.6	12 1.4	7 0.8	
	大隅地域	32 5.2	33 5.4	41 6.7	77 12.5	12 2.0	109 17.8	59 9.6	24 3.9	8 1.3	7 1.1	
	熊毛地域	5 5.1	8 8.1	4 4.0	13 13.1	3 3.0	17 17.2	12 12.1	2 2.0	1 1.0	1 1.0	
	大島地域	10 5.7	10 5.7	5 2.8	14 8.0	4 2.3	31 17.6	21 11.9	5 2.8	1 0.6	1 0.6	

問 70 あなたは、以下の行政の取組についてどのように感じていますか。重要度、満足度をそれぞれお答えください。(〇はひとつずつ)

各施策の重要度と満足度については、以下のように回答結果を集計した。

➤ 各施策に対する満足度・重要度の加点点評価

満足度・重要度調査の結果は、施策ごとに集計を行い、以下のような点数配点を持って、施策ごとの平均評価点を算出した。

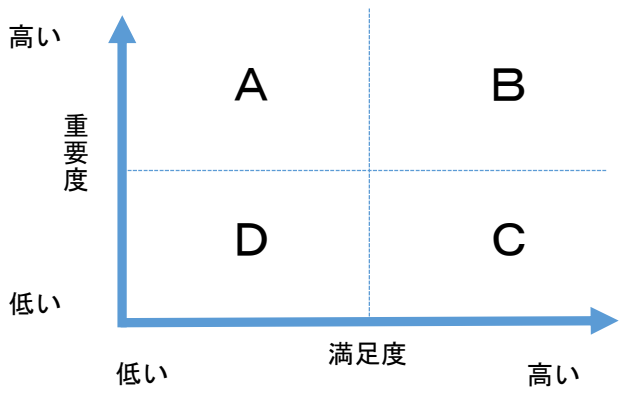
※無回答は除外して集計を行っているためサンプル数に差異がある。

点数	満足度	重要度
4点	満足	重要
3点	やや満足	やや重要
2点	やや不満	あまり重要ではない
1点	不満	重要ではない

➤ 満足度と今後の重要度の相関図による分析

「満足度」と「重要度」の評価点を用い、縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリックス上に示し、整理することができる。

満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上 (A)、右上 (B)、右下 (C)、左下 (D) の4方向に進むにしたい、以下のような傾向を示している。



A. 重要度が高く満足度が低い (重点改善領域)

今後の少子化対策における重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い (ニーズ充足領域)

今後の少子化対策における重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く満足度が高い (現状維持領域)

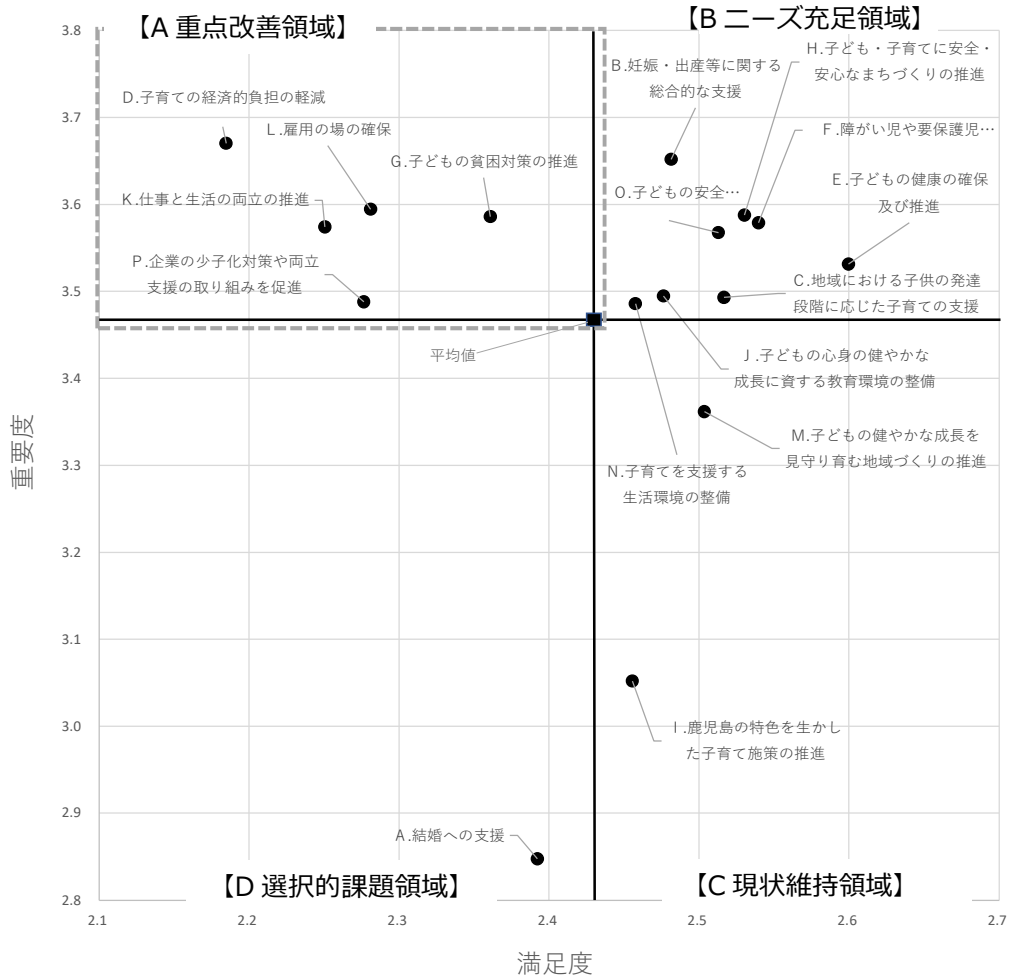
今後の少子化対策における重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持しているか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い (選択的課題領域)

今後の少子化対策における重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

県全体での少子化における取組について、重要度が高く、満足度が低い、重点改善領域に位置する施策として、「D.子育ての経済的負担の軽減」「G.子どもの貧困対策の推進」「K.仕事と生活の両立の推進」「L.雇用の場の確保」「P.企業の少子化対策や両立支援の取り組みを促進」が挙げられている。

【県全体での少子化における取組に関する満足度・重要度マトリクス】



	取組	重要度	満足度
A	結婚への支援	2.39	2.85
B	妊娠・出産等に関する総合的な支援	2.48	3.65
C	地域における子供の発達段階に応じた子育ての支援	2.52	3.49
D	子育ての経済的負担の軽減	2.18	3.67
E	子どもの健康の確保及び推進	2.60	3.53
F	障がい児や要保護児童等への対策の推進	2.54	3.58
G	子どもの貧困対策の推進	2.36	3.59
H	子ども・子育てに安全・安心なまちづくりの推進	2.53	3.59
I	鹿児島県の特徴を生かした子育て施策の推進	2.46	3.05
J	子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	2.48	3.49
K	仕事と生活の両立の推進	2.25	3.57
L	雇用の場の確保	2.28	3.59
M	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進	2.50	3.36
N	子育てを支援する生活環境の整備	2.46	3.49
O	子どもの安全の確保の推進	2.51	3.57
P	企業の少子化対策や両立支援の取り組みを促進	2.28	3.49
	平均値	2.43	3.47

問 71 あなたは、将来子どもを安心して産み育てることができる社会づくりの推進や少子化対策を進めるためにどのような取組が必要と考えますか。ご自由にご意見などを記入してください。

1. 結婚支援

- ・ 出会いの場の提供
- ・ 結婚することでメリットを感じられる制度・施策（税制面など）
- ・ 結婚、出産・子育ての魅力発信

【寄せられた意見（抜粋）】

- 結婚にも魅力があることを発信し、結婚を前向きに考えられるようなイベントや出会いの場があると良い。
- 出会い、結婚から子育てまでステージ毎の施策の実施とイベント等による周知など、子育て世代だけでなく幅広く周知し、社会全体で取り組む雰囲気作りが必要と思う。
 - ・ 出会いステージ→出会うためのイベントの実施による機会創出、結婚を前提としたイベントやサービス利用に係る費用の助成。
 - ・ 結婚ステージ→結婚についての相談会などのイベントにより結婚の不安を解消するとともに良いイメージを持ってもらう、結婚に係る費用の助成（結婚式や結婚に伴う転居費用など）
- 結婚や子供を産みたくても出会いの場がなかったため、自分自身も結婚と出産が遅かった。自分から行動しない人が多いため、プライバシーの問題などがあり難しいとは思いますが、もっと積極的に市町村や企業等から働きかけてもいいと思う。
- 結婚を希望しながら未婚の人が多く。「かごしま出会いサポートセンター」をもっと充実させ、PRもしっかりやってほしい。
- 独身の出会いのない男女が高いお金を払わなくても、出会える場、環境を整備してほしい。結婚願望はあるが、出会いがなく結婚できない若い人がたくさんいるので、なんとかしてほしい。

2. 不妊治療支援

- ・ 不妊治療への助成
- ・ 不妊治療と仕事を両立できる環境づくり
- ・ 不妊治療に対する理解と精神的な支援

【寄せられた意見（抜粋）】

- 未婚、晩婚化も増えているが、結婚しても子供が出来ない夫婦も多い。不妊治療に関する取組がとても重要だと思う。保険適用になってもまだ金銭的負担は大きい。
- 女性が社会に出る機会が多くなり、共働き夫婦が増えてきている。そのせいか、最近では不妊の話題が特に多い気がする。仕事でのストレスや生活の乱れが原因か分かりませんが、2022年から不妊治療への保険適応が開始となったが、不妊治療は一度の診察では終わらず、何度も何度も受診し、段階を踏んで治療しなければならない。少子化を懸念しているのであれば、不妊で悩んでいる人たちへの援助も必要なのではないか。
- 不妊治療に関して職場の理解、そして治療にかかる金銭的な負担の軽減、産婦人科や小児科の充実、特に安心して出産できる環境作りは大切。

3. 保育の受け皿の確保

- ・ 待機児童の解消・保育施設の確保
- ・ 事業所内の保育施設設置
- ・ 保育士等の人材確保、処遇改善、復職支援
- ・ 病児保育の充実
- ・ 放課後児童クラブの時間延長

【寄せられた意見（抜粋）】

- 保育士不足で在園児のきょうだいも受入できないような園も少なくないため、保育士確保も課題。
- 子育ては親の負担が大きいので、希望する家庭は誰でも保育園・幼稚園に通えるようになってほしい。
- 病児保育環境の充実も急務。仕事を休まなければいけないと給料も減ってしまい、金銭的な問題は大きくなる。
- 第一子を育てる時に、気軽に預けられる場所等がなく苦労した経験があると、次の妊娠を考える時に産み育てたいと思えるのだろうか。受け入れる場所を確保するためには、保育士の確保を第一に考えるべきであり、そのためには、保育士の処遇改善は絶対に必要。
- 出産・育児の夫婦での協力は以前に比べて意識が変わってきているものの、まだまだ女性の負担が大きい。働いていれば保育園の利用で負担は軽減できるが、働いていなければ保育園も利用できず気を抜ける時間がない。乳幼児からの子どもの預け先の確保と利用料減の緩和を求める。

4. 子育て支援サービスの充実

- ・ 安心して子育てができる環境づくり
(子育ての悩みを共有・相談できる場、地域のコミュニティ・居場所作り)
- ・ 産後ケアの充実
- ・ 安全な遊び場の確保

【寄せられた意見（抜粋）】

- 子育てが「孤育て」となっている印象がある。私が若い頃は、祖父母との関わりが多い子供が多かったが、両親が共働きで近くに祖父母がいないため、または、まだ祖父母が働き続けているため面倒を見てもらいにくいという方が増えているようにも思える。子育てが地域でできる仕組みを作ることが大切。
- 悩んだ際は、いつでも気軽に相談できる場や窓口を身近に設けてほしい。子育てを、母親だけ頑張ればいいという意識が少なくなるような取り組みをしてほしい。

【寄せられた意見（抜粋）】（つづき）

- 産後ケアの充実。実家を頼ることができない人は出産するのが難しい環境にあって、出産をためらう原因になるのではないか。産後ケアを安くで利用できれば、安心して産み育てることが可能なのではないかと思う。育児で困った時、産後のキツイ身体を休めるためにも、産後ケアの充実は必須。その後助産師のフォローがあれば、より安心して子育てでき、必要な人は行政に繋いでその後も必要な支援が受けられると思う。
- 数年前に比べると公的支援等だいぶ充実してきている。出産して仕事復帰したり新たに仕事を始めるとなった時、子育ての大変さ、両立の厳しさを感じることが多い。いろいろな子育て支援をもっと気軽に利用できるように、知らせていく必要もあるのではと思う。
- 個人の価値観や社会環境が大きく変わる中、出産、子育てに関する若者の意識にネガティブなイメージが強まっているように感じる。不安要素を無くすとともに、様々な支援があることを伝え、出産、子育てに希望を持てるようにしてあげたい。
- 子育ては孤独だったり、悩みがあったりするからそれを改善できる環境、子供は生まれた時から大学を卒業するまで、その時々で悩みが違うので、それをその時々で改善できる環境が大事。
- 行政も様々な対策や支援をしているが、実際に困っている方が知らないことが多く、様々なサービスを受けられてないように感じる。もっとサービスを知って困っている方の生活がラクになり、何かあっても助けてくれる、相談できる機関があることを知って頂きたい。そして、子育てが楽しい！という思いが広がり、誰もが子どもを持ちたいという思いになってもらえたら。

5. 経済的支援（学費、医療費など）

- **保育料、教育費の負担軽減、無償化**
- **大学教育までの教育費の負担軽減、無償化**
- **医療費の負担軽減、無償化**
- **子育て世帯への税の優遇制度**
- **多子世帯への助成**

【寄せられた意見（抜粋）】

- 結婚して子供を持っても、その子どもが大人になったときに幸せに暮らしていけるビジョンが見えにくくなってきている。子供を持つ世帯は税制を優遇して少しでも負担を減らしてほしい。子どもが増えることは将来の自分達の暮らしのためにもなるので、必要な取り組み。子供を持つと金銭面の負担は大きいですが、幸せなこともたくさんある。
- 最もお金のかかる高校、大学以上の負担が大きい。自分だけでも将来が不安な中、親世代の負担ものしかかってくることを考えると、子供を育てていこうと思えない。
- 結婚に対する価値観の変化、若者世代の地方離れ、生活資金への不安などにより、子どもを育てることの抵抗感は大きくなっている。必要なのは直接的に負担が軽減するような取り組みであり、医療費負担の軽減、2人目、3人目の子どもを出産した家族への助成や、子どもと一緒に安心して楽しめる公共施設の整備をより充実していくことが必要。
- 子育て世帯に対する経済的支援については、所得制限を設けることなく一律に行うべきであり、共働き世帯の負担を軽減する取組が必要である。

【寄せられた意見（抜粋）】（つづき）

- 近年は全てのことに於いてお金がかかったり、家庭の収入によって子供の学力にも影響が出てくる。子育てしやすい制度が整い、金銭面の不安もなく子育てできるようになれば出生率も上がり、子供を生みたいと考える人も増えると思う。
- 私は子供が大好きなので、たくさん子供が欲しいと思っていたが、妊娠から出産、そして子育てをしていくうえで、沢山の費用もかかるし、共働きではありますが生活費や教育費など出費が多いのも事実です。子供が好きなだけではダメで、生活していけないと育児放棄などにつながってしまう。もっともっと子供達の為にしてあげたいこともあるが、お金もかかる。医療費や教育にかかるお金を国が負担してくれることで、もっと産みやすい安心して子育てできるのではないかな。

6. 産休・育休の取得／労働環境の改善

- ・ 産休・育休が取得しやすい職場環境づくり
- ・ 休暇制度の普及・啓発
- ・ 育休中の収入補填
- ・ 育児と仕事が両立できる環境の整備、企業や職場の理解
- ・ 休暇を取得しやすい雰囲気作り、時間外労働等の制限

【寄せられた意見（抜粋）】

- 男性の育児休暇が取得しやすくなるために、引き続き職場への理解を促す必要がある。給料面でも全額まではいかなくとも、それに近い額が支給されたら、育児休暇が取りやすくなる。
- 男性が家事育児に参加するようになってきて、とても良いことと思う。でも、まだ男性が育児休暇をとりやすい環境ではないように感じる。
- 夫婦共働きが普通になってきている世の中なので、どこの職場においても育休を取りやすい環境を作る必要性と、復職しやすく働きやすい環境を作ることが大切。
- 共働きの時代なので、ワークライフバランスの推進が重要。また、転勤などで単身赴任になると少なからず子育てにも支障がでるし、子供を持つ機会も逃してしまう可能性もある。企業の意識付け、取り組みも重要。
- ワンオペという言葉をよく耳にするが、ワンオペ状態が続くと子供を複数持ちたいという気持ちも薄れてしまうので、配偶者が育児協力できるような環境作りが必要だと考え、配偶者が定時で帰れるような働き方ができると子育ての関わり方も変わってくると思われる。
- 個人や企業の意識改革等も必要だが、長時間労働等、国が決めないと変わることができないと思う。ワークライフバランスを改善してほしい。
- 個々ではなく、社会全体(企業)の理解が必要である。職場の環境作りが第一だと思うが、職場には既婚者だけでなく、独身者もいるので、片方が優遇されるという形ではなく両者が平等に扱われるような体制が必要。そうすれば、子供のいる人も遠慮なく時短や休みをとりやすい。

7. 県内の雇用創出／所得の向上

- ・ 若者が働く場の確保、人口流出対策
- ・ 雇用環境の整備
- ・ 地元企業の活性化、企業誘致
- ・ 収入の安定、賃金の引き上げ

【寄せられた意見（抜粋）】

- 子育ての環境において、祖父母世代の関わりや孤立させない環境づくりが重要。そのためには、どの世代も安心して生活できるよう安定した年金制度や雇用制度の見直しなど、ゆとりを持って生活できる環境整備も大切ではないか。
- 地方において、就職できる環境があり、雇用が確保されること。若者が都会に出ていなくても、地元や地域で十分に楽しめる豊かな環境があること。
- 雇用を促進するための企業誘致を進め、Uターン者Iターン者の雇用促進を推し進め、幅広い職種の企業誘致及びスタートアップ企業への助成、育成を行う等で一助になるのではないか。
- 子どもを産み育てるのに不安がないよう、安定した雇用環境が整ってほしい。1人目、2人目の出産時、産休・育休がなく一度離職したため、経済的不安がとても大きかった。女性は非正規雇用の方も多いのでその方たちへの支援があると、安心して出産、育児ができる。3人目は、産休・育休制度があり利用したため、精神的に安定した。
- 子どもが大好きなので何も考えなければ、何人でも産み育てたい気持ちはある。しかし現実的に考えると、子どもの数が増えるとその分お金はかかるので収入が増える見込みがないうちは子どもを増やそうとは思えない。男性も女性も子ども達にかけられる時間やお金が増やせるようになると嬉しい。
- まずは安定した雇用の創出と賃金を含め経済的な安定を作る。生活必需品は全国的に地方、都市部と大きな変わりはなく、逆に地方の方が輸送費の高騰により高くなりつつある。都会との賃金格差をできるだけ小さくし、地方で子育てする魅力を創り出すようにすべき。
- 経済的な安定と仕事への不安の軽減、子どもを育てていけたら楽しいだろうと思えるようなムードが作られていかないと状況は変わっていかないような気がする。
- 県内企業全体の給与水準を上げていくことも必要。給料が上がらないままでは、家庭を持ち子どもを育てることを考えにくい。
- 安心して子供を育てていける生活の安定、若い人の収入がもっと増えれば、安心して子供を産めると思う。

8. 意識改革

- ・ 結婚、出産への前向きなイメージ
- ・ 固定的性別役割分担意識の改革
- ・ 地域社会全体で子育てをする機運の醸成

【寄せられた意見（抜粋）】

- 子育て、育児は女性の役割という従来の考え方を抜本的にあらためるような意識改革、教育が必要。
- 安心して子育てができるように、職場や地域社会全体での意識を高め、具体的に行動することが大切。行政の啓発も必要。子育て世代の交流も互いに高め合う機会になる。
- 男性に頼る扶養制度の意識の改革。つまり、女性の賃金の低さからくる男性に頼らなくてはならない社会制度。男性の優先社会なので、育児は女性、労働は男性という役割分担はなくなる。男性は育児をする時間、意識すら持てなく保育施設や医療の負担をなくすなどは二の次としか思えない政治家、企業のトップはそういう意識を変える抜本的な改革をするべき。
- 妊娠できる年齢にはタイムリミットがあるということを知らない人が案外多い。社会全体に余裕がなくなってクレマーが増えてギスギスしている。子どもを連れての公共交通機関を利用するたびにヒヤヒヤしていた。母親が自分のことを犠牲にして子育てすることが日本では美德とされているけれど、その風潮をどうにかしてほしい。
- 義務教育のうちに、ジェンダー平等の考えを浸透させてほしい。
- 我が子のことだけではなく、社会全体としての子育ての意識を持つことや町民・市民・県民として、社会全体として子どもを育む意識改革を性別や年代を問わず自分ごととしてとらえるような取り組みがすすめば、企業における子育て支援においても変化は現れてくるのではないかと感じる。単に、取得率や実施数といった数値だけでは、実感には程遠いのではないかと感じる。

9. その他

【寄せられた意見（抜粋）】

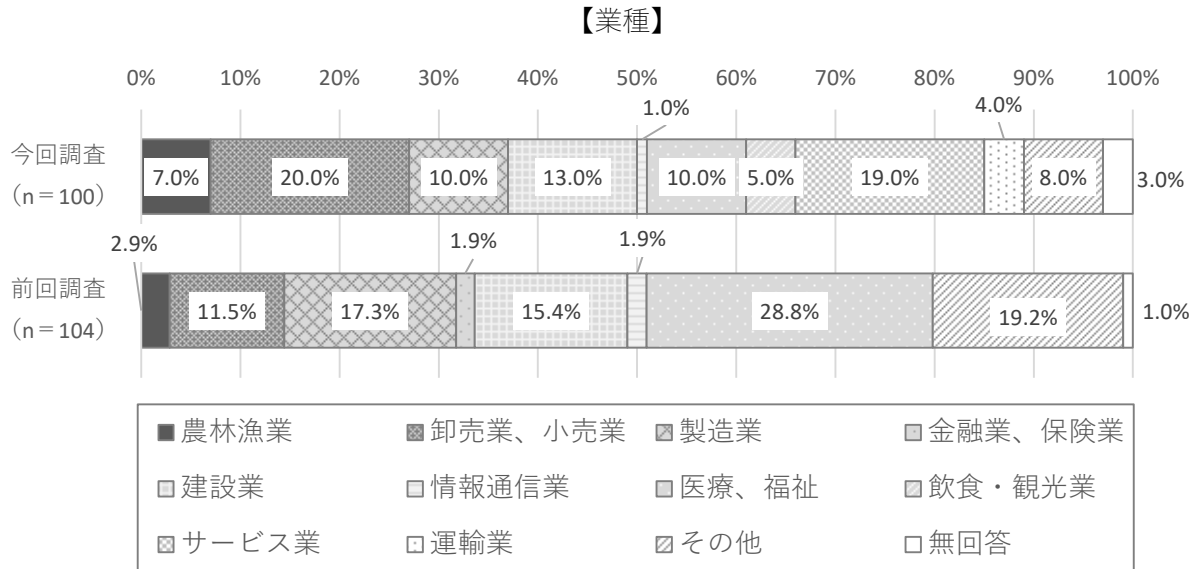
- 児童虐待等で養護施設で生活している子どもたちとの里親制度ももっと当たり前になれば良いのと思う。子どもを育てること自体が、敷居が高い行為になっているのではないかと感じる。

IV 調査結果（事業所）

1. 回答事業所の現状について

問1 貴社の主な業種についてあてはまるものをお答えください。(〇はひとつ)

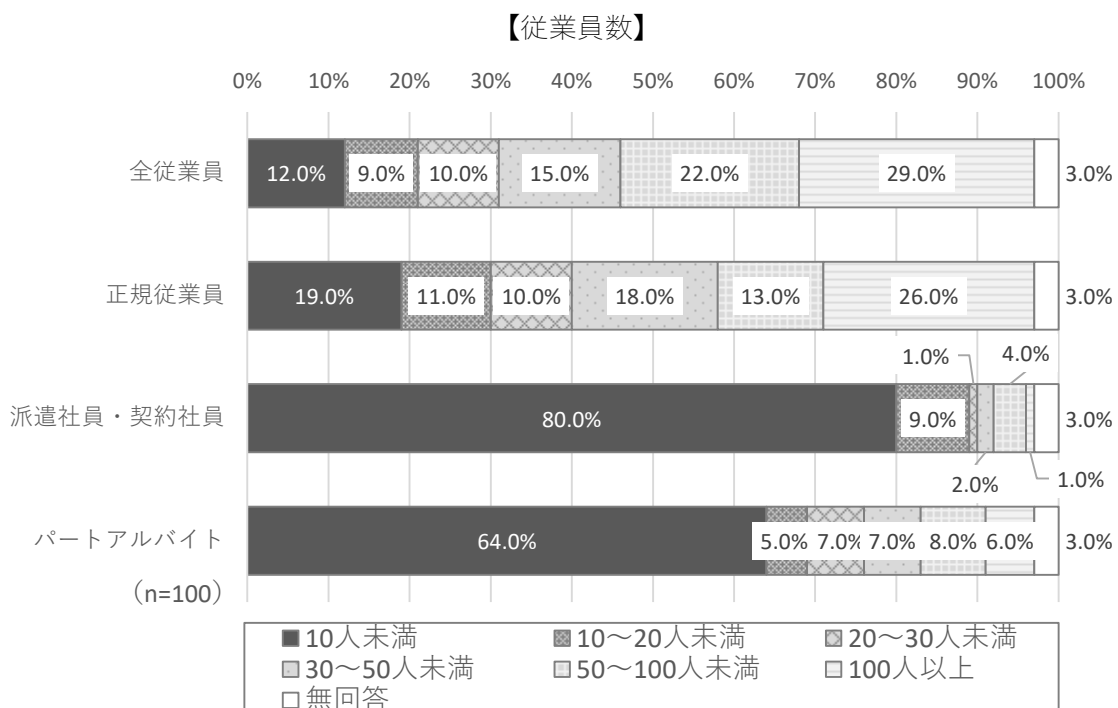
業種について、「卸売業、小売業」が20.0%で最も多く、次いで「サービス業」(19.0%)、「建設業」(13.0%)となっている。



問2 貴社の従業員数を教えてください。

従業員数について、全従業員では「100人以上」が29.0%で最も多く、次いで「50~100人未満」(22.0%)、「30~50人未満」(15.0%)となっている。

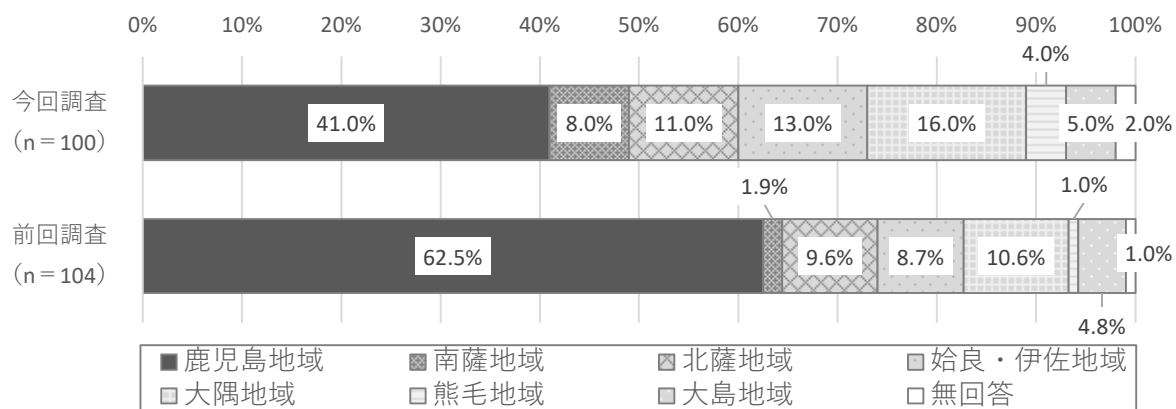
雇用形態別でみると、正規従業員は「100人以上」、派遣社員・契約社員、パート・アルバイトは「10人未満」がそれぞれ最も多くなっている。



問3 貴社の所在地はどちらですか。(〇はひとつ)

所在地について、「鹿児島地域」が41.0%でもっとも多く、次いで「大隅地域」(16.0%)、「始良・伊佐地域」(13.0%)となっている。

【所在地】



2. 働き方について

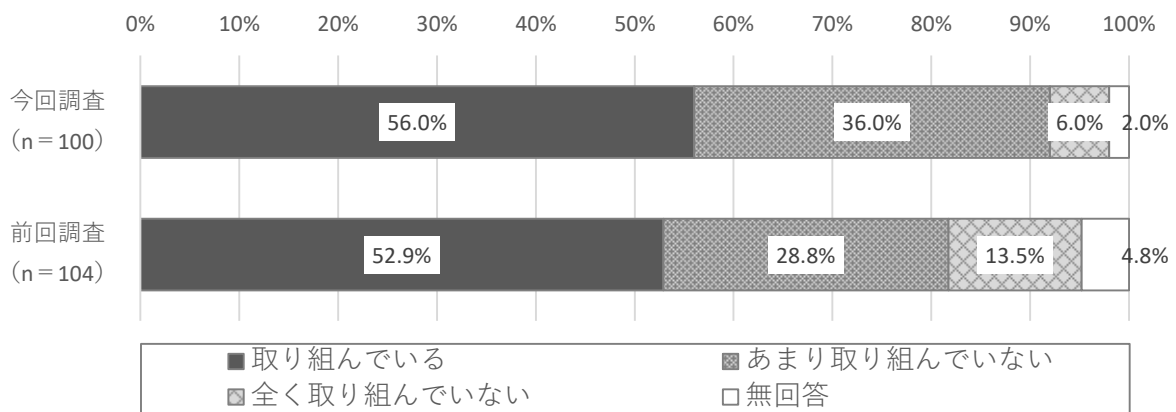
問4 貴社では、ワーク・ライフ・バランスの取組についてどのように認識していますか。
(〇は1つずつ)

<現状>

ワーク・ライフ・バランスの取組状況について、「取り組んでいる」が56.0%、「あまり取り組んでいない」が36.0%、「全く取り組んでいない」が6.0%となっている。

前回調査と比較すると、「全く取り組んでいない」は7.5ポイント減少している。

【ワーク・ライフ・バランスの取組状況】

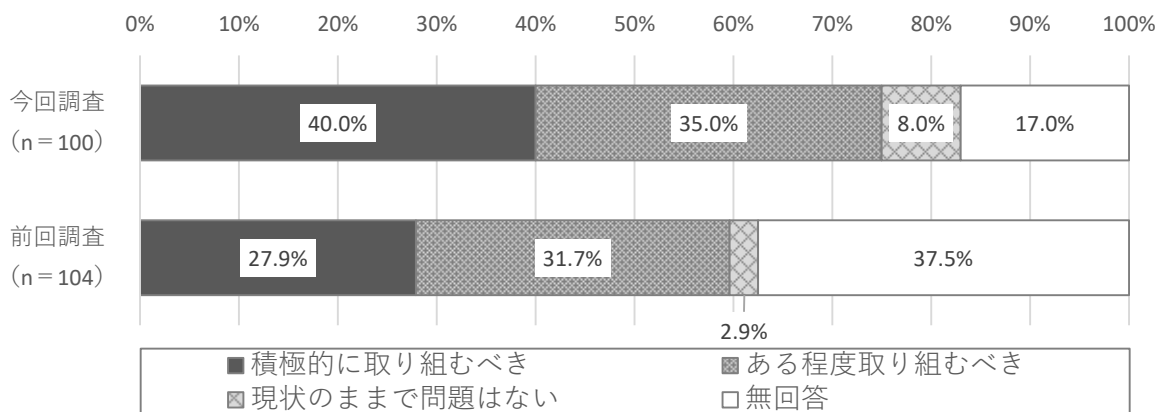


<今後>

ワーク・ライフ・バランスの取組意向について、「積極的に取り組むべき」が40.0%、「ある程度取り組むべき」が35.0%、「現状のままで問題はない」が8.0%となっている。

前回調査と比較すると、「積極的に取り組むべき」が12.1ポイント増加している。

【ワーク・ライフ・バランスの取組意向】



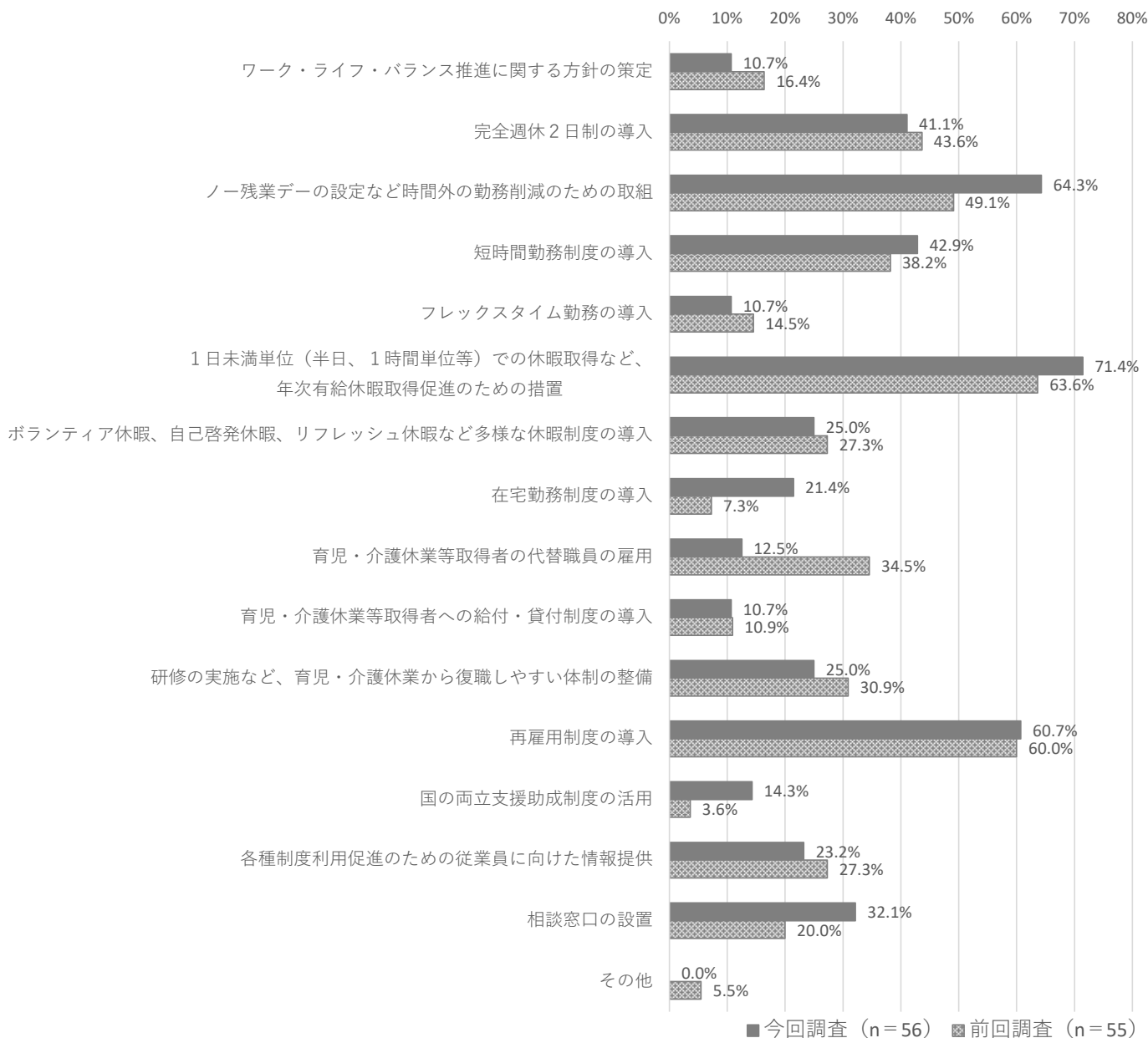
問5 貴社では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような取組をしていますか。(〇はいくつでも)

【回答者：「問4で「取り組んでいる」と回答した方】

ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組内容について、「1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置」が71.4%で最も多く、次いで「ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組」（64.3%）、「再雇用制度の導入」（60.7%）となっている。

前回調査と比較すると、「ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組」が15.2ポイント、「在宅勤務制度の導入」が14.1ポイント、「相談窓口の設置」が12.1ポイント、「国の両立支援助成制度の活用」が10.7ポイント、「1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置」が7.8ポイントそれぞれ増加した一方、「育児・介護休業等取得者の代替職員の雇用」は22.0ポイント、「研修の実施など、育児・介護休業から復職しやすい体制の整備」は5.9ポイント、「ワーク・ライフ・バランス推進に関する方針の策定」は5.7ポイントそれぞれ減少している。

【ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組内容】



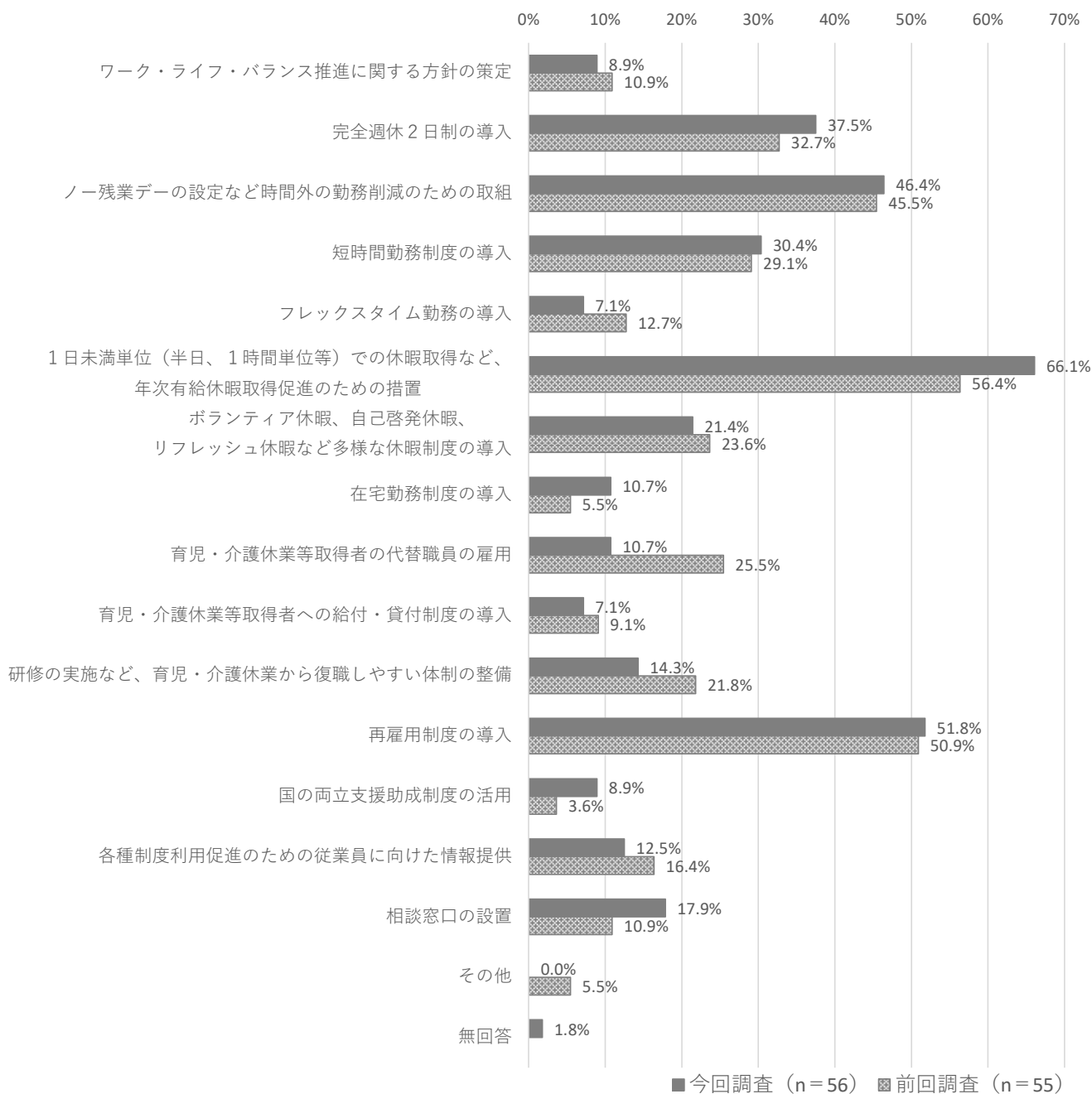
問6 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかったと思う内容はどれですか。(〇はいくつでも)

【回答者：「問4で「取り組んでいる」と回答した方】

ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかった内容について、「1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置」が66.1%で最も多く、次いで「再雇用制度の導入」（51.8%）、「ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組」（46.4%）となっている。

前回調査と比較すると、「1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置」が9.7ポイント、「国の両立支援助成制度の活用」が5.3ポイント、「在宅勤務制度の導入」が5.2ポイントそれぞれ増加した一方、「育児・介護休業等取得者の代替職員の雇用」は14.8ポイント、「研修の実施など、育児・介護休業から復職しやすい体制の整備」は7.5ポイント、「フレックスタイム勤務の導入」は5.6ポイントそれぞれ減少している。

【ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかった内容】



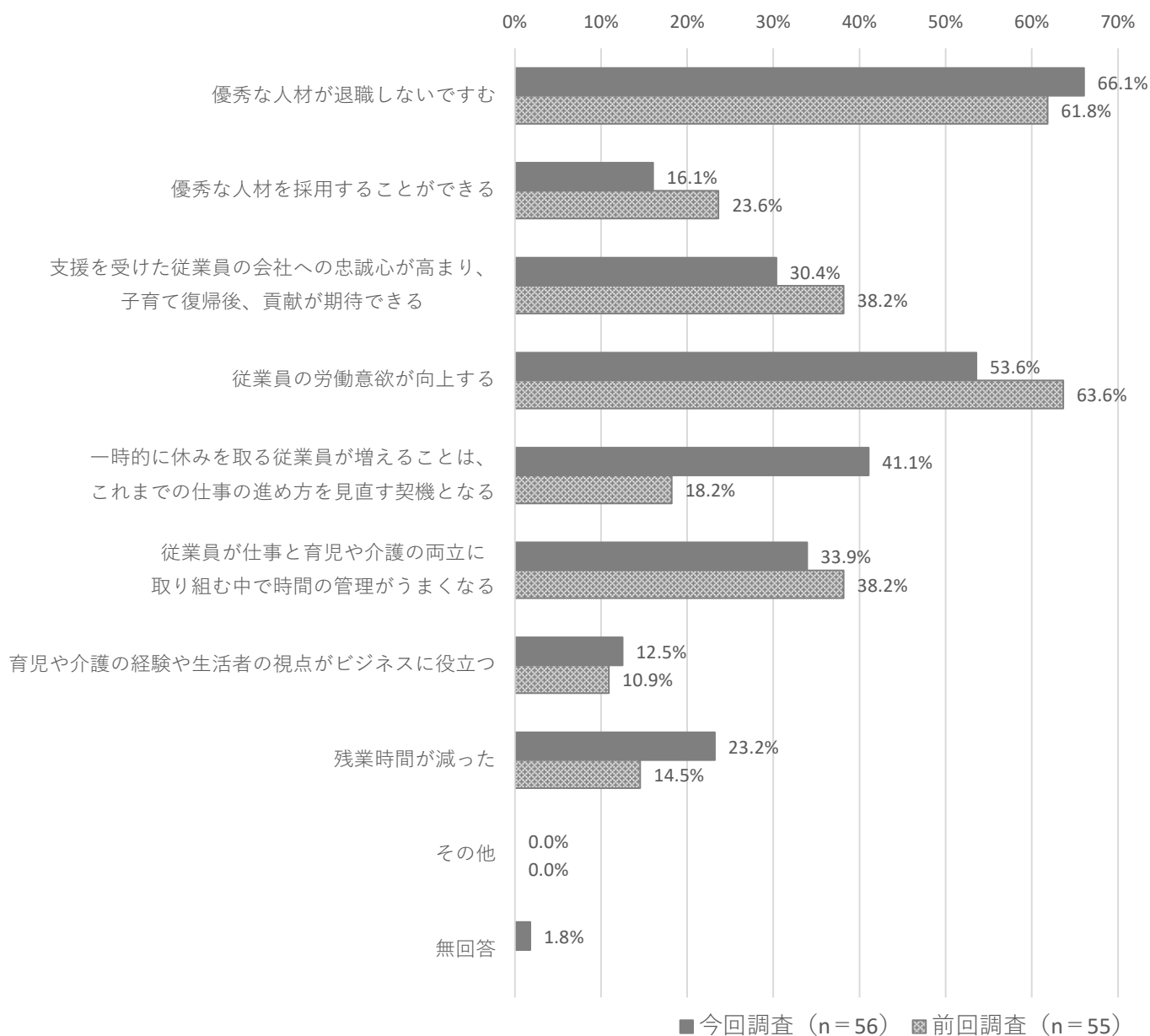
問7 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでどのようなメリットがありましたか。(〇はいくつでも)

【回答者：「問4で「取り組んでいる」と回答した方】

ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリットについて、「優秀な人材が退職しないですむ」が66.1%で最も多く、次いで「従業員の労働意欲が向上する」(53.6%)、「一時的に休みを取る従業員が増えることは、これまでの仕事の進め方を見直す契機となる」(41.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「一時的に休みを取る従業員が増えることは、これまでの仕事の進め方を見直す契機となる」が22.9ポイント、「残業時間が減った」が8.7ポイントそれぞれ増加した一方、「従業員の労働意欲が向上する」は10.0ポイント、「支援を受けた従業員の会社への忠誠心が高まり、子育て復帰後、貢献が期待できる」は7.8ポイント、「優秀な人材を採用することができる」は7.5ポイントそれぞれ減少している。

【ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリット】



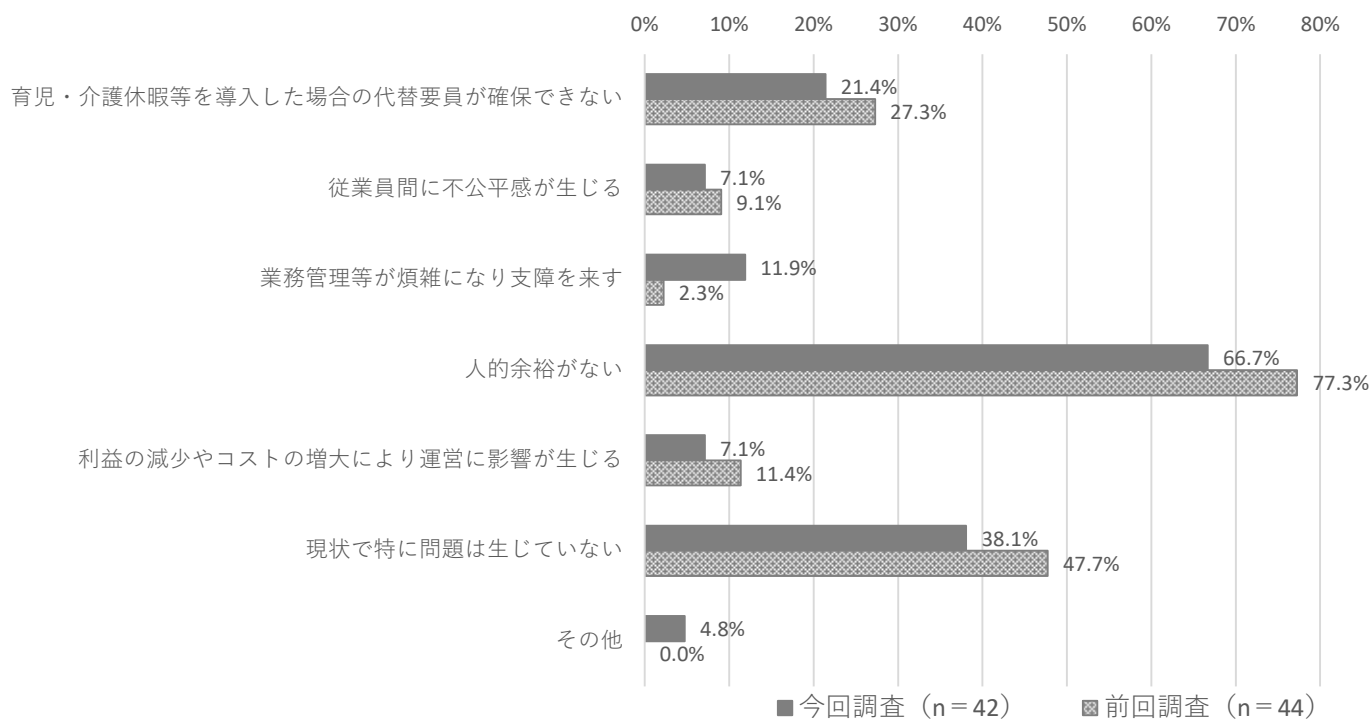
**問8 貴社で、ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由は何ですか。(〇は
いくつでも)**

【回答者：「問4で「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」と回答した方】

ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由について、「人的余裕がない」が66.7%で最も多く、次いで「現状で特に問題は生じていない」(38.1%)、「育児・介護休暇等を導入した場合の代替要員が確保できない」(21.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「業務管理等が煩雑になり支障を来す」が9.6ポイント増加した一方、「人的余裕がない」は10.6ポイント、「現状で特に問題は生じていない」は9.6ポイント、「育児・介護休暇等を導入した場合の代替要員が確保できない」は5.9ポイントそれぞれ減少している。

【ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由】

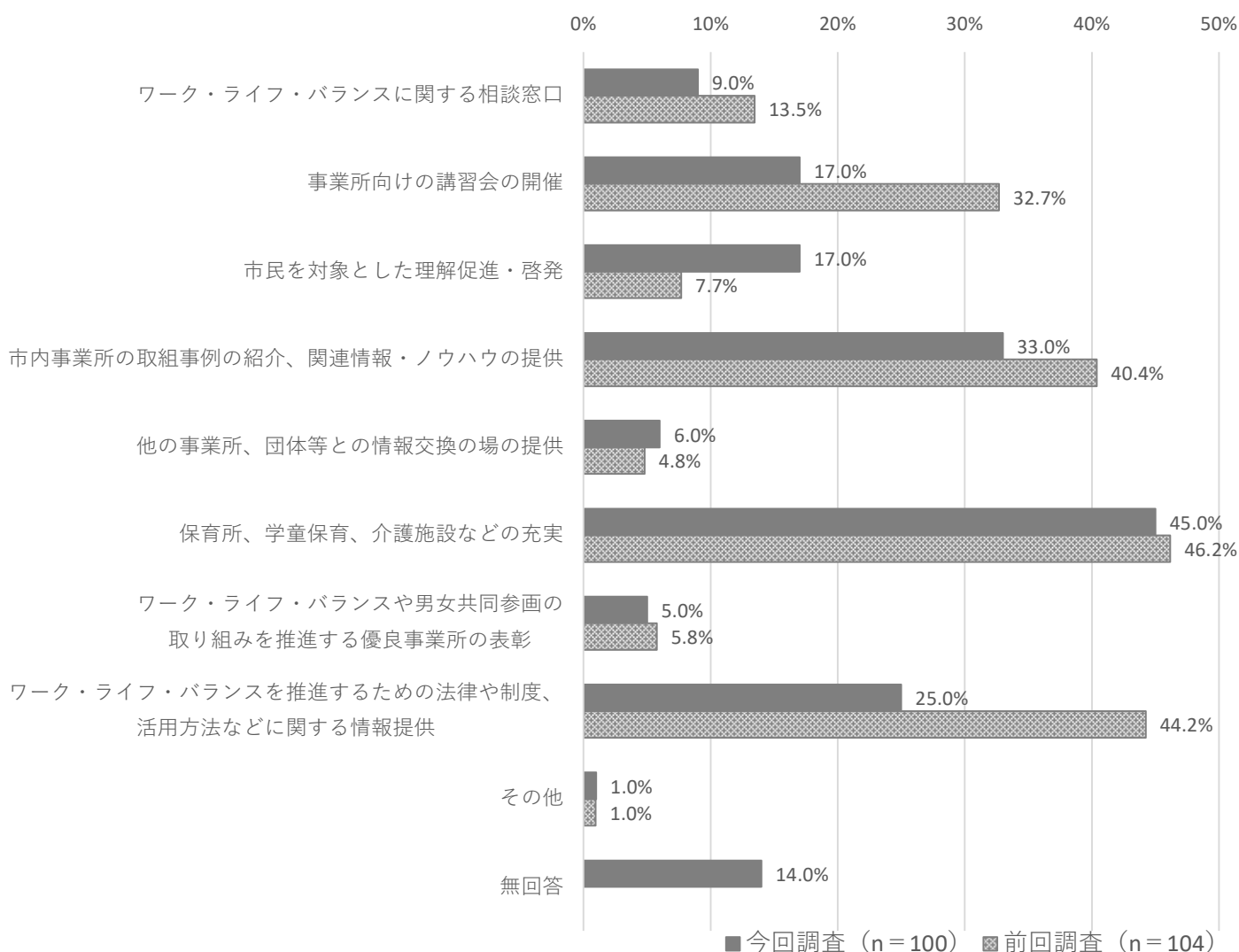


**問9 ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政にどのようなことを希望しますか。
(〇は3つまで)**

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて行政に期待する点について、「保育所、学童保育、介護施設などの充実」が45.0%で最も多く、次いで「市内事業所の取組事例の紹介、関連情報・ノウハウの提供」(33.0%)、「ワーク・ライフ・バランスを推進するための法律や制度、活用方法などに関する情報提供」(25.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「市民を対象とした理解促進・啓発」が9.3ポイント増加した一方、「ワーク・ライフ・バランスを推進するための法律や制度、活用方法などに関する情報提供」は19.2ポイント、「事業所向けの講習会の開催」は15.7ポイント、「市内事業所の取組事例の紹介、関連情報・ノウハウの提供」は7.4ポイントそれぞれ減少している。

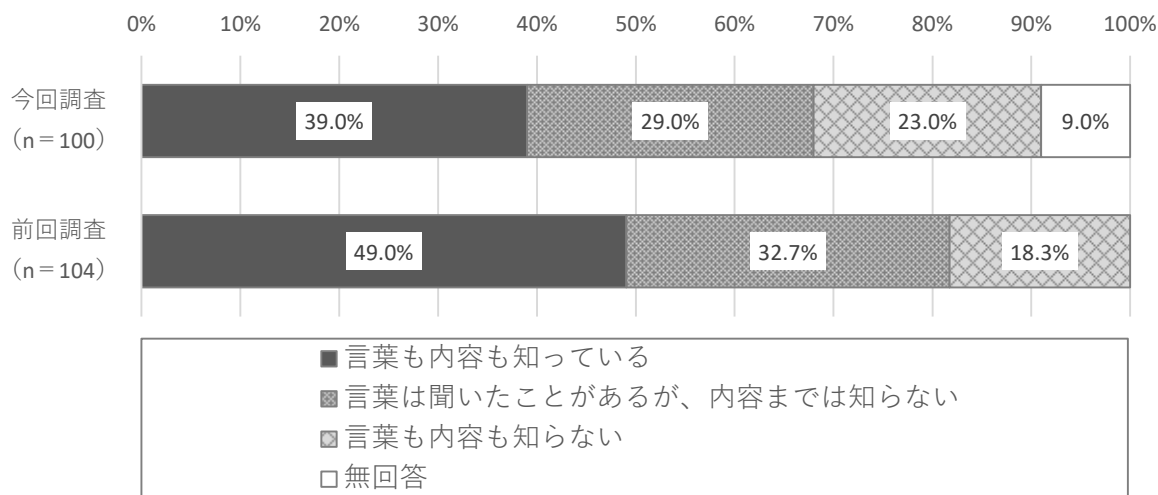
【ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて行政に期待する点】



問 10 あなたは「イクボス宣言」という言葉を知っていますか。(〇はひとつ)

イクボス宣言の認知度について、「言葉も内容も知っている」が 39.0%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 29.0%。「言葉も内容も知らない」が 23.0%となっている。

【イクボス宣言の認知度】



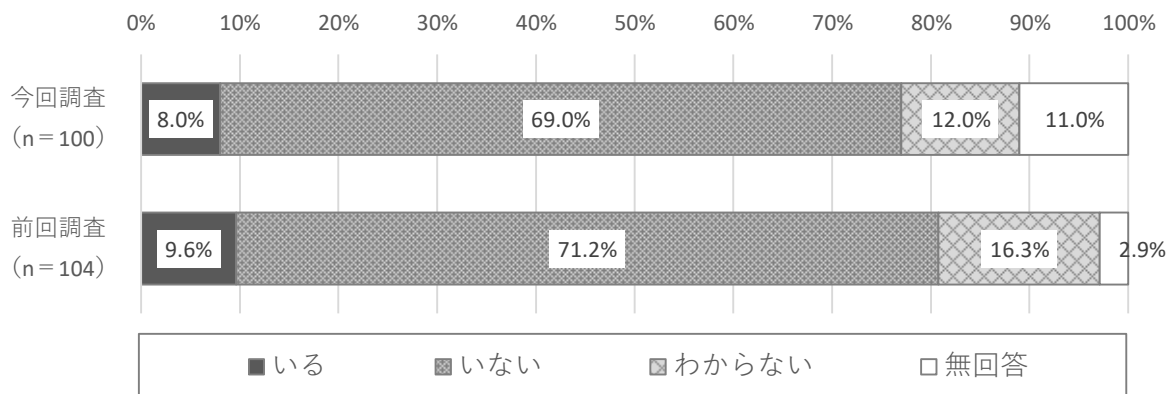
※イクボスについて

「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のこと。

問 11 貴社で「イクボス宣言」をされた方はいらっしゃいますか。(〇はひとつ)

イクボス宣言した代表者・従業員の有無について、「いる」が 8.0%、「いない」が 69.0%、「わからない」が 12.0%となっている。

【イクボス宣言した代表者・従業員の有無】

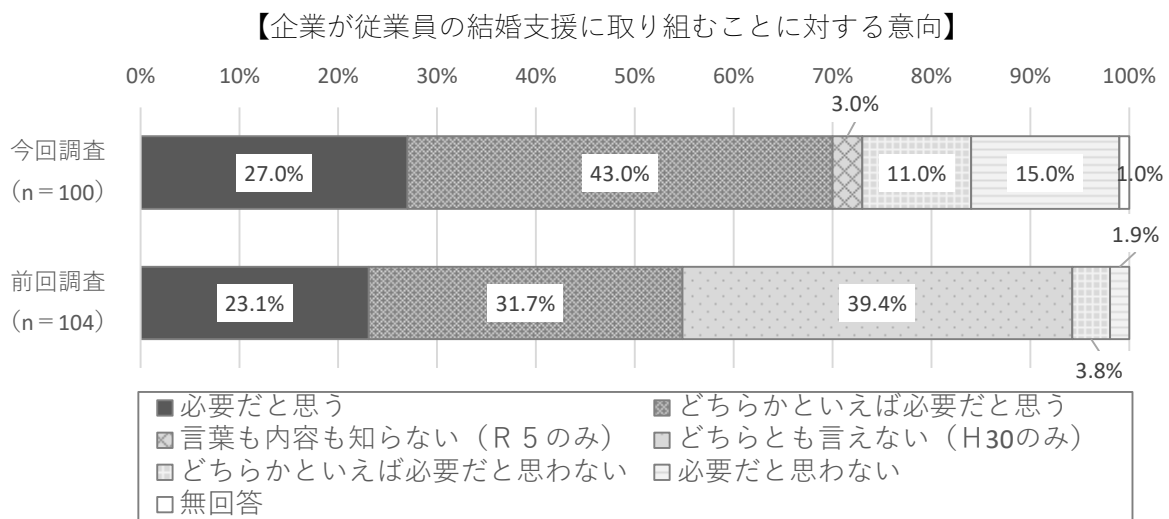


3. 結婚支援について

問 12 若者の未婚化・晩婚化と、それに伴う少子化の進行は、企業の労働力不足や消費者人口の減少につながることから、企業の経済活動・持続的発展に影響を及ぼすと言われています。企業が従業員の結婚支援に取り組むことについてどう考えていますか。(〇はひとつ)

企業が従業員の結婚支援に取り組むことに対する意向について、「必要だと思う」が 27.0%、「どちらかといえば必要だと思う」が 43.0%となっており、この 2 項目を合わせた『必要である』は 70.0%となっている。

一方、「どちらかといえば必要だと思わない」は 11.0%、「必要だと思わない」は 15.0%となっており、この 2 項目を合わせた『必要ではない』は 26.0%となっている。なお、「言葉も内容も知らない」は 3.0%となっている。



※ 「言葉も内容も知らない」は今回調査から、「どちらとも言えない」は前回調査のみの選択肢

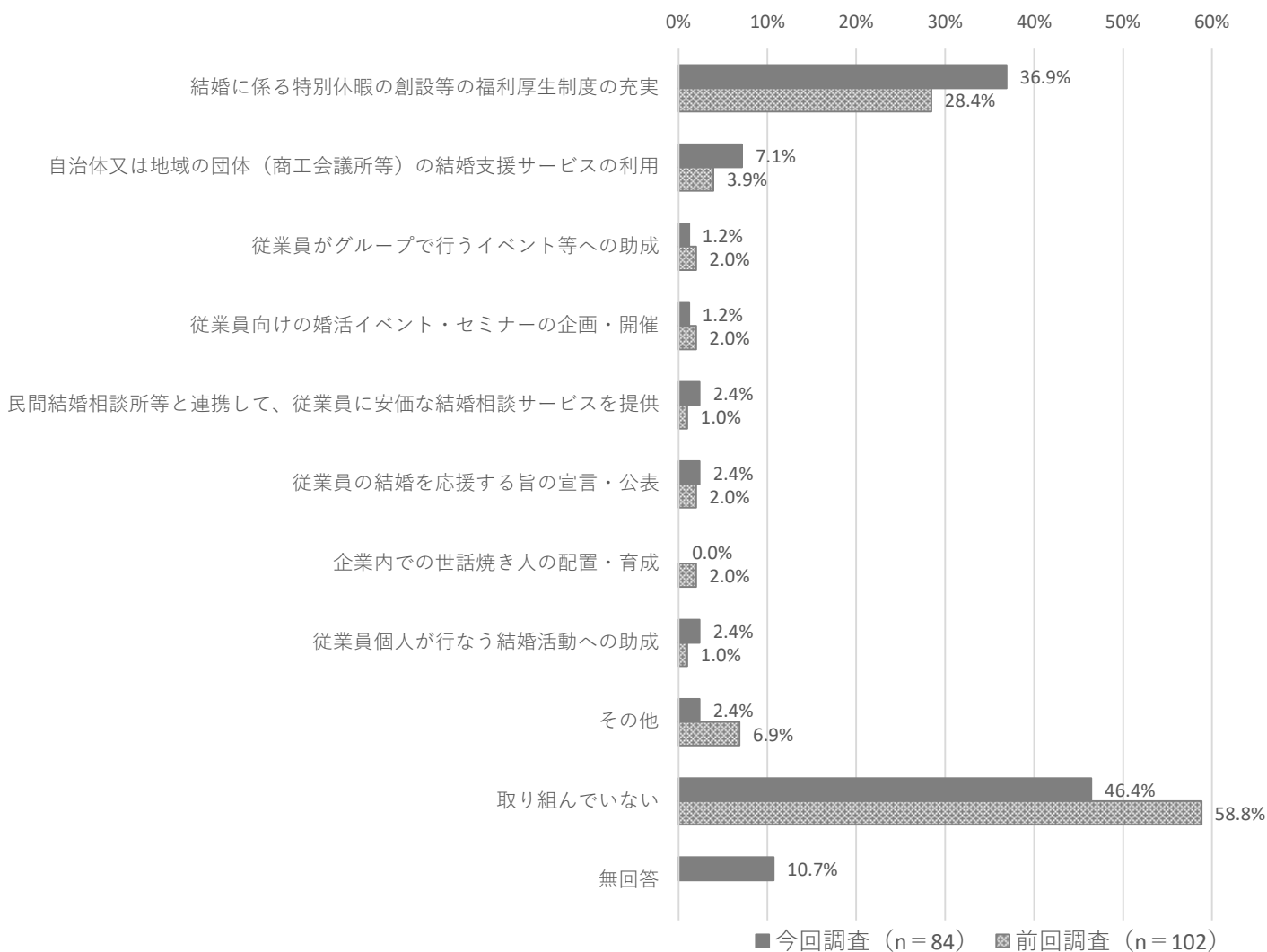
問 13 貴社で取り組んでいる結婚支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：「問 12 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

結婚支援の取組内容について、「取り組んでいない」が46.4%で最も多く、次いで「結婚に係る特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実」(36.9%)、「自治体又は地域の団体(商工会議所等)の結婚支援サービスの利用」(7.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「結婚に係る特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実」が8.5ポイント増加し、「取り組んでいない」は12.4ポイント減少している。

【結婚支援の取組内容】



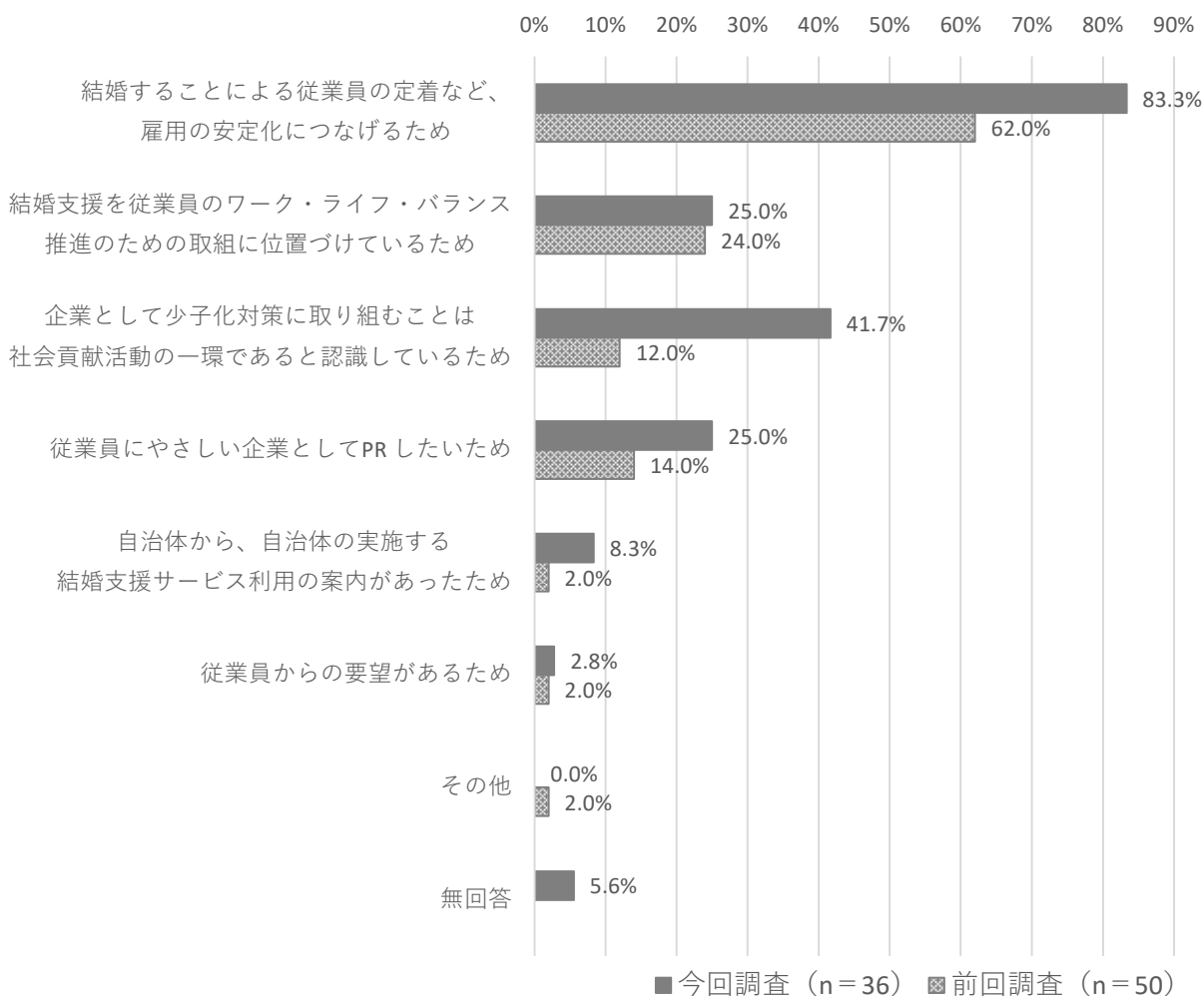
問 14 結婚支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 13 で「取り組んでいない」以外を回答した方】

結婚支援に取り組んでいる理由について、「結婚することによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため」が 83.3%で最も多く、次いで「企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため」(41.7%)、「結婚支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため」「従業員にやさしい企業として PR したいため」(いずれも 25.0%) となっている。

前回調査と比較すると、「企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため」が 29.7 ポイント、「結婚することによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため」が 21.3 ポイント、「従業員にやさしい企業として PR したいため」が 11.0 ポイント、「自治体から、自治体の実施する結婚支援サービス利用の案内があったため」が 6.3 ポイントそれぞれ増加している。

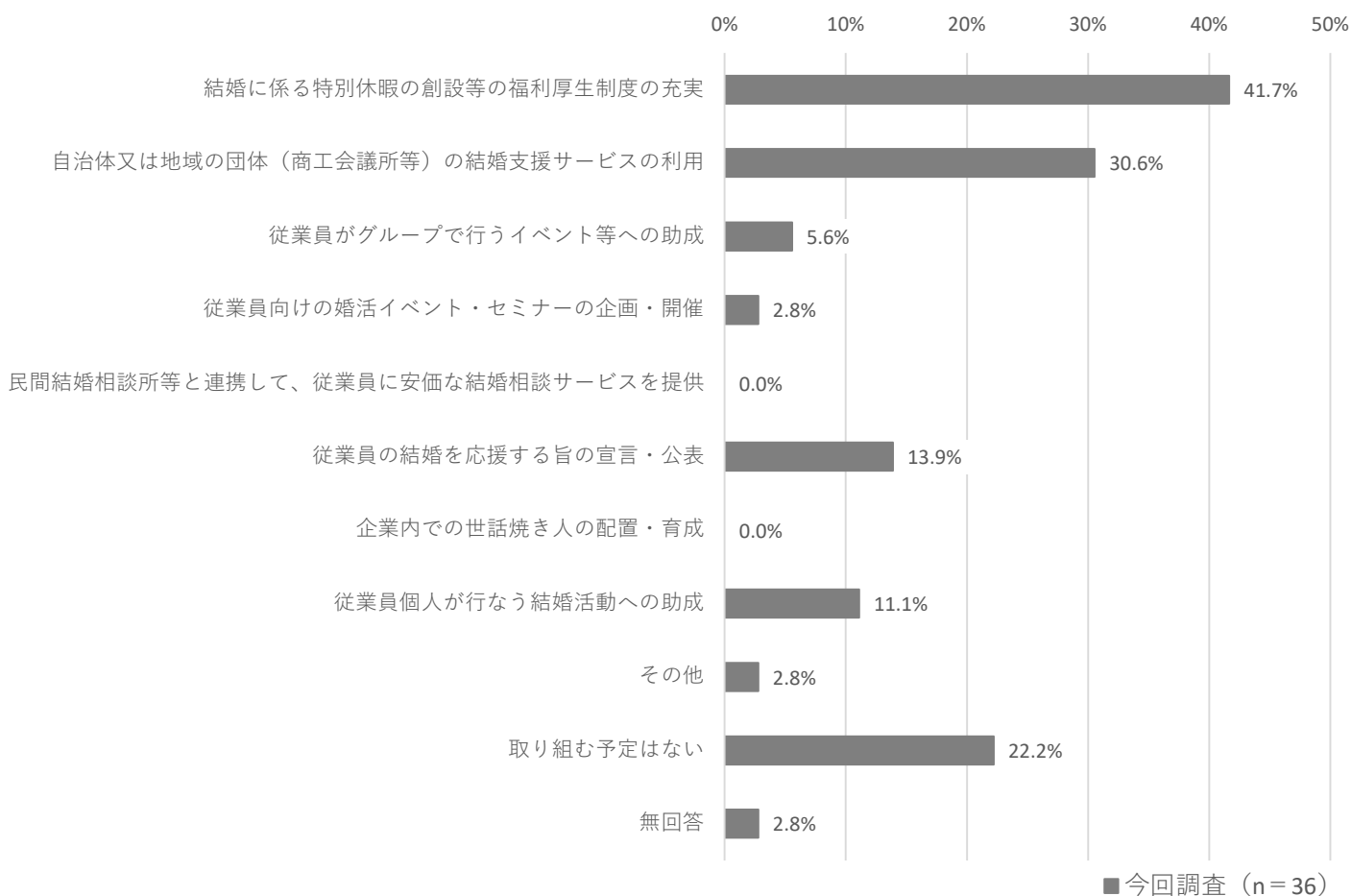
【結婚支援に取り組んでいる理由】



問 15 今後、貴社で取り組みたい結婚支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

取り組みたい結婚支援の内容について、「結婚に係る特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実」が41.7%で最も多く、次いで「自治体又は地域の団体（商工会議所等）の結婚支援サービスの利用」（30.6%）となっている。

【取り組みたい結婚支援の内容】



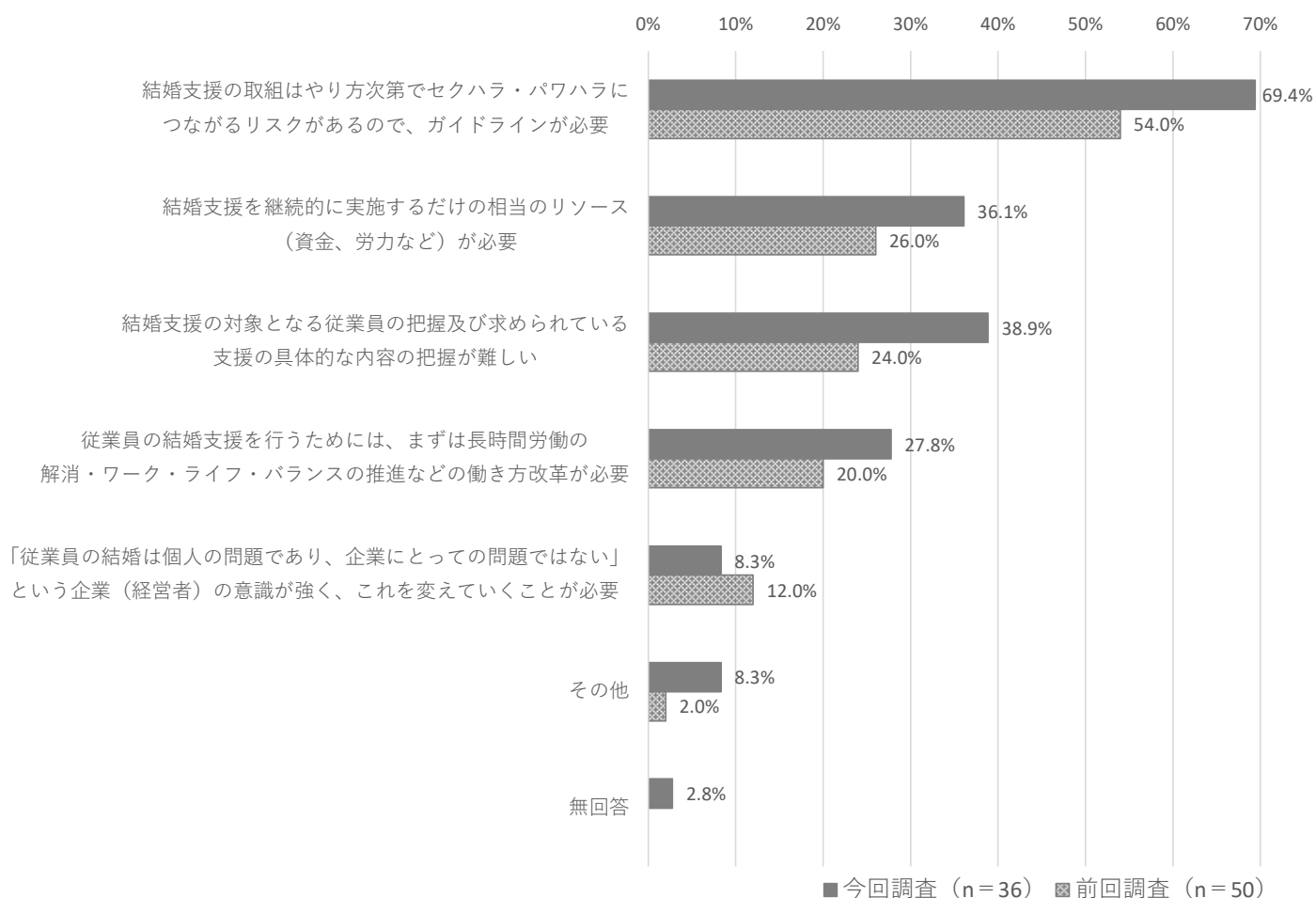
※今回調査から実施

問 16 企業が従業員の結婚支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

企業が従業員の結婚支援を行う上での課題について、「結婚支援の取組はやり方次第でセクハラ・パワハラにつながるリスクがあるので、ガイドラインが必要」が 69.4%で最も多く、次いで「結婚支援の対象となる従業員の把握及び求められている支援の具体的な内容の把握が難しい」(38.9%)、「結婚支援を継続的に実施するだけの相当のリソース(資金、労力など)が必要」(36.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「結婚支援の取組はやり方次第でセクハラ・パワハラにつながるリスクがあるので、ガイドラインが必要」が 15.4 ポイント、「結婚支援の対象となる従業員の把握及び求められている支援の具体的な内容の把握が難しい」が 14.9 ポイント、「結婚支援を継続的に実施するだけの相当のリソース(資金、労力など)が必要」が 10.1 ポイント、「従業員の結婚支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要」が 7.8 ポイントそれぞれ増加している。

【企業が従業員の結婚支援を行う上での課題】



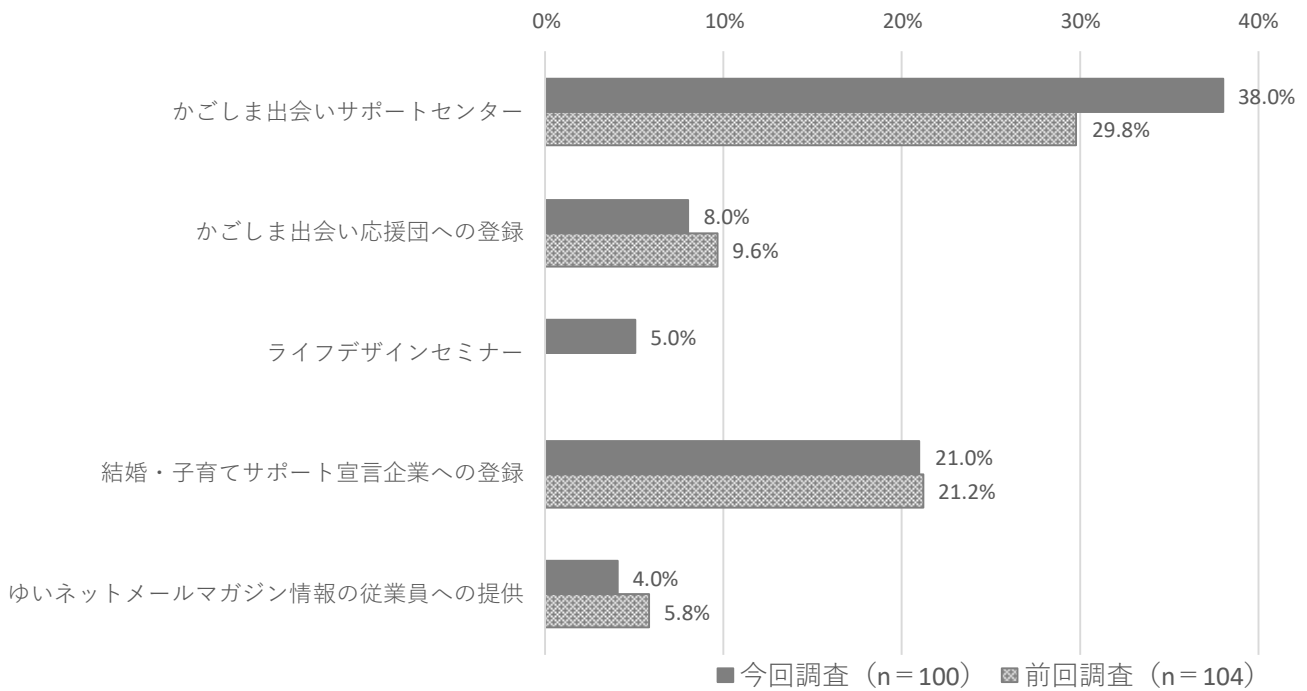
問 17 鹿児島県が実施している主な結婚支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものをすべて選択してください。(〇はいくつでも)

<認知度>

鹿児島県が実施している主な結婚支援事業の認知度について、「かごしま出会いサポートセンター」が38.0%で最も多く、次いで「結婚・子育てサポート宣言企業への登録」(21.0%)、「かごしま出会い応援団への登録」(8.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「かごしま出会いサポートセンター」が8.2ポイント増加している。

【鹿児島県が実施している主な結婚支援事業の認知度】

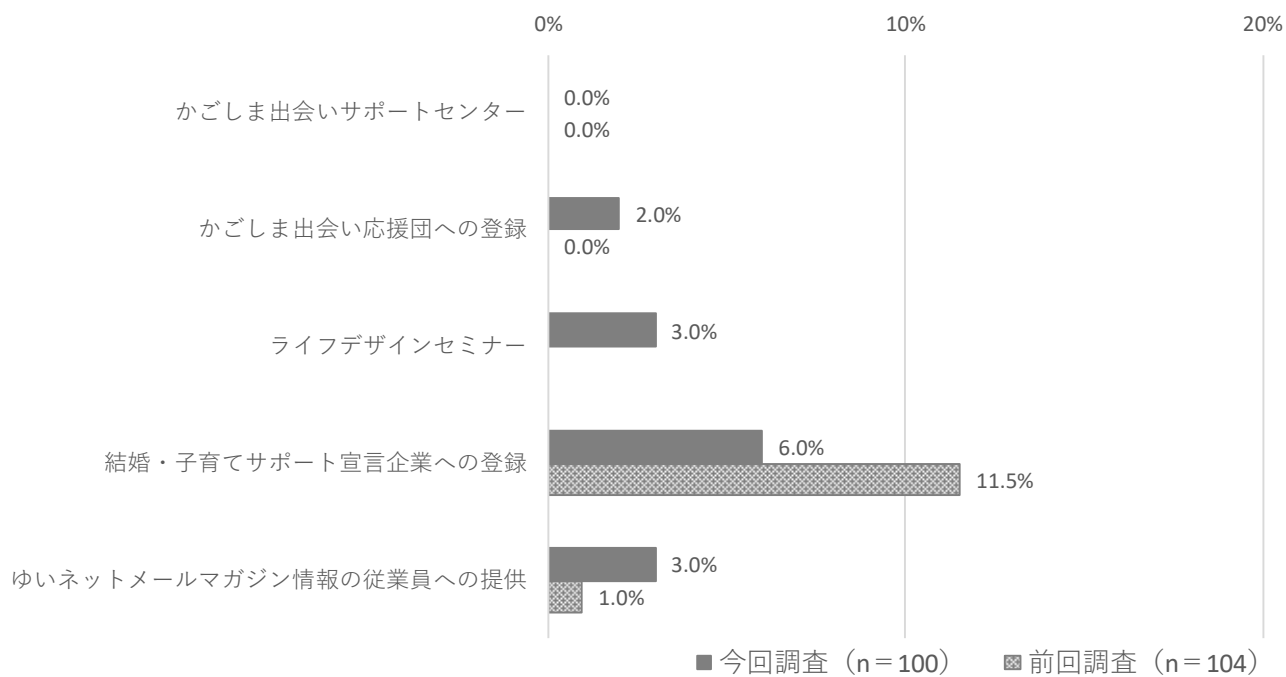


※今回調査から「結婚支援セミナー、フォーラムの開催」「世話焼きキューピッドの委嘱」「企業内婚活サポーターの委嘱」を削除、「ライフデザインセミナー」を追加

<取組状況>

鹿児島県が実施している主な結婚支援事業の取組状況について、「結婚・子育てサポート宣言企業への登録」が6.0%で最も多く、次いで「ゆいネットメールマガジン情報の従業員への提供」「ライフデザインセミナー」（いずれも3.0%）、「かごしま出会い応援団への登録」（2.0%）となっている。

【鹿児島県が実施している主な結婚支援事業の取組状況】



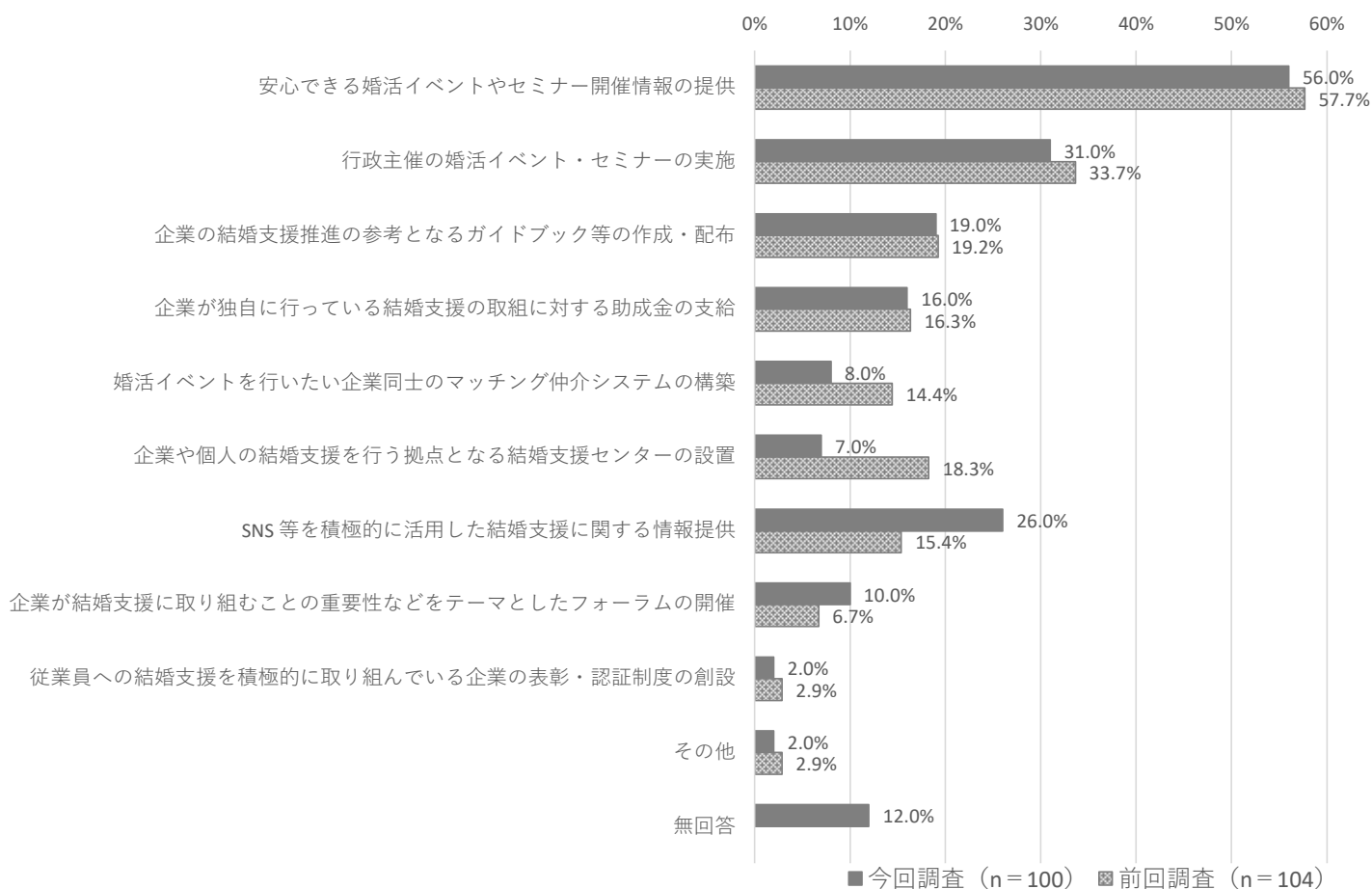
※今回調査から「結婚支援セミナー、フォーラムの開催」「世話焼きキューピットの委嘱」「企業内婚活サポーターの委嘱」を削除、「ライフデザインセミナー」を追加

問 18 行政に期待する結婚支援についてお答えください。(〇はいくつでも)

行政に期待する結婚支援について、「安心できる婚活イベントやセミナー開催情報の提供」が56.0%で最も多く、次いで「行政主催の婚活イベント・セミナーの実施」(31.0%)、「SNS等を積極的に活用した結婚支援に関する情報提供」(26.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「SNS等を積極的に活用した結婚支援に関する情報提供」が10.6ポイント増加している。

【行政に期待する結婚支援】



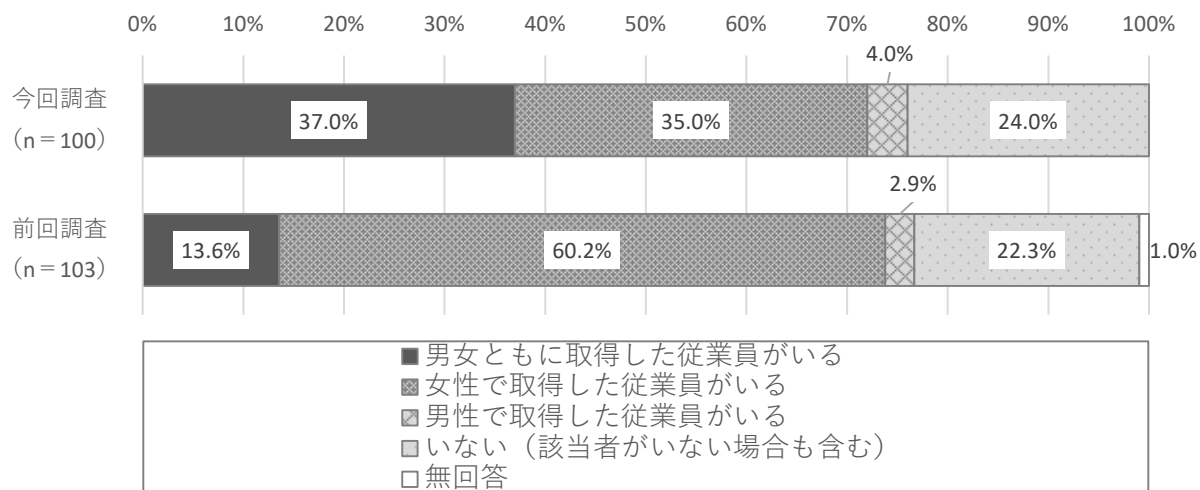
4. 育児休業制度について

問 19 貴社ではこれまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。(〇はひとつ)

育児休業制度の取得状況について、「男女ともに取得した従業員がいる」が 37.0%、「女性で取得した従業員がいる」が 35.0%、「男性で取得した従業員がいる」が 4.0%、「いない（該当者がいない場合も含む）」が 24.0%となっている。

前回調査と比較すると、「男女ともに取得した従業員がいる」が 23.4 ポイント増加している。

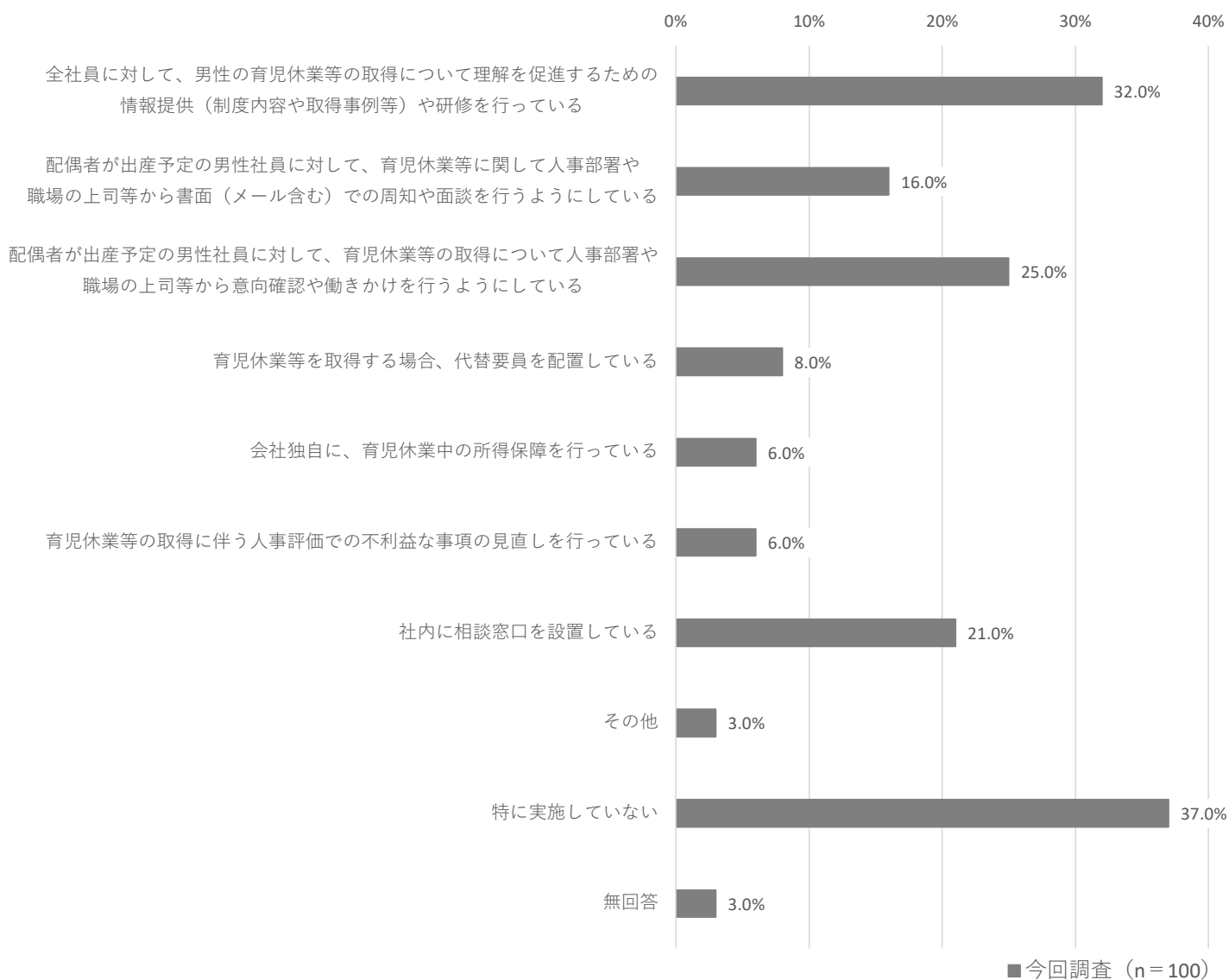
【育児休業制度の取得状況】



**問 20 貴社の男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容についてお答えください。
(〇はいくつでも)**

男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容について、「特に実施していない」が37.0%で最も多いが、取り組んでいる場合の内容については、「全社員に対して、男性の育児休業等の取得について理解を促進するための情報提供（制度内容や取得事例等）や研修を行っている」（32.0%）、「配偶者が出産予定の男性社員に対して、育児休業等の取得について人事部署や職場の上司等から意向確認や働きかけを行うようにしている」（25.0%）、「社内に相談窓口を設置している」（21.0%）となっている。

【男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容】



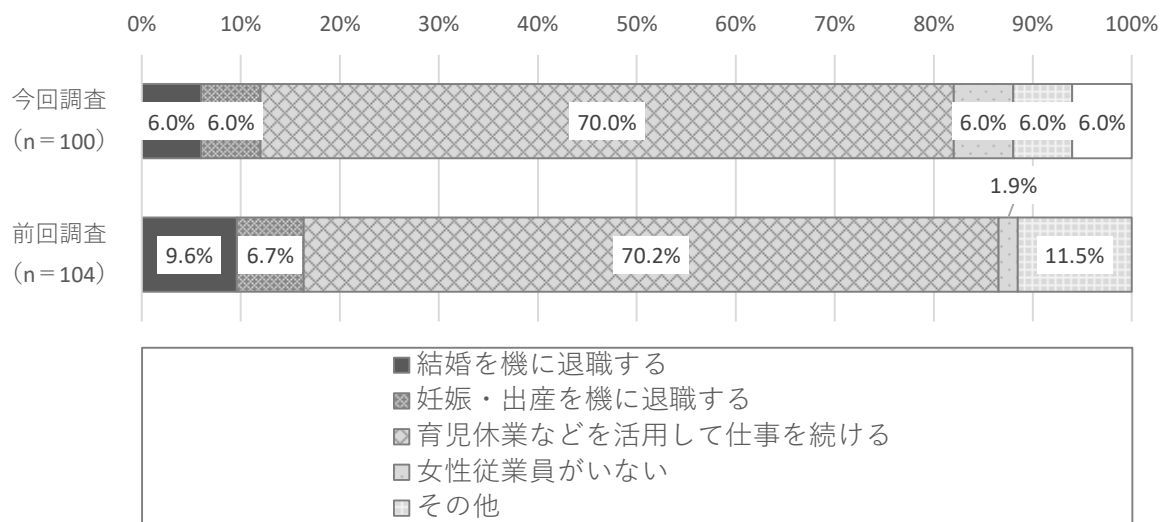
※今回調査から実施

5. 子育て支援について

問 21 貴社の女性の働き方として、どのような形が多いですか。(〇はひとつ)

女性従業員の働き方について、「育児休業などを活用して仕事を続ける」が70.0%で最も多く、「結婚を機に退職する」「妊娠・出産を機に退職する」「女性従業員がいない」「その他」がそれぞれ6.0%となっている。

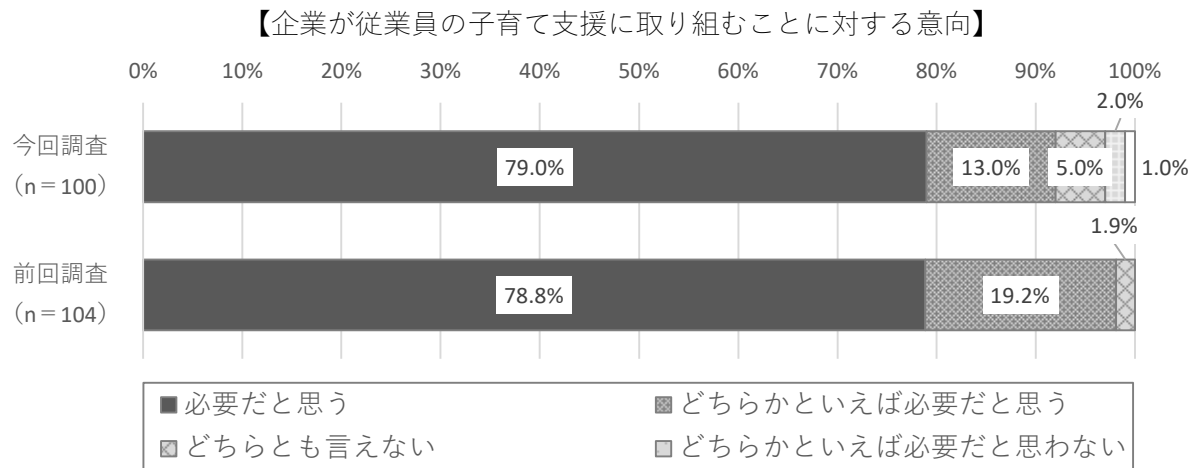
【女性従業員の働き方】



問 22 企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えますか。(〇はひとつ)

企業が従業員の子育て支援に取り組むことに対する意向について、「必要だと思う」が79.0%、「どちらかといえば必要だと思う」が13.0%となっており、この2項目を合わせた『必要である』は92.0%となっている。

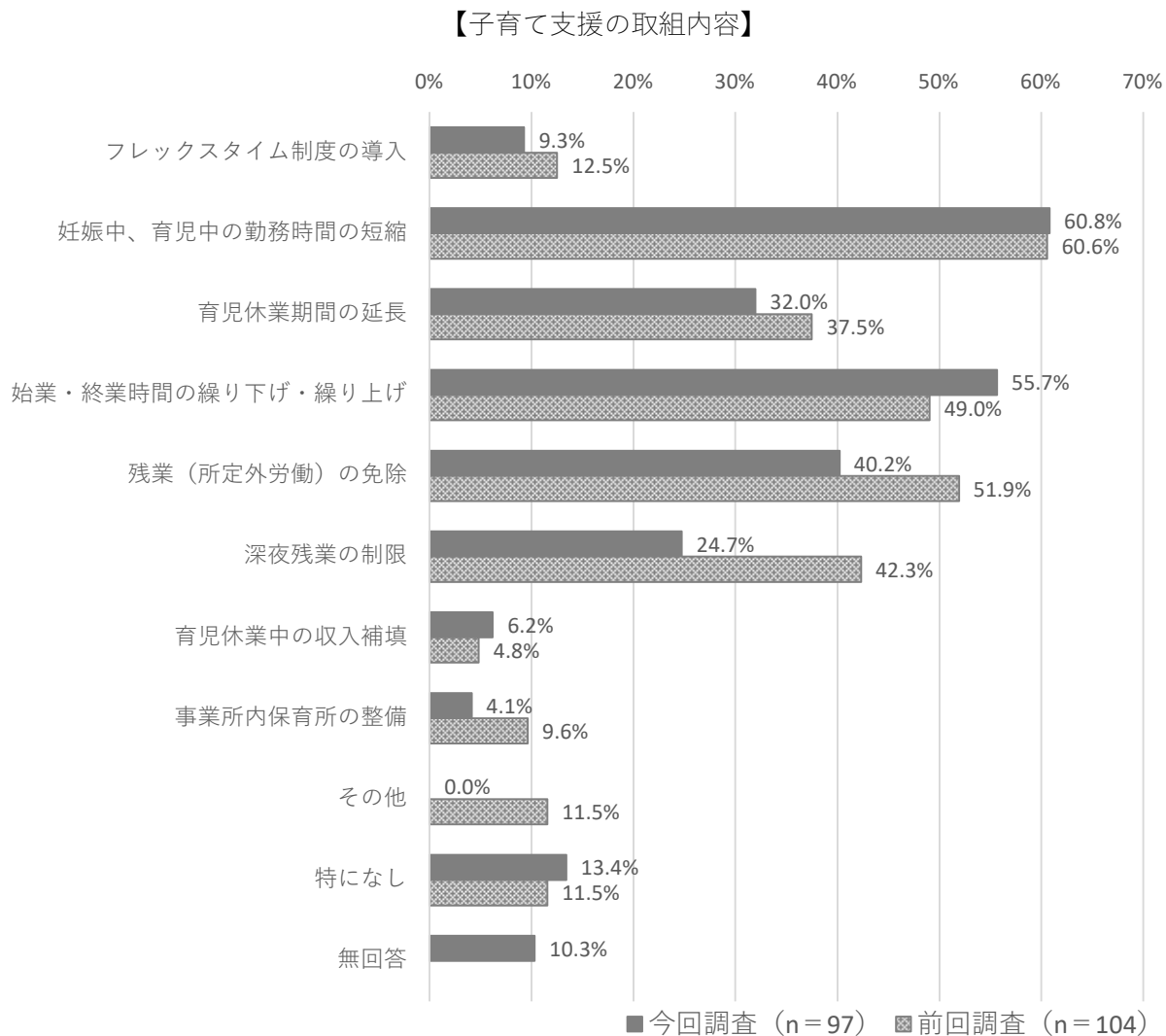
一方、「必要だと思わない」は2.0%となっている。なお、「どちらとも言えない」は5.0%となっている。



問 23 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

子育て支援の取組内容について、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が 60.8%で最も多く、次いで「始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ」(55.7%)、「残業(所定外労働)の免除」(40.2%)となっている。

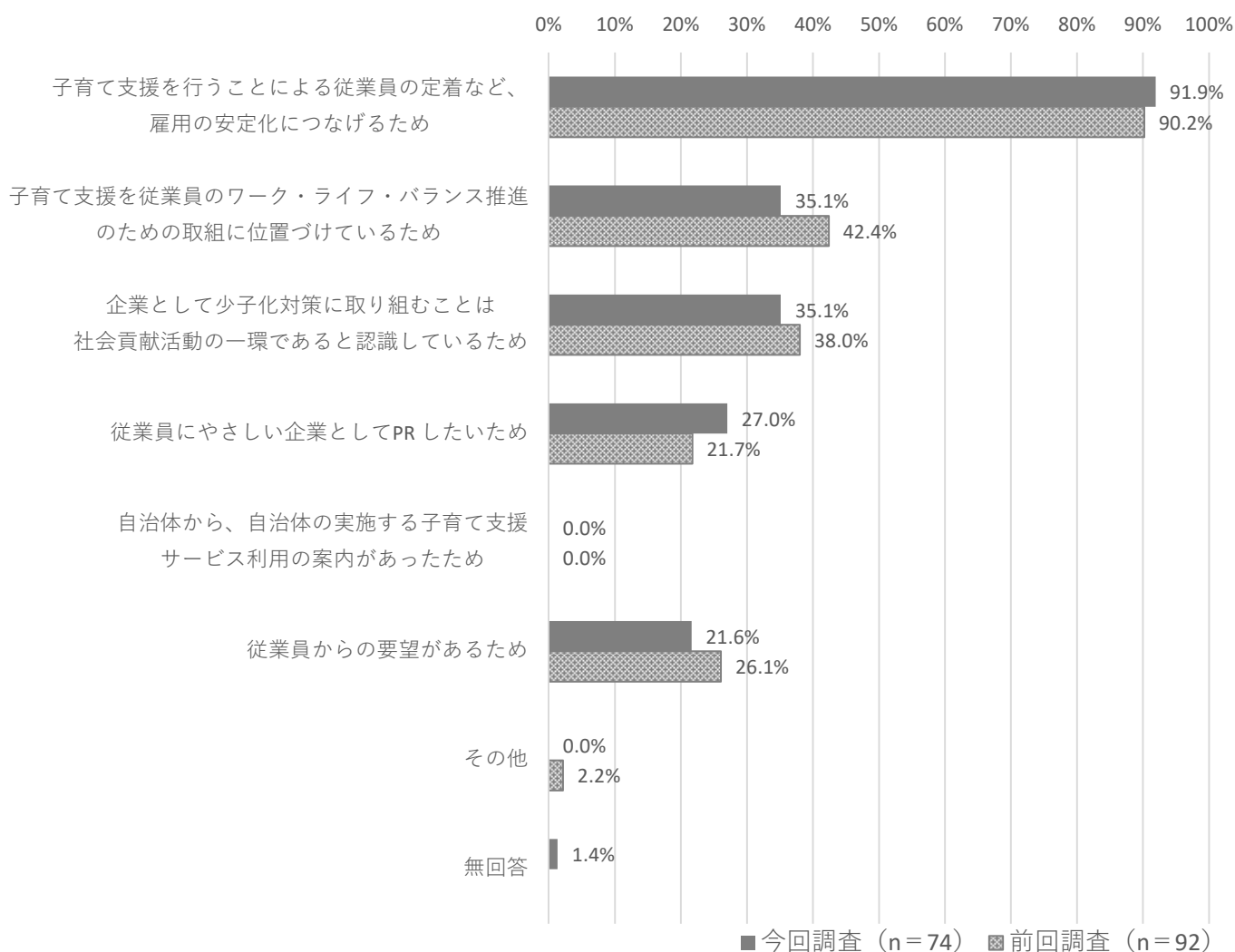


問 24 子育て支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 23 で「特になし」以外を回答した方】

子育て支援に取り組む理由について、「子育て支援を行うことによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため」が 91.9%で最も多く、次いで「子育て支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため」「企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため」(いずれも 35.1%)、「従業員にやさしい企業としてPR したいため」(27.0%) となっている。

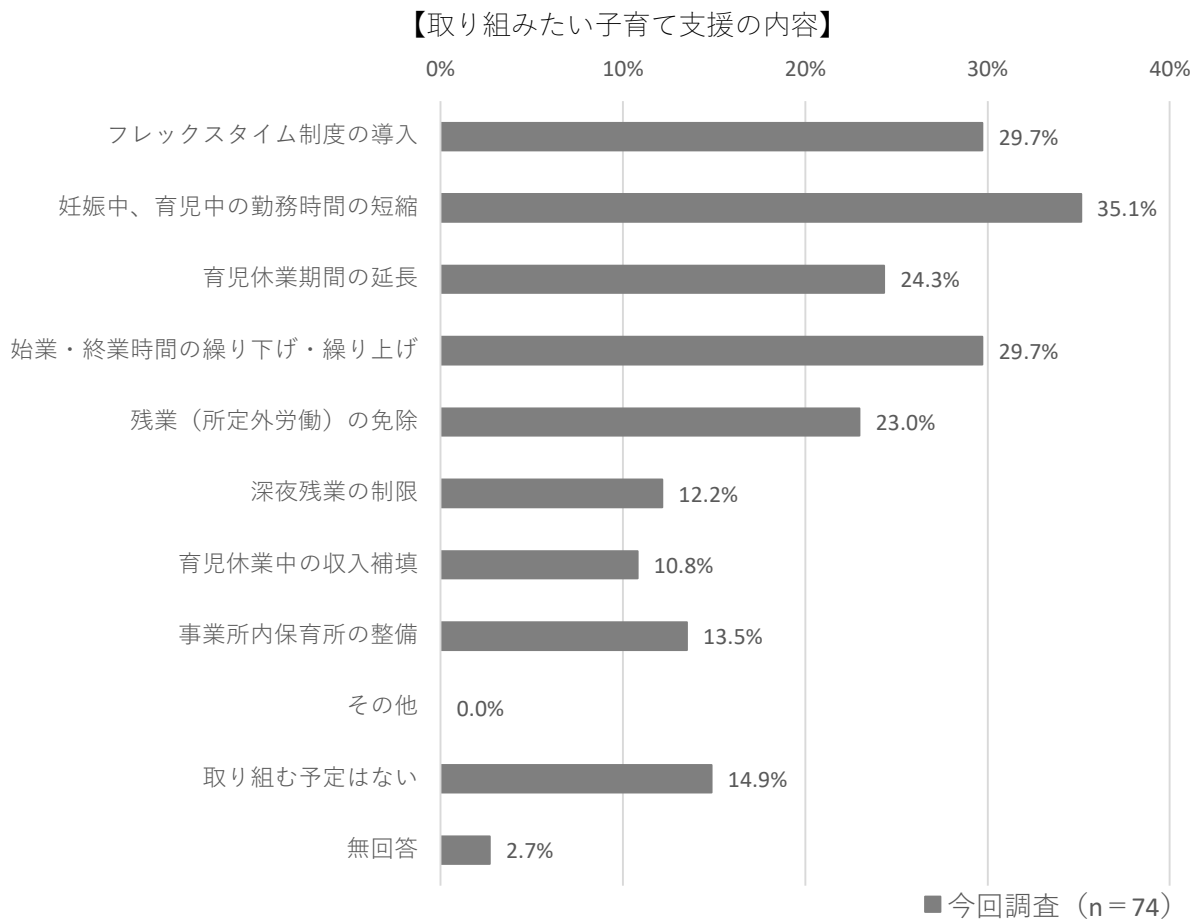
【子育て支援に取り組む理由】



問 25 今後、貴社で取り組みたい子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

取り組みたい子育て支援の内容について、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が 35.1%で最も多く、次いで「フレックスタイム制度の導入」「始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ」(いずれも 29.7%)、「育児休業期間の延長」(24.3%) となっている。



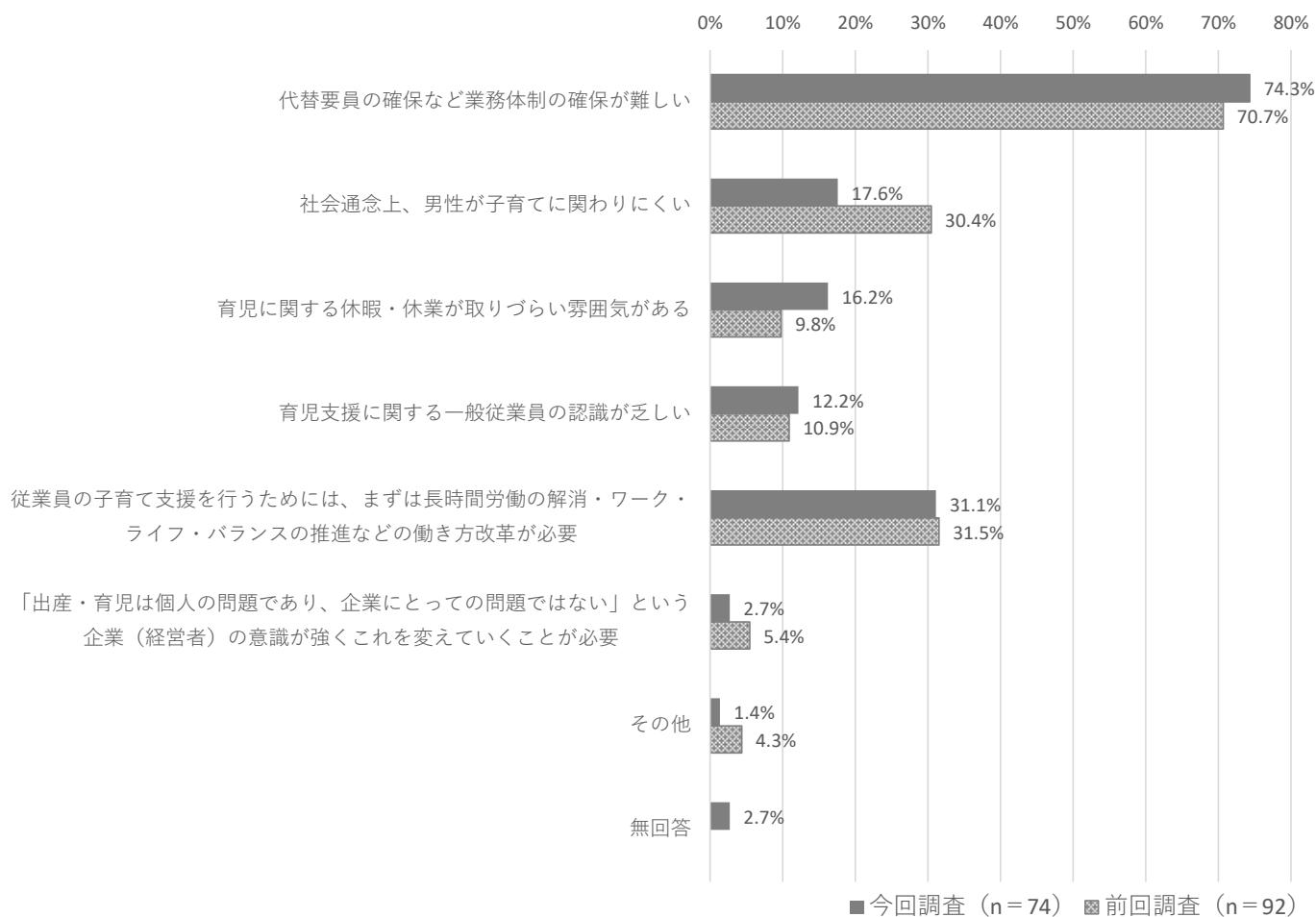
※今回調査から実施

問 26 企業が従業員の子育て支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

従業員の子育て支援を行う上での課題について、「代替要員の確保など業務体制の確保が難しい」が 74.3%で最も多く、次いで「従業員の子育て支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要」(31.1%)、「社会通念上、男性が子育てに関わりにくい」(17.6%)となっている。

【従業員の子育て支援を行う上での課題】

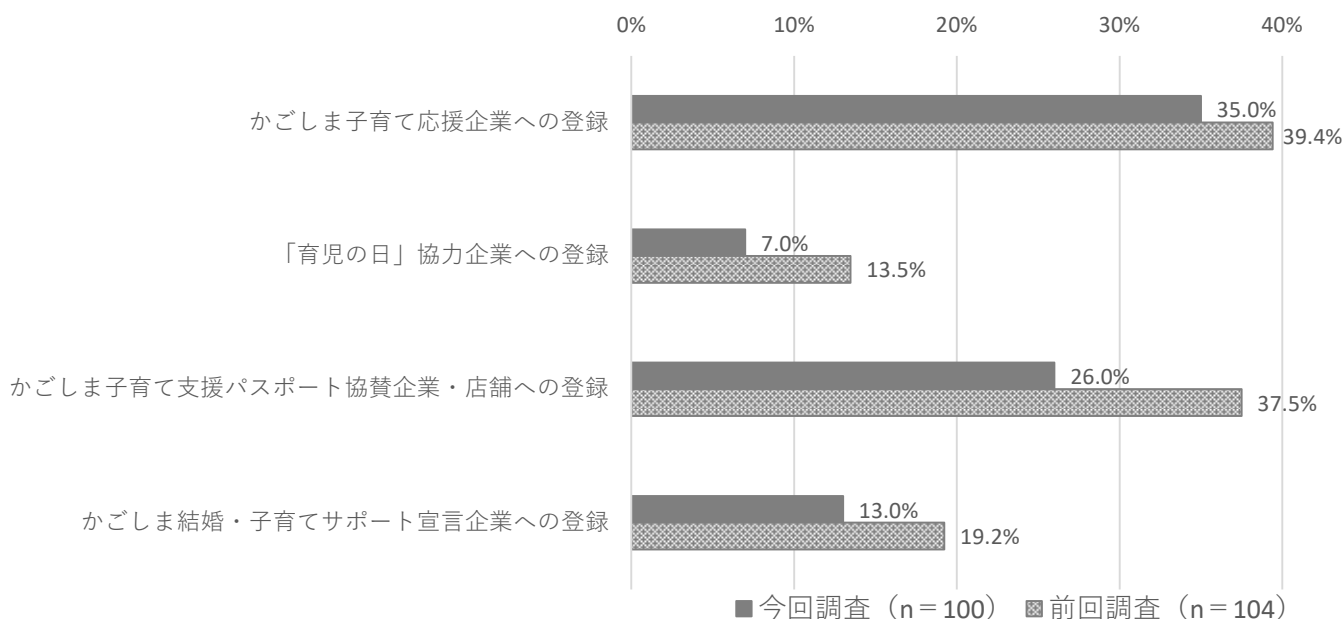


問 27 鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。(〇はいくつでも)

<認知度>

鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の認知度について、「かごしま子育て応援企業への登録」が 35.0%で最も多く、次いで「かごしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録」(26.0%)、「かごしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録」(13.0%)となっている。

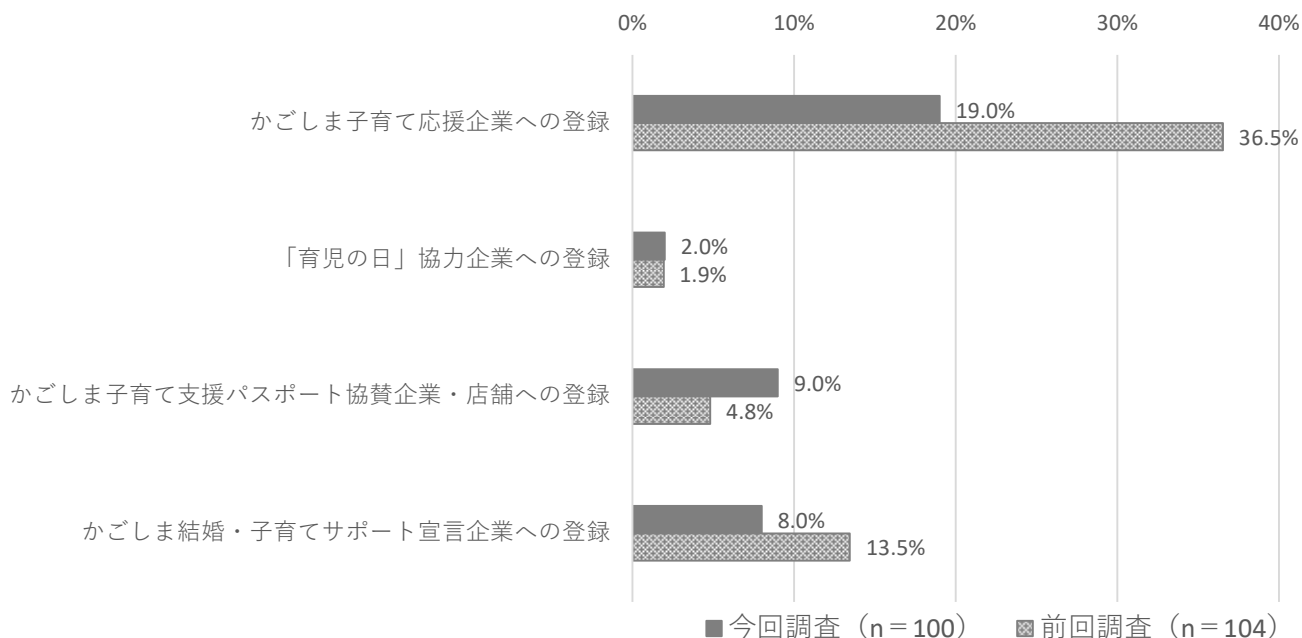
【鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の認知度】



<取組状況>

鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の取組状況について、「かごしま子育て応援企業への登録」が 19.0%で最も多く、次いで「かごしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録」(9.0%)、「かごしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録」(8.0%)となっている。

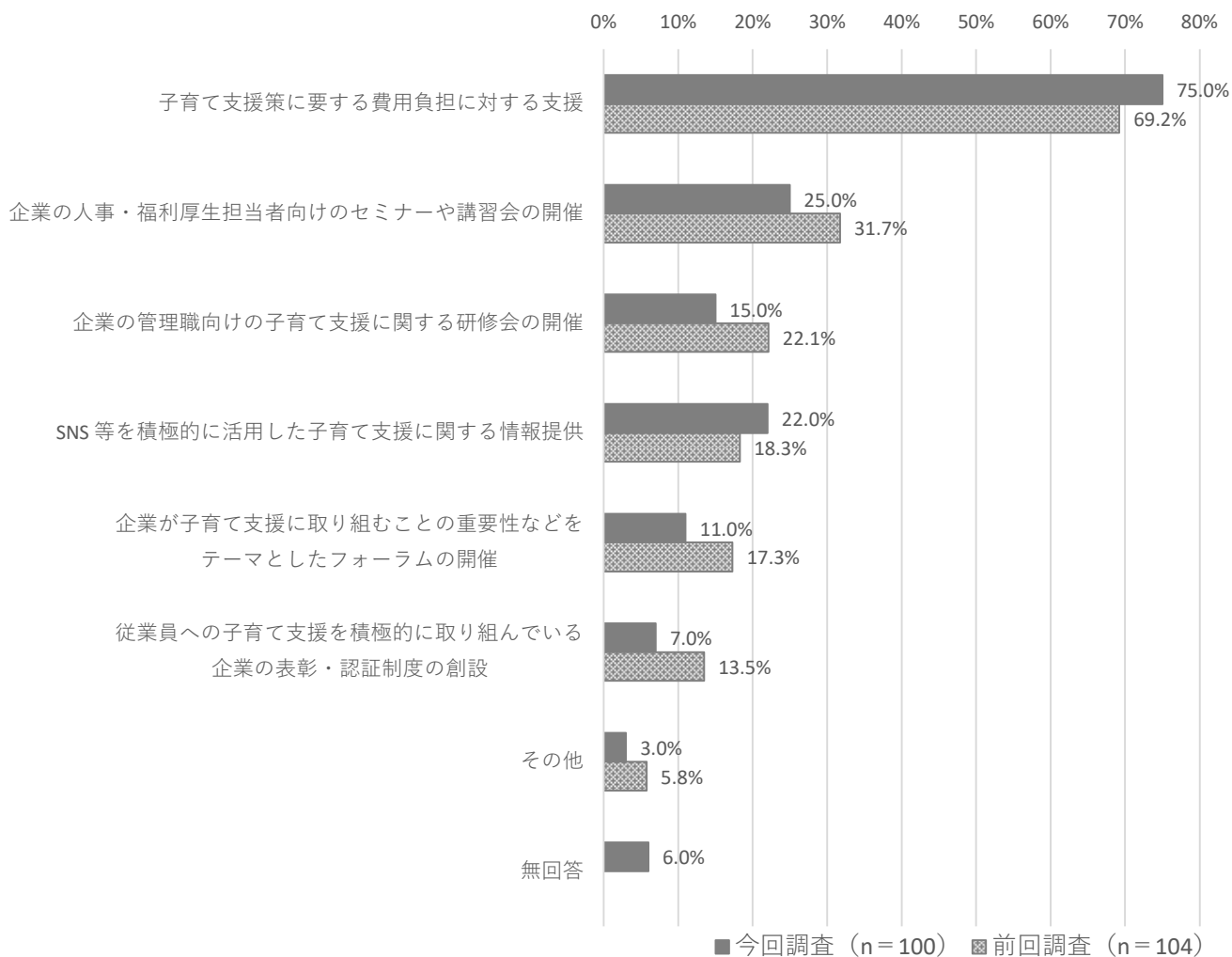
【鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の取組状況】



問 28 行政に期待する子育て支援についてお答えください。(〇はいくつでも)

行政に期待する子育て支援について、「子育て支援策に要する費用負担に対する支援」が75.0%で最も多く、次いで「企業の人事・福利厚生担当者向けのセミナーや講習会の開催」(25.0%)、「SNS等を積極的に活用した子育て支援に関する情報提供」(22.0%)となっている。

【行政に期待する子育て支援】



問 29 少子化問題についてのご意見、この調査に対するご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

【寄せられた意見（抜粋）】

- 出産費用や保育料の費用負担の支援を充実させる必要がある
- 従業員へいろいろな支援をしたいが資金がない。
- 男性従業員の育休中の収入減がやはりネックになる。家計の事を考えると、長期育休は取りづらい。
- 土地がら子育てをサポートしてくれる家族、兄弟、親戚等がいる為、子を産み、育てやすい環境だと思う。又、子たくさんな家庭が多い為、急な休み、学校行事への参加等による休憩時間の変更、年休使用等柔軟に対応している。
- 少子化問題をすすめる一方、結婚していない、子どもがいない方々への配慮も必要。
- 「子育てにお金が掛かる」というイメージを持たせるような報道の仕方にも問題がある。子育て＝お金・大変ではなく、子育て＝自分育てで人生でかけがえのない経験、宝であるというイメージを若い人達に伝えていくべき。
- 第三子の助成金や大学無償化の前に、まずは結婚と、安心して一人の子どもを育てることができる社会、制度を優先するべきでは。・安定した収入で結婚・子育てができるかの不安への対応 ・子どもが成人する時代への不安。

1. 県民用調査票

少子化等に関する県民意識調査

調査へのご協力をお願い

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本県の福祉行政につきまして、日頃からご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、鹿児島県では、結婚・妊娠・子育てに温かい社会の実現に向けて、総合的な少子化対策に取り組んでいます。この調査では、県民の皆様の結婚、妊娠・出産、子育てに関するご意見、ご要望を調査し、前向きに考えてもらえるような取組を行うための基礎調査として活用いたします。

つきましては、調査項目が多岐にわたり、お手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせください。ご協力をよろしくお祈り致します。

令和5年11月
鹿児島県

調査について

- 1 この調査は、満18歳以上（令和5年1月1日現在）の県民から、無作為に選び、送付しています。
- 2 調査実施期間は、**令和5年12月13日（水）**までです。
- 3 調査は、無記名方式で個人が特定される心配はありません。また、調査結果は統計的に処理し、調査の目的以外には使用することはありません。
- 4 アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で250名の方に鹿児島銀行のキャッシュレス決済アプリ「Payどん」でご使用いただける**電子ポイント2,000円分をプレゼント**いたします。
最後のページに詳細を記載しておりますので、最後の質問までご協力くださいますようお願いいたします。



ご記入にあたって

- 1 この調査の回答は、**宛先のご本人**がお答えいただくようお願いいたします。
- 2 回答した選択肢によっては、一部の方だけ回答をお願いしている設問があります。また、選択肢が複数のものもありますので、設問ごとの案内に従ってください。
- 3 本アンケートは、鹿児島県子育て支援課が九州経済研究所へ委託して実施しています。
- 4 下記のいずれかの方法でご回答ください。
 - ① 本調査票で回答を行う場合、記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**12月13日（水）までに、郵便ポストにご投函ください。**
 - ② インターネットで回答を行う場合、以下のWebサイトにアクセスし、説明に従って、**12月13日（水）までに、ご回答ください。**

URL : <https://questant.jp/q/CJM52E3B>

★本アンケートに関するお問い合わせ先

（調査協力機関）株式会社九州経済研究所 企画戦略部

TEL : 099-248-8691 E-mail : kikaku@ker.co.jp

★調査元

鹿児島県くらし保健福祉部子育て支援課少子化対策係

〒890-8577 鹿児島市鶴池新町10-1 TEL : 099-286-2800

<回答サイトのQRコード>



I はじめに、あなたのことについてお伺いします。

問1 あなたの性別について教えてください。(〇はひとつ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢を教えてください。

満()歳

問3 あなたは結婚されていますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|-----------|--------------|-------|
| 1. 結婚している | 2. 離婚・死別している | 3. 未婚 |
|-----------|--------------|-------|

問4 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【問4で「1. いる」を回答された方にお尋ねします。】

問5 お子さんの人数を教えてください。

()人

問6 あなたのお住まいはどちらですか。(〇はひとつ)

- | | | | | | |
|----------|----------|------------|----------|---------|---------|
| 1. 鹿児島市 | 2. 日置市 | 3. いちき串木野市 | 4. 三島村 | 5. 十島村 | |
| 6. 枕崎市 | 7. 指宿市 | 8. 南さつま市 | 9. 南九州市 | | |
| 10. 阿久根市 | 11. 出水市 | 12. 薩摩川内市 | 13. さつま町 | 14. 長島町 | |
| 15. 霧島市 | 16. 伊佐市 | 17. 姪良市 | 18. 湧水町 | | |
| 19. 鹿屋市 | 20. 垂水市 | 21. 曾於市 | 22. 志布志市 | 23. 大崎町 | |
| 24. 東串良町 | 25. 鏡江町 | 26. 南大隅町 | 27. 肝付町 | | |
| 28. 西之表市 | 29. 中種子町 | 30. 南種子町 | 31. 屋久島町 | | |
| 32. 奄美市 | 33. 大和村 | 34. 宇検村 | 35. 瀬戸内町 | 36. 龍郷町 | 37. 喜界町 |
| 38. 徳之島町 | 39. 天城町 | 40. 伊仙町 | 41. 和泊町 | 42. 知名町 | 43. 与論町 |

問7 あなたの雇用形態をお聞かせください。(〇はひとつ)

- | | | | |
|------------|---------|-------------|--------------|
| 1. 正社員 | 2. 契約社員 | 3. 派遣社員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 自営業・自由業 | 6. 学生 | 7. 仕事をしていない | 8. その他() |

【問3で「1. 結婚している」と回答された方にお尋ねします。】

問8 配偶者の雇用形態をお聞かせください。(〇はひとつ)

- | | | | |
|------------|---------|-------------|--------------|
| 1. 正社員 | 2. 契約社員 | 3. 派遣社員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 自営業・自由業 | 6. 学生 | 7. 仕事をしていない | 8. その他() |

【問7「雇用形態」で「1～5、8」と回答された方にお尋ねします。】

問9 平均的な1日の労働時間(残業を含む)と通勤時間を合計した時間はどの程度ですか。(〇はひとつ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 2時間未満 | 2. 2時間以上4時間未満 | 3. 4時間以上6時間未満 |
| 4. 6時間以上8時間未満 | 5. 8時間以上10時間未満 | 6. 10時間以上12時間未満 |
| 7. 12時間以上14時間未満 | 8. 14時間以上16時間未満 | 9. 16時間以上 |

問10 あなたの世帯構成(同居している家族構成)は以下のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|----------|---------------|--------------|
| 1. 夫婦のみ | 2. 親と子どもの二世帯 | 3. 親と子と孫の三世帯 |
| 4. 一人暮らし | 5. その他(具体的に) | |

問11 あなたの世帯年収はどのくらいですか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万～400万円未満 |
| 3. 400万円～700万円未満 | 4. 700万円～1000万円未満 |
| 5. 1000万円以上 | 6. わからない・答えたくない |

回答項目について

次の設問から、未婚・既婚、子どもの有無によって、お伺いする項目が異なります。
下表にご回答いただく質問を○、回答不要な質問を×でお示しています。下表を参考に、説明に従って、最後までご回答をお願いいたします。

子どもの有無	未婚		既婚 (離別・死別の方を含む)	
	いる	いない	いる	いない
Ⅱ 結婚前に関する質問 (P. 4～、全21問)	○	○	×	×
Ⅲ 子育てに関する質問 (P. 9～、全13問)	○	×	○	×
Ⅳ 仕事と育児の両立に関する質問 (P. 15～、全10問)	○	○	○	○
Ⅴ 少子化問題に関する質問 (P. 18～、全16問)	○	○	○	○

II 結婚観についてお伺いします。

※問 12～問 32 は、P 1 の問 3 で「3. 未婚」を選択した方のみお答えください。

問 12 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 結婚するにはまだ若すぎるから | 2. 結婚する必要性を感じないから |
| 3. 今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから | 4. 今は、趣味や娯楽を優先したいから |
| 5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 6. 適当な相手にまだめぐり合わないから |
| 7. 異性とうまくつき合えないから | 8. 結婚資金が足りないから |
| 9. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から | 10. すでに結婚が決まっている |
| 11. その他(具体的に |) |

問 13 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー(恋人)はいますか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. いる → 問 14 へ | 2. いない → 問 17 へ |
|----------------|-----------------|

【問 14～16 は、問 13 で「1. いる」と回答された方にお尋ねします。】

問 14 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー(恋人)と結婚する意思がありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 15 現在お付き合いしている特定のパートナー(恋人)と出会ったきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 学校 | 2. 学校以外のサークルやクラブ活動 |
| 3. 職場(アルバイト先を含む) | 4. ボランティア活動 |
| 5. 友人や知人等からの紹介 | 6. 合コンや婚活パーティー |
| 7. インターネット | 8. その他(具体的に |

【問 15 で「7. インターネット」と回答された方にお尋ねします。】

問 16 出会ったきっかけとなった具体的なインターネットサービスについて教えてください。(〇はひとつ)

- | | |
|-------------|--|
| 1. 婚活サイト | 2. SNS (Facebook, X (Twitter), Instagram など) |
| 3. マッチングアプリ | 4. オンラインゲーム |
| 5. その他(具体的に |) |

【問 13 で「2. いない」と回答された方にお尋ねします。】

問 17 あなたは、特定のパートナー(恋人)とお付き合いしたいと思えますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 付き合いたい → 問 18 へ | 2. 付き合いたくない → 問 24 へ |
| 3. わからない → 問 25 へ | |

【問 18~23 は、問 17 で「1. 付き合いたい」と回答された方にお尋ねします。】

問 18 あなたは、どのような出会い方（出会いの場）を望んでいますか。（〇はひとつ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 学校 | 2. 学校以外のサークルやクラブ活動 |
| 3. 職場（アルバイト先を含む） | 4. ボランティア活動 |
| 5. 友人や知人等からの紹介 | 6. 合コンや婚活パーティー |
| 7. インターネット | 8. かごしま出会いサポートセンター |
| 9. その他（具体的に |) |

※「かごしま出会いサポートセンター」とは？

会員登録システムを活用したマッチングやイベント情報の発信等を行い、結婚を希望する方向士の巡り会いを応援するために県が設置するセンター。

マッチング会員になると、来所またはオンラインでお相手を検索・閲覧・申し込みができる。

問 19 あなたは、パートナーと出会うために取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

- | |
|------------------------------|
| 1. 趣味の活動に参加する（サークルやクラブ活動を含む） |
| 2. 職場（アルバイト先を含む）の人から紹介してもらう |
| 3. ボランティア活動に参加する |
| 4. 友人や知人等から紹介してもらう |
| 5. 家族や親戚から紹介してもらう |
| 6. 合コンや婚活パーティーなどに参加する |
| 7. お見合いをする |
| 8. 婚活サイトを利用する |
| 9. マッチングアプリを利用する |
| 10. かごしま出会いサポートセンターを利用する |
| 11. その他（具体的に |
| 12. 特に何もしていません |

【かごしま出会いサポートセンターのご紹介】

出会いはあなたの一步から

かごしま出会いサポートセンター

鹿児島県鹿児島市若原7番1号フューチャー島の県庁ビル10号
TEL:099-238-1150
1月~9月(10:00~18:00) 10月~9月(10:00~17:00)
休：冬・夏・年末年始、祭日

会員登録の条件

- 結婚を誠実に希望し、自ら努力する 20 歳以上の独身男女
- 鹿児島県内および県外にお住まいの方
- インターネットへの接続やメールが利用できるパソコンもしくはスマートフォンをお持ちで操作可能な方

自宅から
登録・閲覧・申し込みが
できるようになりました

WEBサイトから

かごしま出会いサポートセンターは、鹿児島県庁が子育て世代の一環として、一般財団法人鹿児島県婚活支援センターが運営している結婚支援センターです。

（一社）鹿児島県婚活支援センター

問 20 あなたは、出会いの場の提供があれば、利用してみたいですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 利用してみたいと思う | 2. 利用してみたいと思わない |
|---------------|-----------------|

問 21 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 知っていて、利用したことがある (利用している) | |
| 2. 知っているが、利用したことはない | 3. 知らない |

問 22 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を利用してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 利用してみたいと思う | → 問 25 へ |
| 2. 利用してみたいと思わない | → 問 23 へ |

【問 23 は、問 22 で「2. 利用してみたいと思わない」と回答された方にお尋ねします。】

問 23 利用したくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 利用する必要性を感じない | 2. 自然な出会いがしたい |
| 3. 恥ずかしい | 4. 場所が遠い |
| 5. 行く時間がない | 6. 人の目が気になる |
| 7. 利用の仕方が分からない | 8. まだ結婚の意思がないから |
| 9. その他 (具体的に) | |

【問 24 は、問 17 で「2. 付き合いたくない」と回答された方にお尋ねします。】

問 24 特定のパートナー (恋人) と付き合いたくない理由ほどのようなことですか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 自分の趣味に力を入れたい | 2. 恋愛が面倒である |
| 3. 異性に興味が無い | 4. 異性と交際するのが怖い |
| 5. 勉強や仕事に力を入れたい | 6. 友人と過ごす時間を大切にしたい |
| 7. 過去に恋愛で失敗した | 8. その他 (具体的に) |

問 25 将来子どもが欲しいと思いますか。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1. 欲しい | 2. できれば欲しい | 3. あまり欲しくない |
| 4. 欲しくない | 5. わからない | 6. その他 () |

問 26 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えに最も近いものはどれですか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. できるだけ早く結婚したい | } → 問 27 へ |
| 2. いずれ結婚したい | |
| 3. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない | |
| 4. 一生結婚するつもりはない | → 問 32 へ |
| 5. その他 (具体的に) | → 問 27 へ |

【問 27～31 は、結婚したい希望のある方（問 26 で「1～3、5」と回答）にお尋ねします。】

問 27 あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。（○は3つまで）

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|
| 1. 相手の学歴 | 2. 相手の職業 | 3. 相手の収入などの経済力 |
| 4. 相手の人柄 | 5. 相手の容姿 | 6. 共通の趣味の有無 |
| 7. 自分の仕事に対する理解と協力 | 8. 家事・育児に対する能力や姿勢 | |
| 9. 相手の家族関係 | 10. その他（具体的に) | |

問 28 結婚生活をスタートさせるに当たって必要だと思う世帯年収はどれくらいだと考えますか。（○はひとつ）

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万～400万円未満 | 3. 400万円～700万円未満 |
| 4. 700万円～1000万円未満 | 5. 1000万円以上 | 6. わからない |

問 29 あなたは、何歳までに結婚したいと思いますか。（○はひとつ）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 今すぐにでも | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40歳～ | 7. こだわらない | |

問 30 将来結婚したいと思う理由は何ですか。（○はひとつ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 好きな人と一緒に暮らせる | 2. 家族を持ちたい |
| 3. 精神的な安らぎを得られる | 4. 寂しさから解放される |
| 5. 子どもが欲しい | 6. 経済的に安定する |
| 7. 老後が安心できる | 8. 親が安心する |
| 9. 社会に認められる | 10. 世話してくれる人が欲しい |
| 11. その他（具体的に) | |

問 31 結婚して子どもができた後、どのような働き方を望みますか。（○はひとつ）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 夫婦ともに働き続ける（育休、保育所等を利用して） |
| 2. 夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職 |
| 3. 出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める |
| 4. 結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める |
| 5. わからない |
| 6. その他（具体的に) |

【問 26 で「4. 一生結婚するつもりはない」と回答された方にお尋ねします。】

問 32 将来結婚したくない理由は何ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 1人であるほうが気楽 | 2. 自由な時間が減る |
| 3. 配偶者の親や親せきと付き合いなければならない | 4. 家事に持られる |
| 5. 仕事をする上で障害となる | 6. 家族を扶養する責任ができる |
| 7. その他(具体的に |) |

Ⅲ 子育てについてお伺いします。

※問 33～問 45 までは、P1 の問 4 子どもの有無で「1. いる」と回答された方にお尋ねします。
 ※既婚で子どもをお持ちでない方、未婚で子どもをお持ちでない方は、問 46 (P. 15) へ進んでください。

問 33 あなたが子育てをして感じたことについて(A)～(H)の各項目にあてはまる番号に○をつけてください。

	全くその通り	まあそのとおり	あまりその通りでない	少しは思わない
A 家族との会話がはずむようになった	1	2	3	4
B 配偶者との信頼が深まった	1	2	3	4
C 子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった	1	2	3	4
D 子育ての経験が仕事や趣味の活動に役立った	1	2	3	4
E 子育てによって自分も成長していると感じられる	1	2	3	4
F 自分の子どもは結構うまく育っていると思う	1	2	3	4
G 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
H 子どもがかゆいくてたまらない	1	2	3	4

問 34 あなたは、子育てをする上で悩みや不安がありますか。(○はひとつ)

1. かなりある (かなりあった)	}	→	問 35 へ
2. 少しはある (少しはあった)			
3. 特にない (特になかった)	→	→	問 37 へ

【問 35~36 は、悩みや不安がある方（問 34 で1または2と回答）にお尋ねします。】

問 35 あなたの子育てでの心理面での悩みはどんなことですか。（〇はいくつでも）

1. 子育てについて配偶者や親の協力が得られない
2. 仕事と子育ての両立が難しい
3. 子どもの病気や心身の発育・発達の遅れが気になる
4. 子どものしつけや教育の仕方がよくわからない
5. 子どもとふれあう時間が少ない
6. 子育てに追われて自分の時間がもてない
7. 子どもを通して近所づきあいや、子どもの親同士での付き合いが負担になる
8. 子どもの成績や勉強の指導が不安だ
9. 自分自身親として自信がない
10. 自分自身の体力や健康などに自信がない
11. 悩みを気軽に相談できる相手がいらない
12. 子育てというものが全体的によくわからない
13. その他（具体的に
14. 心理面での悩みは特にない

問 36 あなたの子育てでの環境面での悩みはどんなことですか。（〇はいくつでも）

1. 近所に子どもの友だちがいらない
2. 近所に子どもを安心して遊ばせる場所がない
3. 近くに保育所や幼稚園など子どもを預ける場所がない
4. 近くに子どもがかかると医療機関がない
5. 学校の先生と親（ご自身）との連絡があまり取れない
6. 子どもがいじめられていても親（ご自身）や教師が気付いていない
7. 子どもの出産や育児にお金がかかる
8. 子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる
9. 住居が子育てに十分な広さではない
10. 社会環境や自然環境の悪化に不安がある
11. 食物の安全性に不安がある
12. 子育てと仕事や家事との両立がしにくい
13. 悩みを気軽に相談できる場がない
14. その他（具体的に
15. 環境面での悩みは特にない

問 37 あなたが子育てをしていく上で、それぞれの時期の大変さの程度について、あてはまる番号に○を付けてください。なお、子育てを既に終えた方は、過去の経験についてお答えください。(時期ごとに○はひとつ)

	大変	ある程度大変	あまり大変ではない	大変ではない	未経験
1. 乳幼児期	1	2	3	4	5
2. 小学生	1	2	3	4	5
3. 中学生	1	2	3	4	5
4. 高校生	1	2	3	4	5
5. 大学・専門学校	1	2	3	4	5

問 38 あなたは以下の子育て支援サービスをご存知ですか。また、利用したことがありますか。
(※知っているかどうか、利用したことがあるか、それぞれ○をひとつずつ)

	知っているか (○をひとつ)		利用したこと (○をひとつ)	
	知っている	知らない	ある	ない
A 子育て世代包括支援センター	1	2	1	2
B 子育て支援センター(地域子育て支援拠点)	1	2	1	2
C ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2
D 子育て短期支援(ショートステイ)	1	2	1	2
E 一時預かり	1	2	1	2
F 延長保育	1	2	1	2
G 子育て支援バスポート	1	2	1	2
H 病児保育	1	2	1	2
I 小児救急電話相談(#8000)	1	2	1	2
J 産後ケア	1	2	1	2

【子育て支援サービスの事業概要】

A 子育て世代包括支援センター	保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に対応し、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療・福祉の関係機関との連絡調整を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に提供する施設で、地域の保健センター内や役場内に設置されています。
B 子育て支援センター (地域子育て支援拠点)	公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う施設です。
C ファミリー・サポート・センター	地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で支え合う会員組織です。
D 子育て短期支援 (ショートステイ)	保護者の病気、出産、仕事などの理由により一時的に家庭において、子どもを養育することが困難になった場合に、児童養護施設等で一定期間子どもを預かり保護者に代わって保護を行う事業です。
E 一時預かり	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間、保育所その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。
F 延長保育	認定こども園、保育所等で、通常の保育時間（保育所によって異なる）を超えて子供を預かる事業です。
G 子育て支援/バスポート	事業に協賛する企業や店舗が、バスポートを提示した対象世帯に、割引や独自の優待サービスなどを提供することで、子育て家庭を応援する仕組みです。鹿児島県内に在住する妊娠中の方及び18歳未満の子どもがいる世帯が対象です。
H 病児保育	病気や病気の回復期にあるお子さんを、病院・保育所等の専用スペース等で、看護師等が一時的に保育等を行う事業です。
I 小児救急電話相談（#8000）	夜間における子どもさんの急な病気・急なけがなどについて、看護師等が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行う事業です。
J 産後ケア	出産後の母子に対して、産後も安心して子育てができるよう、助産所等において、専門的な心身のケアや育児のサポート等を行う事業です。

問 39 あなたは、子育て費用がご自身や世帯の家計に占める割合をどのように感じていますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. もっと子育てにお金をかけたい | 2. もう少し子育てにお金をかけたい |
| 3. ちょうどいい | 4. もう少し子育てのお金を減らしたい |
| 5. もっと子育てのお金を減らしたい | |

問 40 あなたは、お子さんの進学目標（最終学歴）をどのように考えますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|------------|----------|-----------|------------|
| 1. 中学校まで | 2. 高校まで | 3. 専門学校まで | 4. 短大・高専まで |
| 5. 大学・それ以上 | 6. わからない | | |

問 41 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談する相手はだれですか。
 なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 自分や配偶者の親など、年上の親族 |
| 3. 自分や配偶者の兄弟姉妹など同世代の親戚 | 4. 友人や知人 |
| 5. 県や市町村などの公共機関 | 6. その他(具体的に) |
| 7. 相談相手はいない | |

問 42 あなたは、子育てに関する情報をどのように入手していますか。
 なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親族(親、兄弟姉妹など) | 3. 近所の人、知人、友人 |
| 4. 子育てサークルの仲間 | 5. 保育所、幼稚園、学校 | 6. 市町村役場や市町村の機関 |
| 7. 市町村の広報やソフレット | 8. テレビ、ラジオ、新聞 | 9. 子育て雑誌 |
| 10. インターネット | 11. コミュニティー誌 | |
| 12. その他(具体的に) | 13. 特にない | |

問 43 配偶者の育児の関わり方についてお尋ねします。次の項目について、あなたは配偶者のどのような点を評価しますか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常の家事をする |
| 2. 子どもの日常の世話をする(食事・お風呂・トイレなど) |
| 3. 子どもが病気のときの世話をする |
| 4. 子どもとよく遊ぶ |
| 5. 誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加する |
| 6. 子どもの話をよく聞き、気持ちを理解する |
| 7. 子どもの模範となる生活態度をとる |
| 8. 子どものしつけをする |
| 9. 子どもの発達や教育に関心が高い |
| 10. 夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持つ |
| 11. 夫婦で子育ての悩みを分かち合う |
| 12. 子育てを楽しむ |
| 13. その他(具体的に) |
| 14. 特にない |

問 44 配偶者の育児への関わり方について不満を感じている点についてお尋ねします。次の項目について、あなたが配偶者に対して不満を感じている点は何ですか。
なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はい/くつでも)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 日常の家事をしない | |
| 2. 子どもの日常の世話をしない(食事・お風呂・トイレなど) | |
| 3. 子どもが病気のときの世話をしない | |
| 4. 子どもとよく遊ばない | |
| 5. 誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加しない | |
| 6. 子どもの話をよく聞かず、気持ちを理解しない | |
| 7. 子どもの模範となる生活態度をとらない | |
| 8. 子どものしつけをしない | |
| 9. 子どもの発達や教育に関心が薄い | |
| 10. 夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持たない | |
| 11. 夫婦で子育ての悩みを分かち合わない | |
| 12. 子育てを楽しまない | |
| 13. その他(具体的に |) |
| 14. 特になし | |

問 45 あなたご自身にとって、以前(3年ほど前もしくはあなたご自身が子育てをされていた時期)と比べて、子育てはしやすくなりましたか。(〇はひとつ)

- | | | |
|------------|------|---|
| 1. しやすくなった | (理由: |) |
| 2. しにくくなった | (理由: |) |
| 3. 変わらない | | |
| 4. わからない | | |
| 5. 比べられない | | |

IV 仕事と育児の両立についてお伺いします。

※問 46～問 55 までは、既婚・未婚に関係なく全員がお答えください。

問 46 あなたは、子育て支援のために、企業に整備してほしい制度は何だと思えますか。
なお、現在働いていない方も働いていると想定してお答えください。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. フレックスタイム制度の導入 [※] | 2. 妊娠中、育児中の勤務時間の短縮 |
| 3. 育児休業期間の延長 | 4. 始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ |
| 5. 残業（所定外労働）の免除 | 6. 深夜残業の制限 |
| 7. 育児休業中の収入補填 | 8. 事業所内保育所の整備 |
| 9. その他（具体的に | ） 10. 特になし |

※フレックスタイム制度（時差出勤制度）とは？

清算期間（最大で1カ月以内の一定の期間で労使協定で定めたもの）内での総労働時間を決めておいて、その清算期間内での各日の労働時間を労働者が決められるというものです。

問 47 あなたは、鹿児島県における男性の育児への関わり方について、どんな印象がありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的にしていると思う | 2. 時々はしていると思う |
| 3. あまりしていないと思う | 4. 全くしていないと思う |

問 48 あなたは、男性が女性とともに積極的に子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思えますか。
(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること | |
| 2. 企業中心という社会全体の仕組みを改めること | |
| 3. 仕事と家庭の両立などの課題について相談できる窓口を設けること | |
| 4. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること | |
| 5. 夫婦ともに家事や育児の責任を担い、協力して行うこと | |
| 6. 家事や育児を男女がともに担えるような教育や育て方をすること | |
| 7. 男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること | |
| 8. その他（具体的に | ） |

問 49 あなたは、男性の育児休業制度を知っていますか。(〇はひとつ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた |
| 2. 配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた |
| 3. 男性が取得できるとは知らなかった |

問 50 あなたは、男性が育児休業制度を利用することをどう思いますか。(〇はひとつ)

1. 可能な限り取得したほうがよい
2. 取得したほうがよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない
3. あまり取得しないほうがよい
4. 取得すべきではない
5. わからない
6. その他(具体的に)

問 51 あなたは、男性の育児休業の取得を促進するには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 職場(経営者・上司・同僚等)の理解の向上
2. 公的な所得保障制度の充実
3. 昇格等に影響しない人事制度の整備
4. 男性自身の意識の変化
5. 社会の理解の向上
6. 育児休業制度の周知・啓発
7. 男性が育児に関わりやすい内容の制度の見直し(分割取得など)
8. 事業主に対する代替要員確保のための助成制度
9. その他(具体的に)

【現在働いている方にお尋ねします(自営業・自由業含む)。現在働いていない方は問 53 にお進みください。】

問 52 あなたのお勤めの会社には育児休業制度の規定がありますか。(〇はひとつ)

1. ある
2. ない
3. わからない

問 53 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。現在働いていない人は働いていると想定してお答えください。出産予定がない人は出産すると想定してお答えください。(〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|---|--------|
| 1. 利用したことがある | → | 問 55 へ |
| 2. 利用したい | → | 問 56 へ |
| 3. 利用したいが難しい | } | 問 54 へ |
| 4. 利用したくない | | |
| 5. わからない | → | 問 56 へ |

【問 53 で「3. 利用したいが難しい」または「4. 利用したくない」と回答された方にお尋ねします。

問 54 あなたが育児休業制度を利用したくない(利用したいが難しい)と思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 職場に迷惑がかかるから
2. 職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから
3. 仕事を離れると自分の能力が落ちるから
4. 仕事を続けたいから
5. 仕事を離れると昇進・昇格に影響するから
6. 収入が減るから
7. 退職するつもりだから
8. 子どもを見てくれる人がいるので必要ないから
9. その他(具体的に

)

【問 53 で「1. 利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。】

問 55 あなたは、育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できましたか。(〇はひとつ)

1. スムーズに復帰できた
2. スムーズに復帰できなかった(理由:

)

V 少子化問題についてお伺いします。

※問 56～問 71 までは、既婚・未婚に関係なく全員がお答えください。

問 56 少子化問題についてどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 大変関心がある | 2. 多少関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. 全く関心がない | 5. わからない | |

問 57 あなたは、子どもの数が減少してきている原因は何だと思えますか。(〇は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 住宅事情が悪いから |
| 2. 子育て世代の収入が低いから |
| 3. 子どもの生活費や教育費が高いから |
| 4. 出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから |
| 5. 働く女性が増え、家庭と仕事の両立が困難だから |
| 6. 結婚しない人が増えたから |
| 7. 女性の高学歴化と職場進出などで結婚平均年齢が上昇したから |
| 8. 夫婦二人の生活を充実させたいと考える人が増えたから |
| 9. 子どもよりも自分の生活を充実させたいと考える人が増えたから |
| 10. 介護や看護の必要な人が家族にいて、育児との両立が困難だから |
| 11. 家庭と仕事を両立させるための就業環境が整っていないから |
| 12. その他(具体的に) |

問 58 あなたは、子どもの数が減少するとどのような影響が出てくると思えますか。(〇は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 子ども一人一人の教育を充実させることができる |
| 2. 子どもが大切にされることにより、子どもの生活が豊かになる |
| 3. 受験戦争が緩和される |
| 4. 住宅や食料に社会的なゆとりができる |
| 5. 労働力不足に伴い、女性や高齢者、障害者の雇用が進む |
| 6. 子どもの社会性を育む機会が減少する |
| 7. 将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する |
| 8. 将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する |
| 9. その他(具体的に) |
| 10. 特に大きな影響はない |

問 59 あなたは、人生設計（ライフプラン）について考えたことがありますか。

- | | | |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. よく考えたことがある | 2. 少し考えたことがある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり考えたことがない | 5. 全く考えたことがない | |

問 60 あなたにとって理想とする子どもの数は何人ですか。（〇はひとつ）

- | | | | | | |
|-----------------|-------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 | |
| 6. 子どもを持つつもりはない | | → 問 62 へ | 7. わからない | | → 問 63 へ |

【問 60 で 1～5（子どもを持ちたい）と回答した方にお尋ねします。】

問 61 子どもを持ちたいのは、どのような理由からですか。（〇は2つまで）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 生活が楽しく豊かになるから | 2. 子どもを持つのは自然なことだから |
| 3. 好きな人の子どもを持ちたいから | 4. 夫婦関係を安定させるから |
| 5. 子どもは将来の社会の支えになるから | 6. 子どもは老後の支えになるから |
| 7. 配偶者や親などの関わりが望むから | 8. 子どもを持つことで周囲に認められるから |
| 9. その他（具体的に | ） |

【問 60 で「6. 子どもを持つつもりはない」と回答された方にお尋ねします。】

問 62 子どもを持ちたくないのは、どのような理由からですか。（〇は2つまで）

- | | | |
|------------------------|------------------|----------------|
| 1. 子どもが好きではないから | 2. 子育てが大変だから | 3. 子育てに自信がないから |
| 4. 自分や夫婦だけの生活を大切にしたいから | 5. 子どもを産むのは大変だから | |
| 6. その他（具体的に | | ） |

問 63 あなたは、実際に何人の子どもを持ちたいですか。

現在おられるお子さんとこれから持ちたいお子さんの数を含めてお答えください。（〇はひとつ）

- | | | | | | |
|-----------------|-------|----------|-------|---------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 | |
| 6. 子どもを持つつもりはない | | 7. わからない | | | → 問 65 へ |

【問 63 の実際に持ちたい子どもの数が、問 60 の理想の子どもの数より少ない方にお尋ねします。】

問 64 その理由はなんですか。（〇は3つまで）

- | | | |
|------------------------------|---------------------------|---|
| 1. 収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 2. 高年齢で産むのはいやだから | |
| 3. 育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから | 4. 健康上の理由から | |
| 5. 子どもが又のびと育つ社会環境ではないから | 6. 欲しいけれどできないから | |
| 7. 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから | 8. 産休・育休が取りづらいから | |
| 9. 家が狭いから | 10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから | |
| 11. 子どもを預かってもらえないから | 12. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | |
| 13. 世間並みの子どもの数に合わせたいから | 14. 一番末の子が定年までに成人して欲しいから | |
| 15. 配偶者が望まないから | 16. その他（具体的に | ） |

問 65 本県でも、未婚化と晩婚化が進んでいますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから
2. 女性の家事負担割合が非常に高いから
3. 都市化が進み、男女とも単身で生活がしやすい環境になっているから
4. 若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから
5. 結婚適齢期という考え方について社会の意識が変化したから
6. フリーターなど定職につかず、収入の少ない若者が増えたから
7. 周りに結婚の世話をしてくれる人がいなくなったから
8. 過疎化の影響で周りに独身の異性が少ないから
9. 仕事が忙しく異性とつきあう余裕がなくなっているから
10. 結婚に魅力を感じないから
11. その他(具体的に)

問 66 あなたは、結婚を希望する人の結婚を支援する施策として何が重要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 安定した雇用環境を提供すること
2. 賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること
3. 結婚や住宅に対する資金援助等を行うこと
4. 出会いの場を提供すること
5. 結婚した方が有利となるような税制を行うこと
6. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
7. 家事・育児の負担は性別に関わらず協働である意識の啓発
8. 若者の結婚を推奨するような啓発活動を行うこと
9. その他(具体的に)
10. 特になし
11. わからない

問 67 あなたご自身にとって、以前(3年ほど前)と比べて、仕事と家庭の両立はしやすくなりましたか。(〇はひとつ)

- | | | |
|------------|---|----------|
| 1. しやすくなった | } | → 問 68 へ |
| 2. しにくくなった | | |
| 3. 変わらない | } | → 問 69 へ |
| 4. 分からない | | |
| 5. 比べられない | | |

【問 67 で「1.しやすくなった」または「2.しにくくなった」と回答された方にお尋ねします。】

問 68 その理由は何か。あてはまる番号3つまで選び、また具体的な内容をご記入ください。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 保育サービス | 2. 育児休業制度 |
| 3. 短時間勤務制度 | 4. フレックスタイム制度 |
| 5. 始業・終業時刻の繰上げ・繰り下げ | 6. 所定外労働をさせない制度 |
| 7. 子育てサービス費用の援助措置等 | 8. 職場への復帰支援 |
| 9. 配偶者が出産の時の男性の休暇制度 | 10. 子どもの看護休暇 |
| 11. 育児等で退職した者に対する優先的再雇用制度 | 12. 子育て中の在宅勤務制度 |
| 13. 夫の家事・育児参加 | 14. 親族の育児援助 |
| 15. その他（具体的に) | 16. 分からない |

【具体的な内容】

問 69 あなたは、子どもを健やかに産み育てるためには、国や県、市町村にどのようなことを期待しますか。
(〇は3つまで)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 児童手当、医療費助成などの経済的支援 | 2. 保育サービスの充実 |
| 3. 子育て中の親が集える場の整備 | 4. 育児休業などの家庭と仕事を両立できるような雇用環境の整備 |
| 5. 産科医療の充実 | 6. 小児医療の充実 |
| 7. 児童虐待の防止 | 8. 子どもを犯罪、交通事故から守る |
| 9. 相談窓口の充実 | 10. 児童館等子どもの遊び場の整備 |
| 11. 教育環境の整備 | 12. 生活環境の整備（住宅の確保、道路交通環境の整備） |
| 13. 過疎地における人口の増加のための定住促進 | 14. 未婚・晩産化対策（男女の新たな出会いへの支援） |
| 15. 安定した雇用環境の創出 | 16. 家族の絆や子育ての喜びなどの意識の醸成・啓発 |
| 17. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた働き方の実現に向けた環境の整備 | |
| 18. 少子化が進行した社会での医療・介護・年金制度をどのように維持するか等の具体的なイメージの提示 | |
| 19. その他（具体的に) | 20. 特にない |

問 70 あなたは、以下の行政の取組についてどのように感じていますか。
重要度、満足度をそれぞれお答えください。(○はひとつずつ)

	重要度				満足度			
	重要である	ある程度重要である	あまり重要でない	重要でない	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	不満である
A 結婚への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
B 妊娠・出産等に関する総合的な支援	1	2	3	4	1	2	3	4
C 地域における子供の発達段階に応じた子育ての支援	1	2	3	4	1	2	3	4
D 子育ての経済的負担の軽減	1	2	3	4	1	2	3	4
E 子どもの健康の確保及び促進	1	2	3	4	1	2	3	4
F 障がい児や要保護児童等への対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
G 子どもの貧困対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
H 子ども・子育てに安全・安心なまちづくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
I 鹿児島県の特徴を生かした子育て施策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
J 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
K 仕事と生活の両立の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
L 雇用の場の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
M 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
N 子育てを支援する生活環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
O 子どもの安全の確保の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
P 企業の少子化対策や孤立支援の取り組みを促進	1	2	3	4	1	2	3	4

問 71 あなたは、将来子どもを安心して産み育てることができる社会づくりの推進や少子化対策を進めるためにどのような取組が必要と考えますか。ご自由にご意見などを記入してください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）をご利用のうえ、**12月13日（水）**までに
ご投函くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた方から、抽選で 250 名様に鹿児島銀行のキャッシュレスアプリ「Pay どん」で
ご使用いただける **2,000 円分の電子ポイント**をプレゼントいたします！

Pay どんについて

Pay どんは、鹿児島銀行のキャッシュレス決済サービスです。
スマートフォンをつかって QR コード決済で買い物・飲食などすることができます。
令和5年10月から、南日本銀行・鹿児島相互信用金庫の預金口座を
持っている方も利用できるようになりました。鹿児島銀行の預金口座を
持っていない方もアプリをダウンロードのうえ、ご応募ください！



ご希望される方は、以下、必要事項までご記入ください。

アプリにご登録されているメールアドレス

アプリにご登録されている携帯電話番号

※個人情報の取扱いについて

ご記入いただいた応募者の個人情報は、法令等に基づく正当な理由がある場合を除いて、本事業における
抽選、電子ポイントの付与以外には使用いたしません。

2. 事業所用調査票

少子化等に関する県民意識調査（事業所用）

調査へのご協力をお願い

皆様には、日頃から県政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、鹿児島県では、県内の企業から無作為に抽出した事業所を対象として「少子化等に関する県民意識調査（事業所用）」を実施することといたしました。

この調査は、企業における少子化等への取組や実態等をお聞かせいただき、今後の少子化対策を充実させていくための基礎資料とするものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

令和5年11月
鹿児島県

調査について

- 1 この調査は、無作為に抽出した事業者へ送付しています。
- 2 調査実施期間は、**令和5年12月13日（水）**までです。
- 3 調査結果は統計的に処理・分析を行い、調査の目的以外に使用することはありません。
- 4 分析結果は公表いたしますが、事業所が特定されることは一切ございません。

ご記入にあたって

1. この調査票は、**総務・人事などをご担当の方**にご記入をお願いいたします。
2. 本店・支店など複数の事業所がある企業の方は、企業全体ではなく、**貴事業所**についてお答えください。
3. ご記入にあたっては、あてはまる番号に○をつけてください。
欄別によって○をつける数が異なりますので、ご注意ください。
4. 選択肢で「その他」の場合は（ ）に具体的な内容をご記入ください。
5. 本アンケートは、鹿児島県子育て支援策が **九州経済研究所** へ委託して実施しています。
6. 下記のいずれかの方法でご回答ください。

- ① 本調査票で回答を行う場合、記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**12月13日（水）までに、郵便ポストにご投函ください。**
- ② インターネットで回答を行う場合、以下のWebサイトにアクセスし、説明に従って、**12月13日（水）までに、ご回答ください。**

<回答サイトのQRコード>

URL : <https://questant.jp/q/053U6ZFB>

★本アンケートに関するお問い合わせ先

〔調査協力機関〕株式会社 九州経済研究所 企画戦略部

TEL : 099-248-8691 E-mail : kikaku@ker.co.jp

★調査元

鹿児島県くらし保健福祉部子育て支援課少子化対策係

〒890-8577 鹿児島市鵜池新町10-1 TEL : 099-286-2800



I はじめに、貴社のことについておたずねします。

問1 貴社の主な業種についてあてはまるものをお答えください。(○はひとつ)

- | | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 卸売業、小売業 | 3. 製造業 | 4. 金融業、保険業 |
| 5. 建設業 | 6. 情報通信業 | 7. 医療、福祉 | |
| 8. その他 () | | | |

問2 貴社の従業員数を教えてください。(数字を記入)

	男性	女性	合計
正規従業員	人	人	人
派遣社員・契約社員	人	人	人
パート・アルバイト	人	人	人
合計	人	人	人

問3 貴社の所在地はどちらですか。(○はひとつ)

- | | | | | | |
|----------|----------|------------|----------|---------|---------|
| 1. 鹿児島市 | 2. 日置市 | 3. いちき串木野市 | 4. 三島村 | 5. 十島村 | |
| 6. 枕崎市 | 7. 指宿市 | 8. 南さつま市 | 9. 南九州市 | | |
| 10. 阿久根市 | 11. 出水市 | 12. 薩摩川内市 | 13. さつま町 | 14. 長島町 | |
| 15. 霧島市 | 16. 伊佐市 | 17. 姶良市 | 18. 湧水町 | | |
| 19. 鹿野市 | 20. 垂水市 | 21. 曾於市 | 22. 志布志市 | 23. 大崎町 | |
| 24. 東神楽町 | 25. 錦江町 | 26. 南大隅町 | 27. 肝付町 | | |
| 28. 西之表市 | 29. 中種子町 | 30. 南種子町 | 31. 屋久島町 | | |
| 32. 奄美市 | 33. 大和村 | 34. 宇検村 | 35. 瀬戸内町 | 36. 龍郷町 | 37. 嘉祥町 |
| 38. 徳之島町 | 39. 天城町 | 40. 伊仙町 | 41. 和泊町 | 42. 知名町 | 43. 与論町 |

II 貴社の働き方についてお伺いします。

問4 貴社では、ワーク・ライフ・バランスの取組についてどのように認識していますか。(〇は1つずつ)

現状	1. 取り組んでいる		問5へ
	2. あまり取り組んでいない		問8へ
	3. 全く取り組んでいない		
今後	1. 積極的に取り組むべき		
	2. ある程度取り組むべき		
	3. 現状のままで問題はない		

※ワーク・ライフ・バランスとは?

仕事と仕事以外の生活(家事、子育て、趣味やスポーツ、友人や地域との付き合い等)をバランスよく展開していくこと。

【問4の現状で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお尋ねします。】

問5 貴社では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような取組をしていますか。(〇はいくつでも)

1. ワーク・ライフ・バランス推進に関する方針の策定
2. 完全週休2日制の導入
3. ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組
4. 短時間勤務制度の導入
5. フレックスタイム勤務の導入
6. 1日未満単位(半日、1時間単位等)での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置
7. ボランティア休暇、自己啓発休暇、リフレッシュ休暇など多様な休暇制度の導入
8. 在宅勤務制度の導入
9. 育児・介護休業等取得者の代替職員の雇用
10. 育児・介護休業等取得者への給付・貸付制度の導入
11. 研修の実施など、育児・介護休業から復職しやすい体制の整備
12. 再雇用制度の導入
13. 国の両立支援助成制度の活用
14. 各種制度利用促進のための従業員に向けた情報提供
15. 相談窓口の設置
16. その他(具体的に)

問6 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかったと思う内容はどれですか。(〇はいくつでも)

1. ワーク・ライフ・バランス推進に関する方針の策定
2. 完全週休2日制の導入
3. ノー残業デーの設定など時間外の勤務軽減のための取組
4. 短時間勤務制度の導入
5. フレックスタイム勤務の導入
6. 1日未満単位(半日、1時間単位等)での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置
7. ボランティア休暇、自己啓発休暇、リフレッシュ休暇など多様な休暇制度の導入
8. 在宅勤務制度の導入
9. 育児・介護休業等取得者の代替職員の雇用
10. 育児・介護休業等取得者への給付・貸付制度の導入
11. 研修の実施など、育児・介護休業から復職しやすい体制の整備
12. 再雇用制度の導入
13. 国の両立支援加算制度の活用
14. 各種制度利用促進のための従業員に向けた情報提供
15. 相談窓口の設置
16. その他(具体的に)

問7 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでどのようなメリットがありましたか。(〇はいくつでも)

1. 優秀な人材が退職しないですむ
2. 優秀な人材を採用することができる
3. 支援を受けた従業員の会社への忠誠心が高まり、子育て復帰後、貢献が期待できる
4. 従業員の労働意欲が向上する
5. 一時的に休みを取る従業員が増えることは、これまでの仕事の進め方を見直す契機となる
6. 従業員が仕事と育児や介護の両立に取り組む中で時間の管理がうまくなる
7. 育児や介護の経験や生活者の視点がビジネスに役立つ
8. 残業時間が減った
9. その他(具体的に)

【問4の現状で「2. あまり取り組んでいない」「3. 全く取り組んでいない」と回答した方にお尋ねします。】

問8 貴社で、ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 育児・介護休暇等を導入した場合の代替委員が確保できない
2. 従業員間に不公平感が生じる
3. 業務管理等が複雑になり支障を来す
4. 人的余裕がない
5. 利益の減少やコストの増大により運営に影響が生じる
6. 現状で特に問題は生じていない
7. その他(具体的に

問9 ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)

1. ワーク・ライフ・バランスに関する相談窓口
2. 事業所向けの講習会の開催
3. 市民を対象とした理解促進・啓発
4. 市内事業所の取組事例の紹介、関連情報・ノウハウの提供
5. 他の事業所、団体等との情報交換の場の提供
6. 保育所、学童保育、介護施設などの充実
7. ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画の取り組みを推進する優良事業所の表彰
8. ワーク・ライフ・バランスを推進するための法律や制度、活用方法などに関する情報提供
9. その他(具体的に

問10 あなたは「イクボス宣言」という言葉を知っていますか。(〇はひとつ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

※イクボスとは？

「部下や同僚等の育児や介護・ワーク・ライフ・バランス等に配慮・理解のある上司」のこと。

※イクボス宣言とは？

NPO法人ファザーリングジャパンが行っており、イクボスとしての宣言を対外的に行うもの。

問11 貴社で「イクボス宣言」をされた方はいらっしゃいますか。(〇はひとつ)

1. いる
2. いない
3. わからない

Ⅲ 結婚支援についてお伺いします。

問 12 若者の未婚化・晩婚化と、それに伴う少子化の進行は、企業の労働力不足や消費者人口の減少につながることから、企業の経済活動・持続的発展に影響を及ぼすと言われています。
企業が従業員の結婚支援に取り組むことについてどう考えていますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|---------------------|---|--------|
| 1. 必要だと思う | } | 問 13 へ |
| 2. どちらかといえば必要だと思う | | |
| 3. 言葉も内容も知らない | | |
| 4. どちらかといえば必要だと思わない | | |
| 5. 必要だと思わない | → | 問 17 へ |

【問 12 で 1～4 と回答した方にお尋ねします。】

問 13 貴社で取り組んでいる結婚支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------------------------------|---|--------|
| 1. 結婚に係る特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実 | } | 問 14 へ |
| 2. 自治体又は地域の団体(商工会議所等)の結婚支援サービスの利用 | | |
| 3. 従業員がグループで行うイベント等への助成 | | |
| 4. 従業員向けの婚活イベント・セミナーの企画・開催 | | |
| 5. 民間結婚相談所等と連携して、従業員に安価な結婚相談サービスを提供 | | |
| 6. 従業員の結婚を応援する旨の宣言・公表 | | |
| 7. 企業内での世話焼き人の配置・育成 | | |
| 8. 従業員個人が行なう結婚活動への助成 | | |
| 9. その他(具体的に | | |
| 10. 取り組んでいない | | |

【問 13 で 1～9 と回答した方にお尋ねします。】

問 14 結婚支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 結婚することによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため |
| 2. 結婚支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため |
| 3. 企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため |
| 4. 従業員にやさしい企業としてPR したいため |
| 5. 自治体から、自治体の実施する結婚支援サービス利用の案内があったため |
| 6. 従業員からの要望があるため |
| 7. その他(具体的に |

問 15 今後、貴社で取り組みたい結婚支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)






1. 結婚に係る特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実
2. 自治体又は地域の団体(商工会議所等)の結婚支援サービスの利用
3. 従業員がグループで行うイベント等への助成
4. 従業員向けの婚活イベント・セミナーの企画・開催
5. 民間結婚相談所等と連携して、従業員に安価な結婚相談サービスを提供
6. 従業員の結婚を応援する旨の宣言・公表
7. 企業内での世話焼き人の配置・育成
8. 従業員個人が行なう結婚活動への助成
9. その他(具体的に)
10. 取り組む予定はない

問 16 企業が従業員の結婚支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 結婚支援の取組はやり次第でセクハラ・パワハラにつながるリスクがあるので、ガイドラインが必要
2. 結婚支援を継続的に実施するだけの相当のリソース(資金、労力など)が必要
3. 結婚支援の対象となる従業員の把握及び求められている支援の具体的な内容の把握が難しい
4. 従業員の結婚支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要
5. 「従業員の結婚は個人の問題であり、企業にとっての問題ではない」という企業(経営者)の意識が強く、これを変えていくことが必要
6. その他(具体的に)

問 17 鹿児島県が実施している主な結婚支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものをすべて選択してください。(〇はいくつでも)

	知っている	取り組んでいる (従業員の参加を 促している)
1. かがしま出会いサポートセンター	1	2
2. かがしま出会い応援団への登録	1	2
3. ライフデザインセミナー	1	2
4. 結婚・子育てサポート宣言企業への登録	1	2
5. ゆいネットメールマガジン情報の従業員への提供	1	2

【結婚支援事業概要】		
かがしま出会いサポートセンター	会員登録システムを利用したマッチングやイベントの情報発信を行い、結婚を希望する方同士のめぐり合いを応援するためのセンター。	 ▲詳細はこちら
かがしま出会い応援団	かがしま出会いサポートセンターの会員同士の引き合わせを行う、レストランやホテルなどの登録会場のこと。	 ▲詳細はこちら
ライフデザインセミナー	県内企業の若手職員等を対象に、早い時期から結婚や出産・子育てに関する自分の将来像について考えるきっかけをつくるためのセミナーを開催。	 ▲詳細はこちら
結婚・子育てサポート宣言企業	従業員の結婚支援及び子育て支援に積極的に取り組むとして県に登録した企業。	 ▲詳細はこちら
ゆいネットメールマガジン	世話焼きキュービッドや市町村等が実施する出会いと交流のイベント情報などを希望者にメール配信する事業。	 ▲詳細はこちら

問 18 行政に期待する結婚支援についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 安心できる婚活イベントやセミナー開催情報の提供
2. 行政主催の婚活イベント・セミナーの実施
3. 企業の結婚支援推進の参考となるガイドブック等の作成・配布
4. 企業が独自に行っている結婚支援の取組に対する助成金の支給
5. 婚活イベントを行いたい企業同士のマッチング仲介システムの構築
6. 企業や個人の結婚支援を行う拠点となる結婚支援センターの設置
7. SNS 等を積極的に活用した結婚支援に関する情報提供
8. 企業が結婚支援に取り組むことの重要性などをテーマとしたフォーラムの開催
9. 従業員への結婚支援を積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証制度の創設
10. その他(具体的に)

IV 育児休業制度についてお伺いします。

問 19 貴社ではこれまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。(〇はひとつ)

1. 男女ともに取得した従業員がいる
2. 女性で取得した従業員がいる
3. 男性で取得した従業員がいる
4. いいえ (該当者がいない場合も含む)

問 20 貴社の男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 全社員に対して、男性の育児休業等の取得について理解を促進するための情報提供 (制度内容や取得事例等) や研修を行っている
2. 配偶者が出産予定の男性社員に対して、育児休業等に関して人事部や職場の上司等から書面 (メール含む) での周知や相談を行うようにしている
3. 配偶者が出産予定の男性社員に対して、育児休業等の取得について人事部や職場の上司等から意向確認や働きかけを行うようにしている
4. 育児休業等を取得する場合、代替要員を配置している
5. 会社独自に、育児休業中の所得保障を行っている
6. 育児休業等の取得に伴う人事評価での不利益な事項の見直しを行っている
7. 社内に相談窓口を設置している
8. その他 (具体的に)
9. 特に実施していない

V 子育て支援についてお伺いします。

問 21 貴社の女性の働き方として、どのような形が多いですか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 結婚を機に退職する | 2. 妊娠・出産を機に退職する |
| 3. 育児休業などを活用して仕事を続ける | 4. 女性従業員が少ない |
| 5. その他(具体的に |) |

問 22 企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 必要だと思う | } → 問 23 へ |
| 2. どちらかといえば必要だと思う | |
| 3. どちらとも言えない | |
| 4. どちらかといえば必要だと思わない | |
| 5. 必要だと思わない | → 問 27 へ |

【問 22 で 1～4 と回答した方にお尋ねします。】

問 23 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. フレックスタイム制度の導入 | } → 問 24 へ |
| 2. 妊娠中、育児中の勤務時間の短縮 | |
| 3. 育児休業期間の延長 | |
| 4. 始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ | |
| 5. 残業(所定外労働)の免除 | |
| 6. 深夜残業の制限 | |
| 7. 育児休業中の収入補填 | |
| 8. 事業所内保育所の整備 | |
| 9. その他(具体的に | |
| 10. 特になし | → 問 27 へ |

【問 23 で 1～9 と回答した方にお尋ねします。】

問 24 子育て支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. 子育て支援を行うことによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため | |
| 2. 子育て支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため | |
| 3. 企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため | |
| 4. 従業員にやさしい企業として PR したいため | |
| 5. 自治体から、自治体の実施する子育て支援サービス利用の案内があったため | |
| 6. 従業員からの要望があるため | |
| 7. その他(具体的に |) |

問 25 今後、貴社で取り組みたい子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. フレックスタイム制度の導入
2. 妊娠中、育児中の勤務時間の短縮
3. 育児休業期間の延長
4. 始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ
5. 残業(所定外労働)の免除
6. 深夜残業の制限
7. 育児休業中の収入補填
8. 事業所内保育所の整備
9. その他(具体的に)
10. 取り組む予定はない




問 26 企業が従業員の子育て支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 代替要員の確保など業務体制の確保が難しい
2. 社会通念上、男性が子育てに関わりにくい
3. 育児に関する休暇・休業が取りづらい雰囲気がある
4. 育児支援に関する一般従業員の認識が乏しい
5. 従業員の子育て支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要
6. 「出産・育児は個人の課題であり、企業にとっての課題ではない」という企業(経営者)の意識が強くこれを変えていくことが必要
7. その他(具体的に)

問 27 鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。(〇はいくつでも)

※子育て支援事業の概要については、次のページをご覧ください。

	知っている	既に取り組んでいる
1. かがしま子育て応援企業への登録	1	2
2. 「育児の日」協力企業への登録	1	2
3. かがしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録	1	2
4. かがしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録	1	2

【子育て支援事業概要】		
かごしま子育て応援企業	一般事業主行動計画（次世代育成支援対策推進法に基づく）を策定した旨を労働局に届け出ており、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として県に登録した企業。	 ▲詳細はこちら
「育児の日」協力企業	「育児の日」をノー残業デーに設定するなどの取組を行う企業を、「育児の日」協力企業として県に登録した企業。	 ▲詳細はこちら
かごしま子育て支援パスポート協賛企業	妊婦や18歳未満の子どもがいる世帯が店舗でパスポートを提示すると、店舗独自の子育て支援サービスの提供を受けることができる「かごしま子育て支援パスポート」事業の趣旨に賛同し、登録を受けた企業・店舗。	 ▲詳細はこちら
かごしま結婚・子育てサポート宣言企業	従業員の結婚支援及び子育て支援に積極的に取り組むとして県に登録した企業。	 ▲詳細はこちら

問 28 行政に期待する子育て支援についてお答えください。(〇はいいくつでも)

1. 子育て支援策に要する費用負担に対する支援
2. 企業の人事・福利厚生担当者向けのセミナーや講習会の開催
3. 企業の管理職向けの子育て支援に関する研修会の開催
4. SNS等を積極的に活用した子育て支援に関する情報提供
5. 企業が子育て支援に取り組むことの重要性などをテーマとしたフォーラムの開催
6. 従業員への子育て支援を積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証制度の創設
7. その他（具体的に

問 29 少子化問題についてのご意見、この調査に対するご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）をご利用のうえ、**12月13日（水）**までにご投函くださいますようお願いいたします。